# 各構成機関における平成30年度の取組状況

## 令和元年5月16日

## 久慈川・那珂川流域における減災対策協議会

水戸市、日立市、常陸太田市、ひたちなか市、常陸大宮市、那珂市、茨城町 大洗町、城里町、東海村、大田原市、那須烏山市、茂木町、市貝町、那珂川町、 茨城県、栃木県、気象庁、国土交通省関東地方整備局

# 目次

1.	各構成機関における取組内容の紹介一覧	P.3
2.	1)八一ド対策の主な取組	P. 4
3.	2)ソフト対策の主な取組	
	①逃げ遅れゼロに向けた 迅速かつ的確な避難行動のための取組	P.9
	②避難時間確保のための取組	P.34
4.	各構成機関における取組の進捗状況について	P.41

## 各構成機関における取組内容の紹介一覧

	概ね5年で実施する取組(抜粋)	水戸	日立	常陸太	ひたち	常陸大	那珂	茨城	大洗	城里	東海	那須烏	茂木	市貝	那珂	栃木	茨城	気象	ページ
具	体的な取組の柱	市	市	田田	な	宮	市	町	町	町	村	山	町	町	Ш	小県	県	庁	番
1	事 項	113	''''	市	か	市	"	",	۳,	m)	73	市	۳,	",	町	715	715	/,	号
	具体的取組			.,.	市	.,-						.,.							
1)	ハード対策の主な取組																		
(	(1)避難行動、水防活動に資する基盤等の整備																		
	A 防災無線等設備の更新	0					0	0											P4
	B 危機管理型水位計を設置															0			P9
	ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた																		
	(1)想定最大規模の降雨による浸水想定区域を	考慮し	たハキ	<b>ザード</b> マ	マップの	)作成	·周知等	手											
	A 想定最大規模の降雨による浸水想定区域			0		0		0	0				0	0					P11
	を考慮したハザードマップの作成・周知			0		0		U	U				U	U					PII
	B 要配慮者利用施設の避難計画の作成及び											0							P18
	訓練の促進																		PIO
	C 自主防災組織の充実			0											0				P20
(	(2)避難勧告発令に着目したタイムラインの作成	;																	
	A マイ・タイムラインの作成				0						0								P23
	B マイ・タイムライン特設ページの作成															0			P28
	C タイムラインの改訂・拡充											0	0						P30
	(3)防災教育や防災知識の普及																		
	A 水防災に関する説明会等の開催		0												0			0	P33
	B 市町村トップセミナーの実施															0			P38
	C 小学生を対象とした防災教育の実施																	0	P40
	D 出前講座の実施															0		0	P42
2)	ソフト対策の主な取組 ②避難時間の確保のた	めの耳	<b>文組</b>																
	(1)より効果的な水防活動の実施及び水防体制	の強化	Ŀ																
	A 水防訓練の実施			0		0				0			0						P46
	B 共同点検の実施												0						P51
	C組織の再編																0		P53
	(2)排水活動の強化に関する取組																		
	A 災害対策用機器操作講習会に参加												0						P55

3

# 1)-(1)-A 防災無線等設備の更新(水戸市、那珂市、茨城町)

 $(P.4 \sim 7)$ 

■逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

【水戸市】

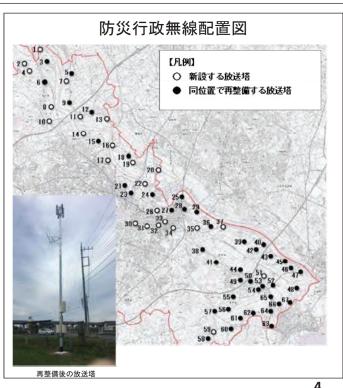
### ○浸水想定区域内の住民への確実な情報伝達方法の確立

## ■ 防災行政無線の再整備

市民が必要とする防災情報を迅速かつ 的確に提供するため、津波・洪水の災害 リスクを踏まえ, 老朽化及びデジタル化 が課題となっていた防災行政無線(電子 サイレン含む)の再整備を実施し、運用 を開始した。

再整備においては、最新のスピーカー の設置等により, 設備の性能向上を図る とともに, 桜川沿岸地区など, 浸水想定 区域の未整備地区に屋外放送塔を新設す るなど, 難聴エリアに増設することで, 情報伝達の強化を図った。

・屋外放送塔設置か所 67箇所



# 1)-(1)-A 防災無線等設備の更新(水戸市、那珂市、茨城町)

 $(P.4 \sim 7)$ 

■逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

【水戸市】

### ○浸水想定区域内の住民への確実な情報伝達方法の確立

### ■ 防災ラジオの導入

災害情報伝達の強化に向け、水戸市のコミュニティ放送局「FMぱるるん」との連携のもと、屋内でも確実に情報が得られるよう、緊急時に自動で電源が入り、水戸市からの情報が放送される防災ラジオを導入した。

平成30年度は、津波や洪水の浸水想 定区域及び避難行動要支援者の希望する 世帯に無償貸与。

※津波情報など、国から緊急情報が発信された際には、即時に音声が流れるとともに、災害情報は自動で録音されるため、聞き逃した場合等に、繰り返し聞くことができる機能を付与。



5

## 1)-(1)-A 防災無線等設備の更新(水戸市、那珂市、茨城町)

 $(P.4 \sim 7)$ 

### ■避難行動、水防活動に資する基盤等の整備

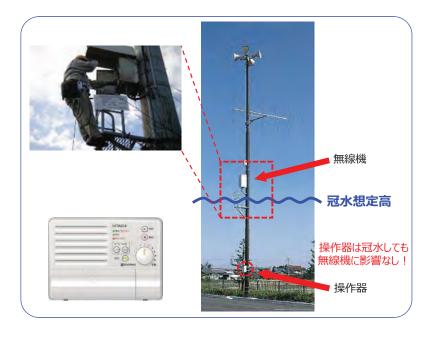
【那珂市】

#### ○ さらなる情報伝達手段の追加整備(平成30年度~平成32年度)

#### ■防災行政無線の更新

当市は防災行政無線(同報 系)が整備され、住民への情報 伝達に活用している。既設設備 のデジタル化に伴い、災害時に おける情報伝達の迅速、正確、 円滑性を図り、洪水等の災害対 策も踏まえて更新を行う。

- ・浸水想定区域内の屋外拡声子局の無線機を、万一の冠水時にも無線機は水没せず、拡 声通報の運用を継続できるようにする。
- ・屋内でも確実に情報が得られるように、市内全世帯へラジオ付戸別受信機を無償配布する。



## 1)-(1)-A 防災無線等設備の更新(水戸市、那珂市、茨城町)

 $(P.4 \sim 7)$ 

■さらなる情報伝達手段の整備及びハザードマップの作成

【茨城町】

- 〇指定避難所及び公園施設等に無線LANアクセスポイントを設置。
- ○想定最大規模の洪水浸水想定区域を考慮したハザードマップの作成。

■さらなる情報伝達手段の整備について 公衆無線LAN環境整備支援事業で整備。 平成29年度~30年度の2ヵ年で、アクセス ポイントを20ヶ所設置。

設置場所は、指定避難所、公園等。 災害時及び平時でも利用可能で,情報収 集が可能。





7

# 1)-(1)-B 危機管理型水位計を設置(栃木県)

(P.8)

■危機管理型水位計を設置

(10) 利根川水系 田川 小山市

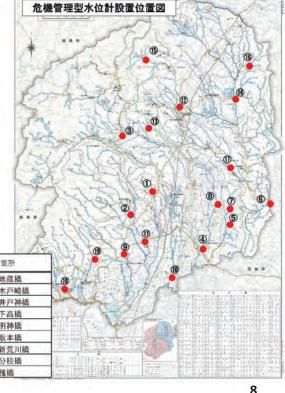
【栃木県】

# 危機管理型水位計を県内19箇所に設置



田川橋

	水系	河川名		受置箇所		水系	河川名	級	置箇所
D	利根川水系	姿川	宇都宮市	大杉橋	11	利根川水系	黒川	壬生町	地蔵橋
2	利根川水系	小鼓川	鹿沼市	小藪橋	12	那珂川水系	内川	矢板市	木戸崎橋
3	利根川水系	古大谷川	日光市	国道121号橋	13	利根川水系	泉川	塩谷町	井戸神橋
4	利根川水系	五行川	真岡市	鷲ノ宮橋	14)	那珂川水系	松葉川	大田原市	下高橋
5	利根川水系	小宅川	益子町	車橋	(15)	那珂川水系	等川	那須塩原市	明神橋
6	那珂川水系	逆川	茂木町	伊川勢橋	16	那珂川水系	三蔵川	那須町	坂本橋
7	利根川水系	小貝川	市貝町	峰崎橋	17	那珂川水系	荒川	那須鳥山市	新荒川橋
8	利根川水系	五行川	芳賀町	五行橋	(18)	利根川水系	尾名川	足利市	分校橋
9	利根川水系	赤津川	栃木市	伊吹橋	(19)	利根川水系	小兽戸川	佐野市	槐極



■想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮したハザードマップの作成・周知等

【常陸太田市】

#### ○想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮したハザードマップの作成・周知

■本市出前講座を活用したハザードマップの周知 ◇目的

想定最大規模の浸水想定区域図に基づく洪水ハザードマップを作成し、各世帯等へ配布したが、洪水ハザードマップの周知と活用をより一層図るために実施。

### ◇実施概要

洪水ハザードマップの記載内容や活用方法, 水害や避難に関する事項等について説明。 洪水ハザードマップ等に関する出前講座の開 催数は、11回。

■住民避難力強化事業を実施

茨城県と連携し、小島町において平成30年12月16日(日)に実施。20名参加。

防災の基礎知識の説明,マイマップ及びマイ・タイムラインの作成,災害・避難カードの作成の説明をした。

※国土交通省下館河川事務所の「逃げキッド」を活用した。

#### 出前講座の様子



事業実施の様子



2)①-(1)-A 想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮したハザードマップの作成・周知 (常陸太田市、常陸大宮市、茨城町、大洗町、茂木町、市貝町)

■逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取り組み

【常陸太田市】

想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮した防災ガイドブックの作成・周知

- ■目的: 洪水・土砂災害ハザードマップ組み込んだ防災ガイドブックを作成し, 洪水予報等の伝達方法, 避難場所等の市民への周知・啓発を行うと共に, 洪水時の円滑かつ迅速な避難の確保を図った。
- ■着手:平成29年9月 ■完了:平成30年3月
- ■実施内容
- ・洪水・土砂災害ハザードマップ組み込んだ防災ガイドブックを作成し、全世帯への配付及び周知を図った。
- ・平成30年度に防災ガイドブックを活用し、住民説明会を開催した。
- 各地区の自主防災組織等と協働して実施する防災訓練を実施した。



平成30年11月10日(大宮地域) 防災訓練による「改良積み土のう工法」



防災ガイドブック (洪水・土砂災害ハザードマップ)

### ■さらなる情報伝達手段の整備及びハザードマップの作成

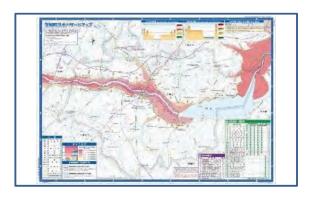
【茨城町】

- 〇指定避難所及び公園施設等に無線LANアクセスポイントを設置。
- ○想定最大規模の洪水浸水想定区域を考慮したハザードマップの作成。
- ■想定最大規模の洪水浸水想定区域を記載したハザードマップの作成

浸水想定区域を記載した地図面と, 水害時 の防災情報を記載した情報面を作成。

情報面には、水害時のタイムラインを記載し、住民が書き込める、マイ・タイムラインの記載欄も設けた。

浸水想定区域の43地区,約3,900戸に対し 配布予定。



11

- 2)①-(1)-A 想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮したハザードマップの作成・周知 (常陸太田市、常陸大宮市、茨城町、大洗町、茂木町、市貝町) (P9~14)
- ■逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

【大洗町】

- ○想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮したハザードマップの作成・周知
- ■那珂川・桜川・涸沼川に関する想定最大 規模の降雨による浸水想定区域を考慮した ハザードマップの作成 (平成31年3月改訂)
- ■平成31年度に全戸配布および住民説明 会を実施予定



# 平成30年度取組実施事例の紹介【茂木町】



←ハザードマップを最大規模降雨 を考慮したものへ改訂

13

- 2)①-(1)-A 想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮したハザードマップの作成・周知 (常陸太田市、常陸大宮市、茨城町、大洗町、茂木町、市貝町) (P9~14)
- ■想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮したハザードマップの作成・周知等 【市貝町】
- ○想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮したハザードマップの作成・周知
- ■想定災対規模の降雨による浸水想定区域に対応したハザードマップを作成し、町内全世帯に配布。(継続配布中)
- ■今回から、洪水浸水想定区域と土砂災害警戒区域が記載された総合的なハザードマップに変更。(前回までは、洪水と土砂でハザードマップが分かれていた。)





【上】市貝町防災ハザードマップ表紙 【左】詳細図(水害、土砂災記載)

14

## 2) ① -(1)-B 要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進(那須烏山市) (P15)

■要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進

【那須烏山市】

## ○要配慮者利用施設における避難確保計画作成の支援、防災研修会の実施

#### 〇水防法改正による要配慮者利用施設の避難確保計画の義 務化

○施設職員の防災意識の啓発の必要性

#### 課題

- ・作成にあたり、所在する地域の特性や市の災害対応の詳細がわからない
- ・施設管理者以外の職員の防災意識が高くない



施設より依頼を受け、避難確保計画作成支援、 防災研修会を実施

#### 工夫点

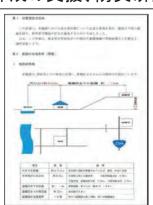
- ・担当者間で数回の打ち合わせを実施
- ・避難場所、避難所の位置、施設からの距離、市の情報伝達手段の詳細等の 情報を提供。
- ・研修会にあたっては、昭和61年水害における施設所在地付近の浸水の写真等を活用。

#### 効果

- ・施設の実態に即した計画の作成。
- ・市、施設管理者、施設職員で統一した意識での災害対応。

#### 今後

- ・自主防災組織や消防団と連携しての地域の防災訓練への参加。
- ・浸水想定区域の見直しによるハザードマップ更新完了後、更新後の浸水想 定を考慮しての計画の改定。





要配慮者利用施設における防災研修会の様子 (平成30年9月実施)

要配慮者利用施設作成の避難確保計画



要配慮者利用施設における防災研修会時に使用した施設周辺の水害の様子 **15** (昭和61年台風10号災害時の写真)

# 2) ① -(1)-C 自主防災組織の充実(常陸太田市、那珂川町)

 $(P16\sim17)$ 

### ■逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

【常陸太田市】

## ○自助、共助を目指した自主防災組織の充実

## ■自主防災訓練への協力・支援

#### ◇目的

各自主防災会が実施する自主防災訓練に対し、支援や協力を実施することにより、住 民や地域の防災力の向上を図る。

#### ◇主な訓練内容・支援内容

- ・防災行政無線による避難情報の受信訓練
- •避難訓練
- •初期消火訓練
- ・水防工法訓練(土のう作成・積み方)
- •救護応急手当訓練
- ・防災訓練に要する費用に対し補助金を交付
- ・消防本部による実技指導

## ■久慈川豪雨災害パネル展の実施

常陸河川国道事務所の協力により、3つの地区の自主防災訓練において、実施。

水害や防災に関する説明, 洪水ハザードマップの周知等を行った。

#### 自主防災訓練の様子









久慈川豪雨災害パネル展の様子



■自助、共助を目指した自主防災組織の充実

【那珂川町】

## ○視察研修の実施

- ■自主防災組織の代表者を集めて隣接 の自主防災会、宇都宮気象台を視察(平 成30年11月)
- ・自主防災組織における意識の高揚を図るため、代表者を集めた視察研修を実施 した。
- ・自主防災組織の取組みについて、先進 自治体の事例を視察した。
- ・宇都宮気象台を訪問し、気象業務のなど の施設見学、気象警報及び防災情報について意見交換した。



17

# 2) ① -(2)-A マイ・タイムラインの作成(ひたちなか市、東海村) (P18~21)

■災害・避難カード等作成モデル事業(茨城県主催)①

【ひたちなか市】

〇地域(自治会)が集まり、ワークショップ等を通して、地域によるマイマップづくりや各参加者のマイタイムラインや災害・避難カードの作成を行った。

参加地域:ひたちなか市三反田地区(26名)

実施期日:平成31年2月24日(日)

- □事業内容(茨城県資料より)
  - ◆防災の基礎知識(洪水から身を守るには) 茨城県の講師による講話
  - ◆マイマップ作成(地域みんなで考える) 5グループで話し合い後,地域の危険箇所を全体で共有し、マイマップ作成の原案づくり
  - ◆マイタイムライン作成(一人ひとりが考える) 「逃げキッド」※を使って、各自の避難行動を時系列に並べ、 災害時における個人の事前防災行動計画を作成

※国土交通省「マイ・タイムライン検討ツール」

◆災害・避難カードの記入 地域の浸水想定地域に全戸配布





危険箇所や避難ルートの確認(マイマップ原案づくり)



避難行動を時系列に整理(マイタイムライン作成)

## 2) ① -(2)-A マイ・タイムラインの作成(ひたちなか市、東海村) (P18~21)

■災害・避難カード等作成モデル事業(茨城県主催)②

【ひたちなか市】



## 2) ① -(2)-A マイ・タイムラインの作成(ひたちなか市、東海村) (P18~21)

【参考】茨城県の事業概要

H29 災害・避難カード等作成モデル事業の実施状況

#### 開催状況

- 〇 9月から2月にかけて、8市町で開催 (古河市、那珂市、利根町、桜川市、常総市、龍ケ崎市、下妻市、かすみがうら市) ※かすみがうら市は気象庁ワークショップ注1を実施
- 参加者数:165名(途中退席者は除く) ※ 見学:2河川事務所,10市町

#### モデル事業の内容(概ね3時間)

レクチャー (災害情報を正しく理解する)



県職員が気象や災害の基礎知 識, 避難行動, 災害情報の活 用方法等について説明 グループワーク① (一人ひとりが考える)



マンダラート使用して、「適切な避難行動」に関する自分の考えを外化・整理

グループワーク② (地域のみんなで考える)



班別に地域の災害危険箇所や 避難場所までの安全な経路等を 話し合い,地図に記載し,発表 災害・避難カード<sup>注2</sup> に記入



ワークショップを通じて, 災害時の行動を記入

#### 今後の予定

H30~:モデル事業を他市町村において実施するとともに,事業実施市町村において,他の地域で水平展開を実施

- (注1)気象庁ワークショップ…気象庁が開発した学習プログラムで専門家と進行役による災害に関する解説を参加者が聞きながら班別に意見を出し合いまとめていく。
- (注2)災害・避難カード…災害種別ごとに、避難行動の内容 と避難の合図を整理した「タイミング表」のこと。
- (注3)マイマップ…自宅を起点に地域の災害危険箇所や緊急避難場所までの経路などを記載したもの。

記載した地図は、 浄書し、後日「マ イマップ」<sup>注3</sup>として 参加者へ配布



# 2) ① -(2)-A マイ・タイムラインの作成(ひたちなか市、東海村) (P18~21)

## ■マイ・タイムライン, 災害・避難カードの作成

【東海村】

〇茨城県主催の「住民避難力強化事業」にて, 久慈川からの洪水を想定したマイ・タイムラインを地区住民が作成

▶地域の危険箇所や避難ルートをマップに書き込み、オリジナルの防災マップを作成

▶災害発生時の情報の段階(避難勧告等)に合わせた行動の取り方を時系列でまとめた「マイ・タイムライン」を作成





21

# 2) ① -(2)-B マイ・タイムライン特設ページの作成(栃木県)

(P22)

## ■「マイ・タイムライン」特設ページを作成

【栃木県】

県民に対し、水害への備えとして「マイ・タイムライン」の作成を促すため、 県ホームページ内に特設ページを作成した。

#### 風水害に備えて「マイ・タイムライン」を作りましょう!

災害に際いては、「いつ、どのような行動を取ればいのか」。「自分の身の回りにはどんな危険があるのか」を知っておくことが重要です。 平常時に「マイ・タイムライン」を作成しておくことで、いきというとき落ち着いた行動を取ることができます。

#### **…**「マイ・タイムライン」とは?

突然起こる地震公配い、台風の発生や予想進路は自分が住んでいる地域に接近する数日前から天気予報などで知ることができます。 台風が発生してから洪水が発生するまでの間に、自分や家族がいって、何をするか」をまとめた計画表が「マイ・タイムライン」です。 平常時に「マイ・タイムライン」を作成しておくことで、いざというときに慌てず、安全に選難することができます。

#### # 「マイ・タイムライン」作成の準備

#### ■ ハザードマップを確認する

自治体が作っているハザードマップを確認し、自分の家や職場、学校がどれくらい危険なのか確認しましょう。

## 掲載開始

平成30年10月12日~ 掲載内容

- ・マイ・タイムライン作成の意義
- ・マイ・タイムライン作成の方法
- マイ・タイムラインの例 など

マイ・タイムライン作成の準備段階として、備蓄品の準備やハザードマップの確認についても記載。

# 2) ① -(2)-C タイムラインの改訂・拡充(那須烏山市、茂木町)(P23~24)

### ■避難勧告の発令に着目したタイムラインの作成

【那須烏山市】

## ○タイムラインの改定・拡充

〇那須烏山市タイムラインを作成(平成29年5月) 〇栃木県危機管理課がタイムラインを作成(平成30年5月)

#### 課題

- ・市版のタイムラインと県危機管理課版のタイムラインで時系列
- 事象への対処方針が異なっている部分がある。
  - ・市版のタイムラインは記載されている関係機関が少ない。



#### 市のタイムラインを改定・拡充(平成30年11月)

#### 工夫点

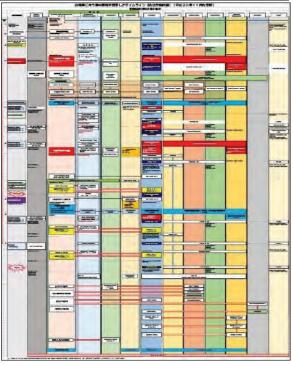
- ・時系列、事象への対処を県危機管理課版と整合性のとれたものに改定。
- ・関係機関として消防団、消防本部・消防署、市社会福祉協議会、警察署、 市社会福祉協議会、陸上自衛隊を追加し、栃木県も県災害対策本部・県 災害対策本部事務局、県土防災センター、県各部局・県警、県災害対策 支部に細分化し、各機関へ意見照会したうえで改定。

#### 効果

- ・関係機関で統一した方針のもと災害対応にあたることができる。
- ・総合防災訓練等に使用することができる。

#### 今後

・災害対応や訓練等に活用し見直しを実施するとともに、関係機関から依頼があれば適宜追加していく。



那須鳥山市タイムライン (平成30年11月改定版)

23

# 2) ① -(2)-C タイムラインの改訂・拡充(那須烏山市、茂木町)(P23~24)

# 平成30年度取組実施事例の紹介【茂木町】



風水害に対するタイムライン を作成

## 2) ① -(3)-A 水防災に関する説明会等の開催(日立市、那珂川町、気象庁)(P25~28)

## ■防災教育や防災知識の普及

【日立市】

#### 〇水防災に関する説明会等の開催

### ■住民避難力強化事業の実施

▶ 県の住民避難力強化事業を、市内の久慈川流域の住民を対象に実施 実施日:平成30年11月17日

場所 : 久慈川日立南交流センター

▶ 地域の危険箇所や避難経路を記載した「マイマップ」や、逃げキッドを用いた「マイ・タイムライン」 の作成





\*マイマップ、マイ・タイムライン作成の様子

25

## 2) ① -(3)-A 水防災に関する説明会等の開催(日立市、那珂川町、気象庁)(P25~28)

## ■自助、共助を目指した自主防災組織の充実

【那珂川町】

## 〇水防災に関する学習会の開催

- ■浸水想定区域内の住民を対象に 学習会を開催(平成30年9月)
- ・浸水想定区域内に位置する自主防災 組織と連携して水防災に関する学習会 を開催した。
- ・学習会では、洪水ハザードマップの周知をはじめ、逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動について意見交換した。
- ・今後、マイタイムラインの作成や避難 訓練の実施を支援する。



## 2) ① -(3)-A 水防災に関する説明会等の開催(日立市、那珂川町、気象庁)(P25~28)

#### ■防災教育や防災知識の普及

【気象庁】

○水防災に関する説明会等の開催

台風の接近に伴う影響や防災上の留意事項について、台風説明会を開催して、注意、警戒

を呼びかけている。



平成30年(2018年) 台風第12号の栃木県 への影響について 平成30年7月27日 宇都宮地方気象台 平成30年は計4回開催

27

## 2) ① -(3)-A 水防災に関する説明会等の開催(日立市、那珂川町、気象庁)(P25~28)

## ■防災教育や防災知識の普及

【気象庁】

### ○水防災に関する説明会等の開催

台風の接近に伴う影響や防災上の留意事項について、台風説明会を開催して、注意、警戒 を呼びかけている。



平成30年(2018年) 台風第12号の茨城県 への影響について 平成30年7月27日 水戸地方気象台

平成30年は計3回開催

28

## ■市町村トップセミナーを実施

【栃木県】

県内の市町長が災害発生時にリーダーとしてより適切な災害対応をとれるよう、災害時の知識の習得を目的としたセミナーを実施した。



### 実施時期

平成30年11月2日(金) 実施内容

- 災害体験首長の経験談
- ・学識経験者による講演 など

当セミナーは(一財)消防防災科学センターの「市町村防災危機管理ラボ」を活用し、風水害をテーマとして実施した。

# 2) ① -(3)-C 小学生を対象とした防災教育の実施(気象庁)

(P30)

## ■防災教育や防災知識の普及

【気象庁】

#### 〇小学生を対象とした防災教育の実施

小学校に職員を派遣して、防災に関する講演を実施している。 小学生による気象台の見学を受け入れ、気象や防災に関して説明を行っている。





お天気フェアー2018水戸地方気象台

7月28日(土)開催予定の宇都宮地方気象台お天気フェア2018は台風第12号接近のため中止となった。

### ■河川水難事故防止のための出前講座の実施

【栃木県】

子供達が河川で活動する機会が増える夏場を迎えるにあたり、 ゲリラ豪雨等で急激に河川が増水することによる水難事故の発生を防止するための啓発活動の一環として、以下のとおり「出前講座」を実施しました。県内の小中学校等18校へ各土木事務所職員が出向き、過去の河川水難事故の事例や川で遊ぶ時の注意点などを児童に説明し、夏休み前に水難事故への注意喚起を促しました。

H30(2018) 実施日	実施校	会場
6月21日(木)	矢板市立西小学校(全学年)	校内(教室)・楽目川
6月21日(木)	足利市立東山小学校(6年生)	校内(食堂)
7月2日(月)	那須烏山市立境小学校(4~6年生)	校内(多目的室)
7月3日(火)	大田原市立湯津上小学校(全校生)	校内(体育館)
7月5日(木)	佐野市立石塚小学校(5~6年生)	校内(集会室・ブール)
7月5日(木)	益子町立田野小学校(全学年)	校内(体育館)
7月6日(金)	那須烏山市立江川小学校(3年生)	校内(多目的室)
7月11日(水)	壬生町立羽生田小学校(全校生)	校内(体育館・ブール)
7月11日(水)	那須塩原市立塩原小中学校(小学生) 塩原認定こども園(全幼児)	<b>籌川河畔公園</b>
7月12日(木)	那須町立東陽小学校(全校生)	校内(体育館)
7月13日(金)	塩谷町立玉生小学校(1年生)	荒川エコバーク
7月17日(火)	那須烏山市立荒川小学校(5年生)	校内(大会議室)
7月17日(火)	佐野市立界小学校(4~6学年)	校内(体育館)
7月18日(水)	日光市立湯西川小学校(全校生)	校内(体育館)
7月18日(水)	那珂川町立馬頭小学校(4~6年生)	校内(体育館)
7月18日(水)	鹿沼市立南摩小学校(1~3年生)	校内(体育館)
7月20日(金)	宇都宮市立城山中央小学校(5年生)	校内(体育館)





【川遊びの注意点を説明 矢板市立西小学校】

ドワーポイントによる説明 足利市立東山小学校】





ライフジャケット試着体験 那須烏山市立境小学校】

(ライフジャケット試着体験 大田原市立温津上小学校





【ライフジャケット試着体験 佐野市立石塚小学校】

【パワーポイントによる説明 益子町立田野小学校





「ワーポイントによる説明 那須烏山市立江川小学校】【ライフジャケット試着体験 壬生町立羽生田小学校】

# 2) ① -(3)-D 出前講座の実施(栃木県、気象庁)

(P31~33)

## ■防災教育や防災知識の普及

【気象庁】

#### 〇出前講座等を活用した講習会の実施

### 防災士養成講座及び防災リーダー研修会





写真は平成30年8月4日(日光市) 対象者80名

防災士養成講座:8/4日光市80名 11/10大田原市50名 12/9小山市80名 1/20鹿沼市防災リーダー研修会 8/3栃木市50名 12/15真岡市60名

## ■防災教育や防災知識の普及

【気象庁】

#### 〇出前講座等を活用した講習会の実施

気象庁ワークショップを実施している。





写真は平成30年7月8日気象庁ワークショップ(つくば市)

30年度は4回実施

7.8つくば市 7.25茨城県災害対応勉強会 11.6土浦第一中学校 31年2.3日立市

水戸地方気象台

33

## 2) ② -(1)-A 水防訓練の実施(常陸太田市、常陸大宮市、城里町、茂木町) (P34~37)

## ■氾濫を未然に防ぐ対策

【常陸太田市】

#### 〇水防訓練の実施

■久慈川水系連合水防訓練を実施 平成30年度は、常陸太田市において開催

#### ◇目的

出水期を控え, 久慈川水系流域市として, 関係機関の協力のもと, 水防訓練を実施し, 水防体制の強化と防災意識の高揚を図る。

- ◇実施日 平成30年5月26日(土)
- ◇実施場所 常陸太田市粟原町地先 久慈川左岸河川敷

#### ◇参加団体

- ·常陸太田市,日立市,常陸大宮市,那珂市, 東海村
- •上記市村の水防団
- ·常陸河川国道事務所,常陸大宮土木事務所, 高萩工事事務所,常陸太田工事事務所

#### ◇訓練種目

・土のうごしらえ、竹とげ、木流し、むしろ張り、 五徳縫い、折り返し、積土のう、月の輪

#### 水防訓練の様子









## 2) ② -(1)-A 水防訓練の実施(常陸太田市、常陸大宮市、城里町、茂木町) (P34~37)

### ■より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化

【常陸大宮市】

防災訓練時に水防訓練を実施

■実施日:平成30年11月10日(土)

■場所:大宮地域内 参加人数:1,000人程度

平常時の防災意識の向上と災害時の被害の防止・低減を図ることを目的とし防災ガイドブックを作成しました。この防災ガイドブックを使用し、住民説明会を開催した。 市内5ヶ所・6回開催した。





35

## 2) ② -(1)-A 水防訓練の実施(常陸太田市、常陸大宮市、城里町、茂木町) (P34~37)

### ■水防訓練の実施

【城里町】

〇城里町水防団(消防団)による平成30年度水防訓練を実施しました

集中豪雨や台風など風水害の発生が多くなる時期を迎えるにあたり、災害活動時の被害を軽減することを目的に水防団(消防団)による水防訓練を実施しました。

- ■日 時 平成30年7月1日(日) 午前9時から11時
- ■場 所 東茨城郡城里町阿波山476 大桂公園グラウンド
- ■参 加 者 城里町消防団 約300名
- ■訓練講師 国土交通省常陸河川国道事務所
- ■訓練内容

訓練内容は、水防の基本となる「土のう作り」、「積み土のう工法」などを行いました。

自然災害において、被害を最小限に食いとめることは重要なことです。

訓練により、水防技術の向上を図ることができました。





# 平成30年度取組実施事例の紹介【茂木町】



防災訓練にて、水防団による 土のう積み訓練を実施

**37** 

# 2) ② -(1)-B 共同点検の実施(茂木町)

(P38)

# 平成30年度取組実施事例の紹介【茂木町】



那珂川の合同巡視、共同点検に参加

# 2) ② -(1)- C 組織の再編(茨城県)

(P39)

■災害に迅速かつ効率的に対応するための組織再編

【茨城県】

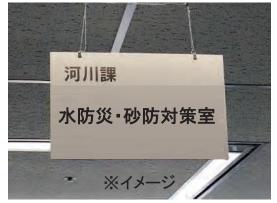
○組織再編を行い、土木部河川課に「水防災・砂防対策室」を設置(平成31年度より)

■水防災・砂防対策室の設置

近年水害等が激甚化していることから、災害時はもとより、減災・防災のための取組の強化が求められている。



上記を踏まえ、平成31年度から河川課のダム砂防室と災害グループを再編し、新たに「水防災・砂防対策室」を設置。水害等の減災・防災を担当する当室の設置により、県管理河川における減災・防災のための取組の強化が図られる。



平成30年度まで 庶務G

無務G 管理G 計画G 改良G 海岸G 災害G ダム砂防室 (ダムG) ダム砂防室

(砂防G)

平成31年度から

庶務G 管理G 企画調整G 計画G 改良G 海岸G 水防災・砂防対策室

河川課組織図

39

# 2) ② -(2)-A 災害対策用機器操作講習会に参加(茂木町)

(P40)

# 平成30年度取組実施事例の紹介(茂木町)



災害対策用機器操作講習会に参加

# 各構成機関における取組の進捗状況について

# 令和元年5月16日

久慈川・那珂川流域における減災対策協議会

# <目次>

•進捗状況一覧表	P 43
•水戸市	P 46
• 日立市	P 48
•常陸太田市	P 50
・ひたちなか市	P 52
•常陸大宮市	P 54
• 那珂市	P 56
•茨城町	P 58
•大洗町	P 60
•城里町	P 62
• 東海村	P 64
•大田原市	P 66
•那須烏山市	P 68
•茂木町	P 70
- 那珂川町	P 72
•市貝町	P 74
•茨城県	P 76
•栃木県	P 78
•気象庁	P 80
•常陸河川国道事務所	P 82

### ◎概ね5年で実施する取組 進捗状況一覧表(R元(H31)年度実施に関する取組を対象にとりまとめ ■ 昨年からの変更箇所

体的な取組の柱				1							実施	するホ	幾関							ı	
具体的取組	課題の対応	目標時期	水戸市	日立市	常陸太田市	ひたちなか市	常陸大宮市	那珂市	茨城町	大洗町	城里町	東海村	大田原市	那須烏山市	茂木町	市貝町	那珂川町	茨城県	栃木県	国 ※気象 庁のみ	
ハード対策の主な取組		ļ				-11-								ļ							_
■河川を河川内で安全に流す。 「<久慈川>	対策	1	ı		ı					ı							1				_
へ及が川ヶ線市る流下能力向上を ・優先的に実施する流下能力向上を 策、浸透・パイピング対策 ・週川ヶ ・優先的に実施する流下能力向上を 策、浸透・パイピング対策		平成32年度	_	_	_	_	-	1	-	-	1	1	1	_		-		_	_	◎ 常陸 河川	
 ■危機管理型ハード対策																					_
<ul><li>〈久慈川〉</li><li>・堤防天端の保護</li><li>・堤防裏法院の補強</li><li>・堰防裏法院の補強</li><li>・堤防天端の保護</li><li>・堤防裏法院の補強</li></ul>	AA	平成32年度	_	_	_	_	_	-	-	_	_	_	-	-	-	-	_	-	_	〇 常陸 河川	Ī
L ■避難行動、水防活動に資する	」 る基盤等の	上 整備	l		l												l				
・雨量・水位等の観測データ及び洪水時の状況を把握・伝達するための 基盤の整備	L	平成28年度 から実施	_	_	_	_	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	_	0	-	◎ 常陸 河川	Ī
・さらなる情報伝達手段の追加整備 もしくは検討	C, J K, M	平成28年度から 順次実施	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	0	Ī
・水防活動を支援するための水防資機材等の配備(新技術を活用した水防資機材を含む)		平成28年度から 順次実施	0	0	0	Δ	-	0	0	0	0	_	0	0	0	0	0	0	0	◎ 常陸 河川	Ť
・簡易水位計や量水標、CCTVカメラ の設置	L	平成28年度 から実施	_	-	_	_	-	1	-	-	-	1	1	-	-	- 1	_	0	0	〇 常陸 河川	ĺ
・浸水時においても災害対応を継続するための施設の整備及び自家発電装置等の耐水化(庁舎、要配慮旅設、避難所等)	Y, Z	平成28年度から 順次実施	0	0	0	0	-	0	-	0	-	-	-	0	_	-	0	_	_	- 常陸 河川	ĺ
・水位予測の精度向上検討	F	平成28年度	_	_	_	_	_	-	-	_	_	-	-	-	_	-	_		_	◎ 常陸 河川	Ī
ソフト対策の主な取組 ①逃け	遅れゼロに	向けた迅速かつ	的確	な避	難行	動の	ための	の取約	狙												
■想定最大規模の降雨による? 「・想定最大規模降雨による洪水浸水		域を考慮したハ <sup>・</sup>	ザート	ドマッ	プの1	乍成•	周知	等													_
想定区域図、氾濫ンミュレーションの公表 (直轄河川) 久慈川・山田川・里川・那珂川・藤井川・桜川・涸沼川 (県管理河川)		平成28年9月 平成29年度 から実施	_	_	_	_	-	ı	-	_	-	1	ı	_		-		0	0	O 常陸 河川	
・大規模水害時の相互協力に関する申し合わせ	G, V	平成28年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	〇 気象庁 常陸 河川	
・広域避難計画の策定	G	平成29年度 から実施	0		Δ	0	0	0	0					0		0	0	0		◎ 気象庁 ◎ 常陸 河川	
・想定最大規模の降雨による浸水を 定区域を考慮したハザードマップの 作成・周知		平成28年度から 順次実施	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	_	- 常陸 河川	ĺ
・まるごとまちごとハーザドマップ整 備・拡充について検討	H, I	平成28年度から 順次実施	0	0	0	0	0	Δ	0	0	Δ	0	0	0	0	0	0	_	_	- 常陸 河川	Ī
<ul><li>・要配慮者利用施設の避難計画の 作成及び訓練の促進</li></ul>	N	平成29年度 から実施	0	0	0	0	0	1	-	0	-	-	-	0	0	-	0	-	_	- 常陸 河川	
		平成28年度から	0	0	Δ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	-	- 常陸 河川	I
・避難勧告等の判断・伝達マニュアルの見直し	E,O	順次実施									0	0	0	0	0	Δ	0	ı _ ˈ	l _ '	- 常陸	1
・避難勧告等の判断・伝達マニュアルの見直し ・対象地区全住民への確実な情報が 達方法の確立(自治体未加入世帯、 高齢者、外国人等)	z z	順次実施 平成28年度から 順次実施	0	0	0	Δ	0	0	0	0	0	9	•		0	Δ	)			河川	ļ
・避難勧告等の判断・伝達マニュアルの見直し ・対象地区全住民への確実な情報 達方法の確立(自治体未加入世帯、	M P	平成28年度から	<ul><li>O</li><li>O</li></ul>	© O	0	Δ Ο	0 0	0	0	0	0	0	0	0	0	Δ	0	_	_		ļ

具	体的な取組の柱											実施	する機	謏								
Inili	事項	課題の 対応	目標時期	水戸	日立士	常陸太E	ひたちな	常陸大口	那珂	茨城	大洗	城里	東海	大田原	那須烏	茂木品	市貝	那珂川	茨城県	栃木	围	地域住民
	具体的取組			市	市	市	か市	宮市	市	町	町	町	村	市	山市	町	町	町	県	県		
Ė	ソフト対策の主な取組 ①逃げ過			的確	な避	難行	動の	ための	の取組	狙												
I	■避難勧告発令に着目したタイム ・避難勧告の発令に着目したタイム	ムラインのイ	作成 I									I									0	
	ラインの作成	D	平成28年度から 順次実施	0	0	Δ	0	0	Δ	0	0	0	0	0	0	0	Δ	0	0	0	気象庁 常陸 河川	
	・タイムラインに基づく首長等も参加 した実践的な訓練	D	平成28年度から 順次実施	0	Δ	Δ	Δ	0	Δ	Δ	0	Δ	Δ	0	Δ	0	Δ	0	0	0	◎ 気象庁 □ 常陸 河川	参加
	・気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善(水害時の情報入手のし易さをサポート)	C, L	平成29年度 出水期から実施	ı	1	ı	ı	ı	-	ı	ı	-	1	ı	1	ı	ı	-	ı	ı	◎ 気象庁 常陸 河川	活用
Ī	■防災教育や防災知識の普及		1																			
	・水災害の事前準備に関する問い合わせ窓口の設置	A, C	平成28年度 から実施	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	〇 気象庁 常陸 河川	
	・水防災に関する説明会等の開催	A, C	平成28年度から 順次実施	0	0	0	0	0	0	0	0	0	Δ	_	0	0	Δ	0			気象庁 常陸 河川	
	・教員を対象とした講習会の実施	A, C	平成28年度から 順次実施	0		0	0	0		Δ	0	Δ		_	0	0	Δ	0		0	◎ 気象庁 常陸 河川	
	・小学生を対象とした防災教育の実施	A, C	平成28年度から 順次実施	0		0	0	0		Δ	0	Δ		0	0	0	Δ	0		0	◎ 気象庁 常陸 河川	参加
	・出前講座等を活用した講習会の実施	A, C	平成28年度 から実施	0		-	ı	1		-	0	_	1	-	-	1	Δ	_	0		例	参加
	・プッシュ型の洪水予報等の情報発信	С	平成28年度から 順次実施	0	_	-	_	_	_	-	_	_	_	-	_	_	-	_	0	0	◎ 関東 地整	活用
	・水位計やライブカメラの情報をリアルタイムで提供	L	平成28年度 から実施	0	-	-	-	_	_	-	-	_	-	-	_	0	Δ	_	0	0	 ◎ 常陸 河川	活用
2)	ソフト対策の主な取組 ②避難時	寺間の確保	のための取組																			
I	■より効果的な水防活動の実施 ・水防団等への連絡体制の再確認と	及び水防体	★制の強化									ı										
	伝達訓練の実施	S	平成28年度 から実施	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	ı	-	- 常陸 河川	
	・水防団同士の連絡体制の確保	S	平成28年度から 順次実施	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	_	- 常陸 河川	
	・水防団や地域住民が参加する洪水に対しリスクが高い区間の共同点検	R, T	引き続き 毎年実施	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	Δ	0	0	0	〇 気象庁 常陸 河川	参加
	・水防訓練の実施	Т	引き続き 毎年実施 平成28年度から 順次実施	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	Δ	0	0	0	〇 気象庁 常陸 河川	参加
	・水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・指定を促進	Т	引き続き 毎年実施	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	Δ	0	١	_	- 常陸 河川	
	・水防団員の待避等判断指標の作 成	U	平成28年度から 順次実施	0	0	Δ	0	0	Δ	0	0	Δ	0	0	0	0	Δ	0	-	_	- 常陸 河川	
	・水防団員の安全装備の徹底(水防 法第7条)	W	平成28年度から 順次実施	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	_	_	- 常陸 河川	
Ī	■排水活動の強化に関する取組 ・排水ポンプ車の操作講習会、出動																					
	要請の連絡体制の周知・逃げ遅れゼロ等に寄与する排水ポ	X, Y AA	引き続き 毎年実施	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	Δ	0	0	0	常陸河川	
E V	* 遊り連れゼロ寺に奇子9 る排水小 ンプ車の活用計画 別 一:対象外(該当なし) 〇: H30年度以	AA 以前厂取組宝	平成28年度 から実施	O (31)年	() () () () () () () () () () () () () (	の転り	口	O ±.00	O * <i>t-</i> (+	H30:	口 年以前	O 7/-実		O P	□ = (H3:	1)年/			ー		〇 常陸 河川	

)概ね5年で実施する取組				
体的な取組の柱			実施する機関	
事項	目標時期	7-40 7 de (100 de de )	水戸市	T-47 (10 1) 7
具体的取組		取組予定【H30年度】	実施結果【H30年度】	取組内容【R元(H31)年度】
)ハード対策の主な取組 ■氾濫を未然に防ぐ対策				
<b>■</b> 尼温····································		_	_	_
・優先的に実施する流下能力向上対策、浸透・パ				
イピング対策 <那珂川>	平成32年度			
・優先的に実施する流下能力向上対策、浸透・パ				
イビング対策 ■危機管理型ハード対策				
< 久慈川> □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □		_	_	_
・堤防天端の保護				
・堤防裏法尻の補強 <那珂川>	平成32年度			
・堤防天端の保護				
・堤防裏法尻の補強				
■避難行動、水防活動に資する基盤等の整備				
・雨量・水位等の観測データ及び洪水時の状況を 把握・伝達するための基盤の整備		_	_	_
	平成28年度			
	から実施			
・さらなる情報伝達手段の追加整備もしくは検討		・防災ラジオの段階的な配布【H30年度~】	・防災ラジオを津波や洪水の浸水想定区域及び	・引き続き、防災ラジオを津波や洪水の浸水想力
	T ====================================	・防災行政無線(固定系)再整備(デジタル化等) H29~30年度 本体工事	避難行動要支援者の希望する世帯に無償貸与 ・防災行政無線(固定系)の再整備を行い,運用	区域及び避難行動要支援者の希望する世帯に  無償貸与する
	平成28年度から 順次実施	1125 30年及 本体工事	を開始	・市民協働による避難体制の確立
	70(71)(11)			・外国人向け防災講座の実施
		1.04 v1.4 + 2 ( W 18 11 4 73 8 1 1 - 2 1 7	1.75-1-1-1-1-2 / W 18 11 1 7 18 1 1 - 1 7	1.74 v4 (_ ++ _2 / \/ \/ \/ \/ \
・水防活動を支援するための水防資機材等の配備 (新技術を活用した水防資機材を含む)		・水防法に基づく資機材を配備している	・水防法に基づく資機材を配備している	・水防法に基づく資機材を配備している
(MIXME/INIC/C/M) & INIC/C	平成28年度から			
	順次実施			
・簡易水位計や量水標、CCTVカメラの設置		_	_	_
	平成28年度			
	から実施			
・浸水時においても災害対応を継続するための施		対象施設:水戸市役所新庁舎	対象施設:水戸市役所新庁舎	-
設の整備及び自家発電装置等の耐水化(庁舎、 要配慮施設、避難所等)	平成28年度から	自家発電機や熱源機器等の主要な機械室,電   気室を屋上に設置	自家発電機や熱源機器等の主要な機械室、電 気室を屋上に設置	
	順次実施	周辺地区への流出防止の観点から、雨水貯留	周辺地区への流出防止の観点から、雨水貯留	
		槽を敷地内に設置  【H30年度】	槽を敷地内に設置	
・水位予測の精度向上検討				
- 水位下層の相及同工採的				
	平成28年度			
	干风20千及			
ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅	速かつ的確な避難れ	-     対のための取組		
■想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮し	たハザードマップの	作成·周知等		
・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、		_	_	_
氾濫シミュレーションの公表 <直轄河川>	平成28年9月			
久慈川・山田川・里川・那珂川・藤井川・桜川・涸沼				
Ш	平成29年度			
<県管理河川>	から実施			
・大規模水害時の相互協力に関する申し合わせ		かぎへのキマセトセトに明まる中に入しませた	・協議会の中で相互協力に関する申し合わせを	カギヘのキマヤ下が ナに明 ナ 7 ウ! ヘト !! ナ
・大規模水舌時の相互協力に関する申し言わせ		・協議会の中で相互協力に関する申し合わせを 締結	・協議会の中で相互協力に関する中し合わせを 締結	・協議会の中で相互協力に関する申し合わせを 締結
	平成28年度	【H28年度~】	【H28年度~】	【H28年度~】
・広域避難計画の策定		・市外においては、茨城県立水戸農業高等学	・市外においては、茨城県立水戸農業高等学	・市外においては、茨城県立水戸農業高等学
	平成29年度	校、ひたちなか市(市毛小学校)、城里町の寳幢	校、ひたちなか市(市毛小学校)、城里町の寳幢	校、ひたちなか市(市毛小学校)、城里町の寳幢
	から実施	院と避難場所に関する協定を締結し,連携体制 を確立している	院と避難場所に関する協定を締結し, 連携体制 を確立している	院と避難場所に関する協定を締結し,連携体制 を確立している
相自日土担性の原子(-172)や土ー(-172)				
・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮 したハザードマップの作成・周知		・H29年度に改訂した洪水ハザードマップの周知	・H29年度に改訂した洪水ハザードマップの周知	・H29年度に改訂した洪水ハザードマッブの周知
2 11:100 19379	平成28年度から 順次実施			
	顺久天肥			
・まるごとまちごとハーザドマップ整備・拡充につい		・電柱への浸水深の表示を時期は未定だが検討	・電柱への浸水深の表示を時期は未定だが検討	・電柱への浸水深の表示を時期は未定だが検討
て検討	平成28年度から	している	している	している
	順次実施			
<ul><li>・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進</li></ul>		・未策定の施設に策定作業を促し、100パーセントの策定率を目指す	・当初対象となっていた67施設については、避難 計画を策定済み	・新規開設する保育所等の施設に策定作業を係し、100パーセントの策定率を目指す
の促進	平成29年度	トの末足学で日担9	計画で東足河の	し、100パーセントの東定率を目指す
	から実施			
・避難勧告等の判断・伝達マニュアルの見直し		・策定済みであり、現時点では見直しが必要な簡	  ・策定済みであり、現時点では見直しが必要な箇	・策定済みであり、現時点では見直しが必要な質
	平成28年度から	所はない	所はない	所はない
	平成28年度から 順次実施			
対象地区全住民への確実な情報伝達方法の確		・防災ラジオの段階的な配布	・防災ラジオを津波や洪水の浸水想定区域及び	・引き続き、防災ラジオを津波や洪水の浸水想気
立(自治体未加入世帯、高齢者、外国人等)	平成28年度から	・防災行政無線(固定系)再整備(デジタル化等) H29~30年度 本体工事	避難行動要支援者の希望する世帯に無償貸与 ・防災行政無線(固定系)の再整備を行い,運用	区域及び避難行動要支援者の希望する世帯に 無償貸与する
	順次実施	・ 市民協働による避難体制の確立	を開始	<ul><li>市民協働による避難体制の確立</li></ul>
		・外国人向け防災講座の実施	<ul><li>・市民協働による避難体制の確立</li><li>・外国人向け防災講座の実施</li></ul>	・外国人向け防災講座の実施
・自助、共助を目指した自主防災組織の充実		・既に自主防災組織は全地区結成済	<ul><li>既に自主防災組織は全地区結成済</li></ul>	<ul><li>新たに設置された市民センターにおいて、自主</li></ul>
	W # 00 # *	・主体的に活動が出来るよう地域の実情に合わ	・主体的に活動が出来るよう地域の実情に合わ	防災組織の結成を促す
	平成28年度 から実施	せた自主防災組織単位の訓練を実施する ・協定に基づき、地区会が合同の訓練などを実	せた自主防災組織単位の訓練を実施する ・協定に基づき、地区会が合同の訓練などを実	・主体的に活動が出来るよう地域の実情に合わせた自主防災組織単位の訓練を実施する
	から天心	施し、相互の地域防災力の向上に努める	施し、相互の地域防災力の向上に努める	・協定に基づき、地区会が合同の訓練などを実
・腹壁・乗道昌の空会計年 体 増生ナのオーニュ ************************************				施し、相互の地域防災力の向上に努める
・避難誘導員の安全対策、待避等を踏まえた避難 誘導マニュアルの整備	T # 0 - + +	· 今後検討 【時期未定】	- 検討中	· 今後検討 【時期未定】
	平成29年度 から実施			
	″った心			
		l	ļ	l

)概ね5年で実施する取組				
具体的な取組の柱			実施する機関	
事 項 具体的取組	目標時期	取組予定【H30年度】	水戸市 実施結果【H30年度】	取組内容【R元(H31)年度】
ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迂	  凍かつ的確な避難れ		关ル和末(n30年度)	双租内各[尺九(円31) 年度]
■避難勧告発令に着目したタイムラインの作成	ZZZZZ P H J HE CZZZZZ I			
・避難勧告の発令に着目したタイムラインの作成	平成28年度から 順次実施	・既にタイムラインを策定済み	・既にタイムラインを策定済み	・既にタイムラインを策定済み
・タイムラインに基づく首長等も参加した実践的な 訓練	平成28年度から 順次実施	・災害対策本部設置訓練等を実施予定 【平成28年度~】	·災害対策本部設置·運営訓練を実施	・災害対策本部設置訓練等を実施予定 【平成28年度~】
・気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善(水害時の情報入手のし易さをサポート)	平成29年度 出水期から実施	-	_	_
■防災教育や防災知識の普及				
・水災害の事前準備に関する問い合わせ窓口の 設置	平成28年度 から実施	・既に防災担当窓口で対応中	- 既に防災担当窓口で対応中	<ul><li>既に防災担当窓口で対応中</li></ul>
・水防災に関する説明会等の開催	平成28年度から 順次実施	・地域などと連携し随時実施予定	- 地域などと連携し随時実施	- 地域などと連携し随時実施予定
・教員を対象とした講習会の実施	平成28年度から 順次実施	・教育委員会と連携し随時実施予定 【継続して実施】	<ul><li>教育委員会と連携し随時実施</li></ul>	・教育委員会と連携し随時実施予定 【継続して実施】
・小学生を対象とした防災教育の実施	平成28年度から 順次実施	- 小学校と連携し随時実施予定 【継続して実施】	・小学校と連携し随時実施	- 小学校と連携し随時実施予定 【継続して実施】
・出前講座等を活用した講習会の実施	平成28年度 から実施	・教育委員会と連携し随時実施している 【継続して実施】	・教育委員会と連携し随時実施	・教育委員会と連携し随時実施予定 【継続して実施】
・ブッシュ型の洪水予報等の情報発信	平成28年度から 順次実施	・市内の携帯電話に一斉配信メールシステムの 導入	・市内の携帯電話に一斉配信メールシステムの 導入	・市内の携帯電話に一斉配信メールシステム( 導入
・水位計やライブカメラの情報をリアルタイムで提供	平成28年度 から実施	・防災行政無線(固定系)再整備に併せ、カメラを 設置 H29~30年度 本体工事	・防災行政無線(固定系)再整備に併せ、カメラを 設置	-
ソフト対策の主な取組 ②避難時間の確保のための				
■より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化 ・水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練の 実施	<u>と</u> 平成28年度 から実施	・伝達手法を確立し、訓練を実施予定 【継続して実施】	・伝達手法を確立し、訓練を実施	- 伝達手法を確立し、訓練を実施予定 【継続して実施】
・水防団同士の連絡体制の確保	平成28年度から 順次実施	・既に確保している 【継続して実施】	・既に確保している	・既に確保している 【継続して実施】
・水防団や地域住民が参加する洪水に対しリスクが高い区間の共同点検	引き続き 毎年実施	・河川事務所【平成28年度~】 水戸土木事務所 【平成30年度~】が実施する重要水防箇所等の 共同点検に参加予定	・河川事務所【平成28年度~】 水戸土木事務所 【平成30年度~】が実施する重要水防箇所等の 共同点検に参加	・河川事務所【平成28年度~】、水戸土木事界 【平成30年度~】が実施する重要水防箇所等 共同点検に参加予定
・水防訓練の実施	引き続き 毎年実施 平成28年度から 順次実施	・水防訓練を実施予定 【継続して実施】	- 水防訓練を実施	・水防訓練を実施予定 【継続して実施】
・水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・ 指定を促進	引き続き 毎年実施	<ul> <li>・広報誌やホームページ、ポスター等で募集して いる 【継続して実施】</li> </ul>	・広報誌やホームページ、ポスター等で募集して いる	<ul> <li>広報誌やホームページ、ポスター等で募集しいる 【継続して実施】</li> </ul>
・水防団員の待避等判断指標の作成	平成28年度から 順次実施	・安全確認マニュアルを作成している	・安全確認マニュアルを作成している	・安全確認マニュアルを作成している
・水防団員の安全装備の徹底(水防法第7条)	平成28年度から 順次実施	・ライフジャケットを配布している	・ライフジャケットを配布している	・ライフジャケットを配布している
■排水活動の強化に関する取組 ・排水ポンプ車の操作講習会、出動要請の連絡体制の周知	引き続き 毎年実施	・河川事務所が実施する排水ポンプ車の操作訓練に参加 【H28年5月〜毎年】	・河川事務所が実施する排水ポンプ車の操作訓練に参加	・河川事務所が実施する排水ポンプ車の操作 線に参加 【H28年5月~毎年】
・遂げ遅れゼロ等に寄与する排水ポンプ車の活用計画	平成28年度 から実施	・河川事務所へ基礎データ等の情報提供済み	・河川事務所へ基礎データ等の情報提供済み	・河川事務所へ基礎データ等の情報提供済み

○概ね5年で実施する取組 具体的な取組の柱	Ī	T	実施する機関	
事項	目標時期		天池 y る被用 <b>日立市</b>	
具体的取組		取組予定【H30年度】	実施結果【H30年度】	取組内容【R元(H31)年度】
1)ハード対策の主な取組 ■氾濫を未然に防ぐ対策				
(久慈川) ・優先的に実施する流下能力向上対策、浸透・パイピング対策 ・那珂川) ・優先的に実施する流下能力向上対策、浸透・パイピンが対策	平成32年度	該当なし	-	-
<u>イピング対策</u> ■危機管理型ハード対策				
く久慈川  ・ 堤防天端の保護 ・ 堤防裏法尻の補強	平成32年度	該当なし	-	-
・堤防裏法尻の補強				
■避難行動、水防活動に資する基盤等の整備 - 雨量・水位等の観測データ及び洪水時の状況を - 把握・伝達するための基盤の整備	平成28年度 から実施	該当なし	-	-
・さらなる情報伝達手段の追加整備もしくは検討	平成28年度から 順次実施	・フェイスブック、ツイッター、Lアラートシステムの 運用を図る	・フェイスブック、ツイッター、Lアラートシステムの 運用を図る	・フェイスブック、ツイッター、Lアラートシステムの 運用を図る
・水防活動を支援するための水防資機材等の配備 (新技術を活用した水防資機材を含む)	平成28年度から 順次実施	・既存の配備で十分機能出来る。		
・簡易水位計や量水標、CCTVカメラの設置	平成28年度 から実施	該当なし	-	-
・浸水時においても災害対応を継続するための施 設の整備及び自家発電装置等の耐水化(庁舎、 要配慮施設、避難所等)	平成28年度から	該当なし	-	-
-水位予測の精度向上検討	順次実施	該当なし	-	-
	平成28年度			
<ul><li>2)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迂 ■想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮し</li></ul>				
・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、 氾濫シミュレーションの公表 〈直轄河川〉 久慈川・山田川・里川・那珂川・藤井川・桜川・涸沼	平成28年9月	該当なし	-	-
	平成29年度 から実施			
・大規模水害時の相互協力に関する申し合わせ	平成28年度	・協議会の中で相互協力に関する申し合わせを H28年度末に締結		
・広域避難計画の策定	平成29年度 から実施	・隣接自治体からの打診があった場合は策定に ついて検討する。		・隣接自治体からの打診があった場合は策定について検討する。 ・東海村(石神小学校)への避難を検討する。
・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮 したハザードマップの作成・周知	平成28年度から 順次実施	・H29年度作成したハザードマップの配布・広報を行う	・市の広報誌への折込にて浸水想定区域の対象 地域へ配布済み。	
・まるごとまちごとハーザドマップ整備・拡充につい て検討	平成28年度から 順次実施	・現在整備済みの電柱への海抜表示看板の更 新及び設置箇所の見直しを行う 【H30年度】	・電柱への海抜表示看板の更新実施済み。	
<ul><li>・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進</li></ul>	平成29年度 から実施	・避難計画作成の支援及び訓練の促進のための 情報提供を行う 【H30~】	・県の説明会の周知	・避難計画作成の支援及び訓練の促進のための 情報提供を行う
・避難勧告等の判断・伝達マニュアルの見直し	平成28年度から 順次実施	・既存の地域防災計画による判断、伝達を行う		・避難勧告等に関するガイドラインの改定に伴い、見直しを行う
- 対象地区全住民への確実な情報伝達方法の確立(自治体未加入世帯、高齢者、外国人等)	平成28年度から 順次実施	<ul><li>・アプリによる防災情報の伝達の検討 【H30~】</li></ul>	-アプリによる防災情報の伝達の検討中	-アプリによる防災情報の提供開始予定
・自助、共助を目指した自主防災組織の充実	平成28年度 から実施	・各自主防災組織で1回以上訓練を実施予定	-各自主防災組織で1回以上訓練を実施	- 各自主防災組織で1回以上訓練を実施予定
・避難誘導員の安全対策、待避等を踏まえた避難 誘導マニュアルの整備	平成29年度 から実施	·今後検討		

〇概ね5年で実施する取組				
具体的な取組の柱			実施する機関	
事 項 具体的取組	目標時期	取組予定【H30年度】	日立市 実施結果【H30年度】	取組内容【R元(H31)年度】
2)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迂	  凍かつ的確な避難行		关旭和未[FISU年度]	双租内谷[代ル(ロ31) 年度]
■避難勧告発令に着目したタイムラインの作成				
・避難勧告の発令に着目したタイムラインの作成	平成28年度から 順次実施	・タイムラインの作成	未作成	・タイムラインの作成を検討する
- タイムラインに基づく首長等も参加した実践的な 訓練	平成28年度から 順次実施	- タイムラインの作成後検討する		
・気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象、等の改善(水害時の情報入手のし易さをサポート)	平成29年度 出水期から実施	該当なし	-	-
■防災教育や防災知識の普及		叶巛		마~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~
・水災害の事前準備に関する問い合わせ窓口の 設置	平成28年度 から実施	- 防災担当課である生活安全課防災対策室で対応	- 防災担当課である生活安全課防災対策室で対応	応
・水防災に関する説明会等の開催	平成28年度から 順次実施	・必要に応じて実施を検討		- 必要に応じて実施を検討
・教員を対象とした講習会の実施	平成28年度から 順次実施	・教育委員会、学校関係者と調整を行う 【H30年度~】		・教育委員会、学校関係者からの要望があれば 実施する
・小学生を対象とした防災教育の実施	平成28年度から 順次実施	・教育委員会、学校関係者と調整を行う 【H30年度~】		・教育委員会、学校関係者からの要望があれば 実施する
・出前講座等を活用した講習会の実施	平成28年度 から実施	該当なし	- 地域からの要望により講習会実施	・要望に応じて随時実施する
・プッシュ型の洪水予報等の情報発信	平成28年度から 順次実施	該当なし	-	-
・水位計やライブカメラの情報をリアルタイムで提供	平成28年度 から実施	該当なし	-	-
②シソフト対策の主な取組②避難時間の確保のための ■より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強付				
・水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練の 実施	5 平成28年度 から実施	・既に確保しているメールで対応(順次指令)		
・水防団同士の連絡体制の確保	平成28年度から 順次実施	・トランシーパー既に配備済み(H2728)		
・水防団や地域住民が参加する洪水に対しリスクが高い区間の共同点検	引き続き 毎年実施	<ul><li>・河川事務所が実施する重要水防箇所等の共同 点検に参加 【今後継続】</li></ul>	- 河川事務所へ基礎データ等の情報提供	・河川事務所が実施する重要水防箇所等の共同 点検に参加 【今後継続】
- 水防訓練の実施	引き続き 毎年実施 平成28年度から 順次実施	・毎年開催している久慈川水系連合水防訓練に参加 【今後継続】	・毎年開催している久慈川水系連合水防訓練に参加	・毎年開催している久慈川水系連合水防訓練に 参加 【今後継続】
・水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・ 指定を促進	引き続き 毎年実施	・今後も広報誌、ホームページで募集していく	・今後も広報誌、ホームページで募集していく	・今後も広報誌、ホームページで募集していく
- 水防団員の待避等判断指標の作成	平成28年度から 順次実施	・水防団独自のマニュアルがある		
・水防団員の安全装備の撤底(水防法第7条)	平成28年度から 順次実施	- 既にライフジャケットを配備完了		
■ 排水活動の強化に関する取組 ・排水ポンブ車の操作講習会、出動要請の連絡体 制の周知	引き続き 毎年実施	・河川事務所が実施する排水ポンプ車の操作訓練に参加 【H28年5月〜毎年】	・河川事務所が実施する排水ポンプ車の操作訓練に参加	・河川事務所が実施する排水ポンプ車の操作訓練に参加
・逃げ遅れゼロ等に寄与する排水ポンプ車の活用 計画	平成28年度 から実施	・河川事務所へ基礎データ等の情報提供 【H28年度~】	・河川事務所へ基礎データ等の情報提供	・河川事務所へ基礎データ等の情報提供

具体的な取組の柱	D 45 n+ #0		実施する機関	
事 項 具体的取組	目標時期	取組予定【H30年度】	常 <b>陸太田市</b> 実施結果【H30年度】	取組内容【R元(H31)年度】
1)ハード対策の主な取組		双框 F 足[1150年度]	天旭和宋[1100年及]	以他内存[K儿(HOT)年及]
■氾濫を未然に防ぐ対策				
【 < 久慈川 > ・優先的に実施する流下能力向上対策、浸透・パ		該当なし	_	_
イピング対策	平成32年度			
< 那珂川 >	十成32年度			
イピング対策				
■危機管理型ハード対策	T	=+ 1// +>		
<久慈川>   ・堤防天端の保護		該当なし	_	_
・堤防裏法尻の補強	平成32年度			
<那珂川>   ・堤防天端の保護				
・堤防裏法尻の補強				
■避難行動、水防活動に資する基盤等の整備 ・雨量・水位等の観測データ及び洪水時の状況を	I	該当なし		
把握・伝達するための基盤の整備		N = 4C		
	平成28年度			
	から実施			
・さらなる情報伝達手段の追加整備もしくは検討		該当なし	_	_
	平成28年度から			
	順次実施			
・水防活動を支援するための水防資機材等の配備		・新技術を活用した水防資機材の整備について		・新技術を活用した水防資機材の整備について
(新技術を活用した水防資機材を含む)	平成28年度から	検討	検討	検討
	順次実施			
・簡易水位計や量水標、CCTVカメラの設置		該当なし	_	_
	平成28年度 から実施			
	から天祀			
23-4-01-1-2-1-1-2-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-				
□・浸水時においても災害対応を継続するための施設の整備及び自家発電装置等の耐水化(庁舎、		_	_	_
要配慮施設、避難所等)	平成28年度から			
	順次実施			
・水位予測の精度向上検討		該当なし	_	_
	平成28年度			
 2)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた※	L速かつ的確な避難			
■想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮	したハザードマップの			
・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、   氾濫シミュレーションの公表		該当なし	_	_
	平成28年9月			
II be about a terminal many marrows are those aware amorn				
久慈川・山田川・里川・那珂川・藤井川・桜川・涸沼				
久慈川・山田川・里川・那珂川・藤井川・桜川・涸沼	平成29年度			
久慈川・山田川・里川・那珂川・藤井川・桜川・涸沼				
久慈川・山田川・里川・那珂川・藤井川・桜川・涸沼	平成29年度	・締結済み	・締結済み	・締結済み
久慈川・山田川・里川・那珂川・藤井川・桜川・涸沼	平成29年度 から実施	・締結済み	-締結済み	・締結済み
久慈川・山田川・里川・那珂川・藤井川・桜川・涸沼	平成29年度	-締結済み	・締結済み	-締結済み
久慈川・山田川・里川・那珂川・藤井川・桜川・涸沼川    《県管理河川》   ・ 大規模水害時の相互協力に関する申し合わせ	平成29年度 から実施			
久慈川・山田川・里川・那珂川・藤井川・桜川・涸沼	平成29年度 から実施 平成28年度	<ul><li>・締結済み</li><li>・協議会の中で広域避難計画(案)を策定</li></ul>	<ul><li>締結済み</li><li>・未実施</li></ul>	<ul><li>・締結済み</li><li>・協議会の中で広域避難計画(案)を策定</li></ul>
久慈川・山田川・里川・那珂川・藤井川・桜川・涸沼川    《県管理河川》   ・ 大規模水害時の相互協力に関する申し合わせ	平成29年度 から実施			
久慈川・山田川・里川・那珂川・藤井川・桜川・涸沼川   <県管理河川> - 大規模水害時の相互協力に関する申し合わせ - 広域避難計画の策定	平成29年度 から実施 平成28年度 平成29年度 から実施	・協議会の中で広域避難計画(案)を策定	-未実施	・協議会の中で広域避難計画(案)を策定
久慈川・山田川・里川・那珂川・藤井川・桜川・涸沼川    《県管理河川》   ・大規模水害時の相互協力に関する申し合わせ	平成29年度 から実施 平成28年度 平成29年度 から実施		-未実施	
久慈川・山田川・里川・那珂川・藤井川・桜川・涸沼川    《県管理河川》   ・大規模水害時の相互協力に関する申し合わせ   ・広域避難計画の策定   ・ 拠定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮	平成29年度 から実施 平成28年度 平成29年度 から実施 平成28年度から	・協議会の中で広域避難計画(案)を策定 ・洪水ハザードマップを各世帯等へ配布(平成30年5月末)・出前護座等を活用した洪水ハザードマップの周	・未実施 ・出前講座等を活用した洪水ハザードマップの周	・協議会の中で広域避難計画(案)を策定 ・出前講座等を活用した洪水ハザードマップの周
<ul> <li>人慈川・山田川・里川・那珂川・藤井川・桜川・涸沼川         &lt; 県管理河川&gt;         </li> <li>・大規模水害時の相互協力に関する申し合わせ</li> <li>・広域避難計画の策定</li> <li>・ 想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮</li> </ul>	平成29年度 から実施 平成28年度 平成29年度 から実施	・協議会の中で広域避難計画(案)を策定 ・洪水ハザードマップを各世帯等へ配布(平成30 年5月末)	・未実施 ・出前講座等を活用した洪水ハザードマップの周	・協議会の中で広域避難計画(案)を策定 ・出前講座等を活用した洪水ハザードマップの周
<ul> <li>人慈川・山田川・里川・那珂川・藤井川・桜川・涸沼川         <ul> <li>〈県管理河川〉</li> <li>・大規模水害時の相互協力に関する申し合わせ</li> </ul> </li> <li>・広域避難計画の策定</li> <li>・虚域避難計画の策定</li> <li>・虚したハザードマップの作成・周知</li> <li>・まるごとまちごとハーザドマップ整備・拡充についまるごとまちごとハーザドマップ整備・拡充についまるごとまちごとハーザドマップ整備・拡充についまるごとまちごとハーザドマップ整備・拡充についまるごとまちごとハーザドマップを備・拡充についます。</li> </ul>	平成29年度 から実施 平成28年度 平成29年度 から実施 平成29年度 から実施	・協議会の中で広域避難計画(案)を策定 ・洪水ハザードマップを各世帯等へ配布(平成30年5月末)・出前護座等を活用した洪水ハザードマップの周	・未実施 ・出前講座等を活用した洪水ハザードマップの周	・協議会の中で広域避難計画(案)を策定 ・出前講座等を活用した洪水ハザードマップの周
	平成29年度 から実施 平成28年度 平成29年度 から実施 平成29年度から 順次実施	・協議会の中で広域避難計画(案)を策定 ・洪水ハザードマップを各世帯等へ配布(平成30年5月末)・出前請産等を活用した洪水ハザードマップの周知	・未実施 ・出前講座等を活用した洪水ハザードマップの周	・協議会の中で広域避難計画(案)を策定 ・出前講座等を活用した洪水ハザードマップの周
<ul> <li>人慈川・山田川・里川・那珂川・藤井川・桜川・涸沼川         <ul> <li>〈県管理河川〉</li> <li>・大規模水害時の相互協力に関する申し合わせ</li> </ul> </li> <li>・広域避難計画の策定</li> <li>・虚域避難計画の策定</li> <li>・虚したハザードマップの作成・周知</li> <li>・まるごとまちごとハーザドマップ整備・拡充についまるごとまちごとハーザドマップ整備・拡充についまるごとまちごとハーザドマップ整備・拡充についまるごとまちごとハーザドマップ整備・拡充についまるごとまちごとハーザドマップを備・拡充についます。</li> </ul>	平成29年度 から実施 平成28年度 平成29年度 から実施 平成29年度 から実施	・協議会の中で広域避難計画(案)を策定 ・洪水ハザードマップを各世帯等へ配布(平成30年5月末)・出前請産等を活用した洪水ハザードマップの周知	・未実施 ・出前講座等を活用した洪水ハザードマップの周	・協議会の中で広域避難計画(案)を策定 ・出前講座等を活用した洪水ハザードマップの周
	平成29年度 から実施 平成28年度 平成29年度 から実施 平成29年度から 順次実施	・協議会の中で広域避難計画(案)を策定 ・洪水ハザードマップを各世帯等へ配布(平成30年5月末) ・出前請座等を活用した洪水ハザードマップの周知 該当なし ・各施設の避難計画作成及び避難訓練に対する	・未実施 ・出前講座等を活用した洪水ハザードマップの周知 ・1施設ではあるが、避難訓練への支援、協力を	・協議会の中で広域避難計画(案)を策定 ・出前講座等を活用した洪水ハザードマップの周知 ・各施設の避難計画作成及び避難訓練に対する
<ul> <li>○ 久慈川・山田川・里川・那珂川・藤井川・桜川・涸沼川         <ul> <li>〈県管理河川〉</li> <li>・大規模水害時の相互協力に関する申し合わせ</li> </ul> </li> <li>・広域避難計画の策定         <ul> <li>・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮したハザードマップの作成・周知</li> <li>・まるごとまちごとハーザドマップ整備・拡充について検討</li> </ul> </li> </ul>	平成29年度 から実施 平成28年度 平成29年度 から実施 平成28年度から 順次実施 平成28年度から 順次実施	・協議会の中で広域避難計画(案)を策定 ・洪水ハザードマップを各世帯等へ配布(平成30年5月末)・出前講座等を活用した洪水ハザードマップの周知	・未実施 ・出前講座等を活用した洪水ハザードマップの周知	・協議会の中で広域避難計画(案)を策定 ・出前講座等を活用した洪水ハザードマップの周知
	平成29年度 から実施 平成28年度 平成29年度 から実施 平成28年度から 順次実施 平成28年度から 順次実施	・協議会の中で広域避難計画(案)を策定 ・洪水ハザードマップを各世帯等へ配布(平成30年5月末) ・出前請座等を活用した洪水ハザードマップの周知 該当なし ・各施設の避難計画作成及び避難訓練に対する	・未実施 ・出前講座等を活用した洪水ハザードマップの周知 ・1施設ではあるが、避難訓練への支援、協力を	・協議会の中で広域避難計画(案)を策定 ・出前講座等を活用した洪水ハザードマップの周知 ・各施設の避難計画作成及び避難訓練に対する
	平成29年度 から実施 平成28年度 平成29年度 から実施 平成28年度から 順次実施 平成28年度から 順次実施	・協議会の中で広域避難計画(案)を策定 ・洪水ハザードマップを各世帯等へ配布(平成30年5月末)・出前講座等を活用した洪水ハザードマップの周知 該当なし ・各施設の避難計画作成及び避難訓練に対する支援	・未実施 ・出前講座等を活用した洪水ハザードマップの周知 ・1施設ではあるが、避難訓練への支援、協力を実施	・協議会の中で広域避難計画(案)を策定 ・出前講座等を活用した洪水ハザードマップの周知 ・各施設の避難計画作成及び避難訓練に対する支援
	平成29年度 から実施 平成28年度 平成29年度 から実施 平成28年度から 順次実施 平成28年度から 順次実施	・協議会の中で広域避難計画(案)を策定 ・洪水ハザードマップを各世帯等へ配布(平成30年5月末) ・出前請座等を活用した洪水ハザードマップの周知 該当なし ・各施設の避難計画作成及び避難訓練に対する	・未実施 ・出前講座等を活用した洪水ハザードマップの周知 ・1施設ではあるが、避難訓練への支援、協力を	・協議会の中で広域避難計画(案)を策定 ・出前講座等を活用した洪水ハザードマップの周知 ・各施設の避難計画作成及び避難訓練に対する支援
	平成29年度 から実施 平成28年度 平成29年度 から実施 平成28年度から 順次実施 平成28年度から 順次実施	・協議会の中で広域避難計画(案)を策定 ・洪水ハザードマップを各世帯等へ配布(平成30年5月末)・出前講座等を活用した洪水ハザードマップの周知 該当なし ・各施設の避難計画作成及び避難訓練に対する支援	・未実施 ・出前講座等を活用した洪水ハザードマップの周知  ・1施設ではあるが、避難訓練への支援、協力を実施 ・避難勧告等の判断・伝達マニュアルの見直し案	・協議会の中で広域避難計画(案)を策定 ・出前講座等を活用した洪水ハザードマップの周知 ・各施設の避難計画作成及び避難訓練に対する支援
	平成29年度 から実施 平成28年度 平成28年度から実施 平成28年度がら実施 平成28年度施 平成28年度施 平成29年施 平成29年度から手腕	・協議会の中で広域避難計画(案)を策定  ・洪水ハザードマップを各世帯等へ配布(平成30年5月末) ・出前講座等を活用した洪水ハザードマップの周知  該当なし  ・各施設の避難計画作成及び避難訓練に対する 支援  ・策定済みマニュアルの見直し検討	・未実施 ・出前講座等を活用した洪水ハザードマップの周知  ・1施設ではあるが、避難訓練への支援、協力を実施 ・避難勧告等の判断・伝達マニュアルの見直し案	・協議会の中で広域避難計画(案)を策定 ・出前講座等を活用した洪水ハザードマップの周知 ・各施設の避難計画作成及び避難訓練に対する支援
	平成29年度 から実施 平成28年度 平成28年度から実施 平成28年度がら実施 平成28年度施 平成28年度施 平成29年施 平成29年度から手腕	・協議会の中で広域避難計画(案)を策定 ・洪水ハザードマップを各世帯等へ配布(平成30年5月末)・出前講座等を活用した洪水ハザードマップの周知 該当なし ・各施設の避難計画作成及び避難訓練に対する支援	・未実施 ・出前講座等を活用した洪水ハザードマップの周知  ・1施設ではあるが、避難訓練への支援、協力を実施 ・避難勧告等の判断・伝達マニュアルの見直し案	・協議会の中で広域避難計画(案)を策定 ・出前講座等を活用した洪水ハザードマップの周知 ・各施設の避難計画作成及び避難訓練に対する支援
	平成29年度 から実施 平成28年度 中成29年度 から実施 平成28年度から 順次実 を施 平成28年度施 平成28年度施 平成29年施 平成29年施 平成29年施	・協議会の中で広域避難計画(案)を策定  ・洪水ハザードマップを各世帯等へ配布(平成30年5月末) ・出前講座等を活用した洪水ハザードマップの周知  該当なし  ・各施設の避難計画作成及び避難訓練に対する 支援  ・策定済みマニュアルの見直し検討	・未実施 ・出前講座等を活用した洪水ハザードマップの周知  ・1施設ではあるが、避難訓練への支援、協力を実施 ・避難勧告等の判断・伝達マニュアルの見直し案	・協議会の中で広域避難計画(案)を策定 ・出前講座等を活用した洪水ハザードマップの周知 ・各施設の避難計画作成及び避難訓練に対する支援
	平成29年度 から実施 平成28年度 平成29年度 から実施 平成28年度がら 順次実施 平成28年度がら 順次実施 平成28年度がら 順次実施	・協議会の中で広域避難計画(案)を策定  ・洪水ハザードマップを各世帯等へ配布(平成30年5月末) ・出前講座等を活用した洪水ハザードマップの周知  該当なし  ・各施設の避難計画作成及び避難訓練に対する 支援  ・策定済みマニュアルの見直し検討	・未実施 ・出前講座等を活用した洪水ハザードマップの周知  ・1施設ではあるが、避難訓練への支援、協力を実施 ・避難勧告等の判断・伝達マニュアルの見直し案	・協議会の中で広域避難計画(案)を策定 ・出前講座等を活用した洪水ハザードマップの周知 ・各施設の避難計画作成及び避難訓練に対する支援
	平成29年度 から実施 平成28年度 中成29年度 から実施 平成28年度から 順次実 を施 平成28年度施 平成28年度施 平成29年施 平成29年施 平成29年施	・協議会の中で広域避難計画(案)を策定 ・洪水ハザードマップを各世帯等へ配布(平成30年5月末) ・出前請座等を活用した洪水ハザードマップの周知 該当なし ・各施設の避難計画作成及び避難訓練に対する支援 ・策定済みマニュアルの見直し検討 該当なし	・未実施 ・出前講座等を活用した洪水ハザードマップの周知 ・1施設ではあるが、避難訓練への支援、協力を実施 ・避難勧告等の判断・伝達マニュアルの見直し案	・協議会の中で広域避難計画(案)を策定 ・出前講座等を活用した洪水ハザードマップの周知 ・各施設の避難計画作成及び避難訓練に対する支援 ・避難勧告等の判断・伝達マニュアルの見直し
	平成29年度 から実施 平成28年度 平成29年度 から実施 平成28年度から 順次実施 平成28年度施 平成28年度施 平成28年度施 平成29年施 平成29年度 から実施	・協議会の中で広域避難計画(案)を策定  ・洪水ハザードマップを各世帯等へ配布(平成30年5月末) ・出前講座等を活用した洪水ハザードマップの周知  該当なし  ・各施設の避難計画作成及び避難訓練に対する支援  ・策定済みマニュアルの見直し検計  該当なし  ・自主防災リーダー研修会の開催	・未実施 ・出前講座等を活用した洪水ハザードマップの周知  ・1施設ではあるが、避難訓練への支援、協力を実施 ・避難勧告等の判断・伝達マニュアルの見直し案を作成 ・	・協議会の中で広域避難計画(案)を策定 ・出前講座等を活用した洪水ハザードマップの周知 ・各施設の避難計画作成及び避難訓練に対する 支援 ・避難勧告等の判断・伝達マニュアルの見直し ・自主防災リーダー研修会の開催
ス慈川・山田川・里川・那珂川・藤井川・桜川・涸沼川	平成29年度 から実施 平成28年度 平成28年度 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	・協議会の中で広域避難計画(案)を策定 ・洪水ハザードマップを各世帯等へ配布(平成30年5月末) ・出前請座等を活用した洪水ハザードマップの周知 該当なし ・各施設の避難計画作成及び避難訓練に対する支援 ・策定済みマニュアルの見直し検討 該当なし	・未実施 ・出前講座等を活用した洪水ハザードマップの周知 ・1施設ではあるが、避難訓練への支援、協力を実施 ・避難勧告等の判断・伝達マニュアルの見直し案	・協議会の中で広域避難計画(案)を策定 ・出前講座等を活用した洪水ハザードマップの周知 ・各施設の避難計画作成及び避難訓練に対する支援 ・避難勧告等の判断・伝達マニュアルの見直し
	平成29年度 から実施 平成28年度 平成29年度 から実施 平成28年度から 順次実施 平成28年度施 平成28年度施 平成28年度施 平成29年施 平成29年度 から実施	- 協議会の中で広域避難計画(案)を策定  - 洪水ハザードマップを各世帯等へ配布(平成30年5月末) - 出前請座等を活用した洪水ハザードマップの周知  該当なし  - 各施設の避難計画作成及び避難訓練に対する支援  - 策定済みマニュアルの見直し検討  該当なし  - 自主防災リーダー研修会の開催 - 自主防災リーダー研修会の開催 - 自主防災別無に対する支援	・未実施  ・出前講座等を活用した洪水ハザードマップの周知  ・1施設ではあるが、避難訓練への支援、協力を実施  ・避難勧告等の判断・伝達マニュアルの見直し案を作成  ・自主防災リーダー研修会の開催 ・自主防災別をの関係と対する支援、協力の実施	・協議会の中で広域避難計画(案)を策定 ・出前講座等を活用した洪水ハザードマップの周知 ・各施設の避難計画作成及び避難訓練に対する支援 ・避難勧告等の判断・伝達マニュアルの見直し ・自主防災リーダー研修会の開催 ・自主防災別ーダー研修会の開催 ・自主防災訓練に対する支援、協力の実施
	平成29年度 から実施 平成28年度 平成28年度 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	- 協議会の中で広域避難計画(案)を策定  - 洪水ハザードマップを各世帯等へ配布(平成30年5月末) - 出前講座等を活用した洪水ハザードマップの周知  該当なし  - 各施設の避難計画作成及び避難訓練に対する支援  - 策定済みマニュアルの見直し検計  該当なし  - 自主防災リーダー研修会の開催 - 自主防災訓練に対する支援、協力の実施 - 自主防災訓練補助金等の交付	- 未実施  - 出前講座等を活用した洪水ハザードマップの周知  - 1施設ではあるが、避難訓練への支援、協力を実施  - 遊難勧告等の判断・伝達マニュアルの見直し来を作成  - 自主防災リーダー研修会の開催 - 自主防災訓練に対する支援、協力の実施 - 自主防災訓練補助金等の交付	- 協議会の中で広域避難計画(案)を策定  - 協議会の中で広域避難計画(案)を策定  - 出前講座等を活用した洪水ハザードマップの周知  - 各施設の避難計画作成及び避難訓練に対する支援  - 避難勧告等の判断・伝達マニュアルの見直し  - 自主防災リーダー研修会の開催 - 自主防災訓練に対する支援。協力の実施 - 自主防災訓練補助金等の交付
	平成29年度 から実施  平成28年度  平成28年度  中成28年度  中成28年度  中成28年度施  平成28年度施  平成28年度施	- 協議会の中で広域避難計画(案)を策定  - 洪水ハザードマップを各世帯等へ配布(平成30年5月末) - 出前請座等を活用した洪水ハザードマップの周知  該当なし  - 各施設の避難計画作成及び避難訓練に対する支援  - 策定済みマニュアルの見直し検討  該当なし  - 自主防災リーダー研修会の開催 - 自主防災リーダー研修会の開催 - 自主防災別無に対する支援	・未実施  ・出前講座等を活用した洪水ハザードマップの周知  ・1施設ではあるが、避難訓練への支援、協力を実施  ・避難勧告等の判断・伝達マニュアルの見直し案を作成  ・自主防災リーダー研修会の開催 ・自主防災別をの関係と対する支援、協力の実施	・協議会の中で広域避難計画(案)を策定 ・出前講座等を活用した洪水ハザードマップの周知 ・各施設の避難計画作成及び避難訓練に対する支援 ・避難勧告等の判断・伝達マニュアルの見直し ・自主防災リーダー研修会の開催 ・自主防災別ーダー研修会の開催 ・自主防災訓練に対する支援、協力の実施
	平成29年度 から実施 平成28年度 平成28年度 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	- 協議会の中で広域避難計画(案)を策定  - 洪水ハザードマップを各世帯等へ配布(平成30年5月末) - 出前講座等を活用した洪水ハザードマップの周知  該当なし  - 各施設の避難計画作成及び避難訓練に対する支援  - 策定済みマニュアルの見直し検計  該当なし  - 自主防災リーダー研修会の開催 - 自主防災訓練に対する支援、協力の実施 - 自主防災訓練補助金等の交付	- 未実施  - 出前講座等を活用した洪水ハザードマップの周知  - 1施設ではあるが、避難訓練への支援、協力を実施  - 遊難勧告等の判断・伝達マニュアルの見直し来を作成  - 自主防災リーダー研修会の開催 - 自主防災訓練に対する支援、協力の実施 - 自主防災訓練補助金等の交付	- 協議会の中で広域避難計画(案)を策定  - 協議会の中で広域避難計画(案)を策定  - 出前講座等を活用した洪水ハザードマップの周知  - 各施設の避難計画作成及び避難訓練に対する支援  - 避難勧告等の判断・伝達マニュアルの見直し  - 自主防災リーダー研修会の開催 - 自主防災訓練に対する支援。協力の実施 - 自主防災訓練補助金等の交付

O概ね5年で実施する取組			- Le 1 = 100 CC	
具体的な取組の柱 事 項	目標時期		実施する機関 常 <b>陸太田市</b>	
具体的取組	口加州初	取組予定【H30年度】	実施結果【H30年度】	取組内容【R元(H31)年度】
)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅	速かつ的確な避難行			
<ul><li>■避難勧告発令に着目したタイムラインの作成</li><li>・避難勧告の発令に着目したタイムラインの作成</li></ul>		・タイムラインの作成	・タイムライン案の作成	・タイムラインの作成
Exemple One in Carlotte Property in Carlotte Proper	平成28年度から 順次実施	71471201FW	) I J I J KO I FIN	712312301FM
・タイムラインに基づく首長等も参加した実践的な訓練		・タイムラインの作成完了後、訓練について検討	・タイムライン作成中	・タイムラインの作成完了後、訓練について検討
	平成28年度から 順次実施			
・気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善(水害時の情報入手のし易さをサポート)	平成29年度 出水期から実施	該当なし	_	_
■防災教育や防災知識の普及				
- 水災害の事前準備に関する問い合わせ窓口の 設置	平成28年度 から実施	- 防災対策課を窓口とする	- 防災対策課を窓口とする	・防災対策課を窓口とする
・水防災に関する説明会等の開催	平成28年度から 順次実施	・洪水ハザードマップに係る出前講座の実施 ・消防本部主催で水防団員(水門操作員)水門 操作要領説明会を開催	・洪水ハザードマップや水害に係る出前講座の 実施 ・消防本部主催で水防団員(水門操作員)水門 操作要領説明金を開催 ・常陸河川国道事務所の協力を得て一部の地区 の自主防災訓練において久慈川豪雨災害バネ ル展を実施	・洪水ハザードマップや水害に係る出前講座の 実施 ・消防本部主催で水防団員(水門操作員)水門 操作要領説明会を開催
・教員を対象とした講習会の実施	平成28年度から 順次実施	・自主防災リーダー研修会等に教員の参加を依頼し実施する	- 茨城県と連携し、住民避難力強化事業を実施 - 自主防災リーダー研修会等に教員の参加を得て実施	・自主防災リーダー研修会等に教員の参加を依頼し実施する
・小学生を対象とした防災教育の実施	平成28年度から 順次実施	・自主防災会の自主防災訓練等に小学生も参加 し実施する	・一部の地区の自主防災訓練に小学生の参加を 得て実施	・自主防災会の自主防災訓練等に小学生も参り し実施する
・出前講座等を活用した講習会の実施	平成28年度 から実施	該当なし	_	_
・ブッシュ型の洪水予報等の情報発信	平成28年度から 順次実施	該当なし	_	_
・水位計やライブカメラの情報をリアルタイムで提供 供	平成28年度 から実施	該当なし	_	_
)ソフト対策の主な取組 ②避難時間の確保のための				
■より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強 ・水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練の 実施	E 平成28年度 から実施	・メールを活用した伝達手段を確保している	・メールを活用した伝達手段を確保している	・メールを活用した伝達手段を確保している
・水防団同士の連絡体制の確保	平成28年度から 順次実施	・確保できている	・確保できている	・確保できている
・水防団や地域住民が参加する洪水に対しリスクが高い区間の共同点検	引き続き 毎年実施	・常陸河川国道事務所の合同巡視, 共同点検に参加 ・茨城県常陸太田工事事務所の合同巡視, 共同 点検に参加	- 常陸河川国道事務所の合同巡視, 共同点検に参加 ・ 茨城県常陸太田工事事務所の合同巡視, 共同 点検に参加	・常陸河川国道事務所の合同巡視,共同点検 参加 ・茨城県常陸太田工事事務所の合同巡視,共 点検に参加
・水防訓練の実施	引き続き 毎年実施 平成28年度から 順次実施	・毎年開催している久慈川水系連合水防訓練の 開催地としての参加	・毎年開催している久慈川水系連合水防訓練の 開催地としての参加	・毎年開催している久慈川水系連合水防訓練! 参加
・水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・ 指定を促進	引き続き 毎年実施	- 広報誌やホームページで募集をする	- 広報誌やホームページで募集	・広報誌やホームページで募集をする
・水防団員の待避等判断指標の作成	平成28年度から 順次実施	・作成について検討する	・作成について検討	・作成について検討する
・水防団員の安全装備の徹底(水防法第7条)	平成28年度から 順次実施	・救命胴衣等を順次整備あわせて安全帯を整備	・河川を管轄する水防団に対し教命胴衣と安全帯の整備を実施	・ヘッドライトの整備
■排水活動の強化に関する取組 ・排水ボンブ車の操作講習会、出動要請の連絡体制の周知	引き続き 毎年実施	- 常陸河川国道事務所主催の災害対策用機器 操作講習会に参加	- 常陸河川国道事務所主催の災害対策用機器 操作講習会に参加	- 常陸河川国道事務所主催の災害対策用機器 操作講習会に参加
・逃げ遅れゼロ等に寄与する排水ポンプ車の活用 計画	平成28年度 から実施	・常陸河川国道事務所から情報提供の依頼が あった際に協力する	・常陸河川国道事務所から情報提供の依頼が あった際に協力する	・常陸河川国道事務所から情報提供の依頼が あった際に協力する

・優先的に実施する流下能力向上対策、浸透・パイピング対策	取組予定【H30年度】 当なし 当なし 一アラートと市ホームページの即時連携  「防資材の追加配備は考えていない。	実施する機関	取組内容[R元(H31)年度]  該当なし  該当なし  ・防災行政無線の次世代化について検討していく
具体的取組  ハード対策の主な取組  心流を未然に防ぐ対策  (人の息川) ・優先的に実施する流下能力向上対策、浸透・パイピング対策  (人形別川) ・優先的に実施する流下能力向上対策、浸透・パイピング対策  (人野川川) ・堤防門大端の保護 ・堤防実活のイ構強 (大部別川) ・堤防裏法尻の補強 (大部別川) ・堤防裏法尻の補強 (大部別川) ・堤防裏法尻の補強 ・堤防裏法人の補強 ・堤防裏法人の補強 ・地防活動に資する基盤等の整備 ・・一般の表別・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	当なし 当なし ーアラートと市ホームページの即時連携	実施結果[H30年度] 該当なし  該当なし  ・Jアラートと市ホームページの連携, ツイッター による伝達。	該当なし 該当なし ・防災行政無線の次世代化について検討していく
ハード対策の主な取組	当なし 当なし ーアラートと市ホームページの即時連携	該当なし 該当なし ・Jアラートと市ホームページの連携、ツイッター による伝達。	該当なし  該当なし  ・防災行政無線の次世代化について検討していく
■ 氾濫を未然に防ぐ対策 (	当なし 当なし ーアラートと市ホームページの即時連携	該当なし 該当なし ・Jアラートと市ホームページの連携、ツイッター による伝達。	該当なし  ・防災行政無線の次世代化について検討してい  く
【	当なし 当なし ーアラートと市ホームページの即時連携	該当なし 該当なし ・Jアラートと市ホームページの連携、ツイッター による伝達。	該当なし  該当なし  ・防災行政無線の次世代化について検討していく
・優先的に実施する流下能力向上対策、浸透・パイピング対策	当なし 当なし ーアラートと市ホームページの即時連携	該当なし 該当なし ・Jアラートと市ホームページの連携、ツイッター による伝達。	該当なし  該当なし  ・防災行政無線の次世代化について検討していく
<ul> <li>(本野川) - (優先的に実施する流下能力向上対策、浸透・パイピング対策</li> <li>●危機管理型ハード対策</li> <li>(スク基川) - 環防天端の保護 - 環防実端の保護 - 環防薬法尻の補強 - 環防薬法尻の補強 - 環防薬法尻の補強 - 環防薬法尻の補強 - 環防薬法人の補強 - 水防活動に資する基盤等の整備 - 平成28年度 から実施 - さらなる情報伝達手段の追加整備もしくは検討 - 平成28年度から順次実施 - 水防活動を支援するための水防資機材等の配備 (新技術を活用した水防資機材を含む) - 平成28年度から順次実施 - 水防活動を支援するための水防資機材等の配備 - 水防活動を支援するための水防資機材等の配備 - 水防活動を支援するための水防資機材等の配備 - 水原28年度から順次実施 - 球成28年度から順次実施 - 球28年度から順次実施 - 球28年度</li> </ul>	当なし	該当なし ・Jアラートと市ホームページの連携、ツイッター による伝達。	該当なし ・防災行政無線の次世代化について検討してい く
・優先的に実施する流下能力向上対策、浸透・パイピング対策  ■危機管理型ハード対策  《久島川〉 ・堤防天場の保護 ・堤防寒法尻の補強 ・場防寒法尻の補強 ・堤防寒法尻の補強 ・理防天場の保護 ・堤防寒法尻の補強 ・型大男猫の保護 ・地防寒法尻の補強 ・型難行動、水防活動に資する基盤等の整備 ・雨量・水位等の観測データ及び洪水時の状況を 把握・伝達するための基盤の整備 ・市量・水位等の観測データ及び洪水時の状況を 把握・伝達するための基盤の整備 ・さらなる情報伝達手段の追加整備もしくは検討 ・さらなる情報伝達手段の追加整備もしくは検討 ・で成28年度から順次実施 ・水防活動を支援するための水防資機材等の配備 (新技術を活用した水防資機材を含む) ・水防活動を支援するための水防資機材等の配備 (新技術を活用した水防資機材を含む) ・水防活動を支援するための水防資機材等の配備 (新技術を活用した水防資機材を含む)	当なし	該当なし ・Jアラートと市ホームページの連携、ツイッター による伝達。	該当なし ・防災行政無線の次世代化について検討してい く
■危機管理型ハード対策	当なし	該当なし ・Jアラートと市ホームページの連携、ツイッター による伝達。	該当なし ・防災行政無線の次世代化について検討してい く
(公庭部川> ・児郎天端の保護 ・児郎天端の保護 ・児郎天満の保護 ・児郎天満の保護 ・児郎天満の保護 ・児郎天満の保護 ・児郎天満の保護 ・児郎天満の保護 ・児郎天満の保護 ・児郎天満の保護 ・ 一郎選手行動、水防活動に資する基盤等の整備   ・雨量・水位等の観測データ及び洪水時の状況を	当なし	該当なし ・Jアラートと市ホームページの連携、ツイッター による伝達。	該当なし ・防災行政無線の次世代化について検討していく
・堤防実法院の保護 ・堤防実法院の補強  ■避難行動、水防活動に資する基盤等の整備  ●調整行動、水防活動に資する基盤等の整備  ●調整行動、水防活動に資する基盤等の整備  ・両量・水位・吸刺データ及び洪水時の状況を 把握・伝達するための基盤の整備  ・さらなる情報伝達手段の追加整備もしくは検討  ・さらなる情報伝達手段の追加整備もしくは検討  ・水防活動を支援するための水防資機材等の配備 (新技術を活用した水防資機材を含む)  ・飛28年度から順次実施  ・簡易水位計や量水標、CCTVカメラの設置  ・商易水位計や量水標、CCTVカメラの設置  ・一・一・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	当なし	該当なし ・Jアラートと市ホームページの連携、ツイッター による伝達。	該当なし ・防災行政無線の次世代化について検討してい く
<ul> <li>(</li></ul>	ーアラートと市ホームページの即時連携	・Jアラートと市ホームページの連携、ツイッター による伝達。	・防災行政無線の次世代化について検討してい く
・堤防医表院の標盤 ・堤防医表院の補強  ■避難行動、水防活動に資する基盤等の整備 ・雨量・水位等の観測データ及び洪水時の状況を 把握・伝達するための基盤の整備 ・さらなる情報伝達手段の追加整備もしくは検討 ・さらなる情報伝達手段の追加整備もしくは検討 ・水防活動を支援するための水防資機材等の配備 (新技術を活用した水防資機材を含む) ・水防活動を支援するための水防資機材等の配備 (新技術を活用した水防資機材を含む) ・ボウス8年度から 順次実施 ・商易水位計や量水標、CCTVカメラの設置 ・商易水位計や量水標、CCTVカメラの設置 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ーアラートと市ホームページの即時連携	・Jアラートと市ホームページの連携、ツイッター による伝達。	・防災行政無線の次世代化について検討してい く
■避難行動、水防活動に資する基盤等の整備 ・雨量・水位等の観測データ及び決水時の状況を 把握・伝達するための基盤の整備 ・さらなる情報伝達手段の追加整備もしくは検討 ・さらなる情報伝達手段の追加整備もしくは検討 ・水防活動を支援するための水防資機材等の配備 (新技術を活用した水防資機材を含む) ・水防活動を支援するための水防資機材等の配備 (新技術を活用した水防資機材を含む) ・常易水位計や量水標、CCTVカメラの設置 ・簡易水位計や量水標、CCTVカメラの設置 ・産成28年度から 原次実施 ・ 無限28年度から	ーアラートと市ホームページの即時連携	・Jアラートと市ホームページの連携、ツイッター による伝達。	・防災行政無線の次世代化について検討してい く
- 雨量・水位等の観測データ及び洪水時の状況を 把握・伝達するための基盤の整備 ・さらなる情報伝達手段の追加整備もしくは検討 ・さらなる情報伝達手段の追加整備もしくは検討 ・水防活動を支援するための水防資機材等の配備 (新技術を活用した水防資機材を含む) ・飛28年度から 順次実施 ・水防活動を支援するための水防資機材等の配備 (新技術を活用した水防資機材を含む) ・水原28年度から 順次実施 ・液28年度から 順次実施	ーアラートと市ホームページの即時連携	・Jアラートと市ホームページの連携、ツイッター による伝達。	・防災行政無線の次世代化について検討してい く
把握・伝達するための基盤の整備	ーアラートと市ホームページの即時連携	・Jアラートと市ホームページの連携、ツイッター による伝達。	・防災行政無線の次世代化について検討してい く
平成28年度から実施     ・さらなる情報伝達手段の追加整備もしくは検討     平成28年度から 順次実施     ・水防活動を支援するための水防資機材等の配備 (新技術を活用した水防資機材を含む)     平成28年度から 順次実施     ・ホース・ボース・ボース・ボース・ボース・ボース・ボース・ボース・ボース・ボース・ボ		による伝達。	<
*さらなる情報伝達手段の追加整備もしくは検討		による伝達。	<
・水防活動を支援するための水防資機材等の配備 (新技術を活用した水防資機材を含む)     ・水 ・水 ・水 ・水 ・水 ・水 ・水 ・水 ・水 ・水 ・水 ・水 ・水 ・		による伝達。	<
・水防活動を支援するための水防資機材等の配備 (新技術を活用した水防資機材を含む)     ・水 ・水 ・水 ・水 ・水 ・水 ・水 ・水 ・水 ・水 ・水 ・水 ・水 ・		による伝達。	<
- 水防活動を支援するための水防資機材等の配備 (新技術を活用した水防資機材を含む) - ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	防資材の追加配備は考えていない。		
- 水防活動を支援するための水防資機材等の配備 (新技術を活用した水防資機材を含む) - ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	防資材の追加配備は考えていない。	追加配備なし	A PART SE O LA VIA TREST.
・水防活動を支援するための水防資機材等の配備 (新技術を活用した水防資機材を含む) ・中成28年度から 順次実施 ・簡易水位計や量水標、CCTVカメラの設置 ・ 平成28年度	防資材の追加配備は考えていない。	追加配備なし	JOHNY SEA ON THE THE THE WALLE AND THE THE
(新技術を活用した水防資機材を含む) 平成28年度から 順次実施 ・簡易水位計や量水標、CCTVカメラの設置 平成28年度	防資材の追加配備は考えていない。	追加配備なし	JOHN THE OUR THEFT. WHILL A VI.
(新技術を活用した水防資機材を含む) 平成28年度から 順次実施 ・簡易水位計や量水標、CCTVカメラの設置 平成28年度	(助食材の)追加配備は考え(いない。	追加配備なし	
平成28年度から 順次実施 ・簡易水位計や量水標、CCTVカメラの設置 該当 平成28年度			・水防活動の状況を確認し、資機材の追加配備 の可否を検討する。
・簡易水位計や量水標、CCTVカメラの設置 該当 平成28年度			7120017700
平成28年度			
平成28年度			
	当なし	該当なし	該当なし
3 5 5 AME			
			16-70 - 46-00 - 46-01
	は続して、当該地域の住民に対し、高台の避難へ避難するよう周知を図っていく。	・施設の整備及び非常用電源の耐水化なし。ソフト対策として、高台への避難を周知を引き続き	・施設の整備の予定はない。
要配慮施設、避難所等) 平成28年度から	一起来するようには2000で	行う。	
順次実施			
<ul><li>・水位予測の精度向上検討 該当</li></ul>	当なし	該当なし	該当なし
37-27-37-37-37-37-37-37-37-37-37-37-37-37-37			
平成28年度			
1,77=1,2	ļ.		
)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行			
■想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮したハザードマップの	il de l	=1 v/ 1-1	EL VI L.
・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、 氾濫シミュレーションの公表	当なし	該当なし	該当なし
<直轄河川> 平成28年9月	ļ.		
久慈川・山田川・里川・那珂川・藤井川・桜川・涸沼 川	ļ.		
平成29年度	ļ.		
<県管理河川> から実施	ļ.		
・大規模水害時の相互協力に関する申し合わせ・引	き続き協議会の動向に合わせた対応を行う。	・減災協議会の中で相互協力に関する申し合わ	<b>拉議会の動向に会わせて対応してい</b>
・協	協議会の中で相互協力に関する申し合わせを	世締結済み	励成去の動門に白わせて対応している。
平成28年度 平成	成28年度に締結済		
	ļ.		
	を   全のところ広域避難計画の策定の予定はな		・市域の高台へ避難するため広域避難計画の策
平成29年度 い。		い。	定の予定はない。
から実施			
担力是大担性の放下に 1.7 注入担力点经大水点		21*/s***	21+4++-1 + . o.21++ m#
1 たいザービラップの作成・田知	成30年2月作成・全戸配布済み	・引き続き転入者への配布を実施。	・引き続き転入者への配布を実施。
マ成28年度から 順次実施			
no o v ne			
	成21年度に既に設置済み	・既に設置済み	・既に設置済み
で検討 平成28年度から			
順次実施			・要配慮者施設に避難計画作成に向けて,作成
		++ = = =	· 男配  富者  施設  、  辞職   +   同/
・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練 福祉		・庁内の関係部署が避難計画作成の促進に向 けて 茨城県の主催する説明会に参加 (平成	
・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練 の促進 平成29年度 行う		・庁内の関係部署が避難計画作成の促進に向けて、茨城県の主催する説明会に参加。(平成30年12月)	*安印息目記録に歴報計画1F以に同けて、1F以 案等を示すなど支援を行っていく。
・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練 福祉		けて、茨城県の主催する説明会に参加。(平成	
・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練 の促進 平成29年度 から実施		けて、茨城県の主催する説明会に参加。(平成	
・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練 の促進  平成29年度 から実施  ・避難動告等の判断・伝達マニュアルの見直し  平成28年度から ・平成28年度から	5	けて、茨城県の主催する説明会に参加。(平成 30年12月)	案等を示すなど支援を行っていく。
・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練 の促進 平成29年度 から実施 ・避難勧告等の判断・伝達マニュアルの見直し ・平.	5	けて、茨城県の主催する説明会に参加。(平成 30年12月)	案等を示すなど支援を行っていく。
・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練 の促進 平成29年度 から実施 ・避難勧告等の判断・伝達マニュアルの見直し 平成28年度から 順次実施	5 「成29年7月に改訂済み	けて、茨城県の主催する説明会に参加。(平成30年12月) ・更新すべき点を確認して、見直しを検討	案等を示すなど支援を行っていく。  ・更新すべき点を確認して、見直しを検討する。
・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練 の促進  ・避難動告等の判断・伝達マニュアルの見直し  ・政28年度から 順次実施 ・対象地区全住民への確実な情報伝達方法の確  ・自	う 成29年7月に改訂済み 1主防災組織により、地域の情報伝達手段を	けて、茨城県の主催する説明会に参加。(平成 30年12月) ・更新すべき点を確認して、見直しを検討 ・避難行動要支援者の支援側にアンケートを実	<ul><li>案等を示すなど支援を行っていく。</li><li>・更新すべき点を確認して、見直しを検討する。</li><li>・避難行動要支援者にアンケートを行うなど、状</li></ul>
・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練 の促進 ・避難動告等の判断・伝達マニュアルの見直し ・理成28年度から順次実施 ・対象地区全住民への確実な情報伝達方法の確立(自治体未加人世帯、高齢者、外国人等) ・平成28年度から 研え	5 成29年7月に改訂済み 1主防災組織により、地域の情報伝達手段を などの対応にいただいているが、未加入世帯や外国 などの対応については未受機であるため、対	けて、茨城県の主催する説明会に参加。(平成30年12月) ・更新すべき点を確認して、見直しを検討	<ul><li>案等を示すなど支援を行っていく。</li><li>・更新すべき点を確認して、見直しを検討する。</li><li>・避難行動要支援者にアンケートを行うなど、状</li></ul>
・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練 の促進  ・避難勧告等の判断・伝達マニュアルの見直し  ・避難勧告等の判断・伝達マニュアルの見直し  ・政28年度から 順次実施  ・対象地区全住民への確実な情報伝達方法の確立(自治体未加入世帯、高齢者、外国人等) 順次実施	5 成20年7月に改訂済み 1主防災組織により、地域の情報伝達手段を 保していただいているが、未加入世帯や外国 などの対応については未整備であるため、対 の検討を行う	けて、茨城県の主催する説明会に参加。(平成30年12月) ・更新すべき点を確認して、見直しを検討 ・避難行動要支援者の支援側にアンケートを実	案等を示すなど支援を行っていく。  ・更新すべき点を確認して、見直しを検討する。  ・避難行動要支援者にアンケートを行うなど、状況について調査するなかで、情報伝達状況を確
・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練 の促進  平成29年度 から実施 ・避難勧告等の判断・伝達マニュアルの見直し ・平成28年度から 順次実施 ・対象地区全住民への確実な情報伝達方法の確立(自治体未加入世帯、高齢者、外国人等) 順次実施 ・が38年度から 順次実施 ・が38年度から 順次実施	5 成29年7月に改訂済み 1主防災組織により、地域の情報伝達手段を などの対応にいただいているが、未加入世帯や外国 などの対応については未受機であるため、対	けて、茨城県の主催する説明会に参加。(平成30年12月) ・更新すべき点を確認して、見直しを検討 ・避難行動要支援者の支援側にアンケートを実	案等を示すなど支援を行っていく。  ・更新すべき点を確認して、見直しを検討する。  ・避難行動要支援者にアンケートを行うなど、状況について調査するなかで、情報伝達状況を確認し、対応を検討する。
・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練 の促進 ・避難勧告等の判断・伝達マニュアルの見直し ・理成28年度から 順次実施 ・対象地区全住民への確実な情報伝達方法の確立(自治体未加入世帯、高齢者、外国人等) ・可収28年度から 順次実施 ・自務を応の[1-1] ・自助、共助を目指した自主防災組織の充実	5 成29年7月に改訂済み 1主防災組織により、地域の情報伝達手段を 保していただいているが、未加入世帯や外国 などの対応については未整備であるため、対 の検討を行う。 29年度~】 での自治会において自主防災組織を編成し	けて、茨城県の主催する説明会に参加。(平成 30年12月) ・更新すべき点を確認して、見直しを検討 ・選難行動栗支援者の支援側にアンケートを実施。(平成31年3月) ・全ての自治会において自主防災組織を編成し	<ul> <li>案等を示すなど支援を行っていく。</li> <li>・更新すべき点を確認して、見直しを検討する。</li> <li>・避難行動要支援者にアンケートを行うなど、状況について調査するなかで、情報伝達状況を確認し、対応を検討する。</li> <li>・自主防災組織の充実に向けて、防災訓練や</li> </ul>
・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練 の促進 ・避難勧告等の判断・伝達マニュアルの見直し ・理成28年度から 順次実施 ・対象地区全住民への確実な情報伝達方法の確 立(自治体未加入世帯、高齢者、外国人等) ・自助、共助を目指した自主防災組織の充実 ・全てお	5 成29年7月に改訂済み 1主防災組織により、地域の情報伝達手段を 保していただいているが、未加入世帯や外国 などの対応については未整備であるため、対 の検討を行う。 29年度~】 この自治会において自主防災組織を編成し におり、毎年実施する総合防災訓練において、	けて、茨城県の主催する説明会に参加。(平成30年12月) ・更新すべき点を確認して、見直しを検討 ・避難行動要支援者の支援側にアンケートを実施。(平成31年3月) ・全ての自治会において自主防災組織を編成しており、毎年実施する総合防災訓練において、	案等を示すなど支援を行っていく。  ・更新すべき点を確認して、見直しを検討する。  ・避難行動要支援者にアンケートを行うなど、状況について調査するなかで、情報伝達状況を確認し、対応を検討する。
・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練 の促進 ・避難動告等の判断・伝達マニュアルの見直し ・避難動告等の判断・伝達マニュアルの見直し ・平成28年度から 順次実施 ・対象地区全住民への確実な情報伝達方法の確 立(自治体未加入世帯、高齢者、外国人等) ・直破力を成立のに [142] ・自助、共助を目指した自主防災組織の充実 ・で表表を	1	けて、茨城県の主催する説明会に参加。(平成30年12月) ・更新すべき点を確認して、見直しを検討 ・避難行動要支援者の支援側にアンケートを実施。(平成31年3月) ・全ての自治会において自主防災組織を編成しており、毎年実施する総合防災訓練において、自主防災会が主体的に訓練計画を策定し、それでれの地域において地域の実情にあわせて訓	<ul> <li>案等を示すなど支援を行っていく。</li> <li>・更新すべき点を確認して、見直しを検討する。</li> <li>・避難行動要支援者にアンケートを行うなど、状況について調査するなかで、情報伝達状況を確認し、対応を検討する。</li> <li>・自主防災組織の充実に向けて、防災訓練や</li> </ul>
・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練 の促進  ・避難勧告等の判断・伝達マニュアルの見直し  ・対象地区全住民への確実な情報伝達方法の確立(自治体未加入世帯、高齢者、外国人等) ・自助、共助を目指した自主防災組織の充実  ・自助、共助を目指した自主防災組織の充実  ・で表表	5 「成29年7月に改訂済み 1主防災組織により、地域の情報伝達手段を 深していただいているが、未加入世帯や外国 などの対応については未整備であるため、対 の検討を行う。 29年度~】 この自治会において自主防災組織を編成し おり、毎年実施する総合防災訓練において、 ま坊災会が生体的に訓練料面を策定し、それ	けて、茨城県の主催する説明会に参加。(平成30年12月) ・更新すべき点を確認して、見直しを検討 ・選難行動要支援者の支援側にアンケートを実施。(平成31年3月) ・全ての自治会において自主防災組織を編成しており、毎年実施する総合防災訓練において、自主防災会が主体的に訓練計画を実定し、それぞれの地域において地域の実情にあわせて訓練を実施している。(平成30年9月訓練計画を大し、それぞれの地域において地域の実情にあわせて訓練を実施している。(平成30年9月訓練計画を表定し、それぞれの地域において地域の実情にあわせて訓練を実施している。(平成30年9月訓練手施。10	<ul> <li>案等を示すなど支援を行っていく。</li> <li>・更新すべき点を確認して、見直しを検討する。</li> <li>・避難行動果支援者にアンケートを行うなど、状況について調査するなかで、情報伝達状況を確認し、対応を検討する。</li> <li>・自主防災組織の充実に向けて、防災訓練や</li> </ul>
・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練 の促進 ・避難動告等の判断・伝達マニュアルの見直し ・避難動告等の判断・伝達マニュアルの見直し ・平成28年度から 順次実施 ・対象地区全住民への確実な情報伝達方法の確 立(自治体未加入世帯、高齢者、外国人等) ・自助、共助を目指した自主防災組織の充実 ・・自動、共助を目指した自主防災組織の充実 ・・で表表を表示した。 ・・ででは、から実施 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1	けて、茨城県の主催する説明会に参加。(平成30年12月) ・更新すべき点を確認して、見直しを検討 ・避難行動要支援者の支援側にアンケートを実施。(平成31年3月) ・全ての自治会において自主防災組織を編成しており、毎年実施する総合防災訓練において、自主防災会が主体的に訓練計画を策定し、それでれの地域において地域の実情にあわせて訓	<ul> <li>案等を示すなど支援を行っていく。</li> <li>・更新すべき点を確認して、見直しを検討する。</li> <li>・避難行動要支援者にアンケートを行うなど、状況について調査するなかで、情報伝達状況を確認し、対応を検討する。</li> <li>・自主防災組織の充実に向けて、防災訓練や</li> </ul>
・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練 の促進 ・避難動告等の判断・伝達マニュアルの見直し ・避難動告等の判断・伝達マニュアルの見直し ・平成28年度から 順次実施 ・対象地区全住民への確実な情報伝達方法の確 立(自治体未加入世帯、高齢者、外国人等) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1	けて、茨城県の主催する説明会に参加。(平成30年12月) ・更新すべき点を確認して、見直しを検討 ・避難行動要支援者の支援側にアンケートを実施。(平成31年3月) ・全ての自治会において自主防災組織を編成しており、毎年実施する総合防災訓練において、自主防災会が主体的に訓練計画を策定し、それそれの地域において地域の実情にあわせて訓練を実施している。(平成30年9月訓練実施。10月訓練後奏夏を強会を実施した。10月訓練後裏	業等を示すなど支援を行っていく。  ・更新すべき点を確認して、見直しを検討する。  ・避難行動要支援者にアンケートを行うなど、状況について調査するなかで、情報伝達状況を確認し、対応を検討する。  ・自主防災組織の充実に向けて、防災訓練やリーター研修会などへの参加を支援していく。
要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練 から実施 避難勧告等の判断・伝達マニュアルの見直し 平成29年度から 原次実施 ・平成28年度から 原次実施 対象地区全住民への確実な情報伝達方法の確 な(自治体未加入世帯、高齢者、外国人等) ・自 では、 ・自 では、 ・自 では、 ・自 がよる。 ・のでは、 ・のでは	1	けて、茨城県の主催する説明会に参加。(平成30年12月) ・更新すべき点を確認して、見直しを検討 ・選難行動要支援者の支援側にアンケートを実施。(平成31年3月) ・全ての自治会において自主防災組織を編成しており、毎年実施する総合防災訓練において、自主防災会が主体的に訓練計画を実定し、それぞれの地域において地域の実情にあわせて訓練を実施している。(平成30年9月訓練計画を大し、それぞれの地域において地域の実情にあわせて訓練を実施している。(平成30年9月訓練計画を表定し、それぞれの地域において地域の実情にあわせて訓練を実施している。(平成30年9月訓練手施。10	<ul> <li>案等を示すなど支援を行っていく。</li> <li>・更新すべき点を確認して、見直しを検討する。</li> <li>・避難行動要支援者にアンケートを行うなど、状況について調査するなかで、情報伝達状況を確認し、対応を検討する。</li> <li>・自主防災組織の充実に向けて、防災訓練や</li> </ul>
・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練 の促進 ・避難動告等の判断・伝達マニュアルの見直し ・理成28年度から 順次実施 ・対象地区全住民への確実な情報伝達方法の確 立(自治体未加入世帯、高齢者、外国人等) ・自助、共助を目指した自主防災組織の充実 ・自助、共助を目指した自主防災組織の充実 ・変異態等導力の全人の数値表	1	けて、茨城県の主催する説明会に参加。(平成30年12月) ・更新すべき点を確認して、見直しを検討 ・避難行動要支援者の支援側にアンケートを実施。(平成31年3月) ・全ての自治会において自主防災組織を編成しており、毎年実施する総合防災訓練において、自主防災会が主体的に訓練計画を策定し、それそれの地域において地域の実情にあわせて訓練を実施している。(平成30年9月訓練実施。10月訓練後奏夏を強会を実施した。10月訓練後裏	<ul> <li>案等を示すなど支援を行っていく。</li> <li>・更新すべき点を確認して、見直しを検討する。</li> <li>・避難行動要支援者にアンケートを行うなど、状況について調査するなかで、情報伝達状況を確認し、対応を検討する。</li> <li>・自主防災組織の充実に向けて、防災訓練やリーター研修会などへの参加を支援していく。</li> </ul>

〇概ね5年で実施する取組				
具体的な取組の柱 事 項	目標時期		実施する機関 ひたちなか市	
具体的取組	디카막케	取組予定【H30年度】	実施結果【H30年度】	取組内容【R元(H31)年度】
)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅	l速かつ的確な避難?			
<ul><li>■避難勧告発令に着目したタイムラインの作成</li><li>・避難勧告の発令に着目したタイムラインの作成</li></ul>	平成28年度から 順次実施	・避難勧告等の判断・伝達マニュアルの見直しと 合わせてタイムラインの策定について検討中	・避難勧告等の判断・伝達マニュアルの見直しと 合わせてタイムラインの策定について検討。	・避難勧告等の判断・伝達マニュアルの見直しる合わせてタイムラインの策定について検討する
・タイムラインに基づく首長等も参加した実践的な 訓練	平成28年度から 順次実施	・タイムラインを策定するとなった場合、訓練に盛 り込むか検討する。	・タイムラインを策定するとなった場合、訓練に盛 り込むが検討。	・タイムラインを策定した際に検討する。
・気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象、等の改善(水害時の情報入手のし易さをサポート)	平成29年度 出水期から実施	該当なし	該当なし	該当なし
■防災教育や防災知識の普及		# 17 th A 500 71 4577 11500 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	All Att	ANAT L 7
・水災害の事前準備に関する問い合わせ窓口の 設置	平成28年度 から実施	- 生活安全課及び河川課にて水害に関する問合 せを受け付けている。		継続する。
・水防災に関する説明会等の開催	平成28年度から 順次実施	- 関係部署と説明会実施の可否について検討する 【H29年度~】	- 関係部署と説明会実施の可否について検討。	- 説明会実施の可否について検討する。
・教員を対象とした講習会の実施	平成28年度から 順次実施	・教育委員会、河川課など関係部署と説明会実 施の可否について検討する	・教育委員会、河川課など関係部署と説明会実 施の可否について検討	説明会実施の可否について検討する。
・小学生を対象とした防災教育の実施	平成28年度から 順次実施	・教育委員会、河川課など関係部署と説明会実施の可否について検討する	・教育委員会、河川課など関係部署と説明会実施の可否について検討。	実施の可否について検討する。
・出前講座等を活用した講習会の実施	平成28年度 から実施	該当なし	- 茨城県が住民避難力強化事業にて、洪水浸水 想定地区の1自治会に避難用のマイマップや避 難カードの作成、マイタイムラインの作成をグ ループワークで実施した。	該当なし
・ブッシュ型の洪水予報等の情報発信	平成28年度から 順次実施	該当なし	該当なし	該当なし
・水位計やライブカメラの情報をリアルタイムで提供	平成28年度 から実施	該当なし	該当なし	該当なし
)ソフト対策の主な取組 ②避難時間の確保のための				
■より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化 ・水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練の 実施	ビ 平成28年度 から実施	- 既に複数の伝達手法を確保している	・総合防災訓練の際(二消防団(水防団)が伝達 訓練の実施。	- 総合防災訓練の際に実施予定。
・水防団同士の連絡体制の確保	平成28年度から 順次実施	- 既に確保している	実施済み	確保済み
・水防団や地域住民が参加する洪水に対しリスクが高い区間の共同点検	引き続き 毎年実施	・国土交通省において実施している共同点検に 参加する際地域住民への参加を促す。	・国土交通省が実施している共同点検に地域住民が参加した。	・共同点検への参加について、地域住民及び消防団(水防団)に参加を促す。
・水防訓練の実施	引き続き 毎年実施 平成28年度から 順次実施	・消防団に対して、水防技術の講習・訓練の実施 について検討する。	・消防団(水防団)に対して、水防技術の講習・訓練の実施について検討。	・水防技術の訓練の実施を検討。
・水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・ 指定を促進	引き続き 毎年実施	・水防活動の担い手として、消防団(水防団)が 組織されているほか、下記に記載の建設業協 同組合との災害時応援協定において水防活動 の応援要請ができることとなっているため、現状 においては募集、指定促進を行う予定はない。	・募集・指定の促進なし	・現状の消防団(水防団)の水防活動の担い手と しての活動状態について確認する。
- 水防団員の待避等判断指標の作成	平成28年度から 順次実施	・水防団員の待避等について検討する	・水防団員の待避等について検討。	・消防団(水防団)の活動状況の実態を確認し、 退避判断指標の作成を検討する。
・水防団員の安全装備の徹底(水防法第7条)	平成28年度から 順次実施	・配備について検討する	・追加配備はない。水防倉庫の資機材の確認を 実施した。	- 引き続き、水防倉庫の資機材の点検を実施する。
■ 排水活動の強化に関する取組 ・排水ポンブ車の操作講習会、出動要請の連絡体 制の周知	引き続き 毎年実施	・継続して訓練参加を職員に対して周知する。	・常陸河川国道事務所が実施する排水ポンプ車の操作講習会に市河川課職員2名が参加した。	-継続して同訓練参加を職員に対して促す。
・逸げ遅れゼロ等に寄与する排水ポンプ車の活用計画	平成28年度 から実施	・常陸河川国道事務所から情報提供の依頼が あった際に協力する	・河川事務所から要請があれば、基礎データ等の情報を提供する。	・河川事務所から要請があれば、基礎データ等 の情報を提供する

1)ハード対策の主な取組  ■ 氾濫を未然に防ぐ対策  《久慈川〉 ・優先的に実施する流下能力向上対策、浸透・パインが対策  〈那珂川〉 ・優先的に実施する流下能力向上対策、浸透・パイピング対策  〈那珂川〉 ・優防天端の保護 ・堤防天端の保護 ・堤防天端の保護 ・堤防天端の保護 ・堤防天端の保護 ・堤防天端の保護 ・堤防天端の保護 ・堤防天端の保護 ・地防天端の保護 ・地防天流の補強	R元(H31)年度】
現場の表現   東始級果(H30年度] 東始級果(H30年度]    取組内容(F   100年度]    取組内容(F   100年度]    取組内容(F   100年度]    取組内容(F   100年度]    取組内容(F   100年度]    取組内容(F   100年度)    取組内容(F   100年度)	
2012年末期に対対策   国連記を未開に対対策   (元月川)	
■正監を兼計が対策  「次長川、実施する流下能力向上対策、浸透・パ (で大田川) ・優大的に実施する流下能力向上対策、浸透・パ (で大田川) ・優大的に実施する流下能力向上対策、浸透・パ (で大田川) ・優大的に実施する流下能力の選集 ・選別表法別の特徴 ・選別表法別の特徴 ・選別表別の時間 ・選問者が、形式設置に書き基盤等の整備 ・開業・水位等の配割データ及び決決時の状況を お選出で、元素別のの選集 ・選別表が成の時間 ・現間する、水の混乱の整備 ・現では今の選別である。 ・現のよりなの活動である。 ・現のよりなのの場合 ・である情報に選手技の適加整備もしくは検討 ・不応活動を支援するための水筋資機料等の影像 ・水防汚動を支援するための水筋資機料等の影像 ・水防汚動を支援するための水筋資機料等の影像 ・液が実施 ・水防汚動を支援するための水筋資機料等の影像 ・海水楽施 ・満路水位計や量水槽、CCTVカメラの設置 ・運送を表別の時点とは受験者を表わめの施設・実施 が必要 ・通路水位計や量水槽、CCTVカメラの設置 ・変形を表して実施を表別の構成を表別が、 ・水佐予測の構成向上検討 ・水佐予測の構成向上検討 ・水佐予測の構成向上検討 ・水佐予測の構成向上検討 ・水佐予測の構成向上検討 ・水佐予測の構成向上検討 ・水佐予測の構成向上検討 ・水佐予測の構成向上検討 ・水佐予測の構成においても、実施が表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表	された戸別受信機の無償
(次及前) (本統治) (本统治) (本统	された戸別受信機の無償
平成22年度 ・	された戸別受信機の無償
(・高知川)	された戸別受信機の無償
近点などの対象   一型の変更を受けている。	された戸別受信機の無償
「次人部	された戸別受信機の無償
場所	された戸別受信機の無償
・場所表現の研究 (- 第3月11)	された戸別受信機の無償
・・場所表表成の経済  ■ 超新行動、水防活動に資する基盤等の整備  ・・高型、水位の製剤データ及び洪水等の状況を  ・である信頼伝達手段の追加整備もしくは検討  ・・である信頼伝達手段の追加整備もしくは検討  ・・水防活動を支援するための水防資機材等の配理  ・・水防活動を支援するための水防資機材等の配理  ・・水防活動を支援するための水防資機材等の配理  ・・水防活動を支援するための水防資機材等の配理  ・・水防活動を支援するための水防資機材等の配理  ・・水防活動を支援するための水防資機材等の配理  ・・水防活動を支援するための水防資機材等の配理  ・・水防活動を支援するための水防資機材等の配理  ・・水放発機が含含む)  ・・平成28年度から  ・・耐易水位計や重水様、CCTVカゲラの設置  ・・平成28年度から  ・・耐易水位計や重水様、CCTVカゲラの設置  ・・平成28年度から  ・・耐易水位計や重水様、CCTVカゲラの設置  ・・平成28年度から  ・・耐易水位計で多数を装置等の耐水化(庁舎、 ・・現28年度から ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	された戸別受信機の無償
・・	された戸別受信機の無償
雨量・水位等の観測データ及び非水時の状況を   平成28年度 から実施   お当なし   平成28年度 から実施   ・・さらなる情報伝達手段の追加整備もしくは検討   ・・デジタル化された戸別受信機の無償貿与制   ・・デジタル化された戸別受信機の無償貿与を   ・・デジタル化された戸別受信機の無償貿与を   ・・デジタル化された戸別受信機の無償貿与を   ・・デジタル化された戸別受信機の無償貿与を   ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	された戸別受信機の無償
把握・伝達するための基盤の整備	された戸別受信機の無償
平成28年度から実施 - さらなる情報伝達手段の追加整備もしくは検討 - できるなる情報伝達手段の追加整備もしくは検討 - でデンタル化された戸別受信機の無償資与間 - デジタル化された戸別受信機の無償資与を 行った。 - でデンタル化された戸別受信機の無償資与を 行った。 - で見る年度から 原次実施 - で成28年度 から実施 - で成28年度から 原次実施 - で成28年度 から実施 - では、アードマップの 経過していて、アードマップの 経過していて、アードマップの 経過していて、アードマップの を変える大規を同時間による深入が必要を対象を開催していて、アードマップの を変える大規を開催した。では、アードマップの を変える大規を開催した。「アードマップの 経過していて、アードマップの 経過していて、アードマップの 経過していて、アードマップの 経過していて、アードマップの を変えるといて、アードマップの アードマップの ・ では、アードマップの ・ では、アードマッグを表している。 ・ では、アードマッグを表している。 ・ では、アードマップの ・ では、アードでは、	された戸別受信機の無償
・さらなる情報伝達手段の追加整備もしくは検討  ・	された戸別受信機の無償
中成28年度から順次実施	された戸別受信機の無償
# 成28年度から 順次実施	された戸別受信機の無償
平成28年度から 「水防活動を支援するための水防資機材等の配偶 「新技術を活用した水防資機材を含む) ・簡易水位計や量水標、CCTVカメラの設置 ・液水時においても災害対応を継続するための施 設の整備及び自家発電装置等の耐水化(庁舎、 要配施施設、超難所等) ・水位予測の精度向上検討 ■型定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮したハザードマップの ・透定最大規模の降雨による浸水想定区域で、 ・選覧上最大規模の降雨による浸水想定区域で、 ・運動と最大規模の降雨による浸水想定区域で、 ・「地で、上で、上で、一で、ファブの ・「地で、上で、上で、上で、ファブの ・「地で、上で、上で、ファブの ・「地で、上で、ファブの ・「地で、上で、ファブの ・「地で、上で、ファブの ・「地で、上で、ファブの ・「地で、上で、ファブの ・「地で、上で、ファブの ・「地で、上で、ファブの ・「地で、上で、ファブの ・「地で、上で、ファブの ・「地で、上で、ファブの ・「地で、上で、ファブの ・「地で、上で、ファブの ・「地で、上で、ファブの ・「地で、上で、ファブの ・「地で、コードで、ファブの ・「地で、上で、ファブの ・「地で、上で、ファブの ・「地で、上で、ファブの ・「地で、コード、ファブの ・「地で、コード、ファブの ・「地で、コード、ファブの ・「地で、コード、ファブの ・「地で、コード、ファブの ・「地で、コード、ファブの ・「地で、コード、ファブの ・「地で、コード、ファブの ・「地で、コード、ファブの ・「地で、コード、ファブの ・「地で、コード、ファブの ・「地で、コード、ファブの ・「地で、コード、ファブの ・「・ファブの ・「地で、コード、ファブの ・「・ファブの ・「地で、コード、ファブの ・「地で、コード、ファブの ・「・ファブの ・「地で、コード、ファブの ・「・ファブの ・「・ファブの ・「・ファブの ・「・ファブの ・「・ファブの ・「・ファブの ・「地で、ファブの ・「・フ	
- 水防活動を支援するための水防資機材等の配備 (新技術を活用した水防資機材を含む) - 簡易水位計や量水標、CCTVカメラの設置 - 浸水時においても災害対応を継続するための施 設の整備及び自家発電装置等の耐水化(庁舎、 要配慮施設、避難所等) - 水位予測の精度向上検討 - 水位予測の精度向上検討 - 型定量大規模の降雨による浸水型で区域を考慮したハザードマップの - 型定量大規模の降雨による浸水型で区域を表慮したハザードマップの - 型度量大規模の降雨による浸水型で区域を表慮したハザードマップの - 型度量大規模の降雨による浸水型で区域を表慮したのサードで、 - ・ 型に量大規模の降雨による浸水型で区域を (高能利川) ス 感	
新技術を活用した水防資機材を含む)	
新技術を活用した水防資機材を含む)   中成28年度から 順次実施   該当なし   平成28年度 から実施   下級28年度 から実施   談当なし   平成28年度 から実施   談当なし   平成28年度 から実施   談当なし   平成28年度から 順次実施   談当なし   平成28年度から 順次実施   談当なし   平成28年度から 順次実施   談当なし   平成28年度から 順次実施   談当なし   平成28年度がら   「本位予測の精度向上検討   談当なし   平成28年度   下水位予測の精度向上検討   談当なし   平成28年度   下水位予測の精度向上検討   下水位予測の精度向上を設定したパザードマップの・認定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮したパザードマップの   「認定最大規模降雨による浸水想定区域図   「認定最大規模降雨による浸水浸水想定区域図   不成28年度   下成28年9月   平成28年度   下成28年度	
・簡易水位計や量水標、CCTVカメラの設置 ・簡易水位計や量水標、CCTVカメラの設置 ・一選水時においても災害対応を継続するための施設の整備及び自家発電装置等の耐水化(庁舎、要配慮施設、避難所等) ・水位予測の精度向上検討 ・水位予測の精度向上検討 ・水位予測の精度向上検討 ・製定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮したハザードマップの・・想定最大規模の降雨による浸水想定区域の、で、想定最大規模の降雨による浸水形定区域の、で、形で最大規模の降雨による浸水形定区域の、で、形で最大規模の降雨による浸水形である。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
・簡易水位計や量水標、CCTVカメラの設置   接当なし	
平成28年度 から実施  ・浸水時においても災害対応を継続するための施 設の整備及び自家発電装置等の耐水化(庁舎、 要配慮施設、避難所等)  ・水位予測の精度向上検討  ・水位予測の精度向上検討  ・水位予測の精度向上検討  ・水位予測の精度向上検討  ・水位予測の精度の上検討  ・水位予測の特度の上検討  ・水位予測の表する  ・水位予測の上検討  ・水位予測の表する  ・水位形の表する  ・水位形の表する  ・水位形の表する  ・水位形の表する  ・水位形の表する  ・水位形の表する  ・水位形の表する  ・水位形の表する  ・水位の表する  ・水位の表する  ・水位の表する  ・水位の表する  ・水位の表する  ・水位の表する  ・水位の表	
平成28年度 から実施  ・浸水時においても災害対応を継続するための施 設の整備及び自家発電装置等の耐水化(庁舎、 要配慮施設、避難所等)  ・水位予測の精度向上検討  ・水位予測の精度向上検討  ・水位予測の精度向上検討  ・水位予測の精度向上検討  ・水位予測の精度の上検討  ・水位予測の特度の上検討  ・水位予測の表する  ・水位予測の上検討  ・水位予測の表する  ・水位形の表する  ・水位形の表する  ・水位形の表する  ・水位形の表する  ・水位形の表する  ・水位形の表する  ・水位形の表する  ・水位形の表する  ・水位の表する  ・水位の表する  ・水位の表する  ・水位の表する  ・水位の表する  ・水位の表する  ・水位の表	
・浸水時においても災害対応を継続するための施設の整備及び自家発電装置等の耐水化(庁舎、要配慮施設、避難所等)  ・水位予測の精度向上検討  ・水位予測の精度向上検討  ■型定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮したハザードマップの・・・ 地元是大規模の降雨による浸水想定区域を考慮した・ハザードマップの・・ 地元最大規模検育による浸水利定区域の、	
・浸水時においても災害対応を継続するための施設の整備及び自家発電装置等の耐水化(庁舎、要配慮施設、避難所等)  ・水位予測の精度向上検討  ・水位予測の精度向上検討  ■型定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮したハザードマップの・・・ 地元是大規模の降雨による浸水想定区域を考慮した・ハザードマップの・・ 地元最大規模検育による浸水利定区域の、	
・浸水時においても災害対応を継続するための施設の整備及び自家発電装置等の耐水化(行舎、 要配慮施設、避難所等)  ・水位予測の精度向上検討  ・水位予測の精度向上検討  ・水位予測の精度向上検討  ■型定患大規模の際雨による浸水想定区域を考慮したハザードマップの「・	
設の整備及び自家発電装置等の耐水化(庁舎、 要配慮施設、避難所等)	
設の整備及び自家発電装置等の耐水化(庁舎、 要配慮施設、避難所等)	
・水位予測の精度向上検討   該当なし   平成28年度	
- 水位予測の精度向上検討  平成28年度    マ成28年度   下成28年度   下成28年度   下成28年度   下成28年度   下成28年度   下級28年度   下級28年度   下級28年9月   下成28年9月	
平成28年度  ■ 想定最大規模の際間による浸水想定区域を考慮したハザードマップの  「・ 想定最大規模の際間による浸水想定区域を考慮したハザードマップの  「・ 型を最大規模際面による浸水想定区域図  、	
平成28年度  2)ソフト対策の主な取組 ①遂げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行  ■ 想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮したハザードマップの ・ 現で最大規模(降雨による浸水想定区域区) ・ 別窓シミュレーションの公表 〈直轄河川〉	
2)ソフト対策の主な取組 ①逸げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行  ■ 想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮したハザードマップの  「・想定最大規模降雨による浸水想定区域図、	
2)ソフト対策の主な取組 ①逸げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行  ■ 想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮したハザードマップの  「・想定最大規模降雨による浸水想定区域図、	
■想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮したハザードマップの ・ 想定最大規模降隔による洪水浸水想定区域図、 氾濫シミュレーションの公表 〈直轄河川〉 久慈川・山田川・里川・那珂川・藤井川・桜川・涸沼川 〈県管理河川〉 ・ 平成29年度 から実施	
■想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮したハザードマップの   ・ 想定最大規模段降雨による浸水想定区域図、	
・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、 氾濫シミュレーションの公表 〈直轄河川〉 久慈川・山田川・里川・那珂川・藤井川・桜川・涸沼 川 〈県管理河川〉	
氾濫シミュレーションの公表 <直轄河川	
<直轄河川> 久慈川・田田川・里川・那珂川・藤井川・桜川・涸沼  川   <県管理河川>	
川   <県管理河川>	
平成29年度   <県管理河川> から実施	
・大規模水害時の相互協力に関する申し合わせ 協議会の中で相互協力に関する申し合わせ締 協議会の中で相互協力に関する申し合わせ締	
平成28年度 ・ 中成28年度	
・他地域の避難計画の策定・他地域の避難所にて対応予定であるため、策	
平成29年度 定の予定なし。 ・ 即物はかは大小、の対象がもった場合が生命に	
ー ドルスマチル から実施 ・ 「隣接自治体からの打診があった場合は策定に ついて検討する。	
・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮・平成29年度に作成した「防災ハンドブック・ハ・平成29年度に作成した「防災ハンドブック・ハ	
したハザードマップの作成・周知   <sub>  東京99年度から</sub>  ザードマップ」を使用して住民説明会を開催予  ザードマップ」を使用して住民説明会を開催し	
ト設置の是非について検討する。 「投資」	
平成28年度から 順次実施	
・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練 ・要配慮者のいる施設及び福祉担当課と意見交 ・要配慮者のいる施設及び福祉担当課と意見交 ・要配慮者のいる施設及び福祉担当課と意見交 ・引き続き要配慮者の	
十成29年及 Tuesday Tuesda	<b>りいる施設及び福祉担当課</b>
から実施 (1504年度・7	のいる施設及び福祉担当課 計画の策定を支援する。
・避難勧告等の判断・伝達マニュアルの見直し ・マニュアルの作成について検討する。 ・避難勧告等の判断・伝達マニュアルを作成し	Dいる施設及び福祉担当課 十画の策定を支援する。
■ 全球制 日子が刊前 仏建、ニエバルの Front では、アルバーは、アルが、アルバーは、アルバーは、アルバーは、アルバーは、アルバーは、アルバーは、アルバーは、アルバーは、アルバーは、アルバーは、アルが、アルバーは、アルバーは、アルバーは、アルバーは、アルバーは、アルバーは、アルバーは、アルバーは、アルバーは、アルバーは、アルが、アルバーは、アルバーは、アルバーは、アルバーは、アルバーは、アルバーは、アルバーは、アルバーは、アルバーは、アルバーは、アルが、アルバーは、アルバーは、アルバーは、アルバーは、アルバーは、アルバーは、アルバーは、アルバーは、アルバーは、アルバーは、アルドは、アルバーは、アルが、アルは、アルバーは、アルバーは、アルバーは、アルバーは、アルバーは、アルバーは、アルが、アルが、アルは、アルが、アルが、アルは、アルが、アルが、アルは、アルが、アルが、アルは、アルが、アルが、アルは、アルが、アルが、アルは、アルが、アルが、アルは、アルが、アルが、アルは、アルが、アルが、アルは、アルが、アルが、アルは、アルが、アルが、アルは、アルが、アルが、アルは、アルが、アルは、アルは、アルが、アルが、アルは、アルが、アルが、アルは、アルが、アルが、アルは、アルが、アルが、アルは、アルが、アルが、アルは、アルが、アルが、アルは、アルが、アルが、アルは、アルは、アルが、アルは、アルは、アルは、アルは、アルは、アルが、アルは、アルは、アルは、アルは、アルは、アルは、アルは、アルは、アルは、アルは	DLNる施設及び福祉担当課 計画の策定を支援する。
「「大阪の中央から   「関文楽師	Dいる施設及び福祉担当課 計画の策定を支援する。
	Dいる施設及び福祉担当課 計画の策定を支援する。
・対象地区全住民への確実な情報伝達方法の確	計画の策定を支援する。
平成28年度から どについても検討する。 どについても検討する。	計画の策定を支援する。 機により情報伝達をすること
	計画の策定を支援する。 線により情報伝達をすること における連絡網の作成な
順次実施	計画の策定を支援する。 線により情報伝達をすること における連絡網の作成な
順次実施	計画の策定を支援する。 機により情報伝達をすること における連絡網の作成な る。
・自主防災組織結成に向けての地区懇談会を開 ・自主防災組織結成に向けての地区懇談会を開 ・引き続き自主防災組織 催予定。 ・	計画の策定を支援する。 機により情報伝達をすること における連絡網の作成な る。
順次実施  ・自助、共助を目指した自主防災組織の充実  ・自主防災組織結成に向けての地区懇談会を開催した。  ・中成28年度  ・自主防災組織結成に向けての地区懇談会を開催した。  ・可き続き自主防災組織結成に向けての地区懇談会を開催した。	計画の策定を支援する。 機により情報伝達をすること における連絡網の作成な る。
・自主防災組織結成に向けての地区懇談会を開 ・自主防災組織結成に向けての地区懇談会を開 ・引き続き自主防災組織 催予定。 ・	計画の策定を支援する。 機により情報伝達をすること における連絡網の作成な る。
順次実施 ・自助、共助を目指した自主防災組織の充実 ・自主防災組織結成に向けての地区懇談会を開・自主防災組織結成に向けての地区懇談会を開作予定。 ・ア成28年度 から実施 ・自主防災組織結成に向けての地区懇談会を開催予定。 ・引き続き自主防災組織 権した。	計画の策定を支援する。 織により情報伝達をすること における連絡網の作成な る。 組織結成に向けての地区懇
・自動、共助を目指した自主防災組織の充実  ・自主防災組織結成に向けての地区懇談会を開・自主防災組織結成に向けての地区懇談会を開・引き続き自主防災組織 値予定。  平成28年度 から実施  ・過去防災組織結成に向けての地区懇談会を開・引き続き自主防災組織 値した。  ・選難誘導員の安全対策、待避等を踏まえた避難 ・安全対策・待避等を踏まえたマニュアルの整・安全対策・待避等を踏まえたマニュアルの整・安全対策・行政を持ちせて、アルの変	計画の策定を支援する。 機により情報伝達をすること における連絡網の作成な る。 組織結成に向けての地区懸 待避等を踏まえたマニュア
・自主防災組織結成に向けての地区懇談会を開・自主防災組織結成に向けての地区懇談会を開・引き続き自主防災組織結成に向けての地区懇談会を開・引き続き自主防災組織をを開催予定。  ・遊雑誘導員の安全対策、待選等を踏まえた避難 ・安全対策・待選等を踏まえたマニュアルの整・・安全対策・待選等を踏まえたマニュアルの整・・引き続き安全対策・	計画の策定を支援する。 機により情報伝達をすること における連絡網の作成な る。 組織結成に向けての地区懸 待避等を踏まえたマニュア

〇概ね5年で実施する取組				
具体的な取組の柱 事 項	目標時期		実施する機関 常 <b>陸大宮市</b>	
具体的取組	디카막케	取組予定【H30年度】	実施結果【H30年度】	取組内容【R元(H31)年度】
2)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅	l速かつ的確な避難?			
<ul><li>■ 避難勧告発令に着目したタイムラインの作成</li><li>・ 避難勧告の発令に着目したタイムラインの作成</li></ul>	平成28年度から 順次実施	・タイムラインの作成検討 【H30年度】	・避難勧告の発令に着目したタイムラインを作製 した。	
- タイムラインに基づく首長等も参加した実践的な 訓練	平成28年度から 順次実施	・実践的な訓練を実施するか検討	・引き続き実践的な訓練を実施するか検討	・引き続き実践的な訓練を実施するか検討
・気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善(水書時の情報入手のし易さをサポート)	平成29年度 出水期から実施	該当なし		
	田水朔がう天池			
■防災教育や防災知識の普及				
・水災害の事前準備に関する問い合わせ窓口の 設置	平成28年度 から実施	防災担当課で対応	防災担当課で対応	防災担当課で対応
- 水防災に関する説明会等の開催	平成28年度から 順次実施	- 久慈川・那珂川水系を対象に実施済み [H28年度]	- 久慈川・那珂川水系を対象に実施済み [H28年度]	- 久慈川・那珂川水系を対象に実施済み 【H28年度】
・教員を対象とした講習会の実施	平成28年度から 順次実施	<ul><li>市教育員会と実施検討。</li></ul>	<ul><li>市教育員会と実施検討。</li></ul>	<ul><li>市教育員会と実施検討。</li></ul>
・小学生を対象とした防災教育の実施	平成28年度から 順次実施	・市教育員会と実施検討。	・市教育員会と実施検討。	・市教育員会と実施検討。
・出前講座等を活用した講習会の実施	平成28年度 から実施	該当なし		
- プッシュ型の洪水予報等の情報発信	平成28年度から 順次実施	該当なし		
・水位計やライブカメラの情報をリアルタイムで提供 供	平成28年度 から実施	該当なし		
(2)ソフト対策の主な取組 ②避難時間の確保のための ■より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強				
・水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練の 実施	- 平成28年度 から実施	・無線や携帯電話、メールなどを活用し情報伝達 手段を確保している。	・無線や携帯電話、メールなどを活用し情報伝達 手段を確保している。	・無線や携帯電話、メールなどを活用し情報伝送 手段を確保している。
・水防団同士の連絡体制の確保	平成28年度から 順次実施	・無線や携帯電話、メールなどを活用し情報伝達 手段を確保している。	・無線や携帯電話、メールなどを活用し情報伝達 手段を確保している。	・無線や携帯電話、メールなどを活用し情報伝送 手段を確保している。
・水防団や地域住民が参加する洪水に対しリスクが高い区間の共同点検	引き続き 毎年実施	・毎年、河川事務所が実施する重要水防箇所等 の共同点検に参加	・毎年、河川事務所が実施する重要水防箇所等 の共同点検に参加	・毎年、河川事務所が実施する重要水防箇所等 の共同点検に参加
・水防訓練の実施	引き続き 毎年実施 平成28年度から 順次実施	・市防災訓練において実施予定。	・市防災訓練において実施した。	・市防災訓練において実施予定。
・水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・指定を促進	引き続き 毎年実施	<ul><li>・消防団を水防団に指定し活動している。</li><li>・水防協力団体の募集について検討する。</li><li>【H29年度~】</li></ul>	・消防団を水防団に指定し活動している。 ・水防協力団体の募集について検討する。 【H29年度~】	<ul><li>・消防団を水防団に指定し活動している。</li><li>・水防協力団体の募集について検討する。</li><li>【H29年度~】</li></ul>
- 水防団員の待避等判断指標の作成	平成28年度から 順次実施	・マニュアル等でルール化を検討する。 【H29年度~】	・マニュアル等でルール化を検討する。 【H29年度~】	・マニュアル等でルール化を検討する。 【H29年度~】
・水防団員の安全装備の徹底(水防法第7条)	平成28年度から 順次実施	・河川を管轄している水防団へ救命胴衣を配備 している.	・河川を管轄している水防団へ救命胴衣を配備 している.	・河川を管轄している水防団へ救命胴衣を配備 している。
■排水活動の強化に関する取組 ・排水ボンブ車の操作講習会、出動要請の連絡体 制の周知	引き続き 毎年実施	・河川事務所が実施する排水ポンプ車の操作訓練に参加 【H28年5月~毎年】	・河川事務所が実施する排水ポンプ車の操作訓練に参加 【H28年5月~毎年】	・河川事務所が実施する排水ポンプ車の操作訓練に参加 【H28年5月~毎年】
- 逃げ遅れゼロ等に寄与する排水ポンプ車の活用 計画	平成28年度 から実施	・河川事務所へ基礎データ等の情報提供 【H28年度~】	・河川事務所へ基礎データ等の情報提供 【H28年度~】	・河川事務所へ基礎データ等の情報提供 【H28年度~】

〇概ね5年で実施する取組				
具体的な取組の柱			実施する機関	
事項	目標時期	7-47 7-51 100 5-51	那珂市	T-07-1-7-1-7-1-7-1
具体的取組		取組予定【H30年度】	実施結果【H30年度】	取組内容【R元(H31)年度】
)ハード対策の主な取組 ■氾濫を未然に防ぐ対策				
< 久慈川>		該当なし	_	-
・優先的に実施する流下能力向上対策、浸透・パ				
イピング対策 <那珂川>	平成32年度			
・優先的に実施する流下能力向上対策、浸透・パ				
イピング対策 ■ た機管理制 い いせき				
■危機管理型ハード対策   <久慈川>		該当なし	-	-
・堤防天端の保護		B = 30		
・堤防裏法尻の補強  <那珂川>	平成32年度			
・堤防天端の保護				
・堤防裏法尻の補強				
■避難行動、水防活動に資する基盤等の整備				
・雨量・水位等の観測データ及び洪水時の状況を 把握・伝達するための基盤の整備		該当なし	-	-
TOM INC. TO TO TO THE INC.	平成28年度			
	から実施			
・さらなる情報伝達手段の追加整備もしくは検討		・防災行政無線のデジタル化に伴い、新たな情	・防災情報無線のデジタル移行に伴い、新たな	・継続実施。
		報伝達手段について検討中。	伝達手段としてアプリの検討や屋外拡声子局の	
	平成28年度から 順次実施		冠水対策を検討。	
	順久天池			
・水防活動を支援するための水防資機材等の配備 (新技術を活用した水防資機材を含む)		・既存の配備で対応予定。	・既存の資機材で対応。	・既存の資機材で対応予定。
(利は例を泊用した水の質域物を含む)	平成28年度から			
	順次実施			
・簡易水位計や量水標、CCTVカメラの設置		該当なし	_	_
THE TOTAL PROPERTY OF THE PARTY				
	平成28年度			
	から実施			
・浸水時においても災害対応を継続するための施		・浸水想定区域内に取組対象の施設なし。	_	_
設の整備及び自家発電装置等の耐水化(庁舎、  要配慮施設、避難所等)	平成28年度から			
SHOWER PERSON OF	平成28年度から 順次実施			
・セクス別の独在ウェヤ計		=+ \(\mu + \cdot\)		
・水位予測の精度向上検討		該当なし	_	_
	平成28年度			
	十成28年及			
)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迂	速かつ的確な避難			
■想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮し				
・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、		該当なし	-	-
氾濫シミュレーションの公表 <直轄河川>	平成28年9月			
久慈川・山田川・里川・那珂川・藤井川・桜川・涸沼	1 /2/20 - 071			
Ш	平成29年度			
<県管理河川>	から実施			
・大規模水害時の相互協力に関する申し合わせ		・協議会の中で相互協力に関する申し合わせを H28年度末に締結	_	_
	平成28年度	[P20 牛皮木] 二种和		
・広域避難計画の策定		・隣接自治体からの打診があった場合は策定に	<ul><li>・浸水想定区域内に避難所はあるが市内避難所</li></ul>	- 隣接自治体からの打診があった場合は策定に
四级起程们自00米是	平成29年度	ついて検討する。	で対応可能のため、策定の予定なし。	ついて検討する。
	から実施			
・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮		<ul><li>・年度当初に市内全世帯に配布完了予定。</li></ul>	・市内全世帯に配布済み。	-
したハザードマップの作成・周知	平成28年度から			
	順次実施			
・まるごとまちごとハーザドマップ整備・拡充につい		・避難所看板の修繕完了後に電柱への想定浸	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	  ・電柱広告等を活用し想定浸水深の表示を検討
て検討	平成28年度から	水深の表示等を検討。	市地域員際空電社広告で忠定浸水沫の表示を検討したが、実施する企業なし。	する。
	平成28年度から 順次実施			
	70(71)(11)			
<ul><li>要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練</li></ul>		-	-	-
の促進	平成29年度			
	から実施			
		- 地域性≪社家にウルテンローン事にたけっます	- 地域吐火シネの目内   ナウザ	. カボによいて神様叶のミネッタネしょいごと
・避難勧告等の判断・伝達マニュアルの見直し		・・地域防災計画に定めており、必要に応じて見直 していく。	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・必要に応じて地域防災計画の見直しを検討する。
	平成28年度から 順次実施			
	ベヘズル			
・対象地区全住民への確実な情報伝達方法の確		・防災務行政無線のデジタル移行に伴い、新た	・防災情報無線のデジタル移行に伴い、確実な	・継続実施。
立(自治体未加入世帯、高齢者、外国人等)	平成28年度から	な伝達手段を検討する。	情報伝達方法としてアプリの検討や屋外拡声子	
	平成28年度から 順次実施		局の冠水対策を検討。	
	12400			
・自助、共助を目指した自主防災組織の充実		・引き続き自主防災組織の結成促進をはかって	・H30年度 4自治会で自主防災組織新規結成。	・主体的に行動が出来るよう自主防災組織の訓
ニー・ハッとロコンにロエ例入れ様のルス		いくほか、地区在住防災士との連携を目指す。	・自主防災組織活動事業費補助金の交付。	練等を支援。
	平成28年度 から実施			
	ル·ラ夫心			
・避難誘導員の安全対策、待避等を踏まえた避難		・引き続き検討を進めていく。	· 引き続き検討。	・引き続き検討を進めていく。
・ 避難誘導貝の女王対束、 行起寺を踏まえた避難 誘導マニュアルの整備	亚世20年中	コピヤルで1天口1で、進の人しい。	コピ物に対象が。	コピ物にて1天日1 と 進め しいへ。
	平成29年度 から実施			
	> 1,00			

〇概ね5年で実施する取組				
具体的な取組の柱	目標時期		実施する機関	
事 項 具体的取組	日保吁册	取組予定【H30年度】	<b>那珂市</b> 実施結果【H30年度】	取組内容【R元(H31)年度】
2)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迂	速かつ的確な避難行		X, ESTANZE TOO TOO	PARTY DE COOK TO TO THE STATE OF THE STATE O
■避難勧告発令に着目したタイムラインの作成		714644 (6-51-41) -10-5147-7	- / - / - / - / - / - / - / - / - / - /	71444 (6-8-4-1-46-147-7
・避難勧告の発令に着目したタイムラインの作成	平成28年度から 順次実施	・引き続き、作成に向けて検討を行う。	・タイムラインの作成検討。	・引き続き、作成に向けて検討を行う。
・タイムラインに基づく首長等も参加した実践的な 訓練	平成28年度から	・タイムライン作成が完了次第、訓練を検討する。	-	・タイムライン作成が完了次第、訓練を検討する。
・ 気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級	順次実施	該当なし		
の現象」等の改善(水害時の情報入手のし易さを サポート)	平成29年度 出水期から実施	BA-760		
■防災教育や防災知識の普及 ・水災害の事前準備に関する問い合わせ窓口の		・住民からの要望や意見等を踏まえながら設置	・防災担当課で対応。	・防災担当課で対応。
設置	平成28年度 から実施	検討していく	「脚処担当除く対心。	
・水防災に関する説明会等の開催	平成28年度から	・その他の自治会においても実施検討する。	- 未実施。	・実施について検討する。
	順次実施			
- 教員を対象とした講習会の実施	平成28年度から 順次実施	- 引き続き教育委員会と協議していく。	- 未実施。	- 要望があれば、常陸河川や県と協議し実施する。
・小学生を対象とした防災教育の実施	平成28年度から 順次実施	・引き続き教育委員会と協議していく。	•未実施。	・要望があれば、常陸河川や県と協議し実施する。
・出前講座等を活用した講習会の実施		・地域からの要望等あれば実施する。	•未実施。	・要望があれば、常陸河川や県と協議し実施す
田が時任守されかける時日本の大部	平成28年度 から実施	では水がつい女主守のA いる大肥する。	· 木大肥。	を主が切れる、市性川川で木に頭頭し大肥する。
- ブッシュ型の洪水予報等の情報発信	平成28年度から 順次実施	該当なし	_	_
・水位計やライブカメラの情報をリアルタイムで提供	平成28年度 から実施	該当なし	-	-
2)ソフト対策の主な取組 ②避難時間の確保のための				
■より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化 ・水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練の 実施	で 平成28年度 から実施	・既に伝達手法を確保している。	・連絡体制の強化検討。	・連絡体制強化のためIP無線を配布予定。
・水防団同士の連絡体制の確保	平成28年度から 順次実施	・既に確保出来でいる。	・連絡体制の強化検討。	・連絡体制強化のためIP無線を配布予定。
・水防団や地域住民が参加する洪水に対しリスク が高い区間の共同点検	引き続き 毎年実施	・H30年度においても河川事務所が実施する重要水防箇所等の共同点検に参加予定。	・河川事務所が実施する重要水防箇所等の共同 点検に参加。	・H31年度においても河川事務所が実施する重要水防箇所等の共同点検に参加予定。
・水防訓練の実施	引き続き 毎年実施 平成28年度から 順次実施	・毎年開催している久慈川水系連合水防訓練に 参加予定。	・毎年開催している久慈川水系連合水防訓練に参加。	・毎年開催している久慈川水系連合水防訓練に 参加予定。
・水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・ 指定を促進	引き続き 毎年実施	・引き続き市内の公共施設にポスター掲示や、市ホームページ及び広報誌に掲載し、消防団(水防団)の募集を実施。	・引き続き市内の公共施設にポスター掲示や、市ホームページ及び広報誌に掲載し、消防団(水防団)の募集を実施。	・引き続き市内の公共施設にポスター掲示や、市ホームページ及び広報誌に掲載し、消防団(水防団)の募集を実施。
・水防団員の待避等判断指標の作成	平成28年度から 順次実施	- 引き続き協議・検討中。	- 引き続き協議・検討中。	・マニュアル等でルール化について検討。
・水防団員の安全装備の徹底(水防法第7条)	平成28年度から 順次実施	・河川を管轄している水防団へ救命胴衣を配 備。	- 既配備のもので対応。	- 既配備のもので対応予定。
■排水活動の強化に関する取組				
・排水ポンプ車の操作講習会、出動要請の連絡体 制の周知	引き続き 毎年実施	•協議•検討中	・訓練参加を関係課に対して周知。	・H30年度は参加できなかったため、河川事務 所が実施する排水ポンプ車の操作訓練に参加を 検討する。
・遂げ遅れゼロ等に寄与する排水ポンプ車の活用 計画	平成28年度 から実施	・河川事務所から要請があれば、基礎データ等 の情報を提供。	-	-
Ш		I .	I	I

最ね5年で実施する取組				
具体的な取組の柱	C) 45 n+ #0		実施する機関	
事 項 具体的取組	目標時期	取組予定【H30年度】	<b>茨城町</b> 実施結果[H30年度]	取組内容【R元(H31)年度】
1)ハード対策の主な取組		取租予足[H30年度]	美胞稻来 [FISO年度]	取組內容[R元(FIST)年度]
■氾濫を未然に防ぐ対策				
<久慈川>		該当なし	-	-
・優先的に実施する流下能力向上対策、浸透・パイピング対策				
<那珂川>	平成32年度			
・優先的に実施する流下能力向上対策、浸透・パ   イピング対策				
■危機管理型ハード対策				
<久慈川>		該当なし	-	-
・堤防天端の保護   ・堤防裏法尻の補強	TI # 00 /F #			
<那珂川>  ・堤防天端の保護	平成32年度			
・堤防裏法尻の補強				
■避難行動、水防活動に資する基盤等の整備				
・雨量・水位等の観測データ及び洪水時の状況を 把握・伝達するための基盤の整備		該当なし	-	-
16世 は足りのための基盤の正備	平成28年度			
	から実施			
・さらなる情報伝達手段の追加整備もしくは検討		平成29年度からの継続事業である。公衆無線	公衆無線LAN環境整備支援事業を活用して	平成29年度から平成34年度までの6ヵ年かけ
	平成28年度から	LAN環境整備支援事業を今年度も実施し、避難 所及び公園等にアクセスポイントを設置。	平成29年度から30年度の2ヵ年で、指定避難所、 公園等にアクセスポイントを20ヶ所整備した。災	て, 防災行政無線のデジタル化更新事業を実施 しており, これらを利用し, 防災メールの配信を
	順次実施	made and great participations	害時及び平時から情報が可能となる。運用開始	検討する。
			は, 平成31年4月1日。	
・水防活動を支援するための水防資機材等の配備		土のう作成器具の習熟訓練等を行い、作成する	新たな水防資機材の配備の可能性について検	新たな水防資機材の配備の可能性について検
(新技術を活用した水防資機材を含む)		際の作業時間軽減を図る。	討したが、導入までには至らなかった。	討する。
	平成28年度から 順次実施			
	順久天池			
<b>笠見むは引き見む原 00カはての記案</b>		=+ 1/4 +>1		
・簡易水位計や量水標、CCTVカメラの設置		該当なし	_	_
	平成28年度			
	から実施			
・浸水時においても災害対応を継続するための施 設の整備及び自家発電装置等の耐水化(庁舎、		該当なし	-	-
要配慮施設、避難所等)	平成28年度から			
	順次実施			
・水位予測の精度向上検討		該当なし	-	-
	平成28年度			
 2)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迂	速かつ的確な避難			
■想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮し				
・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、		該当なし	-	-
氾濫シミュレーションの公表   <直轄河川>	平成28年9月			
久慈川・山田川・里川・那珂川・藤井川・桜川・涸沼				
ות	平成29年度			
	から実施			
・大規模水害時の相互協力に関する申し合わせ		・協議会の中で相互協力に関する申し合わせを	・協議会の中で相互協力に関する申し合わせを	・協議会の中で相互協力に関する申し合わせを
7 7,500		H28年度末に締結済み	H28年度末に締結済み	H28年度末に締結済み
	平成28年度			
<b>大学等等于不必然</b> 点		. 浸水相中区域内上长空隙燃花4、 土土 田辺	・浸水想定区域内に指定避難所なし。また、周辺	温水相中区域内, 化中海燃花丸, 土土 用油
・広域避難計画の策定	TI # 00 /F #	・浸水想定区域内に指定避難所なし。また,周辺 自治体からの打診があれば検討する。	自治体からの打診があれば検討する。	・浸水想定区域内に指定避難所なし。また,周辺 自治体からの打診があれば検討する。
	平成29年度 から実施			
・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮 したハザードマップの作成・周知		洪水ハザードマップの作成。国営河川及び県河 川の浸水規定区域を盛り込んだマップの作成を	国営河川及び県河川の浸水想定区域を盛り込 んだ洪水ハザードマップの作成。	平成30年度作成した洪水ハザードマップについて、浸水想定区域である地域へ平成31年6月下
したパリードマックの行列の一両人	平成28年度から 順次実施	行い、浸水想定区域内の住民へ配布する。	のに展示パリードマラクの1F成。	旬に配布予定。
	順久失応			
・まるごとまちごとハーザドマップ整備・拡充につい			地域貢献型電柱広告協定を、民間企業と協定を	
て検討	平成28年度から	平成29年度末に締結した。今後表示看板の設置 が見込まれる。	平成29年度末に締結したが、今年度の設置実績 はなかった。	今後の看板設置に関する意見交換の場を設けるなど検討する。
	順次実施	13 JEE 540 0 8	16.67 5/20	
・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練		該当なし	_	_
の促進	平成29年度	N = 4C		
	十成29年度 から実施			
STATE OF THE PROPERTY OF THE P				
・避難勧告等の判断・伝達マニュアルの見直し		マニュアルの作成を検討中(平成29年度~)	マニュアルの作成を検討中(平成29年度~)	マニュアルの作成を検討中(平成29年度~)
	平成28年度から 順次実施			
	PR. 71.75 III			
・対象地区全住民への確実な情報伝達方法の確		今年度作成するハザードマップの配布時期に合	現在洪水ハザードマップの作成中であるため、	平成30年度作成した洪水ハザードマップを活用
立(自治体未加入世帯、高齢者、外国人等)	平成28年度から	わせて地元区長等と協議を検討。	協議できなかった。	した、浸水想定地域での説明会を検討。
	順次実施			
・自助、共助を目指した自主防災組織の充実		県が主催する自主防災組織リーダー研修会の 参加啓発を全区長に配布を実施。次年度も区長	町内において、浸水想定区域内にすでに組織 化している自主防災組織のさらなる充実に向け	町内において、浸水想定区域内にすでに組織 化している自主防災組織のさらなる充実に向け
	平成28年度	会時にパンフレット等を配布し結成の促進を図	て内部検討を実施。	て引き続き検討を実施。
	から実施	<b>a</b> .		
VIA STATE OF THE ACT O		ch A + I Mr. 44 WARM 1 CT   T	ch A +1 Mr. /4 White to Division	ch A +1 Mr. (dr. 100 Mr. 1 Ch.
・避難誘導員の安全対策、待避等を踏まえた避難 誘導マニュアルの整備		安全対策・待避等を踏まえたマニュアルの整備・ 充実の検討(平成29年度~)	安全対策・待避等を踏まえたマニュアルの整備・ 充実の検討(平成29年度~)	安全対策・待避等を踏まえたマニュアルの整備・ 充実の検討(平成29年度~)
	平成29年度 から実施			
	7 J			
*		•	•	•

の概ね5年で実施する取組 具体的な取組の柱			実施する機関	
耳 項	目標時期	T-40 T - 1-1-1-1-1-1	茨城町	T-40-1-7-1-1
具体的取組 ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅	速かつ的確な避難	取組予定【H30年度】	実施結果【H30年度】	取組内容【R元(H31)年度】
■避難勧告発令に着目したタイムラインの作成	ZES PRINCE OF ZEEZE I			
・避難勧告の発令に着目したタイムラインの作成	平成28年度から 順次実施	今年度ハザードマップ作成の際に、タイムライン も作成する予定。	平成30年度作成している洪水ハザードマップの 作成にあわせて、ハザードマップに掲載する住民 向けのタイムラインとあわせて自治体側のタイム ラインについて作成した。	作成したタイムラインについて、今後さまざまな 期間と意見交換を行いながら、平成30年度作 した内容をさらに充実させることを検討する。
・タイムラインに基づく首長等も参加した実践的な 訓練	Tidoo Frita Lo	引き続き訓練の検討をする。	引き続き訓練の検討をする。	引き続き訓練の検討をする。
	平成28年度から 順次実施			
- 気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級 の現象」等の改善(水害時の情報人手のし易さを サポート)	平成29年度 出水期から実施	該当なし	-	-
■防災教育や防災知識の普及		問いるな世際日の記案について検討由 (立古	問い合わせ窓口の設置について検討中。(平成	明い合か共衆日の記墨について拾計中 / 平月
・水災害の事前準備に関する問い合わせ窓口の 設置	平成28年度 から実施	旧い合わせ心口の改画に プル・(検討中。(平成28年~)	旧い合わせ心口の改画にプル・(快計中。(平成28年~)	同い合わせ於日の故画に「Jいて快計中。(平成 28年~)
- 水防災に関する説明会等の開催	平成28年度から 順次実施	ハザードマップ作成時に説明会など開催を計画。	現在洪水ハザードマップの作成中であるため、 実施できなかった。	平成30年度作成した洪水ハザードマップを活用 した、浸水想定地域での説明会を検討。
・教員を対象とした講習会の実施	平成28年度から 順次実施	教育委員会と協議検討する。	教育委員会と協議検討する。	教育委員会と協議検討する。
・小学生を対象とした防災教育の実施	平成28年度から 順次実施	教育委員会と協議検討する。	教育委員会と協議検討する。	教育委員会と協議検討する。
・出前講座等を活用した講習会の実施	平成28年度 から実施	該当なし	-	-
・ブッシュ型の洪水予報等の情報発信	平成28年度から 順次実施	該当なし	-	-
・水位計やライブカメラの情報をリアルタイムで提供	平成28年度 から実施	該当なし	-	-
ソフト対策の主な取組 ②避難時間の確保のための				
■より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化 ・水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練の 実施	で 平成28年度 から実施	携帯電話、無線、防災行政無線を利用した通信 の確保をしているが、再度確認を実施中。	携帯電話、無線、防災行政無線を利用した通信 の確保をしているが、再確認を実施。	携帯電話、無線、防災行政無線を利用した通信 の確保をしているが、年度が代わることから、再 確認を実施する。
・水防団同士の連絡体制の確保	平成28年度から 順次実施	連絡体制の確保に向けて準備中。	水防団の連絡先(携帯電話)一覧の整備	水防団の同連絡先(携帯電話)一覧の追記および更新
・水防団や地域住民が参加する洪水に対しリスクが高い区間の共同点検	引き続き 毎年実施	地元区長等に共同点検への参加検討	地元区長等に共同点検への参加していただくことができなかった。	地元区長等に共同点検への参加要請し、多くの方に重要水防箇所の確認を実施してもらうようが知する。
・水防訓練の実施	引き続き 毎年実施 平成28年度から 順次実施	参加者や見学の周知を行い、参加者を増やす	土のう作り訓練を実施	参加者や見学の周知を行い、参加者を増やす
・水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・ 指定を促進	引き続き 毎年実施	今後広報誌等を活用し、広く募集を検討する。 【確認事項】今後広報誌等を活用し、広く募集を 行う予定と記載してもよろしいでしょうか	未実施。	今後広報誌等を活用し、広〈募集を検討する。
・水防団員の待避等判断指標の作成	平成28年度から 順次実施	引き続き検討する。	引き続き検討する。	引き続き検討する。
・水防団員の安全装備の徹底(水防法第7条)	平成28年度から 順次実施	引き続き検討する。	引き続き検討する。	引き続き検討する。
■排水活動の強化に関する取組 ・排水ポンブ車の操作講習会、出動要請の連絡体 制の周知	引き続き 毎年実施	昨年度に引き続き訓練に参加する。	操作講習会参加。	引き続き訓練に参加する。
・遂げ遅れゼロ等に寄与する排水ポンプ車の活用計画	平成28年度 から実施	河川事務所から要請があれば、基礎データ等の 情報を提供する。	河川事務所から要請があれば、基礎データ等の 情報を提供する。	河川事務所から要請があれば、基礎データ等の 情報を提供する。

本的な取組の柱	D += n+ ++0		実施する機関	
基 項 具体的取組	目標時期	取組予定【H30年度】	大洗町 実施結果【H30年度】	取組内容【R元(H31)年度】
ハード対策の主な取組		取租予足[H30年度]	美胞稻来[RSO年度]	取租內谷[R元(HST)年度]
氾濫を未然に防ぐ対策				
<久慈川>		該当なし	該当なし	該当なし
・優先的に実施する流下能力向上対策、浸透・パイピング対策	T-000 F-5			
<那珂川>	平成32年度			
・優先的に実施する流下能力向上対策、浸透・パ イピング対策				
■危機管理型ハード対策				
<久慈川>		該当なし	該当なし	該当なし
・堤防天端の保護 ・堤防裏法尻の補強				
<那珂川>	平成32年度			
・堤防天端の保護 ・堤防裏法尻の補強				
避難行動、水防活動に資する基盤等の整備				
・雨量・水位等の観測データ及び洪水時の状況を		該当なし	該当なし	該当なし
把握・伝達するための基盤の整備	平成28年度			
	から実施			
・さらなる情報伝達手段の追加整備もしくは検討		・全世帯に戸別受信機を配布済み	・全世帯に戸別受信機を配布済み	<ul><li>・全世帯に戸別受信機を配布済み</li></ul>
				・防災行政無線のデジタル化(平成31年度~平
	平成28年度から 順次実施			成34年度予定)
	順久天心			
<ul><li>・水防活動を支援するための水防資機材等の配備 (新技術を活用した水防資機材を含む)</li></ul>		・整備の可能性について検討 【H29年度~】	・整備の可能性について検討中	・整備の可能性について検討
(WILLIAM STATE OF THE STATE OF	平成28年度から	1120 122 1		
	順次実施			
l l				
・簡易水位計や量水標、CCTVカメラの設置		該当なし	該当なし	該当なし
	平成28年度 から実施			
	70 50,700			
温业はにかいても《字型ウナ機结せてもある佐		· 计体:文 7.	44 Mr. 198 7.	<b>小体文</b> 7.
・浸水時においても災害対応を継続するための施 設の整備及び自家発電装置等の耐水化(庁舎、		対策済み	対策済み	対策済み
要配慮施設、避難所等)	平成28年度から			
	順次実施			
・水位予測の精度向上検討		該当なし	該当なし	該当なし
	平成28年度			
ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迂	し速かつ的確か避難に			
想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮し				
・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、		該当なし	該当なし	該当なし
氾濫シミュレーションの公表 <直轄河川>	平成28年9月			
久慈川・山田川・里川・那珂川・藤井川・桜川・涸沼	十成20年9万			
Ш	1			
/··I	亚成20年度			
〈県管理河川〉	平成29年度 から実施			
<県管理河川>				
		・協議会の中で相互協力に関する申し合わせを H29年度末に締結	・協議会の中で相互協力に関する申し合わせを H28年度末に締結	
<県管理河川>		・協議会の中で相互協力に関する申し合わせを H28年度末に締結	・協議会の中で相互協力に関する申し合わせを H28年度末に締結	・協議会の中で相互協力に関する申し合わせを H28年度末に締結
<県管理河川>	から実施			
<県管理河川>	から実施	H28年度末に締結 ・浸水想定区域内に指定避難所なし。また.周辺	H28年度末に締結 ・浸水想定区域内に指定避難所なし。また.周辺	H28年度末に締結 ・浸水想定区域内に指定避難所なし。また、周辺
<県管理河川> ・大規模水害時の相互協力に関する申し合わせ	から実施 平成28年度 平成29年度	H28年度末に締結	H28年度末に締結	H28年度末に締結
<県管理河川> ・大規模水害時の相互協力に関する申し合わせ	から実施 平成28年度	H28年度末に締結 ・浸水想定区域内に指定避難所なし。また.周辺	H28年度末に締結 ・浸水想定区域内に指定避難所なし。また.周辺	H28年度末に締結 ・浸水想定区域内に指定避難所なし。また、周辺
< 県管理河川> ・ 大規模水害時の相互協力に関する申し合わせ ・ 広域避難計画の策定	から実施 平成28年度 平成29年度	H28年度末に締結 ・浸水想定区域内に指定避難所なし。また周辺 自治体からの打診があれば検討する。	H28年度末に締結 ・浸水想定区域内に指定避難所なし。また.周辺 自治体からの打診があれば検討する。	H28年度末に締結 ・浸水想定区域内に指定避難所なし。また周辺自治体からの打診があれば検討する。
<県管理河川> ・大規模水害時の相互協力に関する申し合わせ	から実施 平成28年度 平成29年度 から実施	H28年度末に締結 ・浸水想定区域内に指定避難所なし。また.周辺	H28年度末に締結 ・浸水想定区域内に指定避難所なし。また.周辺	H28年度末に締結 ・浸水想定区域内に指定避難所なし。また周辺自治体からの打診があれば検討する。
<県管理河川> ・ 大規模水害時の相互協力に関する申し合わせ ・ 広域避難計画の策定 ・ 想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮	から実施 平成28年度 平成29年度	H28年度末に締結  ・浸水想定区域内に指定避難所なし。また、周辺自治体からの打診があれば検討する。  ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考	H28年度末に締結 ・浸水想定区域内に指定避難所なし。また、周辺自治体からの打診があれば検討する。 ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考	H28年度末に締結  ・浸水想定区域内に指定避難所なし。また、周辺自治体からの打診があれば検討する。  ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考
<県管理河川> ・ 大規模水害時の相互協力に関する申し合わせ ・ 広域避難計画の策定 ・ 想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮	から実施 平成28年度 平成29年度 から実施 平成28年度から	H28年度末に締結 ・浸水想定区域内に指定避難所なし。また周辺 自治体からの打診があれば検討する。 ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考 慮したハザードマップの作成	H28年度末に締結 ・浸水想定区域内に指定避難所なし。また、周辺自治体からの打診があれば検討する。 ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考	H28年度末に締結  ・浸水想定区域内に指定避難所なし。また、周辺自治体からの打診があれば検討する。 ・想定最大規模の降雨による浸水憩定区域を考
< 県管理河川> - 大規模水害時の相互協力に関する申し合わせ - 広域避難計画の策定 - 想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮したハザードマップの作成・周知 - まるごとまちごとハーザドマップ整備・拡充につい	から実施 平成28年度 平成29年度 から実施 平成28年度から	H28年度末に締結 ・浸水想定区域内に指定避難所なし。また周辺 自治体からの打診があれば検討する。 ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考 慮したハザードマップの作成	H28年度末に締結 ・浸水想定区域内に指定避難所なし。また、周辺自治体からの打診があれば検討する。 ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考	H28年度末に締結  ・浸水想定区域内に指定避難所なし。また、周辺自治体からの打診があれば検討する。 ・想定最大規模の降雨による浸水憩定区域を考
< 県管理河川> - 大規模水害時の相互協力に関する申し合わせ - 広域避難計画の策定 - 想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮したい・ザードマップの作成・周知	がら実施 平成28年度 平成29年度 から実施 平成28年度から 順次実施	H28年度末に締結 ・浸水想定区域内に指定避難所なし。また、周辺自治体からの打診があれば検討する。 ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮したパザードマップの作成 【H30年度】	+28年度末に締結  ・浸水想定区域内に指定避難所なし。また.周辺自治体からの打診があれば検討する。  ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮したハザードマップの作成	H28年度末に締結  ・浸水想定区域内に指定避難所なし。また、周辺自治体からの打診があれば検討する。  ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮したハザードマップの周知
< 県管理河川> - 大規模水害時の相互協力に関する申し合わせ - 広域避難計画の策定 - 想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮したハザードマップの作成・周知 - まるごとまちごとハーザドマップ整備・拡充につい	がら実施 平成28年度 平成29年度 から実施 平成28年度から 順次実施	H28年度末に締結 ・浸水想定区域内に指定避難所なし。また、周辺自治体からの打診があれば検討する。 ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮したパザードマップの作成 【H30年度】	+28年度末に締結  ・浸水想定区域内に指定避難所なし。また.周辺自治体からの打診があれば検討する。  ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮したハザードマップの作成	H28年度末に締結  ・浸水想定区域内に指定避難所なし。また、周辺自治体からの打診があれば検討する。  ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮したハザードマップの周知
<県管理河川> ・ 大規模水害時の相互協力に関する申し合わせ ・ 広域避難計画の策定 ・ 想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮したハザードマップの作成・周知 ・ まるごとまちごとハーザドマップ整備・拡充について検討	がら実施 平成28年度 平成29年度 から実施 平成28年度から 順次実施	H28年度末に締結  ・浸水想定区域内に指定避難所なし。また、周辺自治体からの打診があれば検討する。  ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮した、バザードマップの作成 [H30年度]  ・設置済み	H28年度末に締結 ・浸水想定区域内に指定避難所なし。また.周辺自治体からの打診があれば検討する。 ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮したハザードマップの作成 ・設置済み	+28年度末に締結  ・浸水想定区域内に指定避難所なし。また周辺自治体からの打診があれば検討する。  ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮したハザードマップの周知  ・設置済み
< 県管理河川> - 大規模水害時の相互協力に関する申し合わせ - 広域避難計画の策定 - 想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮したハザードマップの作成・周知 - まるごとまちごとハーザドマップ整備・拡充につい	がら実施 平成28年度 平成29年度 から実施 平成28年度から 順次実施 平成28年度から 順次実施	+ H28年度末に締結  ・浸水想定区域内に指定避難所なし。また。周辺自治体からの打診があれば検討する。  ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮したパサードマップの作成  【H30年度】  ・設置済み  ・要配慮者施設において策定している避難計画の対象災害の中に水害も対象として位置づけ、	+28年度末に締結  ・浸水想定区域内に指定避難所なし。また、周辺自治体からの打診があれば検討する。  ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮したハザードマップの作成  ・設置済み  ・要配慮者施設において策定している避難計画の対象災害の中に水害も対象として位置づけ、	+28年度末に締結  ・浸水想定区域内に指定避難所なし。また周辺自治体からの打診があれば検討する。  ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮したハザードマップの周知  ・設置済み  ・要配慮者施設において策定している避難計画の対象災害の中に水害も対象として位置づけ、
< 県管理河川>	がら実施 平成28年度 平成29年度 から実施 平成28年度から 順次実施	H28年度末に締結  ・浸水想定区域内に指定避難所なし。また。周辺自治体からの打診があれば検討する。  ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮したハザードマップの作成  [H30年度]  ・設置済み  ・要配慮者施設において策定している避難計画の対象災害の中に水害も対象として位置づけ、避難訓練等の支援について検討	+28年度末に締結  ・浸水想定区域内に指定避難所なし。また。周辺自治体からの打診があれば検討する。  ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮したハザードマップの作成  ・設置済み  ・要配慮者施設において策定している避難計画	+28年度末に締結  ・浸水想定区域内に指定避難所なし。また周辺自治体からの打診があれば検討する。  ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮したハザードマップの周知  ・設置済み  ・要配慮者施設において策定している避難計画
< 県管理河川>	でいる ・ で成28年度 ・ 平成29年度 から実施 ・ 平成28年度から 順次実施 ・ 平成28年度から ・ 順次実施 ・ 平成28年度から ・ 平成28年度から ・ 平成29年度	H28年度末に締結  ・浸水想定区域内に指定避難所なし。また周辺自治体からの打診があれば検討する。  ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮したハザードマップの作成 [H30年度]  ・設置済み  ・要配慮者施設において策定している避難計画の対象災害の中に水害も対象として位置づけ、避難削減等の支援について検討 [H29年度~]	H28年度末に締結 ・浸水想定区域内に指定避難所なし。また。周辺自治体からの打診があれば検討する。 ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮したハザードマップの作成 ・設置済み ・要配慮者施設において策定している避難計画の対象災害の中に水害も対象として位置づけ、避難訓練等の支援について検討中	+28年度末に締結  ・浸水想定区域内に指定避難所なし。また周辺自治体からの打診があれば検討する。  ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮したバザードマップの周知  ・設置済み  ・要配慮者施設において策定している避難計画の対象災害の中に水害も対象として位置づけ、避難訓練等の支援について検討
< 県管理河川>	でいる。 平成28年度 平成29年度 から実施 平成28年度から 順次実施 平成28年度から 順次実施 平成28年度から がら実施 平成28年度がら 平成28年度がら	H28年度末に締結 ・浸水想定区域内に指定避難所なし。また周辺自治体からの打診があれば検討する。 ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮したハザードマップの作成 【H30年度】 ・設置済み ・要配慮者施設において策定している避難計画の対象災害の中に水害も対象として位置づけ、 提整訓練等の支援について検討 【H29年度~】 関係機関と協議	+28年度末に締結  ・浸水想定区域内に指定避難所なし。また、周辺自治体からの打診があれば検討する。  ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮したハザードマップの作成  ・設置済み  ・要配慮者施設において策定している避難計画の対象災害の中に水害も対象として位置づけ、	+28年度末に締結  ・浸水想定区域内に指定避難所なし。また、周辺自治体からの打診があれば検討する。  ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮したハザードマップの周知  ・設置済み  ・要配慮者施設において策定している避難計画の対象災害の中に水害も対象として位置づけ、
< 県管理河川>	でいい。 平成28年度 平成29年度 から実施 平成29年度 から実施 平成28年度から 順次実施 平成28年度から 順次実施 平成29年度 から実施	H28年度末に締結  ・浸水想定区域内に指定避難所なし。また周辺自治体からの打診があれば検討する。  ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮したハザードマップの作成 [H30年度]  ・設置済み  ・要配慮者施設において策定している避難計画の対象災害の中に水害も対象として位置づけ、避難削減等の支援について検討 [H29年度~]	H28年度末に締結 ・浸水想定区域内に指定避難所なし。また。周辺自治体からの打診があれば検討する。 ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮したハザードマップの作成 ・設置済み ・要配慮者施設において策定している避難計画の対象災害の中に水害も対象として位置づけ、避難訓練等の支援について検討中	+28年度末に締結  ・浸水想定区域内に指定避難所なし。また周辺自治体からの打診があれば検討する。  ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮したバザードマップの周知  ・設置済み  ・要配慮者施設において策定している避難計画の対象災害の中に水害も対象として位置づけ、避難訓練等の支援について検討
< 県管理河川>	でいる。 平成28年度 平成29年度 から実施 平成28年度から 順次実施 平成28年度から 順次実施 平成28年度から がら実施 平成28年度がら 平成28年度がら	H28年度末に締結 ・浸水想定区域内に指定避難所なし。また周辺自治体からの打診があれば検討する。 ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮したハザードマップの作成 【H30年度】 ・設置済み ・要配慮者施設において策定している避難計画の対象災害の中に水害も対象として位置づけ、 提整訓練等の支援について検討 【H29年度~】 関係機関と協議	H28年度末に締結 ・浸水想定区域内に指定避難所なし。また。周辺自治体からの打診があれば検討する。 ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮したハザードマップの作成 ・設置済み ・要配慮者施設において策定している避難計画の対象災害の中に水害も対象として位置づけ、避難訓練等の支援について検討中	+28年度末に締結  ・浸水想定区域内に指定避難所なし。また、周辺自治体からの打診があれば検討する。  ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮したハザードマップの周知  ・設置済み  ・要配慮者施設において策定している避難計画の対象災害の中に水害も対象として位置づけ、避難訓練等の支援について検討
< 県管理河川>     ・	でいい。 平成28年度 平成29年度 から実施 平成29年度 から実施 平成28年度から 順次実施 平成28年度から 順次実施 平成29年度 から実施	H28年度末に締結 ・浸水想定区域内に指定避難所なし。また周辺自治体からの打診があれば検討する。 ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮したハザードマップの作成 【H30年度】 ・設置済み ・要配慮者施設において策定している避難計画の対象災害の中に水害も対象として位置づけ、 提整訓練等の支援について検討 【H29年度~】 関係機関と協議	H28年度末に締結 ・浸水想定区域内に指定避難所なし。また。周辺自治体からの打診があれば検討する。 ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮したハザードマップの作成 ・設置済み ・要配慮者施設において策定している避難計画の対象災害の中に水害も対象として位置づけ、避難訓練等の支援について検討中	+28年度末に締結  ・浸水想定区域内に指定避難所なし。また周辺自治体からの打診があれば検討する。  ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮したハザードマップの周知  ・設置済み  ・要配慮者施設において策定している避難計画の対象災害の中に水害も対象として位置づけ、避難訓練等の支援について検討 関係機関と協議  ・全世帯に戸別受信機を配布済み
< 県管理河川>     ・	でいる。 ・ 実施  ・ 平成28年度  ・ 平成29年度 から実施  ・ 平成28年度がら ・ 平成28年度がら ・ 平成28年度施  ・ 平成28年度施  ・ 平成29年度 から実施  ・ 平成29年度 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	H28年度末に締結  ・浸水想定区域内に指定避難所なし。また、周辺自治体からの打診があれば検討する。  ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮したハザードマップの作成 [H30年度]  ・設置済み  ・要配慮者施設において策定している避難計画の対象災害の中に水害も対象として位置づけ、選難訓練の支援について検討 [H29年度~] 関係機関と協議 [H28年度~]	H28年度末に締結  ・浸水想定区域内に指定避難所なし。また。周辺自治体からの打診があれば検討する。 ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮したハザードマップの作成  ・設置済み  ・要配慮者施設において策定している避難計画の対象災害の中に水害も対象として位置づけ、避難訓練等の支援について検討中  関係機関と協議中	+28年度末に締結  ・浸水想定区域内に指定避難所なし。また、周辺自治体からの打診があれば検討する。  ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮したハザードマップの周知  ・設置済み  ・要配慮者施設において策定している避難計画の対象災害の中に水害も対象として位置づけ、避難訓練等の支援について検討  関係機関と協議  ・全世帯に戸別受信機を配布済み・防災行政無線のデジタル化(平成31年度~平
< 県管理河川>     ・	でいい。 平成28年度 平成29年度 から実施 平成29年度 から実施 平成28年度から 順次実施 平成28年度から 順次実施 平成29年度 から実施	H28年度末に締結  ・浸水想定区域内に指定避難所なし。また、周辺自治体からの打診があれば検討する。  ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮したハザードマップの作成 [H30年度]  ・設置済み  ・要配慮者施設において策定している避難計画の対象災害の中に水害も対象として位置づけ、選難訓練の支援について検討 [H29年度~] 関係機関と協議 [H28年度~]	H28年度末に締結  ・浸水想定区域内に指定避難所なし。また。周辺自治体からの打診があれば検討する。 ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮したハザードマップの作成  ・設置済み  ・要配慮者施設において策定している避難計画の対象災害の中に水害も対象として位置づけ、避難訓練等の支援について検討中  関係機関と協議中	+28年度末に締結  ・浸水想定区域内に指定避難所なし。また周辺自治体からの打診があれば検討する。  ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮したハザードマップの周知  ・設置済み  ・要配慮者施設において策定している避難計画の対象災害の中に水害も対象として位置づけ、避難訓練等の支援について検討  関係機関と協議  ・全世帯に戸別受信機を配布済み
< 県管理河川>     ・	でいい。 ・ 本成28年度 ・ 平成29年度 ・ 中成29年度 ・ 中成28年度がら ・ 平成28年度がら ・ 平成28年度がら ・ 平成29年度 ・ 平成29年度がら ・ 平成28年度がら ・ 平成28年度がら ・ 平成28年度がら	H28年度末に締結  ・浸水想定区域内に指定避難所なし。また、周辺自治体からの打診があれば検討する。  ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮したハザードマップの作成 [H30年度]  ・設置済み  ・要配慮者施設において策定している避難計画の対象災害の中に水害も対象として位置づけ、選難訓練の支援について検討 [H29年度~] 関係機関と協議 [H28年度~]	H28年度末に締結  ・浸水想定区域内に指定避難所なし。また。周辺自治体からの打診があれば検討する。 ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮したハザードマップの作成  ・設置済み  ・要配慮者施設において策定している避難計画の対象災害の中に水害も対象として位置づけ、避難訓練等の支援について検討中  関係機関と協議中	+28年度末に締結  ・浸水想定区域内に指定避難所なし。また、周辺自治体からの打診があれば検討する。  ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮したハザードマップの周知  ・設置済み  ・要配慮者施設において策定している避難計画の対象災害の中に水害も対象として位置づけ、避難訓練等の支援について検討  関係機関と協議  ・全世帯に戸別受信機を配布済み・防災行政無線のデジタル化(平成31年度~平
< 県管理河川> ・	でいい。 ・ 本成28年度 ・ 平成29年度 ・ 中成29年度 ・ 中成28年度がら ・ 平成28年度がら ・ 平成28年度がら ・ 平成29年度 ・ 平成29年度がら ・ 平成28年度がら ・ 平成28年度がら ・ 平成28年度がら	H28年度末に締結  ・浸水想定区域内に指定避難所なし。また周辺自治体からの打診があれば検討する。  ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮したハザードマップの作成 [H30年度]  ・設置済み  ・要配慮者施設において策定している避難計画の対象災害の中に水害も対象として位置づけ、避難訓練の支援について検討 [H29年度~] 関係機関と協議 [H28年度~]  ・全世帯に戸別受信機を配布済み	+28年度末に締結  ・浸水想定区域内に指定避難所なし。また。周辺自治体からの打診があれば検討する。  ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮したハザードマップの作成  ・設置済み  ・要配慮者施設において策定している避難計画の対象災害の中に水害も対象として位置づけ、避難訓練等の支援について検討中  関係機関と協議中  ・全世帯に戸別受信機を配布済み	+28年度末に締結  ・浸水想定区域内に指定避難所なし。また。周辺自治体からの打診があれば検討する。  ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮したハザードマップの周知  ・設置済み  ・要配慮者施設において策定している避難計画の対象災害の中に水害も対象として位置づけ、避難訓練等の支援について検討  関係機関と協議  ・全世帯に戸別受信機を配布済み・防災行政無線のデジタル化(平成31年度~平成34年度予定)
< 県管理河川>     ・	でいる ・ 実施 ・ 平成28年度 ・ 平成29年度 から実施 ・ 平成28年度がら ・ 平成28年度施 ・ 平成28年度施 ・ 平成29年度 ・ 平成29年度 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	H28年度末に締結  ・浸水想定区域内に指定避難所なし。また、周辺自治体からの打診があれば検討する。  ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮したハザードマップの作成 [H30年度]  ・設置済み  ・要配慮者施設において策定している避難計画の対象災害の中に水害も対象として位置づけ、選難訓練の支援について検討 [H29年度~] 関係機関と協議 [H28年度~]	H28年度末に締結  ・浸水想定区域内に指定避難所なし。また。周辺自治体からの打診があれば検討する。 ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮したハザードマップの作成  ・設置済み  ・要配慮者施設において策定している避難計画の対象災害の中に水害も対象として位置づけ、避難訓練等の支援について検討中  関係機関と協議中	+28年度末に締結  ・浸水想定区域内に指定避難所なし。また。周辺自治体からの打診があれば検討する。  ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮したハザードマップの周知  ・設置済み  ・要配慮者施設において策定している避難計画の対象災害の中に水害も対象として位置づけ、避難訓練等の支援について検討  関係機関と協議  ・全世帯に戸別受信機を配布済み・防災行政無線のデジタレ化(平成31年度~平
< 県管理河川> ・	でいる実施  平成28年度  平成29年施  平成29年施  平成28年度から  順次実施  平成28年度施  平成28年度施  平成29年施  平成29年施  平成29年施  平成28年度施  平成28年度施  平成28年度施  平成28年度施  平成28年度施  平成28年度施  平成28年度施  平成28年度施	H28年度末に締結  ・浸水想定区域内に指定避難所なし。また周辺自治体からの打診があれば検討する。  ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮したハザードマップの作成  【H30年度】  ・要配慮者施設において策定している避難計画の対象災害の中に水害も対象として位置づけ、提維制候等の支援について検討  【H28年度~】  関係機関と協議  【H28年度~】  ・全世帯に戸別受信機を配布済み  ・自主防災組織の結成を促進	+28年度末に締結  ・浸水想定区域内に指定避難所なし。また。周辺自治体からの打診があれば検討する。  ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮したハザードマップの作成  ・設置済み  ・要配慮者施設において策定している避難計画の対象災害の中に水害も対象として位置づけ、避難訓練等の支援について検討中  関係機関と協議中  ・全世帯に戸別受信機を配布済み	+28年度末に締結  ・浸水想定区域内に指定避難所なし。また。周辺自治体からの打診があれば検討する。  ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮したハザードマップの周知  ・設置済み  ・要配慮者施設において策定している避難計画の対象災害の中に水害も対象として位置づけ、避難訓練等の支援について検討  関係機関と協議  ・全世帯に戸別受信機を配布済み・防災行政無線のデジタル化(平成31年度~平成34年度予定)
< 県管理河川> ・	でいる ・ 実施 ・ 平成28年度 ・ 平成29年度 から実施 ・ 平成28年度がら ・ 平成28年度施 ・ 平成28年度施 ・ 平成29年度 ・ 平成29年度 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	H28年度末に締結  ・浸水想定区域内に指定避難所なし。また周辺自治体からの打診があれば検討する。  ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮したハザードマップの作成  【H30年度】  ・要配慮者施設において策定している避難計画の対象災害の中に水害も対象として位置づけ、提維制候等の支援について検討  【H28年度~】  関係機関と協議  【H28年度~】  ・全世帯に戸別受信機を配布済み  ・自主防災組織の結成を促進	+28年度末に締結  ・浸水想定区域内に指定避難所なし。また。周辺自治体からの打診があれば検討する。  ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮したハザードマップの作成  ・設置済み  ・要配慮者施設において策定している避難計画の対象災害の中に水害も対象として位置づけ、避難訓練等の支援について検討中  関係機関と協議中  ・全世帯に戸別受信機を配布済み	+28年度末に締結  ・浸水想定区域内に指定避難所なし。また。周辺自治体からの打診があれば検討する。  ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮したハザードマップの周知  ・設置済み  ・要配慮者施設において策定している避難計画の対象災害の中に水害も対象として位置づけ、避難訓練等の支援について検討  関係機関と協議  ・全世帯に戸別受信機を配布済み・防災行政無線のデジタル化(平成31年度~平成34年度予定)
< 県管理河川>	でいる実施  平成28年度  平成29年施  平成29年施  平成28年度から  順次実施  平成28年度施  平成28年度施  平成29年施  平成29年施  平成29年施  平成28年度施  平成28年度施  平成28年度施  平成28年度施  平成28年度施  平成28年度施  平成28年度施  平成28年度施	+28年度末に締結  ・浸水想定区域内に指定避難所なし。また周辺自治体からの打診があれば検討する。  ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮したハザードマップの作成 [H30年度]  ・設置済み  ・要配慮者施設において策定している避難計画の対象災害の中に水害も対象として位置づけ、避難訓練等の支援について検討 [H29年度~]  関係機関と協議 [H28年度~]  ・全世帯に戸別受信機を配布済み  ・自主防災組織の結成を促進 [H28年度~]	+28年度末に締結  ・浸水想定区域内に指定避難所なし。また。周辺自治体からの打診があれば検討する。  ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮したハザードマップの作成  ・設置済み  ・要配慮者施設において策定している避難計画の対象災害の中に水害も対象として位置づけ、避難訓練等の支援について検討中  関係機関と協議中  ・全世帯に戸別受信機を配布済み  ・自主防災組織の結成を促進中	・浸水想定区域内に指定避難所なし。また.周辺自治体からの打診があれば検討する。 ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮したハザードマップの周知 ・設置済み ・要配慮者施設において策定している避難計画の対象災害の中に水害も対象として位置づけ、避難訓練等の支援について検討 関係機関と協議 ・全世帯に戸別受信機を配布済み・防災行政無線のデジタル化(平成31年度~平成34年度予定) ・自主防災組織の結成を促進
< 県管理河川> ・	でいる実施  平成28年度  平成29年施  平成29年施  平成28年度から  順次実施  平成28年度施  平成28年度施  平成29年施  平成29年施  平成29年施  平成28年度施  平成28年度施  平成28年度施  平成28年度施  平成28年度施  平成28年度施  平成28年度施  平成28年度施	H28年度末に締結  ・浸水想定区域内に指定避難所なし。また周辺自治体からの打診があれば検討する。  ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮したハザードマップの作成  【H30年度】  ・要配慮者施設において策定している避難計画の対象災害の中に水害も対象として位置づけ、提維制候等の支援について検討  【H28年度~】  関係機関と協議  【H28年度~】  ・全世帯に戸別受信機を配布済み  ・自主防災組織の結成を促進	+28年度末に締結  ・浸水想定区域内に指定避難所なし。また。周辺自治体からの打診があれば検討する。  ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮したハザードマップの作成  ・設置済み  ・要配慮者施設において策定している避難計画の対象災害の中に水害も対象として位置づけ、避難訓練等の支援について検討中  関係機関と協議中  ・全世帯に戸別受信機を配布済み	+28年度末に締結  ・浸水想定区域内に指定避難所なし。また。周辺自治体からの打診があれば検討する。  ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮したハザードマップの周知  ・設置済み  ・要配慮者施設において策定している避難計画の対象災害の中に水害も対象として位置づけ、避難訓練等の支援について検討  関係機関と協議  ・全世帯に戸別受信機を配布済み・防災行政無線のデジタル化(平成31年度~平成34年度予定)

)概ね5年で実施する取組				
具体的な取組の柱			実施する機関	
事 項	目標時期	取組予定【H30年度】	大洗町 実施結果【H30年度】	取組内容【R元(H31)年度】
)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迂	  凍かつ的確な避難れ		关ル和木【FISU平及】	双租内各[代元(円31) 年度]
■避難勧告発令に着目したタイムラインの作成	ZZZZZ PRINE GZZZZZZ			
<ul> <li>避難勧告の発令に着目したタイムラインの作成</li> </ul>	平成28年度から 順次実施	関係機関と協議中 【H28年度~】	関係機関と協議中	関係機関と協議
・タイムラインに基づく首長等も参加した実践的な訓練	平成28年度から	・実践的な訓練を実施するか検討 【H29年度~】	・実践的な訓練を実施するか検討中	・実践的な訓練を実施するか検討
・気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級	順次実施	該当なし	該当なし	該当なし
の現象」等の改善(水害時の情報入手のし易さを サポート)	平成29年度 出水期から実施			
<ul><li>■防災教育や防災知識の普及</li><li>・水災害の事前準備に関する問い合わせ窓口の</li></ul>		・随時対応中	・随時対応中	・随時対応中
設置	平成28年度 から実施			
・水防災に関する説明会等の開催	平成28年度から 順次実施	・説明会実施の可否について検討 [H28年度~]	- 説明会実施の可否について検討中	- 水防災に関する説明金実施予定
・教員を対象とした講習会の実施	平成28年度から 順次実施	・教育委員会と協議 【H28年度~】	・教育委員会と協議中	・教育委員会と協議
・小学生を対象とした防災教育の実施	平成28年度から 順次実施	-教育委員会と協議 【H28年度~】	<ul><li>教育委員会と協議中</li></ul>	・教育委員会と協議
・出前講座等を活用した講習会の実施	平成28年度 から実施	・説明会実施の可否について検討 【H28年度~】	・説明会実施の可否について検討中	・説明会実施の可否について検討
・ブッシュ型の洪水予報等の情報発信	平成28年度から 順次実施	該当なし	該当なし	該当なし
・水位計やライブカメラの情報をリアルタイムで提供	平成28年度 から実施	該当なし	該当なし	該当なし
リンフト対策の主な取組 ②避難時間の確保のための				
<ul><li>■より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強 ・水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練の 実施</li></ul>	で 平成28年度 から実施	・既に複数の伝達手法(無線・電話)を確保して いる	・既に複数の伝達手法(無線・電話)を確保して いる	・既に複数の伝達手法(無線・電話)を確保して いる
・水防団同士の連絡体制の確保	平成28年度から 順次実施	・既に確保している。	・既に確保している。	- 既に確保している。
・水防団や地域住民が参加する洪水に対しリスクが高い区間の共同点検	引き続き 毎年実施	- 毎年、河川事務所が実施する重要水防箇所等 の共同点検に参加していく 【H29年度~】	- 毎年、河川事務所が実施する重要水防箇所等 の共同点検に参加	- 毎年、河川事務所が実施する重要水防箇所: の共同点検に参加していく
・水防訓練の実施	引き続き 毎年実施 平成28年度から 順次実施	・毎年開催している久慈川水系連合水防訓練に 参加 ・他の水防訓練への参加 【H29年度~】	- 毎年開催している久慈川水系連合水防訓練に 参加 - 他の水防訓練への参加	- 毎年開催している久慈川水系連合水防訓練(参加・他の水防訓練への参加
・水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・ 指定を促進	引き続き 毎年実施	引き続き、広報誌やホームページで広く募集して いく	広報誌やホームページで広く募集	引き続き、広報誌やホームページで広く募集しいく
・水防団員の待避等判断指標の作成	平成28年度から 順次実施	・マニュアル等でルール化について検討 【H29年度~】	・マニュアル等でルール化について検討中	・マニュアル等でルール化について検討
・水防団員の安全装備の徹底(水防法第7条)	平成28年度から 順次実施	- 全団員にライフジャケットを配布済み	・全団員にライフジャケットを配布済み	・全団員にライフジャケットを配布済み
■排水活動の強化に関する取組 ・排水ポンブ車の操作講習会、出動要請の連絡体 制の周知	引き続き 毎年実施	・河川事務所が実施する排水ポンプ車の操作訓練に参加 【H28年5月~毎年】	・河川事務所が実施する排水ポンプ車の操作訓練に参加	・河川事務所が実施する排水ポンプ車の操作 練に参加
・遂げ遅れゼロ等に寄与する排水ポンプ車の活用 計画	平成28年度 から実施	・河川事務所から要請があれば、基礎データ等の情報を提供 【H28年度~】	・河川事務所から要請があれば、基礎データ等 の情報を提供	・河川事務所から要請があれば、基礎データ等 の情報を提供

体的な取組の柱			実施する機関	
耳	目標時期		城里町	T
具体的取組		取組予定【H30年度】	実施結果【H30年度】	取組内容【R元(H31)年度】
ハード対策の主な取組				
■氾濫を未然に防ぐ対策 <久慈川>		該当なし	_	_
・優先的に実施する流下能力向上対策、浸透・パ				
イピング対策 <那珂川>	平成32年度			
・優先的に実施する流下能力向上対策、浸透・パ				
イピング対策 ■危機管理型ハード対策				
<久慈川>		該当なし	_	_
<ul><li>・堤防天端の保護</li><li>・堤防裏法尻の補強</li></ul>				
<那珂川>	平成32年度			
<ul><li>・堤防天端の保護</li><li>・堤防裏法尻の補強</li></ul>				
■避難行動、水防活動に資する基盤等の整備	II.			
・雨量・水位等の観測データ及び洪水時の状況を		該当なし	-	-
把握・伝達するための基盤の整備	平成28年度			
	から実施			
・さらなる情報伝達手段の追加整備もしくは検討		防災行政無線のデジタル化または、新たな情報	防災行政無線のデジタル化のため、実施設計業	防災行政無線の実施設計により、工事を進め
	T-200-71.3	伝達手段について本年度中に整備方針を決定 する	務を委託した。	る。
	平成28年度から 順次実施	9 &		
	75(71)			
・水防活動を支援するための水防資機材等の配備		資機材の更なる補充を進める	水防訓練に伴う資機材を整備した。	水のうを購入予定。
(新技術を活用した水防資機材を含む)		貝域刊の文なる相元と進める		ハのフとバストと。
	平成28年度から			
	順次実施			
・簡易水位計や量水標、CCTVカメラの設置		該当なし		_
	平成28年度		_	
	から実施		_	
・浸水時においても災害対応を継続するための施		該当なし	_	_
設の整備及び自家発電装置等の耐水化(庁舎、 要配慮施設、避難所等)	平成28年度から			
	順次実施			
・水位予測の精度向上検討		該当なし	_	_
	平成28年度			
ソコレヤキの主た取組 ①ツば湿む ゼロニウはたご	すかのかなかでは			
ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた近				
■想定最大規模の際雨による浸水想定区域を考慮!				
<ul><li>■想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮</li><li>・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、</li></ul>	C/2/19 - F 4 9 2 0 3	1 該当なし	-	_
<ul><li>・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、 氾濫シミュレーションの公表</li></ul>			-	-
・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、 氾濫シミュレーションの公表 〈直轄河川〉 久慈川・山田川・里川・那珂川・藤井川・桜川・涸沼	平成28年9月		_	-
・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、 氾濫シミュレーションの公表 〈直轄河川〉	平成28年9月		-	_
・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、 氾濫シミュレーションの公表 〈直轄河川〉 久慈川・山田川・里川・那珂川・藤井川・桜川・涸沼			-	_
・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、 氾濫シミュレーションの公表 (直轄河川) 久慈川・山田川・里川・那珂川・藤井川・桜川・涸沼 川 〈県管理河川〉	平成28年9月 平成29年度	該当なし		
・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、 氾濫シミュレーションの公表 〈直轄河川」 久慈川・山田川・里川・那珂川・藤井川・桜川・溜沼 川	平成28年9月 平成29年度		引き続き協議会の動向に合わせた対応を行う	
・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、 氾濫シミュレーションの公表 (直轄河川) 久慈川・山田川・里川・那珂川・藤井川・桜川・涸沼 川 〈県管理河川〉	平成28年9月 平成29年度	該当なし 協議会の中で相互協力に関する申し合わせを	引き続き協議会の動向に合わせた対応を行う	- 引き続き協議会の動向に合わせた対応を行う
・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、 氾濫シミュレーションの公表 (直轄河川) 久慈川・山田川・里川・那珂川・藤井川・桜川・涸沼 川 〈県管理河川〉 ・大規模水害時の相互協力に関する申し合わせ	平成28年9月 平成29年度 から実施	該当なし 協議会の中で相互協力に関する申し合わせを H29年度末に締結。一部修正。		
・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、 氾濫シミュレーションの公表 (直轄河川) 久慈川・山田川・里川・那珂川・藤井川・桜川・涸沼 川 〈県管理河川〉	平成28年9月 平成29年度 から実施 平成28年度	該当なし 協議会の中で相互協力に関する申し合わせを H29年度末に締結。一部修正。 ・隣接自治体からの打診があった場合は策定に	引き続き協議会の動向に合わせた対応を行う 現時点では、広域避難計画の策定予定はない。	・隣接自治体からの打診があった場合は策定
・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、 氾濫シミュレーションの公表 (直轄河川) 久慈川・山田川・里川・那珂川・藤井川・桜川・涸沼 川 〈県管理河川〉 ・大規模水害時の相互協力に関する申し合わせ	平成28年9月 平成29年度 から実施 平成28年度	該当なし 協議会の中で相互協力に関する申し合わせを H29年度末に締結。一部修正。		
・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、 氾濫シミュレーションの公表 (直轄河川) 久慈川・山田川・里川・那珂川・藤井川・桜川・涸沼 川 〈県管理河川〉 ・大規模水害時の相互協力に関する申し合わせ	平成28年9月 平成29年度 から実施 平成28年度	該当なし 協議会の中で相互協力に関する申し合わせを H29年度末に締結。一部修正。 ・隣接自治体からの打診があった場合は策定に		・隣接自治体からの打診があった場合は策定
・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、 氾濫シミュレーションの公表 〈直轄河川〉 久慈川・山田川・里川・那珂川・藤井川・桜川・涸沼川 〈県管理河川〉 ・大規模水害時の相互協力に関する申し合わせ ・広域避難計画の策定 ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮	平成28年9月 平成29年度 から実施 平成28年度	該当なし 協議会の中で相互協力に関する申し合わせを H29年度末に締結。一部修正。 ・隣接自治体からの打診があった場合は策定に ついて検討する。  想定最大規模降雨の洪水を対象に、ハザード	現時点では、広域避難計画の策定予定はない。 次年度にハザードマップ策定のため、予算要求	・隣接自治体からの打診があった場合は策定 ついて検討する。 ハザードマップは、次年度に防災マップとして、
・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、 氾濫シミルレーションの公表 〈直轄河川〉 久慈川・山田川・里川・那珂川・藤井川・桜川・涸沼川 (県管理河川〉 ・大規模水害時の相互協力に関する申し合わせ ・広域避難計画の策定	平成28年9月 平成29年度 から実施 平成28年度 平成29年度 から実施	該当なし 協議会の中で相互協力に関する申し合わせを H29年度末に締結。一部修正。 ・隣接自治体からの打診があった場合は策定に ついて検討する。  想定最大規模降雨の洪水を対象に、ハザード マップ策定のため予算編成	現時点では、広域避難計画の策定予定はない。	・隣接自治体からの打診があった場合は策定 ついて検討する。
・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、 氾濫シミュレーションの公表 〈直轄河川〉 久慈川・山田川・里川・那珂川・藤井川・桜川・涸沼川 〈県管理河川〉 ・大規模水害時の相互協力に関する申し合わせ ・広域避難計画の策定 ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮	平成28年9月 平成29年度 から実施 平成28年度 平成29年度 から実施	該当なし 協議会の中で相互協力に関する申し合わせを H29年度末に締結。一部修正。 ・隣接自治体からの打診があった場合は策定に ついて検討する。  想定最大規模降雨の洪水を対象に、ハザード	現時点では、広域避難計画の策定予定はない。 次年度にハザードマップ策定のため、予算要求	・隣接自治体からの打診があった場合は策定 ついて検討する。 ハザードマップは、次年度に防災マップとして、
・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、 氾濫シミュレーションの公表 〈直轄河川〉 久慈川・山田川・里川・那珂川・藤井川・桜川・涸沼川 〈県管理河川〉 ・大規模水害時の相互協力に関する申し合わせ ・広域避難計画の策定 ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮 したハザードマップの作成・周知	平成28年9月 平成29年度 から実施 平成28年度 平成29年度 から実施	該当なし 協議会の中で相互協力に関する申し合わせを H29年度末に締結。一部修正。 ・隣接自治体からの打診があった場合は策定に ついて検討する。 想定最大規模降雨の洪水を対象に、ハザード マップ策定のため予算編成 [H30年度~]	現時点では、広域避難計画の策定予定はない。 次年度にハザードマップ策定のため、予算要求 を行った。	・隣接自治体からの打診があった場合は策定 ついて検討する。 ハザードマップは、次年度に防災マップとして 定予定。
・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、 氾濫シミュレーションの公表 〈直轄河川〉 久慈川・山田川・里川・那珂川・藤井川・桜川・涸沼川 〈県管理河川〉 ・大規模水害時の相互協力に関する申し合わせ ・広域避難計画の策定 ・	平成28年9月 平成29年度 から実施 平成28年度 から実施 平成29年度 から実施	該当なし 協議会の中で相互協力に関する申し合わせを H29年度末に締結。一部修正。 ・隣接自治体からの打診があった場合は策定に ついて検討する。 想定最大規模降雨の洪水を対象に、ハザード マップ策定のため予算編成 [H30年度~] ・公共施設や電柱を中心に、表示看板を設置を 検討	現時点では、広域避難計画の策定予定はない。 次年度にハザードマップ策定のため、予算要求	・隣接自治体からの打診があった場合は策定 ついて検討する。 ハザードマップは、次年度に防災マップとして
・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、 氾濫シュレーションの公表 〈直轄河川〉 久恵川・山田川・里川・那珂川・藤井川・桜川・溜沼川 〈県管理河川〉 ・大規模水害時の相互協力に関する申し合わせ ・広域避難計画の策定 ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮 したハザードマップの作成・周知 ・まるごとまちごとハーザドマップ整備・拡充につい	平成28年9月 平成29年度 から実施 平成28年度 平成29年度 から実施	該当なし 協議会の中で相互協力に関する申し合わせを H29年度末に締結。一部修正。 ・隣接自治体からの打診があった場合は策定に ついて検討する。  想定最大規模降雨の洪水を対象に、ハザード マップ策定のため予算編成 [H30年度~] ・公共施設や電柱を中心に、表示看板を設置を	現時点では、広域避難計画の策定予定はない。 次年度にハザードマップ策定のため、予算要求 を行った。	・隣接自治体からの打診があった場合は策定 ついて検討する。 ハザードマップは、次年度に防災マップとして 定予定。
・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、 氾濫シミュレーションの公表 く直轄河川ン 久慈川・山田川・里川・那珂川・藤井川・桜川・涸沼川 く県管理河川ン ・大規模水害時の相互協力に関する申し合わせ ・広域避難計画の策定 ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮したハザードマップの作成・周知 ・まるごとまちごとハーザドマップ整備・拡充について検討	平成28年9月 平成29年度 から実施 平成28年度 平成29年度 から実施 平成29年度 から実施 平成28年度から 順次実施	該当なし 協議会の中で相互協力に関する申し合わせを H29年度末に締結。一部修正。 ・隣接自治体からの打診があった場合は策定に ついて検討する。 想定最大規模降雨の洪水を対象に、ハザード マップ策定のため予算編成 [H30年度~] ・公共施設や電柱を中心に、表示看板を設置を 検討 [H29年度~]	現時点では、広域避難計画の策定予定はない。 次年度にハザードマップ策定のため、予算要求 を行った。	・隣接自治体からの打診があった場合は策定 ついて検討する。 ハザードマップは、次年度に防災マップとして 定予定。
・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、 ・加整シミュレーションの公表 く直轄河川ン 久慈川・山田川・里川・那珂川・藤井川・桜川・涸沼川 (県管理河川ン ・大規模水害時の相互協力に関する申し合わせ ・広域避難計画の策定 ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮 したハザードマップの作成・周知 ・まるごとまちごとハーザドマップ整備・拡充について検討 ・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練	平成28年9月 平成29年度 から実施 平成28年度 平成28年度 から実施 平成28年度がら 順次実施 平成28年度から 順次実施	該当なし 協議会の中で相互協力に関する申し合わせを H29年度末に締結。一部修正。 ・隣接自治体からの打診があった場合は策定に ついて検討する。 想定最大規模降雨の洪水を対象に、ハザード マップ策定のため予算編成 [H30年度~] ・公共施設や電柱を中心に、表示看板を設置を 検討	現時点では、広域避難計画の策定予定はない。 次年度にハザードマップ策定のため、予算要求 を行った。	・隣接自治体からの打診があった場合は策定 ついて検討する。 ハザードマップは、次年度に防災マップとして 定予定。
・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、 氾濫シミュレーションの公表 く直轄河川ン 久慈川・山田川・里川・那珂川・藤井川・桜川・涸沼川 く県管理河川ン ・大規模水害時の相互協力に関する申し合わせ ・広域避難計画の策定 ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮したハザードマップの作成・周知 ・まるごとまちごとハーザドマップ整備・拡充について検討	平成28年9月 平成29年度 から実施 平成29年度 から実施 平成29年度 から実施 平成28年度 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	該当なし 協議会の中で相互協力に関する申し合わせを H29年度末に締結。一部修正。 ・隣接自治体からの打診があった場合は策定に ついて検討する。 想定最大規模降雨の洪水を対象に、ハザード マップ策定のため予算編成 [H30年度~] ・公共施設や電柱を中心に、表示看板を設置を 検討 [H29年度~]	現時点では、広域避難計画の策定予定はない。 次年度にハザードマップ策定のため、予算要求 を行った。	・隣接自治体からの打診があった場合は策定 ついて検討する。 ハザードマップは、次年度に防災マップとして 定予定。
・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、 ・加整シミュレーションの公表 く直轄河川ン 久慈川・山田川・里川・那珂川・藤井川・桜川・涸沼川 (県管理河川ン ・大規模水害時の相互協力に関する申し合わせ ・広域避難計画の策定 ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮 したハザードマップの作成・周知 ・まるごとまちごとハーザドマップ整備・拡充について検討 ・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練	平成28年9月 平成29年度 から実施 平成28年度 平成28年度 から実施 平成28年度がら 順次実施 平成28年度から 順次実施	該当なし 協議会の中で相互協力に関する申し合わせを H29年度末に締結。一部修正。 ・隣接自治体からの打診があった場合は策定に ついて検討する。  想定最大規模降雨の洪水を対象に、ハザード マップ策定のため予算編成 [H30年度~] ・公共施設や電柱を中心に、表示看板を設置を 検討 [H29年度~]  該当なし	現時点では、広域避難計画の策定予定はない。 次年度にハザードマップ策定のため、予算要求 を行った。	・隣接自治体からの打診があった場合は策定 ついて検討する。 ハザードマップは、次年度に防災マップとして 定予定。
・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、 ・加整シミュレーションの公表 く直轄河川ン 久慈川・山田川・里川・那珂川・藤井川・桜川・涸沼川 (県管理河川ン ・大規模水害時の相互協力に関する申し合わせ ・広域避難計画の策定 ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮 したハザードマップの作成・周知 ・まるごとまちごとハーザドマップ整備・拡充について検討 ・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練	平成28年9月 平成29年度 から実施 平成29年度 から実施 平成29年度 から実施 平成28年度 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	該当なし 協議会の中で相互協力に関する申し合わせを H29年度末に締結。一部修正。 ・隣接自治体からの打診があった場合は策定に ついて検討する。 想定最大規模降雨の洪水を対象に、ハザード マップ策定のため予算編成 [H30年度~] ・公共施設や電柱を中心に、表示看板を設置を 検討 [H29年度~]	現時点では、広域避難計画の策定予定はない。 次年度にハザードマップ策定のため、予算要求 を行った。	・隣接自治体からの打診があった場合は策定 ついて検討する。 ハザードマップは、次年度に防災マップとして 定予定。
・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、 氾濫シミュレーションの公表 く直轄河川ン 久恵川・山田川・里川・那珂川・藤井川・桜川・涸沼川 (県管理河川ン ・大規模水害時の相互協力に関する申し合わせ ・広域避難計画の策定 ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮 したハザードマップの作成・周知 ・まるごとまちごとハーザドマップ整備・拡充について検討 ・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練 の促進	平成28年9月 平成29年度 から実施 平成29年度 から実施 平成28年度 から実施 平成28年度から 順次実施 平成28年度から 呼及28年度から 呼及29年施 平成28年度から 平成28年度を 平成28年度から 平成28年度を	該当なし 協議会の中で相互協力に関する申し合わせを H29年度末に締結。一部修正。 ・隣接自治体からの打診があった場合は策定に ついて検討する。  想定最大規模降雨の洪水を対象に、ハザード マップ策定のため予算編成 [H30年度~] ・公共施設や電柱を中心に、表示看板を設置を 検討 [H29年度~]  該当なし	現時点では、広域避難計画の策定予定はない。 次年度にハザードマップ策定のため、予算要求 を行った。 引き続き検討中。	・隣接自治体からの打診があった場合は策定 ついて検討する。 ハザードマップは、次年度に防災マップとして 定予定。 引き続き検討する。
・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、 氾濫シミュレーションの公表 く直轄河川ン 久恵川・山田川・里川・那珂川・藤井川・桜川・涸沼川 (県管理河川ン ・大規模水害時の相互協力に関する申し合わせ ・広域避難計画の策定 ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮 したハザードマップの作成・周知 ・まるごとまちごとハーザドマップ整備・拡充について検討 ・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練 の促進	平成28年9月 平成29年度 から実施 平成28年度 平成29年度 から実施 平成28年度がら 順次実 平成28年度がら 順次実施 平成28年度がら 平成28年度がら 平成28年度がら	該当なし 協議会の中で相互協力に関する申し合わせを H29年度末に締結。一部修正。 ・隣接自治体からの打診があった場合は策定に ついて検討する。  想定最大規模降雨の洪水を対象に、ハザード マップ策定のため予算編成 [H30年度~] ・公共施設や電柱を中心に、表示看板を設置を 検討 [H29年度~]  該当なし	現時点では、広域避難計画の策定予定はない。 次年度にハザードマップ策定のため、予算要求 を行った。 引き続き検討中。	・隣接自治体からの打診があった場合は策定 ついて検討する。 ハザードマップは、次年度に防災マップとして 定予定。 引き続き検討する。
・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、 ・加密シミルー・ションの公表 く直轄河川ン 久恵川・山田川・里川・那珂川・藤井川・桜川・涸沼川 (県管理河川ン ・大規模水害時の相互協力に関する申し合わせ ・	平成28年9月 平成29年度 から実施 平成29年度 から実施 平成28年度 から実施 平成28年度から 順次実施 平成28年度から 呼及28年度から 呼及29年施 平成28年度から 平成28年度を 平成28年度から 平成28年度を	該当なし  協議会の中で相互協力に関する申し合わせを H29年度末に締結。一部修正。 ・隣接自治体からの打診があった場合は策定に ついて検討する。  想定最大規模降雨の洪水を対象に、ハザード マップ策定のため予算編成 [H30年度~]  ・公共施設や電柱を中心に、表示看板を設置を 検討 [H29年度~]  該当なし  マニュアルの作成に向け検討[H29年度~]	現時点では、広域避難計画の策定予定はない。 次年度にハザードマップ策定のため、予算要求を行った。 引き続き検討中。  マニュアルの作成に向け検討	・隣接自治体からの打診があった場合は策定 ついて検討する。 ハザードマップは、次年度に防災マップとして 定予定。 引き続き検討する。
・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、 氾濫シミュレーションの公表 く直轄河川ン 久恵川・山田川・里川・那珂川・藤井川・桜川・涸沼川 (県管理河川ン ・大規模水害時の相互協力に関する申し合わせ ・広域避難計画の策定 ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮 したハザードマップの作成・周知 ・まるごとまちごとハーザドマップ整備・拡充について検討 ・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練 の促進	平成28年9月 平成29年度 から実施 平成29年度 から実施 平成28年度 から実施 平成28年度 から実施 平成28年度から 順次次実施 平成28年度から 順次次実施 平成28年度がら 平成28年度がら 平成28年度がら 平成28年度がら 平成28年度がら	該当なし  協議会の中で相互協力に関する申し合わせを H29年度末に締結。一部修正。 ・隣接自治体からの打診があった場合は策定に ついて検討する。  想定最大規模降雨の洪水を対象に、ハザード マップ策定のため予算編成 [H30年度~]  ・公共施設や電柱を中心に、表示看板を設置を 検討 [H29年度~]  該当なし  マニュアルの作成に向け検討[H29年度~]  防災行政無線の再整備検討の中で、確実な伝達方法についてH30年度に設計を行う	現時点では、広域避難計画の策定予定はない。 次年度にハザードマップ策定のため、予算要求 を行った。 引き続き検討中。	・隣接自治体からの打診があった場合は策定 ついて検討する。 ハザードマップは、次年度に防災マップとして 定予定。 引き続き検討する。
・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、 氾濫・シュレーションの公表 く直轄河川> 久恵川・山田川・里川・那珂川・藤井川・桜川・溜沼川 ・保管理河川> ・大規模水害時の相互協力に関する申し合わせ ・広域避難計画の策定 ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮 したハザードマップの作成・周知 ・まるごとまちごとハーザドマップ整備・拡充について検討 ・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練 の促進 ・避難勧告等の判断・伝達マニュアルの見直し ・対象地区全住民への確実な情報伝達方法の確	平成28年9月 平成29年度 から実施 平成29年度 から実施 平成28年度 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	該当なし 協議会の中で相互協力に関する申し合わせを H29年度末に締結。一部修正。 ・隣接自治体からの打診があった場合は策定に ついて検討する。  想定最大規模降雨の洪水を対象に、ハザード マップ策定のため予算編成 [H30年度~] ・公共施設や電柱を中心に、表示看板を設置を 検討 [H29年度~]  該当なし マニュアルの作成に向け検討[H29年度~]  防災行政無線の再整備検討の中で、確実な伝	現時点では、広域避難計画の策定予定はない。 次年度にハザードマップ策定のため、予算要求を行った。 引き続き検討中。  マニュアルの作成に向け検討	・隣接自治体からの打診があった場合は策定 ついて検討する。 ハザードマップは、次年度に防災マップとして 定予定。 引き続き検討する。
・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、 氾濫・シュレーションの公表 く直轄河川> 久恵川・山田川・里川・那珂川・藤井川・桜川・溜沼川 ・保管理河川> ・大規模水害時の相互協力に関する申し合わせ ・広域避難計画の策定 ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮 したハザードマップの作成・周知 ・まるごとまちごとハーザドマップ整備・拡充について検討 ・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練 の促進 ・避難勧告等の判断・伝達マニュアルの見直し ・対象地区全住民への確実な情報伝達方法の確	平成28年9月 平成29年度 から実施 平成29年度 から実施 平成28年度 から実施 平成28年度 から実施 平成28年度から 順次次実施 平成28年度から 順次次実施 平成28年度がら 平成28年度がら 平成28年度がら 平成28年度がら 平成28年度がら	該当なし  協議会の中で相互協力に関する申し合わせを H29年度末に締結。一部修正。 ・隣接自治体からの打診があった場合は策定に ついて検討する。  想定最大規模降雨の洪水を対象に、ハザード マップ策定のため予算編成 [H30年度~]  ・公共施設や電柱を中心に、表示看板を設置を 検討 [H29年度~]  該当なし  マニュアルの作成に向け検討[H29年度~]  防災行政無線の再整備検討の中で、確実な伝達方法についてH30年度に設計を行う	現時点では、広域避難計画の策定予定はない。 次年度にハザードマップ策定のため、予算要求を行った。 引き続き検討中。  マニュアルの作成に向け検討	・隣接自治体からの打診があった場合は策定 ついて検討する。 ハザードマップは、次年度に防災マップとして 定予定。 引き続き検討する。
・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、 ・図では、	平成28年9月 平成29年度 から実施 平成29年度 から実施 平成28年度 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	該当なし  協議会の中で相互協力に関する申し合わせを H29年度末に締結。一部修正。  ・隣接自治体からの打診があった場合は策定について検討する。  一型定最大規模降雨の洪水を対象に、ハザードマップ策定のため予算編成 [H30年度~]  ・公共施設や電柱を中心に、表示看板を設置を検討 [H29年度~]  該当なし  マニュアルの作成に向け検討[H29年度~]  防災行政無線の再整備検討の中で、確実な伝達方法についてH30年度に設計を行う [H29年度~]	現時点では、広域避難計画の策定予定はない。 次年度にハザードマップ策定のため、予算要求を行った。 引き続き検討中。  マニュアルの作成に向け検討  防災無線の実施設計で検討	・隣接自治体からの打診があった場合は策定ついて検討する。  ハザードマップは、次年度に防災マップとしてに定予定。  引き続き検討する。  マニュアルの作成に向け検討  防災行政無線の実施設計により工事を行う。
・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、 氾濫・シュレーションの公表 く直轄河川> 久恵川・山田川・里川・那珂川・藤井川・桜川・溜沼川 ・保管理河川> ・大規模水害時の相互協力に関する申し合わせ ・広域避難計画の策定 ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮 したハザードマップの作成・周知 ・まるごとまちごとハーザドマップ整備・拡充について検討 ・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練 の促進 ・避難勧告等の判断・伝達マニュアルの見直し ・対象地区全住民への確実な情報伝達方法の確	平成28年9月 平成29年度 から実施 平成29年度 から実施 平成28年度 平成28年度 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	議当なし  協議会の中で相互協力に関する申し合わせを H29年度末に締結。一部修正。  ・隣接自治体からの打診があった場合は策定について検討する。  想定最大規模降雨の洪水を対象に、ハザード マップ策定のため予算編成 [H30年度~]  ・公共施設や電柱を中心に、表示看板を設置を 検討 [H29年度~]  該当なし  マニュアルの作成に向け検討[H29年度~]  防災行政無線の再整備検討の中で、確実な伝 達方法についてH30年度に設計を行う [H29年度~]  組織率向上に向けての周知活動及び活動のための支援。	現時点では、広域避難計画の策定予定はない。 次年度にハザードマップ策定のため、予算要求を行った。 引き続き検討中。  マニュアルの作成に向け検討	・隣接自治体からの打診があった場合は策定 ついて検討する。 ハザードマップは、次年度に防災マップとして 定予定。 引き続き検討する。
・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、 ・図では、	平成28年9月 平成29年度 から実施 平成29年底 ・ 中成28年度 ・ 中成28年度を ・ 中成28年度を ・ 中成28年度を ・ 中成28年度を ・ 中成28年度を ・ 中成28年度	該当なし 協議会の中で相互協力に関する申し合わせを H29年度末に締結。一部修正。 ・隣接自治体からの打診があった場合は策定について検討する。  想定最大規模降雨の洪水を対象に、ハザードマップ策定のため予算編成 [H30年度~] ・公共施設や電柱を中心に、表示看板を設置を検討 [H29年度~]  該当なし マニュアルの作成に向け検討[H29年度~]  防災行政無線の再整備検討の中で、確実な伝達方法についてH30年度に設計を行う [H29年度~]  組織率向上に向けての周知活動及び活動のた	現時点では、広域避難計画の策定予定はない。  次年度にハザードマップ策定のため、予算要求を行った。  引き続き検討中。  マニュアルの作成に向け検討  防災無線の実施設計で検討  組織率向上に向けての周知活動及び活動のた	・隣接自治体からの打診があった場合は策定 ついて検討する。 ハザードマップは、次年度に防災マップとして 定予定。 引き続き検討する。 マニュアルの作成に向け検討 防災行政無線の実施設計により工事を行う。 引き続き組織率向上に向けての周知活動及
・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、 ・図では、	平成28年9月 平成29年度 から実施 平成29年度 から実施 平成28年度 平成28年度 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	議当なし  協議会の中で相互協力に関する申し合わせを H29年度末に締結。一部修正。  ・隣接自治体からの打診があった場合は策定について検討する。  想定最大規模降雨の洪水を対象に、ハザード マップ策定のため予算編成 [H30年度~]  ・公共施設や電柱を中心に、表示看板を設置を 検討 [H29年度~]  該当なし  マニュアルの作成に向け検討[H29年度~]  防災行政無線の再整備検討の中で、確実な伝 達方法についてH30年度に設計を行う [H29年度~]  組織率向上に向けての周知活動及び活動のための支援。	現時点では、広域避難計画の策定予定はない。  次年度にハザードマップ策定のため、予算要求を行った。  引き続き検討中。  マニュアルの作成に向け検討  防災無線の実施設計で検討  組織率向上に向けての周知活動及び活動のた	・隣接自治体からの打診があった場合は策定 ついて検討する。 ハザードマップは、次年度に防災マップとして 定予定。 引き続き検討する。 マニュアルの作成に向け検討 防災行政無線の実施設計により工事を行う。 引き続き組織率向上に向けての周知活動及び
・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、 ・図で東海川ンションの公表 く直轄河川ン ・展管理河川ン ・大規模水害時の相互協力に関する申し合わせ ・ 大規模水害時の相互協力に関する申し合わせ ・	平成28年9月 平成29年度 から実施 平成29年底 ・ 中成28年度 ・ 中成28年度を ・ 中成28年度を ・ 中成28年度を ・ 中成28年度を ・ 中成28年度を ・ 中成28年度	協議会の中で相互協力に関する申し合わせを H29年度末に締結。一部修正。      ・隣接自治体からの打診があった場合は策定について検討する。      想定最大規模降雨の洪水を対象に、ハザードマップ策定のため予算編成 [H30年度~]      ・放井施設や電柱を中心に、表示看板を設置を検討 [H29年度~]      該当なし  マニュアルの作成に向け検討[H29年度~]      防災行政無線の再整備検討の中で、確実な伝達方法についてH30年度に設計を行う [H29年度~]  組織率向上に向けての周知活動及び活動のための支援。 [H29年度~]  ・安全対策・待避等を踏まえたマニュアルの整備 ・安全対策・待避等を踏まえたマニュアルの整備	現時点では、広域避難計画の策定予定はない。 次年度にハザードマップ策定のため、予算要求を行った。 引き続き検討中。  マニュアルの作成に向け検討  防災無線の実施設計で検討  組織率向上に向けての周知活動及び活動のための支援を行った。	・隣接自治体からの打診があった場合は策定 ついて検討する。 ハザードマップは、次年度に防災マップとして 定予定。 引き続き検討する。 マニュアルの作成に向け検討 防災行政無線の実施設計により工事を行う。 引き続き組織率向上に向けての周知活動及び
・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、 ・図では、	平成28年9月 平成29年度 から実施 平成29年底 ・ 中成28年度 ・ 中成28年度を ・ 中成28年度を ・ 中成28年度を ・ 中成28年度を ・ 中成28年度を ・ 中成28年度	議当なし  協議会の中で相互協力に関する申し合わせを H29年度末に締結。一部修正。  ・隣接自治体からの打診があった場合は策定について検討する。  想定最大規模降雨の洪水を対象に、ハザード マップ策定のため予算編成 [H30年度~]  ・公共施設や電柱を中心に、表示看板を設置を 検討 [H29年度~]  該当なし  マニュアルの作成に向け検討[H29年度~]  防災行政無線の再整備検討の中で、確実な伝 達方法についてH30年度に設計を行う [H29年度~]  組織率向上に向けての周知活動及び活動のための支援。	現時点では、広域避難計画の策定予定はない。 次年度にハザードマップ策定のため、予算要求を行った。 引き続き検討中。  マニュアルの作成に向け検討  防災無線の実施設計で検討  組織率向上に向けての周知活動及び活動のための支援を行った。	・隣接自治体からの打診があった場合は策定ついて検討する。  ハザードマップは、次年度に防災マップとして定予定。  引き続き検討する。  マニュアルの作成に向け検討  防災行政無線の実施設計により工事を行う。  引き続き組織率向上に向けての周知活動及に活動のための支援を行う。

)概ね5年で実施する取組				
具体的な取組の柱 事 項	目標時期		実施する機関	
事 項	口惊时期	取組予定【H30年度】	<b>城里町</b> 実施結果【H30年度】	取組内容【R元(H31)年度】
)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅	速かつ的確な避難		200000000000000000000000000000000000000	
■避難勧告発令に着目したタイムラインの作成		7 hugu hish // = // . o p =   his		(kd) + 6 // = 0
・避難勧告の発令に着目したタイムラインの作成	平成28年度から 順次実施	チェックリストからタイムラインへの見直し検討 【H29年度~】	タイムラインを作成	作成したタイムラインの内容見直し
・タイムラインに基づく首長等も参加した実践的な訓練	平成28年度から	タイムライン作成に併せ実践的な訓練を実施するか検討【H29年度~】	訓練に向け、検討	訓練に向け検討
	順次実施			
- 気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善(水害時の情報入手のし易さをサポート)	平成29年度 出水期から実施	該当なし	_	_
■防災教育や防災知識の普及				
・水災害の事前準備に関する問い合わせ窓口の 設置	平成28年度 から実施	・地域防災室が窓口となっている	・地域防災室が窓口となっている	・地域防災室が窓口となっている
・水防災に関する説明会等の開催	平成28年度から 順次実施	・関係部署と説明会の実施について検討する 【H29年度~】	・関係部署と説明会の実施について検討する	・関係部署と説明会の実施について検討する
・教員を対象とした講習会の実施	平成28年度から	・関係部署と役割分担、進め方等を調整中	・関係部署と説明会の実施について検討する	・関係部署と説明会の実施について検討する
・小学生を対象とした防災教育の実施	順次実施	・関係部署と役割分担、進め方等を調整中	・関係部署と説明会の実施について検討する	・関係部署と説明会の実施について検討する
・出前講座等を活用した講習会の実施	順次実施	該当なし	-	-
・ブッシュ型の洪水予報等の情報発信	平成28年度 から実施	該当なし	-	_
・水位計やライブカメラの情報をリアルタイムで提	平成28年度から 順次実施	該当なし		
供	平成28年度 から実施	設当なし		
リンフト対策の主な取組 ②避難時間の確保のための ■より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化				
・ アルボロットがいる 到び 失悲 及び 小が 中間 ジョン・ ・ 水防 団 等への 連絡体制の 再確認と 伝達訓練の 実施	ェ 平成28年度 から実施	・既に複数の伝達手法を確保している	- 既に複数の伝達手法を確保している	・既に複数の伝達手法を確保している
・水防団同士の連絡体制の確保	平成28年度から 順次実施	・既に確保出来ている	・既に確保出来ている	・既に確保出来でいる
・水防団や地域住民が参加する洪水に対しリスクが高い区間の共同点検	引き続き 毎年実施	地元区長等に共同点検への参加を促す	地元区長等に共同点検への参加を促す	地元区長等に共同点検への参加を促す
-水防訓練の実施	引き続き 毎年実施 平成28年度から 順次実施	水防訓練実施に向けた準備	消防団の訓練と併せて水防訓練を実施	前年の訓練を踏まえて、内容の検討し実施
・水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・ 指定を促進	引き続き 毎年実施	募集継続中	募集継続中	募集継続中
・水防団員の待避等判断指標の作成	平成28年度から 順次実施	引き続き検討する	引き続き検討する	引き続き検討する
・水防団員の安全装備の徹底(水防法第7条)	平成28年度から 順次実施	ライフジャケット等の追加補充。	ライフジャケット等の追加補充。	ライフジャケット等の追加補充。
■排水活動の強化に関する取組 ・排水ポンプ車の操作講習会、出動要請の連絡体制の周知	引き続き 毎年実施	操作訓練に参加	操作訓練に参加	操作訓練に参加
・遂げ遅れゼロ等に寄与する排水ボンブ車の活用計画	平成28年度 から実施	河川事務所から要請があれば、基礎データ等の 情報を提供する	河川事務所から要請があれば、基礎データ等の 情報を提供する	河川事務所から要請があれば、基礎データ等 情報を提供する

概ね5年で実施する取組				
具体的な取組の柱	D += n+ #0		実施する機関	
事 項 具体的取組	目標時期	取組予定【H30年度】	東海村 実施結果【H30年度】	取組内容【R元(H31)年度】
)ハード対策の主な取組		取租予足[H30年度]	美胞稻果[H30年度]	取組內容[R元(FIST)年度]
■氾濫を未然に防ぐ対策				
<久慈川>		該当なし	_	_
・優先的に実施する流下能力向上対策、浸透・パ イピング対策				
<那珂川>	平成32年度			
・優先的に実施する流下能力向上対策、浸透・パ   イピング対策				
■危機管理型ハード対策				
<久慈川>   ・堤防天端の保護		該当なし	_	_
・堤防裏法尻の補強	平成32年度			
<那珂川>   ・堤防天端の保護	十八32千尺			
・堤防裏法尻の補強				
■避難行動、水防活動に資する基盤等の整備				
・雨量・水位等の観測データ及び洪水時の状況を 把握・伝達するための基盤の整備		・既存のもので対応予定	・既存のもので対応	・既存のもので対応
TOTAL MALE OF THE PARTY OF THE	平成28年度			
	から実施			
・さらなる情報伝達手段の追加整備もしくは検討		・既存のもので対応予定	・既存のもので対応	・既存のもので対応
	平成28年度から			
	順次実施			
		・既配備のもので対応予定	・既配備のもので対応	・既配備のもので対応
(新技術を活用した水防資機材を含む)		77,10 7 72	THE STATE OF THE S	75576576
	平成28年度から 順次実施			
	顺久天池			
<b>依日北州司 4日 14年 66年 1</b>		III de TID TILL O TE LILLO TE		III METER THE OF
・簡易水位計や量水標、CCTVカメラの設置		・県管理河川の新川に危機管理型水位計の設置を県に引き続き要望していく。	・県管理河川の新川に危機管理型水位計の設置を県に引き続き要望していく。	・県管理河川の新川に危機管理型水位計の設置を県に引き続き要望していく。
	平成28年度			
	から実施			
・浸水時においても災害対応を継続するための施		・浸水想定区域内に施設なし	・浸水想定区域内に施設なし	・浸水想定区域内に施設なし
設の整備及び自家発電装置等の耐水化(庁舎、  要配慮施設、避難所等)	平成28年度から			
	順次実施			
・水位予測の精度向上検討		該当なし	該当なし	該当なし
17.27.7.7.1.2.7.2.7.2.7.2.7.2.7.2.7.2.7.				
	平成28年度			
<ul><li>2)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた近</li><li>■想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮し</li></ul>				
・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、		該当なし	_	_
氾濫シミュレーションの公表 〈直轄河川〉	平式00年0日			
久慈川・山田川・里川・那珂川・藤井川・桜川・涸沼	平成28年9月			
Л	平成29年度			
<県管理河川>	から実施			
1 15 14 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		A. A	A. A	
・大規模水害時の相互協力に関する申し合わせ		・甲し合わせに基つき、協力の要請かあった場合  は、協力する。	・申し合わせに基づき、協力の要請があった場合 は、協力する。	・甲し合わせに基づき、協力の要請かあった場合  は、協力する。
	平成28年度			
・広域避難計画の策定		・浸水想定区域内に指定避難所なし。ただし、隣		・浸水想定区域内に指定避難所なし。ただし、隣
	平成29年度 から実施		接自治体からの打診があった場合は策定につい で検討する。	
	から美旭			
・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮		・村内公共施設にハザードマップを設置し、来館	・村内公共施設にハザードマップを設置し、来館	・村内公共施設にハザードマップを設置し、来館
したハザードマップの作成・周知	平成28年度から	者が自由に持ち帰りできるようにしているほか、 転入者へ追加配布している。	者が自由に持ち帰りできるようにしているほか, 転入者へ追加配布している。	者が自由に持ち帰りできるようにしているほか、 転入者へ追加配布している。
	順次実施	¥4人名へ追加配刊している。	¥4人名へ追加配刊している。	料人名べ追加能和している。
・まるごとまちごとハーザドマップ整備・拡充につい		・既に設置済み	・既に設置済み	・既に設置済み
て検討	平成28年度から	・「、「、」、「、「、」、「、」、「、「、」、「、「、」、「、「、」、「、「、」、「、「、」、「、「、」、「、「、」、「、、、、、、	一、「一、「一、「一、」	一、「一、「、」、「、」、「、」、「、」、「、」、「、」、「、」、「、」、「、、、、、、
	順次実施			
・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練		・浸水想定区域内に施設なし	・浸水想定区域内に施設なし	・浸水想定区域内に施設なし
の促進	平成29年度			
	から実施			
・避難勧告等の判断・伝達マニュアルの見直し		・策定済みであるが、必要に応じて見直していく。	・策定済みであるが、必要に応じて見直していく。	・策定済みであるが、必要に応じて見直していく。
	平成28年度から			
	順次実施			
・対象地区全住民への攻実が終却にませたのな		・白土防災組織主結びの地区に対し 住成され	・白土防災組織主結びの地区に対し、住民との	・白土防災組織主結びの地でに対し、住中土の
<ul><li>対象地区全住民への確実な情報伝達方法の確立(自治体未加入世帯、高齢者、外国人等)</li></ul>		・自主防災組織未結成の地区に対し、結成を呼び掛ける。	・自主防災組織未結成の地区に対し、結成を呼び掛ける。	・自主防災組織未結成の地区に対し、結成を呼び掛ける。
	平成28年度から 順次実施	・安心サポーター制度の維持 ・外国人支援担当課と連携し、外国人向けに村	・安心サポーター制度の維持 ・外国人支援担当課と連携し、外国人向けに村	・安心サポーター制度の維持 ・外国人支援担当課と連携し、外国人向けに村
	顺久天爬	からの情報を発信するツールとして村姉妹都市	からの情報を発信するツールとして村姉妹都市	からの情報を発信するツールとして村姉妹都市
・自助、共助を目指した自主防災組織の充実		交流会館FBを活用する。 ・自主防災組織未結成の地区に対し、結成を呼	交流会館FBを活用する。 ・自主防災組織未結成の地区に対し、結成を呼	交流会館FBを活用する。 ・自主防災組織未結成の地区に対し、結成を呼
ロッパ、大明でロヨしに日工防火粒戦の兀美		び掛ける。	び掛ける。	び掛ける。
	平成28年度 から実施	・自主防災組織が災害時に主体的に活動できる ように助言・指導を行う。	・自主防災組織が災害時に主体的に活動できる ように助言・指導を行う。	・自主防災組織が災害時に主体的に活動できる ように助言・指導を行う。
	カラ大心	・自主防災組織主催の防災訓練への支援	・自主防災組織主催の防災訓練への支援	・自主防災組織主催の防災訓練への支援
・避難誘導員の安全対策、待避等を踏まえた避難		・消防団活動マニュアルを策定済みであるが、必	・消防団活動マニュアルを策定済みであるが、必	・消防団活動マニュアルを策定済みであるが、必
誘導マニュアルの整備	平成29年度	要に応じて見直していく。	要に応じて見直していく。	要に応じて見直していく。
	から実施			
1				

〇概ね5年で実施する取組				
具体的な取組の柱			実施する機関	
事 項 具体的取組	目標時期	取組予定【H30年度】	東海村 実施結果【H30年度】	取組内容【R元(H31)年度】
シソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅	  速かつ的確な避難		天池和宋[1130年及]	以他内存[K儿(IIOT) 牛皮]
■避難勧告発令に着目したタイムラインの作成	TALL THE GRAZIE			
・避難勧告の発令に着目したタイムラインの作成	平成28年度から 順次実施	・既にタイムラインを策定済 ・村で作成したタイムラインを住民が書き込むマ イタイムラインと併せてハザードマップに掲載済	・既にタイムラインを策定済 ・村で作成したタイムラインを住民が書き込むマ イタイムラインと併せてハザードマップに掲載済	<ul><li>・既にタイムラインを策定済</li><li>・村で作成したタイムラインを住民が書き込むマイタイムラインと併せてハザードマップに掲載済</li></ul>
・タイムラインに基づく首長等も参加した実践的な 訓練	平成28年度から 順次実施	・タイムラインの内容、本村の防災体制を勘案しつつ、必要性を踏まえ、実施を検討する(未定)	_	・タイムラインの内容、本村の防災体制を勘案しつつ、必要性を踏まえ、実施を検討
・気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善(水害時の情報入手のし易さを	順次美胞	該当なし	_	-
サポート)	平成29年度 出水期から実施			
■防災教育や防災知識の普及 ・水災害の事前準備に関する問い合わせ窓口の		・従来どおり担当課で対応	・従来どおり担当課で対応	・従来どおり担当課で対応
設置	平成28年度 から実施			
- 水防災に関する説明会等の開催	平成28年度から 順次実施	- 自主防災組織の訓練にあわせて説明会を実施	<ul> <li>・目王防災組織の訓練にあわせ説明会を実施</li> </ul>	- 自主防災組織の訓練にあわせ説明会を実施
・教員を対象とした講習会の実施	平成28年度から 順次実施	・要請があれば引き続き実施	・要請があれば引き続き実施	- 要請があれば引き続き実施
・小学生を対象とした防災教育の実施	平成28年度から 順次実施	・要請があれば引き続き実施	・要請があれば引き続き実施	・要請があれば引き続き実施
・出前講座等を活用した講習会の実施	平成28年度 から実施	該当なし	_	_
・プッシュ型の洪水予報等の情報発信	平成28年度から 順次実施	該当なし	_	_
・水位計やライブカメラの情報をリアルタイムで提供	平成28年度 から実施	該当なし	_	_
)ソフト対策の主な取組 ②避難時間の確保のための ■より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化				
・水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練の 実施	D 平成28年度 から実施	・既にMCA無線やメールなど複数の伝達手段を確保している	・既にMCA無線やメールなど複数の伝達手段を確保している	・既にMCA無線やメールなど複数の伝達手段を確保している
・水防団同士の連絡体制の確保	平成28年度から 順次実施	・既に確保できている	・既に確保できている	-既に確保できている
・水防団や地域住民が参加する洪水に対しリスクが高い区間の共同点検	引き続き 毎年実施	- 毎年河川事務所が実施する重要水防箇所等の 共同点検に参加する。	・毎年河川事務所が実施する重要水防箇所等の 共同点検に参加	・毎年河川事務所が実施する重要水防箇所等の 共同点検に参加
・水防訓練の実施	引き続き 毎年実施 平成28年度から 順次実施	・引き続き、毎年開催している久慈川水系連合水 防削線に参加する	・引き続き、毎年開催している久慈川水系連合水 防削線に参加	・引き続き、毎年開催している久慈川水系連合水 防削線に参加
・水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・指定を促進	引き続き 毎年実施	・必要性を踏まえ、広報誌やホームページで募集を行う。	_	・必要性を踏まえ、広報誌やホームページで募集を行う。
- 水防団員の待避等判断指標の作成	平成28年度から 順次実施	・水防団員の安全対策、待避のタイミングについては消防団活動マニュアルでルール化されている	・水防団員の安全対策、待避のタイミングについては消防団活動マニュアルでルール化されている	・水防団員の安全対策、待避のタイミングについては消防団活動マニュアルでルール化されている
- 水防団員の安全装備の徹底(水防法第7条)	平成28年度から 順次実施	- 既配備のもので対応予定。	- 既配備のもので対応	- 既配備のもので対応
■排水活動の強化に関する取組 ・排水ポンプ車の操作講習会、出動要請の連絡体 制の周知	引き続き 毎年実施	・河川事務所が実施する排水ポンプ車の操作訓 線に引き続き参加	・河川事務所が実施する排水ポンプ車の操作訓練に引き続き参加	・河川事務所が実施する排水ポンプ車の操作訓練に引き続き参加
・遂げ遅れゼロ等に寄与する排水ポンプ車の活用 計画	平成28年度 から実施	・河川事務所から要請があれば、基礎データ等 の情報を提供する	_	・河川事務所から要請があれば、基礎データ等 の情報を提供する

既ね5年で実施する取組				
具体的な取組の柱	D 45 ot #0		実施する機関	
事 項 具体的取組	目標時期	取43字[1100左座]	大田原市 実施結果[H30年度]	取44中南[D=/1104]左库]
共体的収租		取組予定【H30年度】	美施桁来[H3U年度]	取組内容【R元(H31)年度】
■氾濫を未然に防ぐ対策				
<久慈川>		-	-	-
・優先的に実施する流下能力向上対策、浸透・パ イピング対策				
イニング対象   <那珂川>	平成32年度			
・優先的に実施する流下能力向上対策、浸透・パ				
イビング対策 ■危機管理型ハード対策				
<久慈川>		-	-	-
・堤防天端の保護・堤防東法屋の補強				
・堤防裏法尻の補強   <那珂川>	平成32年度			
・堤防天端の保護				
<ul><li>・堤防裏法尻の補強</li><li>■避難行動、水防活動に資する基盤等の整備</li></ul>				
・雨量・水位等の観測データ及び洪水時の状況を		_	-	_
把握・伝達するための基盤の整備				
	平成28年度			
	から実施			
・さらなる情報伝達手段の追加整備もしくは検討		既存の施設で十分機能している。	防災行政無線について、見直しを検討。	防災行政無線を再整備し、情報伝達をさらに確 実なものとする。
	平成28年度から			失なものとする。
	順次実施			
・水防活動を支援するための水防資機材等の配備		既存の施設で十分機能している。	実施した取組なし。	既存の施設で十分機能しているが、必要に応じ
(新技術を活用した水防資機材を含む)		MATTO MEDIC CT 75 THE REC CO TO .	XIBO/CAXABOSO.	て、配備の検討を行う。
	平成28年度から			
	順次実施			
・簡易水位計や量水標、CCTVカメラの設置		-	-	-
	平成28年度			
	平成28年度 から実施			
・浸水時においても災害対応を継続するための施		_		
・浸が時においても火告対応を継続するための他 設の整備及び自家発電装置等の耐水化(庁舎、		_	_	
要配慮施設、避難所等)	平成28年度から			
	順次実施			
・水位予測の精度向上検討		-	-	-
	平成28年度			
2)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迂				
■想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮し ・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、	ンにハサートマッノの	_	_	_
氾濫シミュレーションの公表				
<直轄河川>   久慈川・山田川・里川・那珂川・藤井川・桜川・涸沼	平成28年9月			
	平成29年度			
大日	から実施			
・大規模水害時の相互協力に関する申し合わせ		協議会の中で相互協力に関する申し合わせを	実施した取組なし。	協議会の中で相互協力に関する申し合わせを
	亚式加车车	H28年度末に締結済み。		H28年度末に締結済み。
	平成28年度			
		12 1.48 do FT 14.4.1.45 do 10.48 = 7.4.1	chille to the end of	
・広域避難計画の策定		・浸水想定区域内に指定避難所なし ・隣接自治体からの打診があった場合は策定に	実施した取組なし。	・浸水想定区域内に指定避難所なし ・隣接自治体からの打診があった場合は策定に
	平成29年度 から実施	ついて検討する。		ついて検討する。
	70 J J 71 12			
・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮		洪水浸水想定区域等のハザードマップを修正し	・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考	住民への説明会を出水期前に実施予定。
したハザードマップの作成・周知	平成28年度から	市民への周知を実施予定。	慮したハザードマップの作成。	
	順次実施			
・まるごとまちごとハーザドマップ整備・拡充につい		ピクトグラムを掲示する前段階として、緊急避難	緊急避難場所及び指定避難所の見直しを実施。	ピクトグラムを掲示する前段階として、引き続き、
で検討	T-200 1. 3	場所及び指定避難所の見直しを検討。	系心矩無場所及び拍足矩無所の見直しを美施。	緊急避難場所及び指定避難所の見直しを検討。
	平成28年度から 順次実施			
・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練		-	-	-
の促進	平成29年度			
	から実施			
・避難勧告等の判断・伝達マニュアルの見直し		・・策定済みであるが、必要に応じて見直していく。	字位 4. 所绍か	・策定済みであるが、必要に応じて見直していく。
・妊無制合寺の判断・伝達マニュアルの見直し	T-000 1. 3	・東足済みであるが、必要に応じて見直していく。	夫他した収組なし。	・東足済みであるが、必要に応じて見直していく。
	平成28年度から 順次実施			
・対象地区全住民への確実な情報伝達方法の確		防災行政無線整備事業について、見直しを検	防災行政無線整備事業について、見直しを検	防災行政無線を再整備し、情報伝達をさらに確
立(自治体未加入世帯、高齢者、外国人等)	平成28年度から	討。	討。	実なものとする。
	順次実施			
・自助、共助を目指した自主防災組織の充実		・自主防災組織の結成を進める。	・自主防災組織の結成を進め、15組織が結成し	・自主防災組織の結成を進める。
	平成28年度	・自主防災組織も対象とした防災講演会を随時	た。(見込み含め)	・自主防災組織も対象とした防災講演会を随時
	平成28年度 から実施	実施予定。	・ 自主防災組織も対象とした防災講演会を随時 実施した。	実施予定。
・避難誘導員の安全対策、待避等を踏まえた避難		H30年度から安全対策・待避等を踏まえたマニュ	安全対策・待避等を踏まえたマニュアルの整備・	H30年度から安全対策・待避等を踏まえたマニュ
誘導マニュアルの整備	平成29年度	アルの整備・充実の検討をしていく。	充実を検討。	アルの整備・充実の検討をしていく。
	から実施			

〇概ね5年で実施する取組			- It- 1 = 10000	
具体的な取組の柱 事 項	目標時期		実施する機関 大田原市	
具体的取組	디카막케	取組予定【H30年度】	実施結果【H30年度】	取組内容【R元(H31)年度】
2)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迂	l速かつ的確な避難?			
■避難勧告発令に着目したタイムラインの作成 ・避難勧告の発令に着目したタイムラインの作成		タイムラインの作成済。	タイムラインの作成済。	必要に応じて、タイムラインの見直し、関係機関
EXEMPLE OF THE PROPERTY OF THE	平成28年度から 順次実施	Z I Z Z I Z Z I FRANCO	Z I Z J I Z Z I FRAZIO	への周知を行う。
・タイムラインに基づく首長等も参加した実践的な 訓練	平成28年度から	タイムライン作成が完了次第、訓練を検討する。	タイムラインに基づいた訓練の検討。	タイムラインに基づいた訓練の検討。
	平成26年度から 順次実施			
- 気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善(水害時の情報入手のし易さをサポート)	平成29年度 出水期から実施			
■防災教育や防災知識の普及		在## @TD=90 (c.k.) > TBO	左線放布=用によい、てBA はまたナゲーマンフ	
- 水災害の事前準備に関する問い合わせ窓口の 設置	平成28年度 から実施	危機管理課において問合せ対応を行っている。	危機管理課において問合せ対応を行っている。	引き続き危機管理課において問合せ対応を行っていく。
・水防災に関する説明会等の開催	平成28年度から	実施の予定なし。	実施した取組なし。	実施の予定なし
	順次実施			
・教員を対象とした講習会の実施	平成28年度から 順次実施	実施の予定なし。	実施した取組なし。	実施の予定なし
・小学生を対象とした防災教育の実施	平成28年度から 順次実施	学校からの要請があれば対応している。	期限切れ間近の災害備蓄品を希望する小学校 へ配布し、防災意識の啓発を実施した。	学校からの要請があれば対応していく。
- 出前講座等を活用した講習会の実施	平成28年度 から実施	-	-	-
・プッシュ型の洪水予報等の情報発信	平成28年度から 順次実施	-	-	-
・水位計やライブカメラの情報をリアルタイムで提供	平成28年度 から実施	-	-	-
2)ソフト対策の主な取組 ②避難時間の確保のための	り取組			
■より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化 ・水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練の	t	既に複数の伝達手法を確保している。	市防災訓練時に情報伝達訓練を実施した。	市防災訓練で情報伝達訓練の実施しを検討す
実施 実施	平成28年度 から実施	MIC技数のIA圧下/ACVE MC C いる。	III 例 火 ann 株 です 〜 IR 中以 IA 大生 ann 株 と 大 かと ジェッ	市が大品の本で日本収益を可称が大品のではなりする。
・水防団同士の連絡体制の確保		既に確保出来でいる。	実施した取組なし。	既に確保出来でいる。
	平成28年度から 順次実施		3435	
・水防団や地域住民が参加する洪水に対しリスク が高い区間の共同点検	引き続き 毎年実施	大田原土木事務所と重要水防箇所等の点検を 行う予定。共同点検参加の要請があれば、積極 的に参加する。	大田原土木事務所と重要水防箇所等の点検を 実施。	大田原土木事務所と重要水防箇所等の点検を 行う予定。共同点検参加の要請があれば、積極 的に参加する。
- 水防訓練の実施	引き続き 毎年実施 平成28年度から 順次実施	市で行っている防災訓練において、情報伝達・応 急対策(土のう設置)訓練を実施予定。	市で行っている防災訓練において、情報伝達・応 急対策(土のう設置)訓練を実施。	市で行っている防災訓練において、情報伝達・成 急対策(土のう設置)訓練を実施予定。
・水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・ 指定を促進	引き続き 毎年実施	既に水防協力団体の指定を行っている。	水防協力団体の募集・指定を検討。	水防協力団体の募集・指定を検討。
・水防団員の待避等判断指標の作成	平成28年度から 順次実施	水防団員の安全対策、待避のタイミングについては水防計画に定めている。	実施した取組なし。	必要に応じて、水防計画の見直しを検討。
・水防団員の安全装備の徹底(水防法第7条)	平成28年度から 順次実施	既にライフジャケットについては配備している。	実施した取組なし。	既にライフジャケットについては配備しているが、 必要に応じて装備の見直し等を行う。
■批ル汗動の強ルに関する物の				
<ul><li>■排水活動の強化に関する取組</li><li>・排水ポンプ車の操作講習会、出動要請の連絡体制の周知</li></ul>	引き続き 毎年実施	操作講習会参加の要請があれば、参加を検討 する。	H30年度は参加しなかったが操作講習会参加の 要請があれば、参加を検討する。	操作講習会参加の要請があれば、参加を検討する。
・逃げ遅れゼロ等に寄与する排水ポンプ車の活用 計画	平成28年度 から実施	河川事務所から要請があれば、基礎データ等の 情報を提供する。	H30年度は情報提供を行わなかったが、河川事 務所から要請があれば、基礎データ等の情報を 提供する。	  河川事務所から要請があれば、基礎データ等の 情報を提供する。

最ね5年で実施する取組				
具体的な取組の柱	C 15 of 40		実施する機関	
事 項 具体的取組	目標時期	取得圣堂[1120年度]	那須烏山市 実施結果[H30年度]	取44 中央[D=/1104) 左座1
共体的収組		取組予定【H30年度】	美施桁来[H3U年度]	取組内容【R元(H31)年度】
■氾濫を未然に防ぐ対策				
<久慈川>		-	-	-
│ ・優先的に実施する流下能力向上対策、浸透・パイピング対策				
イニング対象	平成32年度			
・優先的に実施する流下能力向上対策、浸透・パ				
イピング対策 ■危機管理型ハード対策				
<久慈川>		-	-	-
・堤防天端の保護   ・堤防裏法尻の補強				
<那珂川>	平成32年度			
・堤防天端の保護				
・堤防裏法尻の補強 ■避難行動、水防活動に資する基盤等の整備				
・雨量・水位等の観測データ及び洪水時の状況を		-	-	-
把握・伝達するための基盤の整備	T-0			
	平成28年度 から実施			
・さらなる情報伝達手段の追加整備もしくは検討			平成30年度に新しい防災情報伝送システムの検	新川、陸災信報伝送システルを道る
とうなる自転は建一段の追加金属 00代は快的		たな情報伝達手段を検討する。	計を実施。	初しい   例 欠 旧 報 因 返 ク 入 ) 互 を 等 入 。
	平成28年度から			
	順次実施			
・水防活動を支援するための水防資機材等の配備		既存の配備で十分機能できると推察される。	既存の配備で十分機能できると推察される。	既存の配備で十分機能できると推察される。
(新技術を活用した水防資機材を含む) 	平成28年度から			
	順次実施			
・簡易水位計や量水標、CCTVカメラの設置		-	-	-
	平成28年度 から実施			
	75 - 5 - Kill			
Partickly of Water weet 74 4 orto		\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	東町点来利用性型の放散に乗引来の <i>にはと</i> ま	東京青来和田林-Dの 2020年に到了の 15 cm + cm
・浸水時においても災害対応を継続するための施 設の整備及び自家発電装置等の耐水化(庁舎、		避難行動計画の作成	要配慮者利用施設の避難行動計画の作成を支援。	要配慮者利用施設の避難行動計画の作成を支援。
要配慮施設、避難所等)	平成28年度から			
	順次実施			
・水位予測の精度向上検討		-	-	_
	平成28年度			
 2)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた。	T.速かつ的確な避難			
■想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮				
・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、		-	-	-
氾濫シミュレーションの公表   <直轄河川>	平成28年9月			
久慈川・山田川・里川・那珂川・藤井川・桜川・涸沼	. ,,,,== , -,,			
Л	平成29年度			
<県管理河川>	から実施			
  -  ・大規模水害時の相互協力に関する申し合わせ		拉議会の由で相互拉力に関する由   会わせた統		  協議会の中で相互協力に関する申し合わせを締
一人が長が日時の旧五陽がに対する中で日初と		結済	結済	結済
	平成28年度			
・広域避難計画の策定		・浸水想定区域内に指定避難所はあるものの隣接の指定避難所に代替が可能である。	・浸水想定区域内に指定避難所はあるものの隣接の指定避難所に代替が可能である。	・浸水想定区域内に指定避難所はあるものの隣接の指定避難所に代替が可能である。
	平成29年度 から実施	・隣接自治体からの打診があった場合は策定に	・隣接自治体からの打診があった場合は策定に	・隣接自治体からの打診があった場合は策定に
	75 - 5 - Kill	ついて検討する。	ついて検討する。	ついて検討する。
・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮		栃木県内の県管理河川の浸水想定区域データ	ハザードマップの改定を実施し、市内住民へ全	引き続き、ハザードマップの周知を実施する。
したハザードマップの作成・周知	平成28年度から	を入手[H30年度中]次第、ハザードマップの改定を実施予定	戸配布完了。	
	順次実施	L C C ME I L		
・まるごとまちごとハーザドマップ整備・拡充につい		優先順位を見極め、設置に向けて検討	協定締結企業により、屋外型電柱広告の一部に	優先順位を目極め、設置に向けて検討
て検討	平成28年度から	皮が原位と元極の、故画に同じて採的	避難場所への案内表示を設置。	度元禄位と元宝の、改画に内()で決計
	順次実施			
・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練 の促進		防災ラジオを無償貸与。避難マニュアルの作成 を支援。	要配慮者利用施設の避難行動計画の作成を支援。	要配慮者利用施設の避難行動計画の作成を支  援。
00促進	平成29年度 から実施	<b>企义</b> 族。	灰。	1次。
	がら天旭			
・避難勧告等の判断・伝達マニュアルの見直し		今後必要に応じて見直し・改善を検討する	今後必要に応じて見直し・改善を検討する	今後必要に応じて見直し・改善を検討する
	平成28年度から			
	十成20千度から	1		
	順次実施			1
対象地区今任日への途中がは起ニューナーのな	順次実施	アラニト 取合油却マニュ 及録4  ノニュ 中却	アラート 阪角連報イーリ 交替制ノーリ 中却	フラー  阪舎連起く   桑谷刺く   中却
・対象地区全住民への確実な情報伝達方法の確 立(自治体未加入世帯、高齢者、外国人等)	順次実施	レアラート、緊急速報メール、登録制メール、広報 車等による広報などの情報伝達方法を確立して	Lアラート、緊急速報メール、登録制メール、広報 車等による広報などの情報伝達方法を確立して	Lアラート、緊急速報メール、登録制メール、広報 車等による広報などの情報伝達方法を確立して
	順次実施 平成28年度から	Lアラート、緊急速報メール、登録制メール、広報 車等による広報などの情報伝達方法を確立して いる。	Lアラート、緊急速報メール、登録制メール、広報 車等による広報などの情報伝達方法を確立して いる。	いる他、新たな防災情報伝送システムを導入す
	順次実施	レアラート、緊急連報メール、登録制メール、広報 車等による広報などの情報伝達方法を確立して いる。	レアラート、緊急速報メール、登録制メール、広報 車等による広報などの情報伝達方法を確立して いる。	Lアラート、緊急連報メール、登録制メール、広報 車等による広報などの情報伝達方法を確立して いる他、新たな防災情報伝送システムを導入す る。
立(自治体未加入世帯、高齢者、外国人等)	順次実施 平成28年度から	いる。	いる。	いる他、新たな防災情報伝送システムを導入する。
	順次実施 平成28年度から 順次実施	いる。	レアラート、緊急速報メール、登録制メール、広報 車等による広報などの情報伝達方法を確立して いる。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	いる他、新たな防災情報伝送システムを導入する。
立(自治体未加入世帯、高齢者、外国人等)	順次実施 平成28年度から 順次実施 平成28年度	いる。 県単事業を活用し、防災倉庫等の資機材等を順	いる。 県単事業を活用し、防災倉庫等の資機材等を順	いる他、新たな防災情報伝送システムを導入する。 県単事業を活用し、防災倉庫等の資機材等を順
立(自治体未加入世帯、高齢者、外国人等)	順次実施 平成28年度から 順次実施	いる。 県単事業を活用し、防災倉庫等の資機材等を順	いる。 県単事業を活用し、防災倉庫等の資機材等を順	いる他、新たな防災情報伝送システムを導入する。 県単事業を活用し、防災倉庫等の資機材等を順
立(自治体未加入世帯、高齢者、外国人等) ・自助、共助を目指した自主防災組織の充実	順次実施 平成28年度から 順次実施 平成28年度	いる。 県単事業を活用し、防災倉庫等の資機材等を順 次導入し、組織拡充をバックアップ	いる。 県単事業を活用し、防災倉庫等の資機材等を順 次導入し、組織拡充をバックアップ	しる他、新たな防災情報伝送システムを導入する。 県単事業を活用し、防災倉庫等の資機材等を順 次導入し、組織拡充をバックアップ
立(自治体未加入世帯、高齢者、外国人等)	順次実施 平成28年度から 順次実施 平成28年度 から実施	いる。 県単事業を活用し、防災倉庫等の資機材等を順	いる。 県単事業を活用し、防災倉庫等の資機材等を順	いる他、新たな防災情報伝送システムを導入する。 県単事業を活用し、防災倉庫等の資機材等を順
立(自治体未加入世帯、高齢者、外国人等) ・自助、共助を目指した自主防災組織の充実 ・避難誘導員の安全対策、待避等を踏まえた避難	順次実施 平成28年度から 順次実施 平成28年度	いる。 県単事業を活用し、防災倉庫等の資機材等を順 次導入し、組織拡充をバックアップ	いる。 県単事業を活用し、防災倉庫等の資機材等を順 次導入し、組織拡充をバックアップ	しる他、新たな防災情報伝送システムを導入する。 県単事業を活用し、防災倉庫等の資機材等を順 次導入し、組織拡充をバックアップ

〇概ね5年で実施する取組				
具体的な取組の柱 事 項	目標時期		実施する機関 <b>那須烏山市</b>	
具体的取組	디카막케	取組予定【H30年度】	東施結果【H30年度】	取組内容【R元(H31)年度】
2)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迂	l速かつ的確な避難?			
■避難勧告発令に着目したタイムラインの作成 ・避難勧告の発令に着目したタイムラインの作成		作成したタイムラインの拡充を検討。	作成したタイムラインを拡充。	引き続き、必要に応じてタイムラインを拡充する。
EXEMPLE OF THE PROPERTY OF THE	平成28年度から 順次実施	TP/WO/2/ TAY TO WIAJUZINESS	TPACIENT TO E MADE:	312 (0)2 ( 2) 3 ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( (
・タイムラインに基づく首長等も参加した実践的な 訓練	平成28年度から	タイムラインを活用し、水防訓練時に活用できるよう検討中	タイムラインを活用し、水防訓練時に活用できるよう検討中	南那須地区総合水防訓練時に導入できるか検 討する。
	順次実施			
・気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善(水害時の情報入手のし易さをサポート)	平成29年度 出水期から実施	-	-	-
■防災教育や防災知識の普及				
- 水災害の事前準備に関する問い合わせ窓口の 設置	平成28年度 から実施	総務課危機管理G宛て一極集中の見直しを検討。	業務継続計画を策定。	必要に応じて、業務継続計画を改定する。
・水防災に関する説明会等の開催	平成28年度から	実施する方向で検討	実施する方向で検討	開催の依頼があった場合は、県等と協力し、説 明会を開催する。
	順次実施			
・教員を対象とした講習会の実施	平成28年度から 順次実施	実施する方向で検討	中学校にて生徒含め防災講話を実施。	引き続き、開催の依頼があった場合は実施する。
・小学生を対象とした防災教育の実施	平成28年度から 順次実施	実施する方向で検討	実施する方向で検討	開催の依頼があった場合は実施する。
・出前講座等を活用した講習会の実施	平成28年度 から実施	-	-	-
・プッシュ型の洪水予報等の情報発信	平成28年度から 順次実施	-	-	-
・水位計やライブカメラの情報をリアルタイムで提供 供	平成28年度 から実施	-	-	-
 2)ソフト対策の主な取組 ②避難時間の確保のための	り取組			
■より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化				
- 水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練の 実施	平成28年度 から実施	既に複数の伝達手法を有している。	既に複数の伝達手法を有している。	既に複数の伝達手法を有している。
・水防団同士の連絡体制の確保	平成28年度から 順次実施	水防団間における複数種の連絡体制を有している。 る。	水防団間における複数種の連絡体制を有している。	水防団間における複数種の連絡体制を有してしる。
・水防団や地域住民が参加する洪水に対しリスク が高い区間の共同点検	引き続き 毎年実施	例年のとおり実施	例年のとおり実施	例年のとおり実施
・水防訓練の実施	引き続き 毎年実施 平成28年度から 順次実施	南那須地区総合水防訓練を実施(隔年)	今年度は非開催年度。	南那須地区総合水防訓練を実施(隔年)
・水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・ 指定を促進	引き続き 毎年実施	継続的に募集を周知	継続的に募集を周知	継続的に募集を周知
・水防団員の待避等判断指標の作成	平成28年度から 順次実施	ルール化に向けて準備中	必要に応じて、消防団の安全活動マニュアルを 改定する。	消防団の安全活動マニュアルを作成。
・水防団員の安全装備の徹底(水防法第7条)	平成28年度から 順次実施	▷ ライフジャケット等が団員宛て充足できるよう順次整備・配布を実施[H28年度一部配布]	□ ライフジャケット等が団員宛て充足できるよう順次整備・配布を実施(H29年度一部配布)	□ ライフジャケット等が団員宛て充足できるよう川 次整備・配布を実施(H30年度一部配布)
■排水汗動の強ルに阻する物類				
■排水活動の強化に関する取組 ・排水ポンプ車の操作講習会、出動要請の連絡体制の周知	引き続き 毎年実施	河川事務所が実施する排水ポンプ車の操作訓 練に参加	河川事務所が実施する排水ポンプ車の操作訓 練に参加	河川事務所が実施する排水ポンプ車の操作訓 練に参加
・逃げ遅れゼロ等に寄与する排水ポンプ車の活用 計画	平成28年度 から実施	河川事務所から情報提供依頼の際に協力する。	河川事務所から情報提供依頼の際に協力する。	河川事務所から情報提供依頼の際に協力する。

体的な取組の柱			実施する機関	
事項	目標時期		茂木町	
具体的取組		取組予定【H30年度】	実施結果【H30年度】	取組内容【R元(H31)年度】
ハード対策の主な取組 ■氾濫を未然に防ぐ対策				
■心温を不然に防く対策  <久慈川>		_	_	_
・優先的に実施する流下能力向上対策、浸透・パ				
イピング対策 <那珂川>	平成32年度			
・優先的に実施する流下能力向上対策、浸透・パ				
イピング対策				
<ul><li>■危機管理型ハード対策</li><li>&lt;久慈川&gt;</li></ul>	I	_	_	_
<ul><li>・堤防天端の保護</li></ul>				
・堤防裏法尻の補強 <那珂川>	平成32年度			
・堤防天端の保護				
・堤防裏法尻の補強				
■避難行動、水防活動に資する基盤等の整備	ı			
・雨量・水位等の観測データ及び洪水時の状況を 把握・伝達するための基盤の整備				
	平成28年度			
	から実施			
・さらなる情報伝達手段の追加整備もしくは検討		引き続きSNS(ツイッター、ライン等)の検討を行う	SNS(ツイッター、ライン等)の検討を行った	引き続きSNS(ツイッター、ライン等)の検討を行
	亚世の在事から	【H30年度】		
	平成28年度から 順次実施			
・水防活動を支援するための水防資機材等の配備		引き続き水防倉庫の整備を行う【H30年度】	・河川ライブカメラに赤外線投光器を整備した	引き続き水防資機材の配備を行う
・小の活動を又接するにめの小の貝機や寺の配備 (新技術を活用した水防資機材を含む)		引き続き水防倉庫の整備を行う[H30年度]	・水防資機材の配備を行った	512 枕2 小防具機材の配備を行う
	平成28年度から			
	順次実施			
・簡易水位計や量水標、CCTVカメラの設置		_	_	_
	T-000-			
	平成28年度 から実施			
	10 J J J J J			
Partickly of Wester which the or				
・浸水時においても災害対応を継続するための施 設の整備及び自家発電装置等の耐水化(庁舎、				
要配慮施設、避難所等)	平成28年度から			
	順次実施			
<ul><li>・水位予測の精度向上検討</li></ul>		_	_	
	平成28年度			
ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた近				
■想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮	したハザードマップの	1		
・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、 氾濫シミュレーションの公表		_	_	_
<直轄河川>	平成28年9月			
ス慈川・山田川・里川・那珂川・藤井川・桜川・涸沼 川				
	平成29年度			
<県管理河川>	から実施			
・大規模水害時の相互協力に関する申し合わせ		協議会の中で相互協力に関する申し合わせを締	協議会の中で相互協力に関する申し合わせを締	_
バルドバー いの 旧立 励 / 川 に 内 する 中 ひ ロ り と		結済み	結済み	
	平成28年度			
・広域避難計画の策定		・隣接自治体からの打診があった場合は策定に	_	隣接自治体からの打診があった場合は策定にいて検討する。
	平成29年度	ついて検討する。		に(検討する。
	から実施			
・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮		・相定最大担模の洪水を対象にハザードマップを	想定最大規模の洪水を対象にハザードマップを	H30年度に作成したハザードマップについてつ
したハザードマップの作成・周知	平成28年度から	策定	策定した	ローアップを行う
	順次実施	【H30年度】		
・まるごとまちごとハーザドマップ整備・拡充につい		<ul><li>検討を行う</li></ul>	茂木水害に伴う市街地電柱最高水位表示テーブ	さらなる整備・拡充に向けて検討を行う
て検討	平成28年度から		の張替を実施した	
	順次実施			
・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練		・要配慮者のいる施設と意見交換し、避難計画	要配慮者のいる施設と意見交換し、避難計画の	亜和皮老のいる体部し奈日大協    降離計画
・安配應有利用施設の避難計画の作成及び訓練 の促進	T-0-0-1	の策定支援行う	安配應省のいる施設と思見文換し、避難計画の 策定支援を開始【H28年度~】	安能應省のいる施設と息見交換し、避難計画   策定支援行う
	平成29年度 から実施			
		マニュアルの見直しを行う	マニュアルの見直しを行った	随時見直しを実施していく
・避難勧告等の判断・伝達マニュアルの見直し				
・避難勧告等の判断・伝達マニュアルの見直し	平成28年度から	【H30年度】		1
・避難勧告等の判断・伝達マニュアルの見直し	平成28年度から 順次実施	[H30年度]		
	平成28年度から 順次実施		<u> </u>	<b>エルかに法 エ のナ やシュナフ</b>
<ul><li>対象地区全住民への確実な情報伝達方法の確</li></ul>	順次実施	・新たな伝達手段を検討する	新たな伝達手段を検討中	新たな伝達手段を検討する
	順次実施 平成28年度から		新たな伝達手段を検討中	新たな伝達手段を検討する
<ul><li>対象地区全住民への確実な情報伝達方法の確</li></ul>	順次実施		新たな伝達手段を検討中	新たな伝達手段を検討する
・対象地区全住民への確実な情報伝達方法の確 立(自治体未加入世帯、高齢者、外国人等)	順次実施 平成28年度から	・新たな伝達手段を検討する		
<ul><li>対象地区全住民への確実な情報伝達方法の確</li></ul>	順次実施 平成28年度から	・新たな伝達手段を検討する ・今年度も自主防災組織を対象とした訓練等を	主体的に行動ができるよう自主防災組織を対象	・今年度も訓練を実施する
・対象地区全住民への確実な情報伝達方法の確 立(自治体未加入世帯、高齢者、外国人等)	順次実施 平成28年度から 順次実施 平成28年度	・新たな伝達手段を検討する		・今年度も訓練を実施する ・モデル地区を選定、補助金を交付のうえ新規
・対象地区全住民への確実な情報伝達方法の確 立(自治体未加入世帯、高齢者、外国人等)	順次実施 平成28年度から 順次実施	・新たな伝達手段を検討する ・今年度も自主防災組織を対象とした訓練等を	主体的に行動ができるよう自主防災組織を対象	・今年度も訓練を実施する
・対象地区全住民への確実な情報伝達方法の確 立(自治体未加入世帯、高齢者、外国人等)	順次実施 平成28年度から 順次実施 平成28年度	・新たな伝達手段を検討する ・今年度も自主防災組織を対象とした訓練等を	主体的に行動ができるよう自主防災組織を対象	・今年度も訓練を実施する ・モデル地区を選定、補助金を交付のうえ新方
<ul> <li>・対象地区全住民への確実な情報伝達方法の確立(自治体未加入世帯、高齢者、外国人等)</li> <li>・自助、共助を目指した自主防災組織の充実</li> <li>・避難誘導員の安全対策、待避等を踏まえた避難</li> </ul>	順次実施 平成28年度から 順次実施 平成28年度	・新たな伝達手段を検討する ・今年度も自主防災組織を対象とした訓練等を	主体的に行動ができるよう自主防災組織を対象	・今年度も訓練を実施する ・モデル地区を選定、補助金を交付のうえ新規
・対象地区全住民への確実な情報伝達方法の確立(自治体未加入世帯、高齢者、外国人等) ・自助、共助を目指した自主防災組織の充実	順次実施 平成28年度から 順次実施 平成28年度	・新たな伝達手段を検討する ・今年度も自主防災組織を対象とした訓練等を 実施する	主体的に行動ができるよう自主防災組織を対象とした訓練を実施した	・今年度も訓練を実施する ・モデル地区を選定、補助金を交付のうえ新た 来を実施する予定

)概ね5年で実施する取組 単体的な取組の柱			実施する機関	
事 項	目標時期		美施する機関 <b>茂木町</b>	
具体的取組	1 1 - 4 - 4 - 40 + 40 +	取組予定【H30年度】	実施結果【H30年度】	取組内容【R元(H31)年度】
)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅 ■避難勧告発令に着目したタイムラインの作成	速かつ的確な避難1			
・避難勧告の発令に着目したタイムラインの作成	平成28年度から 順次実施	・タイムラインの作成に向けて検討を行う	タイムラインの作成を行った	タイムラインについては随時更新を行っていく
・タイムラインに基づく首長等も参加した実践的な 訓練	平成28年度から 順次実施	・タイムラインの作成に併せ、実践的な訓練の実施について検討を行う[H30年度]	タイムラインに基づき、総合防災訓練を実施した	引き続きタイムラインに基づいた総合防災訓練:実施する
・気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善(水害時の情報入手のし易さをサポート)	平成29年度 出水期から実施	_	_	_
■防災教育や防災知識の普及 - 水災害の事前準備に関する問い合わせ窓口の 設置	平成28年度 から実施	・従来どおり総務課で対応	_	_
・水防災に関する説明会等の開催	平成28年度から 順次実施	・H29年度から実施について検討	実施について検討を行った	引き続き実施について検討を行う
・教員を対象とした講習会の実施	平成28年度から 順次実施	-H29年度から実施について検討	実施について検討を行った	引き続き実施について検討を行う
・小学生を対象とした防災教育の実施	平成28年度から 順次実施	・H29年度から実施について検討	実施について検討を行った	引き続き実施について検討を行う
・出前講座等を活用した講習会の実施	平成28年度 から実施	_	_	_
・ブッシュ型の洪水予報等の情報発信	平成28年度から 順次実施	_	_	_
・水位計やライブカメラの情報をリアルタイムで提供	平成28年度 から実施	引き続き町HPでリアルタイムで情報提供を行う	町HPでリアルタイムで情報提供を実施している	引き続き町HPでリアルタイムで情報提供を実施 していく
)ソフト対策の主な取組 ②避難時間の確保のための ■より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化				
■より別乗けりよ水的活動の実施及び水的体制の強化 ・水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練の 実施	で 平成28年度 から実施	・引き続き防災訓練時にメール、無線を活用した 訓練を実施する	防災訓練時にメール、無線を活用した訓練を実施した	引き続き防災訓練時にメール、無線を活用した 訓練を実施する
- 水防団同士の連絡体制の確保	平成28年度から 順次実施	・トランシーバー等の連絡体制を用いて訓練を行う 「H30年度】	トランシーバーを消防団(水防団)に配備済	さらなる連絡体制の確保について検討を行う
・水防団や地域住民が参加する洪水に対しリスク が高い区間の共同点検	引き続き 毎年実施	・河川事務所が実施する共同点検に参加予定	河川事務所が実施する共同点検に参加した	河川事務所が実施する共同点検に参加予定
・水防訓練の実施	引き続き 毎年実施 平成28年度から 順次実施	- 今年度も防災訓練を実施する	例年同様、防災訓練を実施した	今年度も防災訓練を実施する
・水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・ 指定を促進	引き続き 毎年実施	- 引き続き広報誌や、ホームページで広〈募集してい〈[H30年度]	水防活動の担い手として、消防団(水防団)が組織されているほか、建設業協力会と協定を締結しているため、新たに募集・指定促進を行う予定はない	_
・水防団員の待避等判断指標の作成	平成28年度から 順次実施	・災害時の消防団参集基準を基に訓練を実施する る 【H30年度】	災害時の消防団(水防団)参集基準等が記載されたマニュアルを作成済み	災害時の消防団(水防団)参集基準を基に訓練 を実施する
・水防団員の安全装備の徹底(水防法第7条)	平成28年度から 順次実施	・引き続きライフジャケット等について順次整備を 行う	H28年度からライフジャケット等について順次整備をしている	引き続きライフジャケット等について順次整備を 行う
■排水活動の強化に関する取組 ・排水ポンブ車の操作講習会、出動要請の連絡体制の周知	引き続き 毎年実施	・操作講習会参加の要請があれば、積極的に参加	操作講習会に参加した	操作講習会参加の要請があれば、積極的に参加
・遂げ遅れゼロ等に寄与する排水ポンプ車の活用 計画	平成28年度 から実施	・河川事務所から要請があれば、基礎データ等の情報を提供する	河川事務所から要請があれば、基礎データ等の 情報を提供する	河川事務所から要請があれば、基礎データ等の 情報を提供する

体的な取組の柱			実施する機関	
<b>項</b>	目標時期		那珂川町	T
具体的取組		取組予定【H30年度】	実施結果【H30年度】	取組内容【R元(H31)年度】
ハード対策の主な取組				
■氾濫を未然に防ぐ対策 <久慈川>		該当なし	該当なし	該当なし
・優先的に実施する流下能力向上対策、浸透・パ				
イピング対策 <那珂川>	平成32年度			
・優先的に実施する流下能力向上対策、浸透・パ				
イピング対策				
【危機管理型ハード対策 <久慈川>		該当なし	該当なし	該当なし
・堤防天端の保護		IN STACE	N = 4C	IN 3 4 C
・堤防裏法尻の補強 <那珂川>	平成32年度			
・堤防天端の保護				
・堤防裏法尻の補強				
避難行動、水防活動に資する基盤等の整備	1	該当なし	=+ W +~1	=+ W +>1
・雨量・水位等の観測データ及び洪水時の状況を 把握・伝達するための基盤の整備		該当なし	該当なし	該当なし
	平成28年度			
	から実施			
・さらなる情報伝達手段の追加整備もしくは検討		・既存の施設で十分機能している。	・既存の施設で十分機能している。	・既存の施設で十分機能している。
	平成28年度から			
	順次実施			
・水防活動を支援するための水防資機材等の配備		  ・資機材の再確認と必要装備の充実を図る。	・資機材の補充	・資機材の再確認と必要装備の充実を図る。
(新技術を活用した水防資機材を含む)		貝域的の存储能と必要表開の几天を回る。	19年18年17日プロ	質成的の存储的と必要表情の元天を回る。
	平成28年度から			
	順次実施			
・簡易水位計や量水標、CCTVカメラの設置		該当なし	該当なし	該当なし
	平 十00 午 库			
	平成28年度 から実施			
	554,05			
・浸水時においても災害対応を継続するための施		・要配慮者利用施設における避難確保計画の作		那到老老和田佐凯(-+\).上7、晚耕1年/Q之下。
・浸水時においても災害対応を継続するにめの施設の整備及び自家発電装置等の耐水化(庁舎、		・安配慮者利用施設における避難催保計画の作  成を支援		<ul><li>・要配慮者利用施設における避難確保計画の 成を支援</li></ul>
要配慮施設、避難所等)	平成28年度から			
	順次実施			
・水位予測の精度向上検討		該当なし	該当なし	該当なし
	平成28年度			
ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迂				
<ul><li>■想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮し</li><li>・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、</li></ul>	ンだハサート マッノの	1 該当なし	該当なし	該当なし
氾濫シミュレーションの公表		25-1-00		27.00
<直轄河川> 久慈川・山田川・里川・那珂川・藤井川・桜川・涸沼	平成28年9月			
川				
	1			
/ 目答理河川 \	平成29年度			
<県管理河川>	平成29年度 から実施			
<県管理河川> ・大規模水害時の相互協力に関する申し合わせ		・協議会の中で相互協力に関する申し合わせを	・協議会の中で相互協力に関する申し合わせを	・協議会の中で相互協力に関する申し合わせ
	から実施	・協議会の中で相互協力に関する申し合わせを H28年度末に締結	・協議会の中で相互協力に関する申し合わせを H28年度末に締結	・協議会の中で相互協力に関する申し合わせ H28年度末に締結
・大規模水害時の相互協力に関する申し合わせ	から実施	H28年度末に締結		H28年度末に締結
	から実施 平成28年度			
・大規模水害時の相互協力に関する申し合わせ	から実施 平成28年度 平成29年度	H28年度末に締結		H28年度末に締結
・大規模水害時の相互協力に関する申し合わせ	から実施 平成28年度	H28年度末に締結		H28年度末に締結
・大規模水害時の相互協力に関する申し合わせ ・広域避難計画の策定 ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮	から実施 平成28年度 平成29年度	H28年度末に締結		H28年度末に締結 ・隣接自治体から打診があった場合は検討。 ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を
・大規模水害時の相互協力に関する申し合わせ ・広域避難計画の策定	から実施 平成28年度 平成29年度 から実施 平成28年度から	H28年度末に締結 ・隣接自治体から打診があった場合は検討。		H28年度末に締結 ・隣接自治体から打診があった場合は検討。
・大規模水害時の相互協力に関する申し合わせ ・広域避難計画の策定 ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮	から実施 平成28年度 平成29年度 から実施	H28年度末に締結 ・隣接自治体から打診があった場合は検討。		H28年度末に締結 ・隣接自治体から打診があった場合は検討。 ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を
・大規模水害時の相互協力に関する申し合わせ ・広域避難計画の策定 ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮したいザードマップの作成・周知	から実施 平成28年度 平成29年度 から実施 平成28年度から	+28年度末に締結 ・隣接自治体から打診があった場合は検討。 ・H29年度から作成に向けて着手(継続)		+28年度末に締結 ・隣接自治体から打診があった場合は検討。 ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を 慮したハザードマップを作成・周知
・大規模水害時の相互協力に関する申し合わせ ・広域避難計画の策定 ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮したハザードマップの作成・周知 ・まるごとまちごとハーザドマップ整備・拡充につい	がら実施 平成28年度 平成29年度 から実施 平成28年度から 順次実施	H28年度末に締結 ・隣接自治体から打診があった場合は検討。 ・H29年度から作成に向けて着手(継続) ・上記ハザードマップの作成を踏まえて、H29年		・隣接自治体から打診があった場合は検討。 ・隣接自治体から打診があった場合は検討。 ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を 慮したハザードマップを作成・周知 ・上記ハザードマップの作成を踏まえて、H294
・大規模水害時の相互協力に関する申し合わせ ・広域避難計画の策定 ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮したいザードマップの作成・周知	でいる 平成28年度 平成29年度 から実施 平成28年度から 順次実施	+28年度末に締結 ・隣接自治体から打診があった場合は検討。 ・H29年度から作成に向けて着手(継続)		+28年度末に締結 ・隣接自治体から打診があった場合は検討。 ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を 慮したハザードマップを作成・周知
・大規模水害時の相互協力に関する申し合わせ ・広域避難計画の策定 ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮したハザードマップの作成・周知 ・まるごとまちごとハーザドマップ整備・拡充につい	がら実施 平成28年度 平成29年度 から実施 平成28年度から 順次実施	H28年度末に締結 ・隣接自治体から打診があった場合は検討。 ・H29年度から作成に向けて着手(継続) ・上記ハザードマップの作成を踏まえて、H29年		・隣接自治体から打診があった場合は検討。 ・隣接自治体から打診があった場合は検討。 ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を 慮したハザードマップを作成・周知 ・上記ハザードマップの作成を踏まえて、H294
・大規模水害時の相互協力に関する申し合わせ ・広域避難計画の策定 ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮 したハザードマップの作成・周知 ・まるごとまちごとハーザドマップ整備・拡充について検討 ・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練	でいる 平成28年度 平成29年度 から実施 平成28年度から 順次実施	H28年度末に締結 ・隣接自治体から打診があった場合は検討。 ・H29年度から作成に向けて着手(継続) ・上記ハザードマップの作成を踏まえて、H29年度より整備について検討(継続) ・要配慮者利用施設における避難計画作成状況	H28年度末(二締結	+28年度末に締結 ・隣接自治体から打診があった場合は検討。 ・規定最大規模の降雨による浸水想定区域を 慮したハザードマップを作成・周知 ・上記ハザードマップの作成を踏まえて、H29 度より整備について検討(継続) ・要配慮者利用施設における避難計画作成初
・大規模水害時の相互協力に関する申し合わせ ・広域避難計画の策定 ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮したハザードマップの作成・周知 ・まるごとまちごとハーザドマップ整備・拡充について検討	でいる ・ で成28年度 ・ 平成29年度 から実施 ・ 平成28年度から 順次実施 ・ 平成28年度から ・ 順次実施 ・ 平成28年度から ・ 平成28年度から ・ 平成29年度	+ H28年度末に締結 ・隣接自治体から打診があった場合は検討。 ・ H29年度から作成に向けて着手(継続) ・ 上記ハザードマップの作成を踏まえて、H29年度より整備について検討(継続)	H28年度末(二締結	+28年度末に締結  ・隣接自治体から打診があった場合は検討。  ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を慮したハザードマップを作成・周知  ・上記ハザードマップの作成を踏まえて、H29: 度より整備について検討(継続)
・大規模水害時の相互協力に関する申し合わせ ・広域避難計画の策定 ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮 したハザードマップの作成・周知 ・まるごとまちごとハーザドマップ整備・拡充について検討 ・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練	がら実施 平成28年度 平成29年度 から実施 平成28年度から 順次実施 平成28年度から 順次実施	H28年度末に締結 ・隣接自治体から打診があった場合は検討。 ・H29年度から作成に向けて着手(継続) ・上記ハザードマップの作成を踏まえて、H29年度より整備について検討(継続) ・要配慮者利用施設における避難計画作成状況	H28年度末(二締結	+28年度末に締結 ・隣接自治体から打診があった場合は検討。 ・規定最大規模の降雨による浸水想定区域を虚したハザードマップを作成・周知 ・上記ハザードマップの作成を踏まえて、H29: 度より整備について検討(継続) ・要配慮者利用施設における避難計画作成な
・大規模水害時の相互協力に関する申し合わせ ・広域避難計画の策定 ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮 したハザードマップの作成・周知 ・まるごとまちごとハーザドマップ整備・拡充について検討 ・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練 の促進	でいる ・ で成28年度 ・ 平成29年度 から実施 ・ 平成28年度から 順次実施 ・ 平成28年度から ・ 順次実施 ・ 平成28年度から ・ 平成28年度から ・ 平成29年度	H28年度末に締結 ・隣接自治体から打診があった場合は検討。 ・H29年度から作成に向けて着手(継続) ・上記ハザードマップの作成を踏まえて、H29年度より整備について検討(継続) ・要配慮者利用施設における避難計画作成状況等を調査し、必要に応じて支援を実施	H28年度末(二締結	H28年度末に締結 ・隣接自治体から打診があった場合は検討。 ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を 虚したハザードマップの作成を踏まえて、H29: 度より整備について検討(継続) ・要配慮者利用施設における避難計画作成な 等を調査し、必要に応じて支援を実施
・大規模水害時の相互協力に関する申し合わせ ・広域避難計画の策定 ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮 したハザードマップの作成・周知 ・まるごとまちごとハーザドマップ整備・拡充について検討 ・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練	でいる。 平成28年度 平成29年度 から実施 平成28年度から 順次実施 平成28年度から 順次実施 平成28年度から 順次実施	H28年度末に締結 ・隣接自治体から打診があった場合は検討。 ・H29年度から作成に向けて着手(継続) ・上記ハザードマップの作成を踏まえて、H29年度より整備について検討(継続) ・要配慮者利用施設における避難計画作成状況	H28年度末(二締結	+28年度末に締結 ・隣接自治体から打診があった場合は検討。 ・規定最大規模の降雨による浸水想定区域を 慮したハザードマップを作成・周知 ・上記ハザードマップの作成を踏まえて、H29 度より整備について検討(継続) ・要配慮者利用施設における避難計画作成初
・大規模水害時の相互協力に関する申し合わせ ・広域避難計画の策定 ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮 したハザードマップの作成・周知 ・まるごとまちごとハーザドマップ整備・拡充について検討 ・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練 の促進	でいい。 平成28年度 平成29年度 から実施 平成29年度 から実施 平成28年度から 順次実施 平成28年度から 順次実施 平成29年度 から実施	H28年度末に締結 ・隣接自治体から打診があった場合は検討。 ・H29年度から作成に向けて着手(継続) ・上記ハザードマップの作成を踏まえて、H29年度より整備について検討(継続) ・要配慮者利用施設における避難計画作成状況等を調査し、必要に応じて支援を実施	H28年度末(二締結	H28年度末に締結 ・隣接自治体から打診があった場合は検討。 ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を 慮したハザードマップの作成を踏まえて、H29 度より整備について検討(継続) ・要配慮者利用施設における避難計画作成が 等を調査し、必要に応じて支援を実施
・大規模水害時の相互協力に関する申し合わせ ・広域避難計画の策定 ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮 したハザードマップの作成・周知 ・まるごとまちごとハーザドマップ整備・拡充について検討 ・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練 の促進	でいる。 平成28年度 平成29年度 から実施 平成28年度から 順次実施 平成28年度から 順次実施 平成28年度から 順次実施	H28年度末に締結 ・隣接自治体から打診があった場合は検討。 ・H29年度から作成に向けて着手(継続) ・上記ハザードマップの作成を踏まえて、H29年度より整備について検討(継続) ・要配慮者利用施設における避難計画作成状況等を調査し、必要に応じて支援を実施	H28年度末(二締結	H28年度末に締結 ・隣接自治体から打診があった場合は検討。 ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を 慮したハザードマップの作成を踏まえて、H29 度より整備について検討(継続) ・要配慮者利用施設における避難計画作成が 等を調査し、必要に応じて支援を実施
・大規模水害時の相互協力に関する申し合わせ ・広域避難計画の策定 ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮したハザードマップの作成・周知 ・まるごとまちごとハーザドマップ整備・拡充について検討 ・要配虚者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進 ・避難勧告等の判断・伝達マニュアルの見直し ・対象地区全住民への確実な情報伝達方法の確	でいい。 平成28年度 平成29年度 から実施 平成29年度 から実施 平成28年度から 順次実施 平成28年度から 順次実施 平成29年度 から実施	H28年度末に締結 ・隣接自治体から打診があった場合は検討。 ・H29年度から作成に向けて着手(継続) ・上記ハザードマップの作成を踏まえて、H29年度より整備について検討(継続) ・要配慮者利用施設における避難計画作成状況等を調査し、必要に応じて支援を実施 ・H29から策定に向けて着手(継続)	H28年度末仁締結	+ H28年度末に締結 ・隣接自治体から打診があった場合は検討。 ・ 機定最大規模の降雨による浸水想定区域を成したハザードマップの作成を踏まえて、H299度より整備について検討(継続) ・ 要配慮者利用施設における避難計画作成が等を調査し、必要に応じて支援を実施 ・ H31から策定に向けて着手(継続) ・ 防災訓練や対象住民が集まる機会において
・大規模水害時の相互協力に関する申し合わせ ・広域避難計画の策定 ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮したハザードマップの作成・周知 ・まるごとまちごとハーザドマップ整備・拡充について検討 ・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進 ・避難勧告等の判断・伝達マニュアルの見直し	でいる。 ・ 実施  ・ 平成28年度  ・ 平成29年度 から実施  ・ 平成28年度がら ・ 平成28年度がら ・ 平成28年度施  ・ 平成28年度施  ・ 平成29年度 から実施  ・ 平成29年度 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	H28年度末に締結 ・隣接自治体から打診があった場合は検討。 ・H29年度から作成に向けて着手(継続) ・上記ハザードマップの作成を踏まえて、H29年度より整備について検討(継続) ・要配慮者利用施設における避難計画作成状況等を調査し、必要に応じて支援を実施 ・H29から策定に向けて着手(継続)	H28年度末仁締結	H28年度末に締結 ・隣接自治体から打診があった場合は検討。 ・規定最大規模の降雨による浸水想定区域を 虚したハザードマップを作成・周知 ・上記ハザードマップの作成を踏まえて、H29: 度より整備について検討(継続) ・要配慮者利用施設における避難計画作成が 等を調査し、必要に応じて支援を実施 ・H31から策定に向けて着手(継続)
・大規模水害時の相互協力に関する申し合わせ ・広域避難計画の策定 ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮したハザードマップの作成・周知 ・まるごとまちごとハーザドマップ整備・拡充について検討 ・要配虚者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進 ・避難勧告等の判断・伝達マニュアルの見直し ・対象地区全住民への確実な情報伝達方法の確	でいい。 ・ 本成28年度 ・ 平成29年度 ・ 中成29年度 ・ 中成28年度がら ・ 平成28年度がら ・ 平成28年度がら ・ 平成29年度 ・ 平成29年度がら ・ 平成28年度がら ・ 平成28年度がら ・ 平成28年度がら	H28年度末に締結 ・隣接自治体から打診があった場合は検討。 ・H29年度から作成に向けて着手(継続) ・上記ハザードマップの作成を踏まえて、H29年度より整備について検討(継続) ・要配慮者利用施設における避難計画作成状況等を調査し、必要に応じて支援を実施 ・H29から策定に向けて着手(継続)	H28年度末仁締結	+ H28年度末に締結 ・隣接自治体から打診があった場合は検討。 ・ 機定最大規模の降雨による浸水想定区域を成したハザードマップの作成を踏まえて、H299度より整備について検討(継続) ・ 要配慮者利用施設における避難計画作成が等を調査し、必要に応じて支援を実施 ・ H31から策定に向けて着手(継続) ・ 防災訓練や対象住民が集まる機会において
・大規模水害時の相互協力に関する申し合わせ ・広域避難計画の策定 ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮したハザードマップの作成・周知 ・まるごとまちごとハーザドマップ整備・拡充について検討 ・要配虚者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進 ・避難勧告等の判断・伝達マニュアルの見直し ・対象地区全住民への確実な情報伝達方法の確	でいる。 ・ 実施  ・ 平成28年度  ・ 平成29年度 から実施  ・ 平成28年度がら ・ 平成28年度がら ・ 平成28年度施  ・ 平成28年度施  ・ 平成29年度 から実施  ・ 平成29年度 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	H28年度末に締結 ・隣接自治体から打診があった場合は検討。 ・H29年度から作成に向けて着手(継続) ・上記ハザードマップの作成を踏まえて、H29年度より整備について検討(継続) ・要配慮者利用施設における避難計画作成状況等を調査し、必要に応じて支援を実施 ・H29から策定に向けて着手(継続)	H28年度末仁締結	+ H28年度末に締結 ・隣接自治体から打診があった場合は検討。 ・ 機定最大規模の降雨による浸水想定区域を成したハザードマップの作成を踏まえて、H299度より整備について検討(継続) ・ 要配慮者利用施設における避難計画作成が等を調査し、必要に応じて支援を実施 ・ H31から策定に向けて着手(継続) ・ 防災訓練や対象住民が集まる機会において
・大規模水害時の相互協力に関する申し合わせ ・広域避難計画の策定 ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮したハザードマップの作成・周知 ・まるごとまちごとハーザドマップ整備・拡充について検討 ・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進 ・避難勧告等の判断・伝達マニュアルの見直し ・対象地区全住民への確実な情報伝達方法の確立(自治体未加入世帯、高齢者、外国人等)	でいい。 ・ 本成28年度 ・ 平成29年度 ・ 中成29年度 ・ 中成28年度がら ・ 平成28年度がら ・ 平成28年度がら ・ 平成29年度 ・ 平成29年度がら ・ 平成28年度がら ・ 平成28年度がら ・ 平成28年度がら	H28年度末に締結 ・隣接自治体から打診があった場合は検討。 ・H29年度から作成に向けて着手(継続) ・上記ハザードマップの作成を踏まえて、H29年度より整備について検討(継続) ・要配慮者利用施設における避難計画作成状況等を調査し、必要に応じて支援を実施 ・H29から策定に向けて着手(継続) ・防災訓練や対象住民が集まる機会において周知徹底を図る。	<ul><li>・防災学習会で周知を図った</li></ul>	+ H28年度末に締結 ・隣接自治体から打診があった場合は検討。 ・ 機定最大規模の降雨による浸水想定区域を 慮したハザードマップを作成・周知 ・ 上記ハザードマップの作成を踏まえて、H294 度より整備について検討(継続) ・ 要配慮者利用施設における避難計画作成が 等を調査し、必要に応じて支援を実施 ・ H31から策定に向けて着手(継続) ・ 防災訓練や対象住民が集まる機会において 知徹底を図る。
・大規模水害時の相互協力に関する申し合わせ ・広域避難計画の策定 ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮したハザードマップの作成・周知 ・まるごとまちごとハーザドマップ整備・拡充について検討 ・要配虚者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進 ・避難勧告等の判断・伝達マニュアルの見直し ・対象地区全住民への確実な情報伝達方法の確	でいる ・ 実施 ・ 平成28年度 ・ 平成29年度 から実施 ・ 平成28年度がら ・ 平成28年度施 ・ 平成28年度施 ・ 平成29年度 ・ 平成29年度 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	H28年度末に締結 ・隣接自治体から打診があった場合は検討。 ・H29年度から作成に向けて着手(継続) ・上記ハザードマップの作成を踏まえて、H29年度より整備について検討(継続) ・要配慮者利用施設における避難計画作成状況等を調査し、必要に応じて支援を実施 ・H29から策定に向けて着手(継続)	+防災学習会で周知を図った  ・	+ H28年度末に締結 ・隣接自治体から打診があった場合は検討。 ・ 機定最大規模の降雨による浸水想定区域を成したハザードマップの作成を踏まえて、H299度より整備について検討(継続) ・ 要配慮者利用施設における避難計画作成が等を調査し、必要に応じて支援を実施 ・ H31から策定に向けて着手(継続) ・ 防災訓練や対象住民が集まる機会において
・大規模水害時の相互協力に関する申し合わせ ・広域避難計画の策定 ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮したハザードマップの作成・周知 ・まるごとまちごとハーザドマップ整備・拡充について検討 ・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進 ・避難勧告等の判断・伝達マニュアルの見直し ・対象地区全住民への確実な情報伝達方法の確立(自治体未加入世帯、高齢者、外国人等)	でいる実施  平成28年度  平成29年度 から実施  平成29年度 から実施  平成28年度から 順次次実施  平成28年度がら 平成28年度を  平成29年施  平成28年度を  平成28年度を  平成28年度を  平成28年度を  平成28年度を  平成28年度を  平成28年度を	H28年度末に締結 ・隣接自治体から打診があった場合は検討。 ・H29年度から作成に向けて着手(継続) ・上記ハザードマップの作成を踏まえて、H29年度より整備について検討(継続) ・要配慮者利用施設における避難計画作成状況等を調査し、必要に応じて支援を実施 ・H29から策定に向けて着手(継続) ・防災訓練や対象住民が集まる機会において周知徹底を図る。	<ul> <li>・防災学習会で周知を図った</li> <li>・水防災に係る学習会を開催</li> </ul>	+ H28年度末に締結 ・隣接自治体から打診があった場合は検討。 ・関接自治体から打診があった場合は検討。 ・ 想定最大規模の降雨による浸水想定区域を虚したハザードマップを作成・周知 ・ 上記ハザードマップの作成を踏まえて、H29度より整備について検討(継続) ・ 要配慮者利用施設における避難計画作成な等を調査し、必要に応じて支援を実施 ・ H31から策定に向けて着手(継続) ・ 防災訓練や対象住民が集まる機会において知徹底を図る。
・大規模水害時の相互協力に関する申し合わせ ・広域避難計画の策定 ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮したハザードマップの作成・周知 ・まるごとまちごとハーザドマップ整備・拡充について検討 ・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進 ・避難勧告等の判断・伝達マニュアルの見直し ・対象地区全住民への確実な情報伝達方法の確立(自治体未加入世帯、高齢者、外国人等)	でいる ・ 実施 ・ 平成28年度 ・ 平成29年度 から実施 ・ 平成28年度がら ・ 平成28年度施 ・ 平成28年度施 ・ 平成29年度 ・ 平成29年度 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	H28年度末に締結 ・隣接自治体から打診があった場合は検討。 ・H29年度から作成に向けて着手(継続) ・上記ハザードマップの作成を踏まえて、H29年度より整備について検討(継続) ・要配慮者利用施設における避難計画作成状況等を調査し、必要に応じて支援を実施 ・H29から策定に向けて着手(継続) ・防災訓練や対象住民が集まる機会において周知徹底を図る。	+防災学習会で周知を図った  ・	+28年度末に締結 ・隣接自治体から打診があった場合は検討。 ・規定最大規模の降雨による浸水想定区域を虚したハザードマップを作成・周知 ・上記ハザードマップの作成を踏まえて、H29度より整備について検討(継続) ・要配慮者利用施設における避難計画作成な等を調査し、必要に応じて支援を実施 ・H31から策定に向けて着手(継続) ・防災訓練や対象住民が集まる機会において知徹底を図る。
・大規模水害時の相互協力に関する申し合わせ ・広域避難計画の策定 ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮したハザードマップの作成・周知 ・まるごとまちごとハーザドマップ整備・拡充について検討 ・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進 ・避難勧告等の判断・伝達マニュアルの見直し ・対象地区全住民への確実な情報伝達方法の確立(自治体未加入世帯、高齢者、外国入等) ・自助、共助を目指した自主防災組織の充実	でいる実施  平成28年度  平成29年度 から実施  平成29年度 から実施  平成28年度から 順次次実施  平成28年度がら 平成28年度を  平成29年施  平成28年度を  平成28年度を  平成28年度を  平成28年度を  平成28年度を  平成28年度を  平成28年度を	+ H28年度末に締結 ・隣接自治体から打診があった場合は検討。 ・ H29年度から作成に向けて着手(継続) ・ 上記ハザードマップの作成を踏まえて、H29年度より整備について検討(継続) ・ 要配慮者利用施設における避難計画作成状況等を調査し、必要に応じて支援を実施 ・ H29から策定に向けて着手(継続) ・ 防災訓練や対象住民が集まる機会において周知徹底を図る。 ・ 自主防災組織に働きかけを実施(継続)	+防災学習会で周知を図った  ・	+ H28年度末に締結 ・隣接自治体から打診があった場合は検討。 ・関接自治体から打診があった場合は検討。 ・ 想定最大規模の降雨による浸水想定区域を虚したハザードマップの作成を踏まえて、H29度より整備について検討(継続) ・ 要配慮者利用施設における避難計画作成が等を調査し、必要に応じて支援を実施 ・ H31から策定に向けて着手(継続) ・ 防災訓練や対象住民が集まる機会において知徹底を図る。 ・ 自主防災組織に働きかけを実施(継続)
・大規模水害時の相互協力に関する申し合わせ ・広域避難計画の策定 ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮したハザードマップの作成・周知 ・まるごとまちごとハーザドマップ整備・拡充について検討 ・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進 ・避難勧告等の判断・伝達マニュアルの見直し ・対象地区全住民への確実な情報伝達方法の確立(自治体未加入世帯、高齢者、外国人等)	でいる実施  平成28年度  平成29年度 から実施  平成29年度 から実施  平成28年度から 順次次実施  平成28年度がら 平成28年度を  平成29年施  平成28年度を  平成28年度を  平成28年度を  平成28年度を  平成28年度を  平成28年度を  平成28年度を	H28年度末に締結 ・隣接自治体から打診があった場合は検討。 ・H29年度から作成に向けて着手(継続) ・上記ハザードマップの作成を踏まえて、H29年度より整備について検討(継続) ・要配慮者利用施設における避難計画作成状況等を調査し、必要に応じて支援を実施 ・H29から策定に向けて着手(継続) ・防災訓練や対象住民が集まる機会において周知徹底を図る。	+防災学習会で周知を図った  ・	+28年度末に締結 ・隣接自治体から打診があった場合は検討。 ・規定最大規模の降雨による浸水想定区域を虚したハザードマップを作成・周知 ・上記ハザードマップの作成を踏まえて、H29度より整備について検討(継続) ・要配慮者利用施設における避難計画作成は等を調査し、必要に応じて支援を実施 ・H31から策定に向けて着手(継続) ・防災訓練や対象住民が集まる機会において知徹底を図る。

			- I- I = I = I	
体的な取組の柱 項	目標時期		実施する機関 <b>那珂川町</b>	
具体的取組		取組予定【H30年度】	実施結果【H30年度】	取組内容【R元(H31)年度】
ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅	速かつ的確な避難			
<ul><li>避難勧告発令に着目したタイムラインの作成</li><li>・避難勧告の発令に着目したタイムラインの作成</li></ul>		・H29年度から作成に向けて着手(継続)	・タイムライン作成	・訓練を踏まえた内容の検証
	平成28年度から	1121 121 211 111 112 112 112 112	7 1-17 12 1174	and the state of t
	平成28年度から 順次実施			
・タイムラインに基づく首長等も参加した実践的な		・タイムラインの作成と併せて実施を検討(検討)		・タイムラインを活用した訓練の実施
訓練				
	平成28年度から			
	順次実施			
・気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級		該当なし	該当なし	該当なし
の現象」等の改善(水害時の情報入手のし易さを サポート)	平成29年度			
× 17	出水期から実施			
■防災教育や防災知識の普及		(分本 じれ II (外 数 細 不 社 内	(学 本 じ れ 日 処 数 細 え 社 庄	(子本じれ)
・水災害の事前準備に関する問い合わせ窓口の 設置	T = +00 = =	従来どおり総務課で対応。	従来どおり総務課で対応。	従来どおり総務課で対応。
	平成28年度 から実施			
・水防災に関する説明会等の開催		・防災訓練や対象住民が集まる機会において説 明会を開催(必要に応じて関係機関に出前講座		・防災訓練や対象住民が集まる機会において 明会を開催(必要に応じて関係機関に出前講
		を依頼)		を依頼)
	平成28年度から 順次実施			
	順久天爬			
・教員を対象とした講習会の実施		・学校関係者を交えて実施の調整を図る。		・学校関係者を交えて実施の調整を図る。
	平成28年度から			
	順次実施			
・小学生を対象とした防災教育の実施		・学校関係者を交えて実施の調整を図る。		・学校関係者を交えて実施の調整を図る。
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		」に内がって入れて大心が明正と向か。		テススからと入れて大地の両正と囚る。
	平成28年度から 順次実施			
	順久失応			
・出前講座等を活用した講習会の実施		該当なし	該当なし	該当なし
・山川神産寺を冶用した神自云の美心	平成28年度	談当なし	該当なし	該当なし
	から実施			
・プッシュ型の洪水予報等の情報発信		該当なし	該当なし	該当なし
	平成28年度から 順次実施			
	70CVX.00			
・水位計やライブカメラの情報をリアルタイムで提		該当なし	該当なし	該当なし
供	平成28年度			
	から実施			
ソフト対策の主な取組 ②避難時間の確保のための	り取組			
■より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化				
・水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練の		・複数の伝達手法を確保。		<ul><li>複数の伝達手法を確保。</li></ul>
実施	平成28年度			
<b>天</b> 施	平成28年度 から実施			
・水防団同士の連絡体制の確保		・既に確保されている。		・既に確保されている。
	から実施 平成28年度から	-既に確保されている。		・既に確保されている。
	から実施	-既に確保されている。		・既に確保されている。
・水防団同士の連絡体制の確保	から実施 平成28年度から			
・水防団同士の連絡体制の確保  ・水防団や地域住民が参加する洪水に対しリスク	から実施 平成28年度から	・重要水防箇所等の共同点検への積極的な参		・重要水防簡所等の共同点検への積極的な
・水防団同士の連絡体制の確保	から実施 平成28年度から 順次実施 引き続き			
・水防団同士の連絡体制の確保  ・水防団や地域住民が参加する洪水に対しリスク	がら実施 平成28年度から 順次実施	・重要水防箇所等の共同点検への積極的な参		・重要水防簡所等の共同点検への積極的な
・水防団同士の連絡体制の確保 ・水防団や地域住民が参加する洪水に対しリスクが高い区間の共同点検	から実施 平成28年度から 順次実施 引き続き	・重要水防箇所等の共同点検への積極的な参加呼びかけ。		・重要水防箇所等の共同点検への積極的なも 加呼びかけ。
・水防団同士の連絡体制の確保  ・水防団や地域住民が参加する洪水に対しリスク	から実施 平成28年度から 順次実施 引き続き 毎年実施	・重要水防箇所等の共同点検への積極的な参加呼びかけ。 ・年1回程度の水防訓練の実施		・重要水防筋所等の共同点検への積極的なす 加呼びかけ。 ・年3回程度の水防訓練の実施
・水防団同士の連絡体制の確保 ・水防団や地域住民が参加する洪水に対しリスクが高い区間の共同点検	から実施 平成28年度から 順次実施 引き続き 毎年実 日き株き施	・重要水防箇所等の共同点検への積極的な参加呼びかけ。		・重要水防箇所等の共同点検への積極的なも 加呼びかけ。
・水防団同士の連絡体制の確保 ・水防団や地域住民が参加する洪水に対しリスクが高い区間の共同点検	では、 ・	・重要水防箇所等の共同点検への積極的な参加呼びかけ。 ・年1回程度の水防訓練の実施		・重要水防筋所等の共同点検への積極的なす 加呼びかけ。 ・年3回程度の水防訓練の実施
・水防団同士の連絡体制の確保 ・水防団や地域住民が参加する洪水に対しリスクが高い区間の共同点検 ・水防訓練の実施	から実施 平成28年度から 順次実施 引き続き 毎年実 日き株き施	・重要水防箇所等の共同点検への積極的な参加呼びかけ。 ・年1回程度の水防訓練の実施 ・近隣自治体合同による実施		・重要水防筋所等の共同点検への積極的な参加呼びかけ。 ・年3回程度の水防訓練の実施・近隣自治体合同による実施
・水防団同士の連絡体制の確保 ・水防団や地域住民が参加する洪水に対しリスクが高い区間の共同点検 ・水防訓練の実施 ・水防訓練の実施	では、 ・	・重要水防筋所等の共同点検への積極的な参加呼びかけ。  ・年1回程度の水防訓練の実施 ・近隣自治体合同による実施  ・既存の体制強化と併せて募集・指定の促進を		・重要水防箇所等の共同点検への積極的なす 加呼びかけ。 ・年3回程度の水防訓練の実施 ・近隣自治体合同による実施
・水防団同士の連絡体制の確保 ・水防団や地域住民が参加する洪水に対しリスクが高い区間の共同点検 ・水防訓練の実施 ・水防訓練の実施	でいる。 ・ では、 ・ では、 、	・重要水防箇所等の共同点検への積極的な参加呼びかけ。 ・年1回程度の水防訓練の実施 ・近隣自治体合同による実施		・重要水防筋所等の共同点検への積極的なす 加呼びかけ。 ・年3回程度の水防訓練の実施 ・近隣自治体合同による実施
・水防団同士の連絡体制の確保 ・水防団や地域住民が参加する洪水に対しリスクが高い区間の共同点検 ・水防訓練の実施	から実施 平成28年度から 順次次実施 引き続き施 引き禁寒度から 明年を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	・重要水防筋所等の共同点検への積極的な参加呼びかけ。  ・年1回程度の水防訓練の実施 ・近隣自治体合同による実施  ・既存の体制強化と併せて募集・指定の促進を		・重要水防箇所等の共同点検への積極的なす 加呼びかけ。 ・年3回程度の水防訓練の実施 ・近隣自治体合同による実施
・水防団同士の連絡体制の確保 ・水防団や地域住民が参加する洪水に対しリスク が高い区間の共同点検 ・水防訓練の実施 ・水防訓練の実施 ・水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・ 指定を促進	でいる。 ・ では、 ・ では、 、	・重要水防箇所等の共同点検への積極的な参加呼びかけ。  ・年1回程度の水防訓練の実施・近隣自治体合同による実施 ・既存の体制強化と併せて募集・指定の促進を図る。		・重要水防管所等の共同点検への積極的な針加呼びかけ。  ・年3回程度の水防訓練の実施・近隣自治体合同による実施 ・既存の体制強化と併せて募集・指定の促進・図る。
・水防団同士の連絡体制の確保 ・水防団や地域住民が参加する洪水に対しリスクが高い区間の共同点検 ・水防訓練の実施 ・水防訓練の実施	でいる。 ・ では、 ・ では、 、	・重要水防筋所等の共同点検への積極的な参加呼びかけ。  ・年1回程度の水防訓練の実施 ・近隣自治体合同による実施  ・既存の体制強化と併せて募集・指定の促進を		・重要水防箇所等の共同点検への積極的なす 加呼びかけ。 ・年3回程度の水防訓練の実施 ・近隣自治体合同による実施
・水防団同士の連絡体制の確保 ・水防団や地域住民が参加する洪水に対しリスク が高い区間の共同点検 ・水防訓練の実施 ・水防訓練の実施 ・水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・ 指定を促進	から 実施 平成28年度から 引き年実施 引毎年実施 引毎年表達を ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	・重要水防箇所等の共同点検への積極的な参加呼びかけ。  ・年1回程度の水防訓練の実施・近隣自治体合同による実施 ・既存の体制強化と併せて募集・指定の促進を図る。		・重要水防管所等の共同点検への積極的な針加呼びかけ。  ・年3回程度の水防訓練の実施・近隣自治体合同による実施 ・既存の体制強化と併せて募集・指定の促進・図る。
・水防団同士の連絡体制の確保 ・水防団や地域住民が参加する洪水に対しリスク が高い区間の共同点検 ・水防訓練の実施 ・水防訓練の実施 ・水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・ 指定を促進	で ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	・重要水防箇所等の共同点検への積極的な参加呼びかけ。  ・年1回程度の水防訓練の実施・近隣自治体合同による実施 ・既存の体制強化と併せて募集・指定の促進を図る。		・重要水防管所等の共同点検への積極的な針加呼びかけ。  ・年3回程度の水防訓練の実施・近隣自治体合同による実施 ・既存の体制強化と併せて募集・指定の促進・図る。
・水防団同士の連絡体制の確保  ・水防団や地域住民が参加する洪水に対しリスク が高い区間の共同点検  ・水防訓練の実施  ・水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・指定を促進  ・水防団員の待避等判断指標の作成	から 実施 平成28年度から 引き年実施 引毎年実施 引毎年表達を ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	・重要水防箇所等の共同点検への積極的な参加呼びかけ。 ・年1回程度の水防訓練の実施 ・近隣自治体合同による実施 ・既存の体制強化と併せて募集・指定の促進を図る。 訓練、研修等で育成強化を図る		・重要水防箇所等の共同点検への積極的な動かでいた。 ・年3回程度の水防訓練の実施・近隣自治体合同による実施 ・既存の体制強化と併せて募集・指定の促進を図る。  訓練、研修等で育成強化を図る
・水防団同士の連絡体制の確保 ・水防団や地域住民が参加する洪水に対しリスク が高い区間の共同点検 ・水防訓練の実施 ・水防訓練の実施 ・水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・ 指定を促進	から 実施 平成28年度から 引き年実施 引毎年実施 引毎年表達を ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	・重要水防箇所等の共同点検への積極的な参加呼びかけ。  ・年1回程度の水防訓練の実施・近隣自治体合同による実施 ・既存の体制強化と併せて募集・指定の促進を図る。	<ul><li>・資機材の補充</li></ul>	・重要水防管所等の共同点検への積極的な参加呼びかけ。  ・年3回程度の水防訓練の実施・近隣自治体合同による実施 ・既存の体制強化と併せて募集・指定の促進を図る。
・水防団同士の連絡体制の確保  ・水防団や地域住民が参加する洪水に対しリスク が高い区間の共同点検  ・水防訓練の実施  ・水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・指定を促進  ・水防団員の待避等判断指標の作成	<ul> <li>から実施</li> <li>平成28年度から</li> <li>引き株きを実施</li> <li>引き年実施を施力を対象を実施を対象を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を</li></ul>	・重要水防箇所等の共同点検への積極的な参加呼びかけ。 ・年1回程度の水防訓練の実施 ・近隣自治体合同による実施 ・既存の体制強化と併せて募集・指定の促進を図る。 訓練、研修等で育成強化を図る	<ul> <li>資機材の補充</li> </ul>	・重要水防箇所等の共同点検への積極的な動かでいた。 ・年3回程度の水防訓練の実施・近隣自治体合同による実施 ・既存の体制強化と併せて募集・指定の促進を図る。  訓練、研修等で育成強化を図る
・水防団同士の連絡体制の確保  ・水防団や地域住民が参加する洪水に対しリスク が高い区間の共同点検  ・水防訓練の実施  ・水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・指定を促進  ・水防団員の待避等判断指標の作成	から 実施 平成28年度から 引き年実施 引毎年実施 引毎年表記 10年末表記 10年末表 10年末 10年末 10年末 10年末 10年末 10年末 10年末 10年末	・重要水防箇所等の共同点検への積極的な参加呼びかけ。 ・年1回程度の水防訓練の実施 ・近隣自治体合同による実施 ・既存の体制強化と併せて募集・指定の促進を図る。 訓練、研修等で育成強化を図る	<ul> <li>・資機材の補充</li> </ul>	・重要水防筋所等の共同点検への積極的なす 加呼びかけ。 ・年3回程度の水防訓練の実施 ・近隣自治体合同による実施 ・既存の体制強化と併せて募集・指定の促進 図る。 訓練、研修等で育成強化を図る
・水防団同士の連絡体制の確保  ・水防団や地域住民が参加する洪水に対しリスク が高い区間の共同点検  ・水防訓練の実施  ・水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・指定を促進  ・水防団員の待避等判断指標の作成	<ul> <li>から実施</li> <li>平成28年度から</li> <li>引き株きを実施</li> <li>引き年実施を施力を対象を実施を対象を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を</li></ul>	・重要水防箇所等の共同点検への積極的な参加呼びかけ。 ・年1回程度の水防訓練の実施 ・近隣自治体合同による実施 ・既存の体制強化と併せて募集・指定の促進を図る。 訓練、研修等で育成強化を図る	- 資機材の補充	・重要水防筋所等の共同点検への積極的なす 加呼びかけ。 ・年3回程度の水防訓練の実施 ・近隣自治体合同による実施 ・既存の体制強化と併せて募集・指定の促進 図る。 訓練、研修等で育成強化を図る
・水防団向士の連絡体制の確保  ・水防団や地域住民が参加する洪水に対しリスク が高い区間の共同点検  ・水防訓練の実施  ・水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・指定を促進  ・水防団員の待避等判断指標の作成  ・水防団員の安全装備の徹底(水防法第7条)	<ul> <li>から実施</li> <li>平成28年度から</li> <li>引き株きを実施</li> <li>引き年実施を施力を対象を実施を対象を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を</li></ul>	・重要水防箇所等の共同点検への積極的な参加呼びかけ。  ・年1回程度の水防訓練の実施 ・近隣自治体合同による実施  ・既存の体制強化と併せて募集・指定の促進を図る。  訓練、研修等で育成強化を図る  ・資機材の再確認と必要装備の充実を図る。	<ul><li>・資機材の補充</li></ul>	・重要水防箇所等の共同点検への積極的な動かでいかけ。 ・年3回程度の水防訓練の実施・近隣自治体合同による実施 ・既存の体制強化と併せて募集・指定の促進で図る。 ・資機材の再確認と必要装備の充実を図る。
・水防団同士の連絡体制の確保  ・水防団や地域住民が参加する洪水に対しリスク が高い区間の共同点検  ・水防訓練の実施  ・水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・ 指定を促進  ・水防団員の待避等判断指標の作成  ・水防団員の安全装備の徹底(水防法第7条)	から 実施 平成28年実 度から 引毎年実 続き結 手を 手を 手を 手を 手を 手を 手を を を を を を を を を を	・重要水防箇所等の共同点検への積極的な参加呼びかけ。  ・年1回程度の水防訓練の実施 ・近隣自治体合同による実施  ・既存の体制強化と併せて募集・指定の促進を図る。  訓練、研修等で育成強化を図る  ・資機材の再確認と必要装備の充実を図る。	<ul><li>・資機材の補充</li></ul>	・重要水防筋所等の共同点検への積極的なす 加呼びかけ。 ・年3回程度の水防訓練の実施 ・近隣自治体合同による実施 ・既存の体制強化と併せて募集・指定の促進・ 図る。 訓練、研修等で育成強化を図る ・資機材の再確認と必要装備の充実を図る。 栃木県ブロックの排水ポンプ車の操作訓練に
・水防団向士の連絡体制の確保  ・水防団や地域住民が参加する洪水に対しリスク が高い区間の共同点検  ・水防訓練の実施  ・水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・指定を促進  ・水防団員の待避等判断指標の作成  ・水防団員の安全装備の徹底(水防法第7条)	ア・東施  ・ 東施  ・ 中成28年度施  ・ 日本年度施  ・ 中成28年度施  ・ 中成28年度施  ・ 中成28年度施  ・ 中成28年度施  ・ 中成28年度施  ・ 日本年度施  ・ 日本年度  - 日本年度	・重要水防箇所等の共同点検への積極的な参加呼びかけ。  ・年1回程度の水防訓練の実施 ・近隣自治体合同による実施  ・既存の体制強化と併せて募集・指定の促進を図る。  訓練、研修等で育成強化を図る  ・資機材の再確認と必要装備の充実を図る。	<ul><li>- 資機材の補充</li></ul>	・重要水防箇所等の共同点検への積極的な動かでいかけ。 ・年3回程度の水防訓練の実施・近隣自治体合同による実施 ・既存の体制強化と併せて募集・指定の促進で図る。 ・資機材の再確認と必要装備の充実を図る。
・水防団同士の連絡体制の確保  ・水防団や地域住民が参加する洪水に対しリスク が高い区間の共同点検  ・水防訓練の実施  ・水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・指定を促進  ・水防団員の待避等判断指標の作成  ・水防団員の安全装備の徹底(水防法第7条)  ■排水活動の強化に関する取組  ・排水がプ車の操作講習会、出動要請の連絡体制の周知	から 実施 平成28年実 度から 引毎年実 続き結 手を 手を 手を 手を 手を 手を 手を を を を を を を を を を	・重要水防箇所等の共同点検への積極的な参加呼びかけ。  ・年1回程度の水防訓練の実施 ・近隣自治体合同による実施  ・既存の体制強化と併せて募集・指定の促進を図る。  訓練、研修等で育成強化を図る  ・資機材の再確認と必要装備の充実を図る。  栃木県ブロックの排水ポンプ車の操作訓練に参加予定	<ul> <li>資機材の補充</li> </ul>	・重要水防箇所等の共同点検への積極的な参加呼びかけ。  ・年3回程度の水防訓練の実施 ・近隣自治体合同による実施  ・既存の体制強化と併せて募集・指定の促進を図る。  訓練、研修等で育成強化を図る  ・資機材の再確認と必要装備の充実を図る。  栃木県ブロックの排水ポンプ車の操作訓練に加予定
・水防団同士の連絡体制の確保  ・水防団や地域住民が参加する洪水に対しリスク が高い区間の共同点検  ・水防訓練の実施  ・水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・ 指定を促進  ・水防団員の待避等判断指標の作成  ・水防団員の安全装備の徹底(水防法第7条)	ア・東施  ・ 東施  ・ 中成28年度施  ・ 日本年度施  ・ 中成28年度施  ・ 中成28年度施  ・ 中成28年度施  ・ 中成28年度施  ・ 中成28年度施  ・ 日本年度施  ・ 日本年度  - 日本年度	・重要水防箇所等の共同点検への積極的な参加呼びかけ。  ・年1回程度の水防訓練の実施 ・近隣自治体合同による実施  ・既存の体制強化と併せて募集・指定の促進を図る。  訓練、研修等で育成強化を図る  ・資機材の再確認と必要装備の充実を図る。	<ul> <li>資機材の補充</li> </ul>	・重要水防筋所等の共同点検への積極的な参加呼びかけ。 ・年3回程度の水防訓練の実施・近隣自治体合同による実施 ・既存の体制強化と併せて募集・指定の促進を図る。 ・資機材の再確認と必要装備の充実を図る。 ・栃木県ブロックの排水ポンプ車の操作訓練に

本的な取組の柱			実施する機関	
項	目標時期		市貝町	
具体的取組		取組予定【H30年度】	実施結果【H30年度】	取組内容【R元(H31)年度】
ハード対策の主な取組 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・				
<久慈川>		該当なし	該当なし	
・優先的に実施する流下能力向上対策、浸透・パ イピング対策				
1にフク対策 <那珂川>	平成32年度			
・優先的に実施する流下能力向上対策、浸透・パ				
イピング対策 ■危機管理型ハード対策	1			
<久慈川>		該当なし	該当なし	
・堤防天端の保護				
・堤防裏法尻の補強 <那珂川>	平成32年度			
・堤防天端の保護				
・堤防裏法尻の補強				
<ul><li>避難行動、水防活動に資する基盤等の整備</li><li>・雨量・水位等の観測データ及び洪水時の状況を</li></ul>	I	該当なし	該当なし	
・附重・小位等の観測 / 一ラ及び深小時の状況を 把握・伝達するための基盤の整備		談当なし	該当なし	
	平成28年度			
	から実施			
・さらなる情報伝達手段の追加整備もしくは検討		新たな情報伝達手段を検討	既存の同報系防災行政無線を軸に情報伝達を	防災行政無線難聴地域への、戸別受信機の
	平式00年度4.5		行う。  防災行政無線難聴地域については、戸別受信	償設置の継続
	平成28年度から 順次実施		機の無償設置を開始。	
	70(74)(2)			
・水防活動を支援するための水防資機材等の配備		照ちの+ ので対応	既存のもので対応	照左の4ので対応
・小の活動を支援するための小の貝機や寺の配備 (新技術を活用した水防資機材を含む)		既存のもので対応	既任のもので対応	既存のもので対応
	平成28年度から			
	順次実施			
・簡易水位計や量水標、CCTVカメラの設置		該当なし	該当なし	該当なし
	平成28年度 から実施			
	から天心			
・浸水時においても災害対応を継続するための施		該当なし	該当なし	該当なし
設の整備及び自家発電装置等の耐水化(庁舎、 要配慮施設、避難所等)	平成28年度から			
	順次実施			
・水位予測の精度向上検討		該当なし	該当なし	該当なし
がほ 1 Miの相反向工法的		B.3.60	M3-80	M3-80
	平成28年度			
	1 10,20-10			
ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅	L速かつ的確な避難			
■想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮!	したハザードマップの			
				該当なし
<ul><li>・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、</li></ul>		該当なし	該当なし	
・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、 氾濫シミュレーションの公表 <直轄河川>	平成28年9月	談当なし	該当なし	
・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、 氾濫シミュレーションの公表 〈直轄河川〉 久慈川・山田川・里川・那珂川・藤井川・桜川・涸沼	平成28年9月	談当はし	該当なし	
・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、 氾濫シミュレーションの公表 <直轄河川>	平成28年9月	談目はし	該当なし	
・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、 氾濫シミュレーションの公表 〈直轄河川〉 久慈川・山田川・里川・那珂川・藤井川・桜川・涸沼		政司分し	談当なし	
・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、 氾濫シミュレーションの公表 <直轄河川) 久慈川・山田川・里川・那珂川・藤井川・桜川・涸沼 川 (県管理河川>	平成29年度			
・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、 ジョレーションの公表 く直轄河川)。 久慈川・山田川・里川・那珂川・藤井川・桜川・温沼 川	平成29年度	・協議会の中で相互協力に関する申し合わせを 締結	・協議会の中で相互協力に関する申し合わせを 締結	・協議会の中で相互協力に関する申し合わせ 締結
・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、 氾濫シミュレーションの公表 <直轄河川) 久慈川・山田川・里川・那珂川・藤井川・桜川・涸沼 川 (県管理河川>	平成29年度	・協議会の中で相互協力に関する申し合わせを	・協議会の中で相互協力に関する申し合わせを	・協議会の中で相互協力に関する申し合わせ
・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、 氾濫シミュレーションの公表 <直轄河川) 久慈川・山田川・里川・那珂川・藤井川・桜川・涸沼 川 (県管理河川>	平成29年度 から実施	・協議会の中で相互協力に関する申し合わせを	・協議会の中で相互協力に関する申し合わせを	・協議会の中で相互協力に関する申し合わせ
・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、 氾濫シミュレーションの公表 <直轄河川) 久慈川・山田川・里川・那珂川・藤井川・桜川・涸沼 川 (県管理河川>	平成29年度 から実施	・協議会の中で相互協力に関する申し合わせを	・協議会の中で相互協力に関する申し合わせを	・協議会の中で相互協力に関する申し合わせ
・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、 氾濫シミュレーションの公表 く直轄河川) 久慈川・山田川・里川・那珂川・藤井川・桜川・涸沼 川 〈県管理河川〉 ・大規模水害時の相互協力に関する申し合わせ	平成29年度 から実施 平成28年度 平成29年度	・協議会の中で相互協力に関する申し合わせを 締結	・協議会の中で相互協力に関する申し合わせを 締結	・協議会の中で相互協力に関する申し合わせ 締結
・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、 氾濫シミュレーションの公表 く直轄河川) 久慈川・山田川・里川・那珂川・藤井川・桜川・涸沼 川 〈県管理河川〉 ・大規模水害時の相互協力に関する申し合わせ	平成29年度 から実施 平成28年度	・協議会の中で相互協力に関する申し合わせを	・協議会の中で相互協力に関する申し合わせを 締結	・協議会の中で相互協力に関する申し合わせ 締結
・型定員大規模降雨による洪水浸水想定区域図、 氾濫シミルーションの公表 <直轄河川> 人慈川・山田川・里川・那珂川・藤井川・桜川・涸沼川 (県管理河川> ・大規模水害時の相互協力に関する申し合わせ ・広域避難計画の策定	平成29年度 から実施 平成28年度 平成29年度 から実施	・協議会の中で相互協力に関する申し合わせを 締結 町の防災計画による	・協議会の中で相互協力に関する申し合わせを 締結 今年度実施なし	・協議会の中で相互協力に関する申し合わせ 締結 隣接自治体から打診があった場合は、検討。
・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、 氾濫シミュレーションの公表 く直轄河川) 久慈川・山田川・里川・那珂川・藤井川・桜川・涸沼 川 〈県管理河川〉 ・大規模水害時の相互協力に関する申し合わせ	平成29年度 から実施 平成28年度 平成29年度 から実施	・協議会の中で相互協力に関する申し合わせを 締結	・協議会の中で相互協力に関する申し合わせを 締結	・協議会の中で相互協力に関する申し合わせ 締結
・型定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、 氾濫シミレーションの公表 く直轄河川> 久慈川・山田川・里川・那珂川・藤井川・桜川・涸沼 川 く県管理河川> ・大規模水害時の相互協力に関する申し合わせ ・広域避難計画の策定 ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮	平成29年度 から実施 平成28年度 平成29年度 から実施	・協議会の中で相互協力に関する申し合わせを 締結 町の防災計画による	・協議会の中で相互協力に関する申し合わせを 締結 今年度実施なし ハザードマップ作成完了	・協議会の中で相互協力に関する申し合わせ 締結 隣接自治体から打診があった場合は、検討。 総務課窓口にて随時配布予定。
・型定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、 氾濫シミレーションの公表 く直轄河川> 久慈川・山田川・里川・那珂川・藤井川・桜川・涸沼 川 く県管理河川> ・大規模水害時の相互協力に関する申し合わせ ・広域避難計画の策定 ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮	平成29年度 から実施 平成28年度 平成29年度 から実施	・協議会の中で相互協力に関する申し合わせを 締結 町の防災計画による	・協議会の中で相互協力に関する申し合わせを 締結 今年度実施なし ハザードマップ作成完了	・協議会の中で相互協力に関する申し合わせ 締結 隣接自治体から打診があった場合は、検討。 総務課窓口にて随時配布予定。
・型定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、 氾濫シミレーションの公表 く直轄河川> 久慈川・山田川・里川・那珂川・藤井川・桜川・涸沼 川 く県管理河川> ・大規模水害時の相互協力に関する申し合わせ ・広域避難計画の策定 ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮	平成29年度 から実施 平成28年度 平成29年度 から実施	・協議会の中で相互協力に関する申し合わせを 締結 町の防災計画による	・協議会の中で相互協力に関する申し合わせを 締結 今年度実施なし ハザードマップ作成完了	・協議会の中で相互協力に関する申し合わせ 締結 隣接自治体から打診があった場合は、検討。 総務課窓口にて随時配布予定。
・型定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、 氾濫シミュレーションの公表 く直轄河川> 久慈川・山田川・里川・那珂川・藤井川・桜川・溜沼川 (県管理河川> ・大規模水書時の相互協力に関する申し合わせ ・広域避難計画の策定 ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮 したいザードマップの作成・周知	平成29年度 から実施 平成28年度 中成29年度 から実施 平成28年度から 順次実施	・協議会の中で相互協力に関する申し合わせを 締結 町の防災計画による 平成30年度にハザードマップを作成する。	・協議会の中で相互協力に関する申し合わせを 締結 今年度実施なし ハザードマップ作成完了 [H31.3月配布開始]	・協議会の中で相互協力に関する申し合わせ 締結 隣接自治体から打診があった場合は、検討。 総務課窓口にて随時配布予定。 町HP及び広報紙にて周知予定。
・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、 氾濫シュレーションの公表 く直轄河川> 人直轄河川> 人間・山田川・里川・那珂川・藤井川・桜川・温沼 川 ・大規模水害時の相互協力に関する申し合わせ ・広域避難計画の策定 ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮 した、・ガードマップの作成・周知 ・まるごとまちごとハーザドマップ整備・拡充につい	平成29年度 から実施 平成28年度 平成29年度 から実施	・協議会の中で相互協力に関する申し合わせを 締結 町の防災計画による 平成30年度にハザードマップを作成する。	・協議会の中で相互協力に関する申し合わせを 締結 今年度実施なし ハザードマップ作成完了 [H31.3月配布開始]	・協議会の中で相互協力に関する申し合わせ 締結 隣接自治体から打診があった場合は、検討。 総務課窓口にて随時配布予定。 町HP及び広報紙にて周知予定。
・型定量大規模降雨による洪水浸水想定区域図、 氾濫シェレーションの公表 く直轄河川> 人藤川・山田川・里川・那珂川・藤井川・桜川・温沼川 ・大規模水害時の相互協力に関する申し合わせ ・広域避難計画の策定 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	平成29年度 から実施 平成28年度 中成29年度 から実施 平成28年度から 順次実施	・協議会の中で相互協力に関する申し合わせを 締結 町の防災計画による 平成30年度にハザードマップを作成する。	・協議会の中で相互協力に関する申し合わせを 締結 今年度実施なし ハザードマップ作成完了 [H31.3月配布開始]	・協議会の中で相互協力に関する申し合わせ 締結 隣接自治体から打診があった場合は、検討。 総務課窓口にて随時配布予定。 町HP及び広報紙にて周知予定。 作成について検討する。
想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、 氾濫シミルーションの公表 〈直轄河川〉 久慈川・山田川・里川・那珂川・藤井川・桜川・涸沼川 〈県管理河川〉 ・大規模水害時の相互協力に関する申し合わせ ・広域避難計画の策定 ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮 したハザードマップの作成・周知 ・まるごとまちごとハーザドマップ整備・拡充について検討 ・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練	平成29年度 から実施 平成28年度 から実施 平成28年度から 順次実施 平成28年度から 順次実施	・協議会の中で相互協力に関する申し合わせを 締結 町の防災計画による 平成30年度にハザードマップを作成する。	・協議会の中で相互協力に関する申し合わせを 締結 今年度実施なし ハザードマップ作成完了 [H31.3月配布開始]	・協議会の中で相互協力に関する申し合わせ 締結 隣接自治体から打診があった場合は、検討。 総務課窓口にて随時配布予定。 町HP及び広報紙にて周知予定。
・型定量大規模降雨による洪水浸水想定区域図、 氾濫シェレーションの公表 く直轄河川> 人藤川・山田川・里川・那珂川・藤井川・桜川・温沼川 ・大規模水害時の相互協力に関する申し合わせ ・広域避難計画の策定 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	平成29年度 から実施 平成28年度 から実施 平成28年度から順次実施 平成28年度から順次実施 平成28年度から	・協議会の中で相互協力に関する申し合わせを 締結 町の防災計画による 平成30年度にハザードマップを作成する。	・協議会の中で相互協力に関する申し合わせを 締結 今年度実施なし ハザードマップ作成完了 [H31.3月配布開始]	・協議会の中で相互協力に関する申し合わせ 締結 隣接自治体から打診があった場合は、検討。 総務課窓口にて随時配布予定。 町HP及び広報紙にて周知予定。 作成について検討する。
想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、 氾濫シミルーションの公表 〈直轄河川〉 久慈川・山田川・里川・那珂川・藤井川・桜川・涸沼川 〈県管理河川〉 ・大規模水害時の相互協力に関する申し合わせ ・広域避難計画の策定 ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮 したハザードマップの作成・周知 ・まるごとまちごとハーザドマップ整備・拡充について検討 ・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練	平成29年度 から実施 平成28年度 から実施 平成28年度から 順次実施 平成28年度から 順次実施	・協議会の中で相互協力に関する申し合わせを 締結 町の防災計画による 平成30年度にハザードマップを作成する。	・協議会の中で相互協力に関する申し合わせを 締結 今年度実施なし ハザードマップ作成完了 [H31.3月配布開始]	・協議会の中で相互協力に関する申し合わせ 締結 隣接自治体から打診があった場合は、検討。 総務課窓口にて随時配布予定。 町HP及び広報紙にて周知予定。 作成について検討する。
想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、 氾濫シミルーションの公表 〈直轄河川〉 久慈川・山田川・里川・那珂川・藤井川・桜川・涸沼川 〈県管理河川〉 ・大規模水害時の相互協力に関する申し合わせ ・広域避難計画の策定 ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮 したハザードマップの作成・周知 ・まるごとまちごとハーザドマップ整備・拡充について検討 ・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練	平成29年度 から実施 平成28年度 から実施 平成28年度から順次実施 平成28年度から順次実施 平成28年度から	・協議会の中で相互協力に関する申し合わせを 締結 町の防災計画による 平成30年度にハザードマップを作成する。 同上 当該区域に該当する施設は無い。	・協議会の中で相互協力に関する申し合わせを 締結 今年度実施なし ハザードマップ作成完了 [H31.3月配布開始]	・協議会の中で相互協力に関する申し合わせ 締結 隣接自治体から打診があった場合は、検討。 総務課窓口にて随時配布予定。 町HP及び広報紙にて周知予定。 作成について検討する。
・型定量大規模降雨による洪水浸水想定区域図、 氾濫シェレーションの公表 〈直轄河川〉 久慈川・山田川・里川・那珂川・藤井川・桜川・涸沼川 〈県管理河川〉 ・大規模水害時の相互協力に関する申し合わせ ・広域避難計画の策定 ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮 したハザードマップの作成・周知 ・まるごとまちごとハーザドマップ整備・拡充について検討 ・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練 の促進	平成29年度 から実施 平成28年度 平成29年度 から実施 平成28年度から 順次実施 平成28年度から 順次実施	・協議会の中で相互協力に関する申し合わせを 締結 町の防災計画による 平成30年度にハザードマップを作成する。 同上 当該区域に該当する施設は無い。	・協議会の中で相互協力に関する申し合わせを 締結 今年度実施なし ハザードマップ作成完了 【H31.3月配布開始】 作成なし 該当なし	・協議会の中で相互協力に関する申し合わせ 締結 隣接自治体から打診があった場合は、検討。 総務課窓口にて随時配布予定。 町HP及び広報紙にて周知予定。 作成について検討する。 該当なし
・型定量大規模降雨による洪水浸水想定区域図、 氾濫シェレーションの公表 〈直轄河川〉 久慈川・山田川・里川・那珂川・藤井川・桜川・涸沼川 〈県管理河川〉 ・大規模水害時の相互協力に関する申し合わせ ・広域避難計画の策定 ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮 したハザードマップの作成・周知 ・まるごとまちごとハーザドマップ整備・拡充について検討 ・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練 の促進	平成29年度 から実施 平成28年度 から実施 平成28年度から順次実施 平成28年度から順次実施 平成28年度から	・協議会の中で相互協力に関する申し合わせを 締結 町の防災計画による 平成30年度にハザードマップを作成する。 同上 当該区域に該当する施設は無い。 町防災計画書の見直しに伴い、修正・追加して	・協議会の中で相互協力に関する申し合わせを 締結 今年度実施なし ハザードマップ作成完了 【H31.3月配布開始】 作成なし 該当なし	・協議会の中で相互協力に関する申し合わせ 締結 隣接自治体から打診があった場合は、検討。 総務課窓口にて随時配布予定。 町HP及び広報紙にて周知予定。 作成について検討する。 該当なし
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	平成29年度 から実施 平成28年度 中成29年度 から実施 平成28年度施 平成28年度施 平成28年度施 平成28年度施	・協議会の中で相互協力に関する申し合わせを 締結 町の防災計画による 平成30年度にハザードマップを作成する。 同上 当該区域に該当する施設は無い。 町防災計画書の見直しに伴い、修正・追加してしいく。	・協議会の中で相互協力に関する申し合わせを 締結 今年度実施なし ハザードマップ作成完了 [H31.3月配布開始] 作成なし	・協議会の中で相互協力に関する申し合わせ 締結 隣接自治体から打診があった場合は、検討。 総務課窓口にて随時配布予定。 町HP及び広報紙にて周知予定。 作成について検討する。 該当なし 町防災計画改定に併せて、検討予定
・型定量大規模降雨による洪水浸水想定区域図、 ・加窓シェルーションの公表 く直轄河川> 人間 ・加速 ・	平成29年度 から実施 平成28年度 中成29年度 から実施 平成28年度施 平成28年度施 平成28年度施 平成28年度施	・協議会の中で相互協力に関する申し合わせを 締結 町の防災計画による 平成30年度にハザードマップを作成する。 同上 当該区域に該当する施設は無い。 町防災計画書の見直しに伴い、修正・追加して いく。 防災行政無線・メール等。高齢者世帯等(要支援	・協議会の中で相互協力に関する申し合わせを 締結 今年度実施なし ハザードマップ作成完了 [H31.3月配布開始] 作成なし 財当なし 田30年度見直しなし 防災行政無線・メール等。高齢者世帯等(要支援	・協議会の中で相互協力に関する申し合わせ 締結 隣接自治体から打診があった場合は、検討。 総務膜窓口にて随時配布予定。 町HP及び広報紙にて周知予定。 作成について検討する。 該当なし 町防災計画改定に併せて、検討予定 防災行政無線・メール等。高齢者世帯等(要)
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	平成29年度 から実施 平成28年度 平成29年度 から実 度が のでである。 平成28年度 でである。 平成28年度を でである。 平成28年度が のである。 平成28年度が のである。 平成28年度が のである。 平成28年度が のである。 平成28年度が のである。 平成28年度が のである。 平成28年度が のである。 平成28年度が のである。 平成28年度が のである。 平成28年度が のである。 平成28年度が のである。 平成28年度が のである。 平成28年度が のである。 平成28年度が できる。 平成28年度が できる。 平成28年度が できる。 平成28年度が できる。 平成28年度が できる。 平成28年度が できる。 平成28年度を できる できる できる できる できる できる できる できる できる できる	・協議会の中で相互協力に関する申し合わせを 締結 町の防災計画による 平成30年度にハザードマップを作成する。 同上 当該区域に該当する施設は無い。 町防災計画書の見直しに伴い、修正・追加してしいく。	・協議会の中で相互協力に関する申し合わせを 締結 今年度実施なし ハザードマップ作成完了 [H31.3月配布開始] 作成なし	・協議会の中で相互協力に関する申し合わせ 締結 隣接自治体から打診があった場合は、検討。 総務膜窓口にて随時配布予定。 町HP及び広報紙にて周知予定。 作成について検討する。 該当なし 町防災計画改定に併せて、検討予定 防災行政無線・メール等。高齢者世帯等(要)
・型定量大規模降雨による洪水浸水想定区域図、 が変と、エレーションの公表 く直轄河川> 人間 く原管理河川> ・大規模水害時の相互協力に関する申し合わせ ・広域避難計画の策定 ・超定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮 した、サードマップの作成・周知 ・まるごとまちごとハーザドマップ整備・拡充について検討 ・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練 の促進 ・避難勧告等の判断・伝達マニュアルの見直し ・対象地区全住民への確実な情報伝達方法の確	平成29年度 から実施 平成28年度 平成29年度 から実 平成28年度がら 順次実施 平成28年度がら 順次実施 平成28年度施 平成28年度施 平成28年度施	・協議会の中で相互協力に関する申し合わせを 締結  町の防災計画による  平成30年度にハザードマップを作成する。  同上  当該区域に該当する施設は無い。  町防災計画書の見直しに伴い、修正・追加していく。  防災行政無線・メール等。高齢者世帯等(要支援者)については、民生委員及び地域防災組織の	・協議会の中で相互協力に関する申し合わせを 締結 今年度実施なし ハザードマップ作成完了 [H31.3月配布開始] 作成なし お当なし H30年度見直しなし 防災行政無線・メール等。高齢者世帯等(要支援 者)については、民生委員及び地域防災組織の	・協議会の中で相互協力に関する申し合わせ 締結 隣接自治体から打診があった場合は、検討。 総務課窓口にて随時配布予定。 町IHP及び広報紙にて周知予定。 作成について検討する。 該当なし 町防災計画改定に併せて、検討予定 防災行政無線・メール等。高齢者世帯等(要) 者)については、民生委員及び地域防災組織
・型定量大規模降雨による洪水浸水想定区域図、 が変と、エレーションの公表 く直轄河川> 人間 く原管理河川> ・大規模水害時の相互協力に関する申し合わせ ・広域避難計画の策定 ・超定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮 した、サードマップの作成・周知 ・まるごとまちごとハーザドマップ整備・拡充について検討 ・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練 の促進 ・避難勧告等の判断・伝達マニュアルの見直し ・対象地区全住民への確実な情報伝達方法の確	平成29年度 から実施 平成28年度 平成29年度 から実 度が のでである。 平成28年度 でである。 平成28年度を でである。 平成28年度が のである。 平成28年度が のである。 平成28年度が のである。 平成28年度が のである。 平成28年度が のである。 平成28年度が のである。 平成28年度が のである。 平成28年度が のである。 平成28年度が のである。 平成28年度が のである。 平成28年度が のである。 平成28年度が のである。 平成28年度が のである。 平成28年度が できる。 平成28年度が できる。 平成28年度が できる。 平成28年度が できる。 平成28年度が できる。 平成28年度が できる。 平成28年度を できる できる できる できる できる できる できる できる できる できる	・協議会の中で相互協力に関する申し合わせを 締結  町の防災計画による  平成30年度にハザードマップを作成する。  同上  当該区域に該当する施設は無い。  町防災計画書の見直しに伴い、修正・追加していく。  防災行政無線・メール等。高齢者世帯等(要支援者)については、民生委員及び地域防災組織の	・協議会の中で相互協力に関する申し合わせを 締結 今年度実施なし ハザードマップ作成完了 [H31.3月配布開始] 作成なし お当なし H30年度見直しなし 防災行政無線・メール等。高齢者世帯等(要支援 者)については、民生委員及び地域防災組織の	・協議会の中で相互協力に関する申し合わせ 締結 隣接自治体から打診があった場合は、検討。 総務課窓口にて随時配布予定。 町IHP及び広報紙にて周知予定。 作成について検討する。 該当なし 町防災計画改定に併せて、検討予定 防災行政無線・メール等。高齢者世帯等(要) 者)については、民生委員及び地域防災組織
・型定量大規模降雨による洪水浸水想定区域図、 が変と、エレーションの公表 く直轄河川> 人間 く原管理河川> ・大規模水害時の相互協力に関する申し合わせ ・広域避難計画の策定 ・超定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮 した、サードマップの作成・周知 ・まるごとまちごとハーザドマップ整備・拡充について検討 ・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練 の促進 ・避難勧告等の判断・伝達マニュアルの見直し ・対象地区全住民への確実な情報伝達方法の確	平成29年度 から実施 平成28年度 平成29年度 から実 度が のでである。 平成28年度 でである。 平成28年度を でである。 平成28年度が のである。 平成28年度が のである。 平成28年度が のである。 平成28年度が のである。 平成28年度が のである。 平成28年度が のである。 平成28年度が のである。 平成28年度が のである。 平成28年度が のである。 平成28年度が のである。 平成28年度が のである。 平成28年度が のである。 平成28年度が のである。 平成28年度が できる。 平成28年度が できる。 平成28年度が できる。 平成28年度が できる。 平成28年度が できる。 平成28年度が できる。 平成28年度を できる できる できる できる できる できる できる できる できる できる	・協議会の中で相互協力に関する申し合わせを 締結  町の防災計画による  平成30年度にハザードマップを作成する。  同上  当該区域に該当する施設は無い。  助災行政無線・メール等。高齢者世帯等(要支援者)については、民生委員及び地域防災組織の 救助・援護支援を考えている。  自治会での設立をお願いしている。町では全面	・協議会の中で相互協力に関する申し合わせを 締結 今年度実施なし ハザードマップ作成完了 [H31.3月配布開始] 作成なし お当なし H30年度見直しなし 防災行政無線・メール等。高齢者世帯等(要支援 者)については、民生委員及び地域防災組織の	・協議会の中で相互協力に関する申し合わせ 締結 隣接自治体から打診があった場合は、検討。 総務課窓口にて随時配布予定。 町HP及び広報紙にて周知予定。 作成について検討する。 該当なし 町防災計画改定に併せて、検討予定 防災行政無線・メール等。高齢者世帯等(要) 者)については、民生委員及び地域防災組織 救助・援護支援を考えている。 設立補助金に加え、年度間の活動に対し補助
・型定量大規模降雨による洪水浸水想定区域図、 心窓シェレーションの公表 く直轄河川> 久慈川・山田川・里川・那珂川・藤井川・桜川・涸沼川 (県管理河川> ・大規模水害時の相互協力に関する申し合わせ ・広域避難計画の策定 ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮したハザードマップの作成・周知 ・まるごとまちごとハーザドマップ整備・拡充について検討 ・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進 ・避難勧告等の判断・伝達マニュアルの見直し ・対象地区全住民への確実な情報伝達方法の確立(自治体未加入世帯、高齢者、外国人等)	平成29年度 から実施 平成28年度 平成29年度 から実施 平成28年度がら 順次実施 平成28年度施 平成28年度施 平成28年度施 平成28年度施 平成28年度施	・協議会の中で相互協力に関する申し合わせを 締結  町の防災計画による  平成30年度にハザードマップを作成する。  同上  当該区域に該当する施設は無い。  町防災計画書の見直しに伴い、修正・追加していく。  防災行政無線・メール等。高齢者世帯等(要支援者)については、民生委員及び地域防災組織の 救助・援護支援を考えている。	・協議会の中で相互協力に関する申し合わせを 締結 今年度実施なし ハザードマップ作成完了 [H31.3月配布開始] 作成なし	・協議会の中で相互協力に関する申し合わせ 締結 隣接自治体から打診があった場合は、検討。 総務課窓口にて随時配布予定。 町HP及び広報紙にて周知予定。 作成について検討する。 該当なし 町防災計画改定に併せて、検討予定 防災行政無線・メール等。高齢者世帯等(要) 者)については、民生委員及び地域防災組織 救助・援護支援を考えている。
・型定量大規模降雨による洪水浸水想定区域図、 心窓シェレーションの公表 く直轄河川> 久慈川・山田川・里川・那珂川・藤井川・桜川・涸沼川 (県管理河川> ・大規模水害時の相互協力に関する申し合わせ ・広域避難計画の策定 ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮したハザードマップの作成・周知 ・まるごとまちごとハーザドマップ整備・拡充について検討 ・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進 ・避難勧告等の判断・伝達マニュアルの見直し ・対象地区全住民への確実な情報伝達方法の確立(自治体未加入世帯、高齢者、外国人等)	平成29年度 から実施 平成28年度 中成29年度 から実 東成28年度 順次 平成28年度を施 平成28年度を施 平成28年度を 平成28年度を 平成28年度を 平成28年度を 平成28年度を 平成28年度を 平成28年度を	・協議会の中で相互協力に関する申し合わせを 締結  町の防災計画による  平成30年度にハザードマップを作成する。  同上  当該区域に該当する施設は無い。  助災行政無線・メール等。高齢者世帯等(要支援者)については、民生委員及び地域防災組織の 救助・援護支援を考えている。  自治会での設立をお願いしている。町では全面	・協議会の中で相互協力に関する申し合わせを 締結  今年度実施なし  ハザードマップ作成完了 [H31.3月配布開始]  作成なし  防災行政無線・メール等。高齢者世帯等(要支援者)については、民生委員及び地域防災組織の 救助・援護支援を考えている。  自主防災組織の設立に際し、設立補助金を交	・協議会の中で相互協力に関する申し合わせ 締結 隣接自治体から打診があった場合は、検討。 総務課窓口にて随時配布予定。 町HP及び広報紙にて周知予定。 作成について検討する。 該当なし 町防災計画改定に併せて、検討予定 防災行政無線・メール等。高齢者世帯等(要) 者)については、民生委員及び地域防災組織 救助・援護支援を考えている。 設立補助金に加え、年度間の活動に対し補息
・型定量大規模降雨による洪水浸水想定区域図、 心窓シェレーションの公表 く直轄河川> 久慈川・山田川・里川・那珂川・藤井川・桜川・涸沼川 (県管理河川> ・大規模水害時の相互協力に関する申し合わせ ・広域避難計画の策定 ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮したハザードマップの作成・周知 ・まるごとまちごとハーザドマップ整備・拡充について検討 ・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進 ・避難勧告等の判断・伝達マニュアルの見直し ・対象地区全住民への確実な情報伝達方法の確立(自治体未加入世帯、高齢者、外国人等)	平成29年度 から実施 平成28年度 平成29年度 から実施 平成28年度がら 順次実施 平成28年度施 平成28年度施 平成28年度施 平成28年度施 平成28年度施	・協議会の中で相互協力に関する申し合わせを 締結  町の防災計画による  平成30年度にハザードマップを作成する。  同上  当該区域に該当する施設は無い。  助災行政無線・メール等。高齢者世帯等(要支援者)については、民生委員及び地域防災組織の 救助・援護支援を考えている。  自治会での設立をお願いしている。町では全面	・協議会の中で相互協力に関する申し合わせを 締結 今年度実施なし ハザードマップ作成完了 [H31.3月配布開始] 作成なし	・協議会の中で相互協力に関する申し合わせ 締結 隣接自治体から打診があった場合は、検討。 総務課窓口にて随時配布予定。 町HP及び広報紙にて周知予定。 作成について検討する。 該当なし 町防災計画改定に併せて、検討予定 防災行政無線・メール等。高齢者世帯等(要) 者)については、民生委員及び地域防災組織 救助・援護支援を考えている。 設立補助金に加え、年度間の活動に対し補息
・型定量大規模降雨による洪水浸水想定区域図、 が変と、ローションの公表 く直轄河川> く原管理河川> ・大規模水害時の相互協力に関する申し合わせ ・広域避難計画の策定 ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮 したハザードマップの作成・周知 ・まるごとまちごとハーザドマップ整備・拡充について検討 ・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練 の促進 ・避難勧告等の判断・伝達マニュアルの見直し ・対象地区全住民への確実な情報伝達方法の確立 ・対象地区全住民への確実な情報伝達方法の確立 ・自助、共助を目指した自主防災組織の充実	平成29年度 から実施 平成28年度 中成29年度 から実 東成28年度 順次 平成28年度を施 平成28年度を施 平成28年度を 平成28年度を 平成28年度を 平成28年度を 平成28年度を 平成28年度を 平成28年度を	・協議会の中で相互協力に関する申し合わせを 締結  町の防災計画による  平成30年度にハザードマップを作成する。  同上  当該区域に該当する施設は無い。  町防災計画書の見直しに伴い、修正・追加していく。  防災行政無線・メール等。高齢者世帯等(要支援者)については、民生委員及び地域防災組織の 救助・援護支援を考えている。  自治会での設立をお願いしている。町では全面 的に支援していく。	・協議会の中で相互協力に関する申し合わせを 締結 今年度実施なし ハザードマップ作成完了 [H31.3月配布開始] 作成なし 財災行政無線・メール等。高齢者世帯等(要支援 者)については、民生委員及び地域防災組織の 救助・援護支援を考えている。 自主防災組織の設立に際し、設立補助金を交 付。 H30年度:1団体交付。	・協議会の中で相互協力に関する申し合わせ 締結 隣接自治体から打診があった場合は、検討。 総務課窓口にて随時配布予定。 町HP及び広報紙にて周知予定。 作成について検討する。 該当なし 助災行政無線・メール等。高齢者世帯等(要す 教助・援護支援を考えている。 設立補助金に加え、年度間の活動に対し補助を交付。
・型定量大規模降雨による洪水浸水想定区域図、 心窓シェレーションの公表 く直轄河川> 久慈川・山田川・里川・那珂川・藤井川・桜川・涸沼川 (県管理河川> ・大規模水害時の相互協力に関する申し合わせ ・広域避難計画の策定 ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮したハザードマップの作成・周知 ・まるごとまちごとハーザドマップ整備・拡充について検討 ・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進 ・避難勧告等の判断・伝達マニュアルの見直し ・対象地区全住民への確実な情報伝達方法の確立(自治体未加入世帯、高齢者、外国人等)	平成29年度 から実施 平成28年度 中成29年度 から実 東成28年度 順次 平成28年度を施 平成28年度を施 平成28年度を 平成28年度を 平成28年度を 平成28年度を 平成28年度を 平成28年度を 平成28年度を	・協議会の中で相互協力に関する申し合わせを 締結  町の防災計画による  平成30年度にハザードマップを作成する。  同上  当該区域に該当する施設は無い。  助災行政無線・メール等。高齢者世帯等(要支援者)については、民生委員及び地域防災組織の 救助・援護支援を考えている。  自治会での設立をお願いしている。町では全面	・協議会の中で相互協力に関する申し合わせを 締結 今年度実施なし ハザードマップ作成完了 [H31.3月配布開始] 作成なし	・協議会の中で相互協力に関する申し合わせ 締結 隣接自治体から打診があった場合は、検討。 総務課窓口にて随時配布予定。 町HP及び広報紙にて周知予定。 作成について検討する。 該当なし 町防災計画改定に併せて、検討予定 防災行政無線・メール等。高齢者世帯等(要 者)については、民生委員及び地域防災組織 救助・援護支援を考えている。 設立補助金に加え、年度間の活動に対し補 設立補助金に加え、年度間の活動に対し補

)概ね5年で実施する取組				
具体的な取組の柱 事 項	目標時期		実施する機関 <b>市貝町</b>	
具体的取組	口惊时期	取組予定【H30年度】	下戶司 実施結果【H30年度】	取組内容【R元(H31)年度】
ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅	速かつ的確な避難1		2 100 100 100 100 100 100 100 100 100 10	
<ul><li>避難勧告発令に着目したタイムラインの作成</li><li>・避難勧告の発令に着目したタイムラインの作成</li></ul>		今後作成の検討をしていく	H30年度実施なし	町防災計画改定に併せて、検討予定
・ 起発制ロの光节に相口したプイムノインのIFIX	平成28年度から 順次実施	フはTFIXの検討さしてい	N304及天息なじ	判 切火計 国 以たに 庁 と く、 快計 ア た
・タイムラインに基づく首長等も参加した実践的な訓練	平成28年度から	タイムライン作成後、防災訓練等で対応	タイムライン未作成	町防災計画改定に併せて、検討予定
	平成26年度から 順次実施			
・気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善(水害時の情報入手のし易さをサポート)	平成29年度 出水期から実施	今後検討をしていく	該当なし	該当なし
■防災教育や防災知識の普及				
■防火教育や防火丸線の音及 ・水災害の事前準備に関する問い合わせ窓口の 設置	平成28年度 から実施	特に設置する意向はないが、現状で対応する	従来どおり総務課で対応	従来どおり総務課で対応
・水防災に関する説明会等の開催		今後検討する	実施なし	防災訓練等で対応予定 その他、依頼があれば随時対応
	平成28年度から 順次実施			
・教員を対象とした講習会の実施	平成28年度から 順次実施	今後検討する	実施なし	教育部門と調整の上、必要に応じ対応
・小学生を対象とした防災教育の実施	平成28年度から 順次実施	教育委員会と合同で検討していく	実施なし	教育部門と調整の上、必要に応じ対応
・出前講座等を活用した講習会の実施	平成28年度 から実施	地域又は小中学校等と調整して検討していく	実施なし	教育部門と調整の上、必要に応じ対応
・プッシュ型の洪水予報等の情報発信	平成28年度から 順次実施	該当なし	該当なし	該当なし
・水位計やライブカメラの情報をリアルタイムで提供	平成28年度 から実施	荒川橋付近に監視カメラが設置されているので、 その活用を検討していく	現状維持	既存の物を更に有効活用できるか検討
ソフト対策の主な取組 ②避難時間の確保のための	D取組			
■より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化	ե		70.51 T be 60. 01.00 (1.00 to 1.00 to	
・水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練の 実施	平成28年度 から実施	メールにて通信が可能	移動系無線、防災行政無線メール配信にて通信 防災訓練で情報伝達訓練実施	防災訓練等で情報伝達訓練を実施する
・水防団同士の連絡体制の確保	平成28年度から 順次実施	無線機の使用が可能	既に移動系無線が整備されている。	既に移動系無線が整備されている。
・水防団や地域住民が参加する洪水に対しリスク が高い区間の共同点検	引き続き 毎年実施	今後検討していく	実施なし	今後検討していく
-水防訓練の実施	引き続き 毎年実施 平成28年度から 順次実施	防災訓練等に合わせて検討する	水害を想定した防災訓練実施 (河川水位情報の伝達、河川巡視、住民避難など)	防災訓練を実施していく
・水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・ 指定を促進	引き続き 毎年実施	町消防団との調整を図っていく	実施なし	町HPや広報紙等で周知していく
・水防団員の待避等判断指標の作成	平成28年度から 順次実施	今後検討していく	実施なし	今後検討していく
・水防団員の安全装備の徹底(水防法第7条)	平成28年度から 順次実施	基準に合った装備を準備していくことを検討する	新たな装備の購入なし	予算と照らし合わせながら、必要な装備を揃え
■排水活動の強化に関する取組 ・排水ポンブ車の操作講習会、出動要請の連絡体制の周知	引き続き 毎年実施	国・県が実施する演習会等に参加していく	実施なし	国・県等が実施する演習会等に参加していく
・遂げ遅れゼロ等に寄与する排水ポンプ車の活用 計画	毎年美施 平成28年度 から実施	必要に応じて国・県等に支援等を要請していく		河川事務所から要請があれば、基礎データ等 情報を提供する

体的な取組の柱	1		実施する機関	
事 項	目標時期		茨城県	
具体的取組		取組予定【H30年度】	実施結果【H30年度】	取組内容【R元(H31)年度】
ハード対策の主な取組 ■氾濫を未然に防ぐ対策				
<久慈川>		<久慈川>	<久慈川>	<久慈川>
・優先的に実施する流下能力向上対策、浸透・パ イピング対策		・流入4河川における河川改修の実施 【継続実施】	・流入4河川における河川改修を実施した。 <那珂川>	・流入4河川における河川改修の実施 【継続実施】
イビング対策 <那珂川>	平成32年度	【	<那珂川>  ・流入6河川における河川改修を実施した。	【継続美施】  <那珂川>
・優先的に実施する流下能力向上対策、浸透・パ		・流入6河川における河川改修の実施	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	・流入6河川における河川改修の実施
イピング対策 ■危機管理型ハード対策		【継続実施】		【継続実施】
<久慈川>		該当なし	該当なし	該当なし
・堤防天端の保護 ・堤防裏法尻の補強				
- 堤防委法児の帰強 <那珂川>	平成32年度			
<ul><li>・堤防天端の保護</li><li>・堤防裏法尻の補強</li></ul>				
■避難行動、水防活動に資する基盤等の整備				
・雨量・水位等の観測データ及び洪水時の状況を		・雨量、水位、風速等の観測データ及び洪水時	・更なる情報の提供を目的として、水位計の増設	・更なる情報の提供のため、水位計の増設に
把握・伝達するための基盤の整備	亚叶加车车	の状況を把握・伝達するための基盤の整備を実 施	を行った。	いて検討を実施する。
	平成28年度 から実施	【H28年度~】		
・さらなる情報伝達手段の追加整備もしくは検討		該当なし	該当なし	該当なし
C JO DIA WALL I KAN ZIM E MI GO (10 KII)		2.00		
	平成28年度から			
	順次実施			
・水防活動を支援するための水防資機材等の配備 (新技術を活用した水防資機材を含む)		・今後、水防資機材の補充・追加等の際には、新 技術を活用した水防資機材による配備充実を図	・水防資機材の充実を図った。	・水害に備え、更なる水防資機材の充実・強化 ため、新技術の配置を検討する。
(MIXITERINIO CONTROL C	平成28年度から	る。 【H28年度~】		ALL WILLIAM STORE COMMITTEE OF THE STORE OF
	順次実施	[H28年度~]		
・簡易水位計や量水標、CCTVカメラの設置		・カメラの設置	・県内に河川監視カメラを増設した。	・水害に備え、更なる情報提供のため、簡易型
	平成28年度	【H28年度~】		川監視カメラの設置を検討する。
	から実施			
・浸水時においても災害対応を継続するための施		該当なし	該当なし	該当なし
設の整備及び自家発電装置等の耐水化(庁舎、		2.00		
要配慮施設、避難所等)	平成28年度から 順次実施			
	順久失応			
1.44 7 74 a state 1 16-1		EL M. L.	5-14-4-1	=± .v
・水位予測の精度向上検討		該当なし	該当なし	該当なし
	平成28年度			
	十成20千度			
ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅				
<ul><li>■想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮</li><li>・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、</li></ul>	したハザードマッブの			- ハゼードラ…ゴナケボナス主町サからの胆い
氾濫シミュレーションの公表		表	わせに対し対応を行った。	わせに対し対応する。
<直轄河川> 久慈川・山田川・里川・那珂川・藤井川・桜川・涸沼	平成28年9月	【H29年度~】 ・氾濫シミュレーションについては策定予定。		
川		・公表については検討中。		
<県管理河川>	平成29年度 から実施			
(水自在内川)	73 · 5 × 7/16			
・大規模水害時の相互協力に関する申し合わせ		・協議会の中で相互協力に関する申し合わせを	・協議会の中で相互協力に関する申し合わせを	・協議会の中で相互協力に関する申し合わせ
	平成28年度	締結	H28年度末に締結	H28年度末に締結。
	1 // 1 //	[H28年度~]	1120千及不1~柳和	
ナは物無可志のから		【H28年度~】	1120千汉水1~4年4日	
・八政策群計画のます				11市町間における広域避難計画の締結予定
・広域避難計画の策定	平成29年度	[H28年度~] 各市町村の広域避難計画策定を支援	減災対策協議会事務局として、11市町間における広域避難計画作成を支援した。	11市町間における広域避難計画の締結予定。
・山、攻 赶難計 囲の 束 定	平成29年度 から実施		減災対策協議会事務局として、11市町間におけ	11市町間における広域避難計画の締結予定。
	から実施	各市町村の広域避難計画策定を支援	滅災対策協議会事務局として、11市町間における広域避難計画作成を支援した。	
・広域避難計画の策定 ・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮 したハザードマップの作成・周知	から実施		減災対策協議会事務局として、11市町間におけ	11市町間における広域避難計画の締結予定 該当なし
・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮	から実施 平成28年度から	各市町村の広域避難計画策定を支援	滅災対策協議会事務局として、11市町間における広域避難計画作成を支援した。	
・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮	から実施	各市町村の広域避難計画策定を支援	滅災対策協議会事務局として、11市町間における広域避難計画作成を支援した。	
・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮 したハザードマップの作成・周知 ・まるごとまちごとハーザドマップ整備・拡充につい	から実施 平成28年度から	各市町村の広域避難計画策定を支援	滅災対策協議会事務局として、11市町間における広域避難計画作成を支援した。	
・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮 したハザードマップの作成・周知 ・まるごとまちごとハーザドマップ整備・拡充につい	から実施 平成28年度から 順次実施 平成28年度から	各市町村の広域避難計画策定を支援 該当なし	減災対策協議会事務局として、11市町間における広域避難計画作成を支援した。 該当なし	該当なし
・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮 したハザードマップの作成・周知	から実施 平成28年度から 順次実施	各市町村の広域避難計画策定を支援 該当なし	減災対策協議会事務局として、11市町間における広域避難計画作成を支援した。 該当なし	該当なし
・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮 したハザードマップの作成・周知 ・まるごとまちごとハーザドマップ整備・拡充につい	から実施 平成28年度から 順次実施 平成28年度から	各市町村の広域避難計画策定を支援 該当なし	減災対策協議会事務局として、11市町間における広域避難計画作成を支援した。 該当なし 該当なし	該当なし
・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮 したハザードマップの作成・周知 ・まるごとまちごとハーザドマップ整備・拡充につい て検討 ・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練	から実施 平成28年度から 順次実施 平成28年度から 順次実施	各市町村の広域避難計画策定を支援 該当なし	減災対策協議会事務局として、11市町間における広域避難計画作成を支援した。 該当なし	該当なし
・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮 したハザードマップの作成・周知 ・まるごとまちごとハーザドマップ整備・拡充につい て検討 ・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練	から実施 平成28年度から 順次実施 平成28年度から	各市町村の広域避難計画策定を支援 該当なし	減災対策協議会事務局として、11市町間における広域避難計画作成を支援した。 該当なし 該当なし	該当なし
・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮したハザードマップの作成・周知  ・まるごとまちごとハーザドマップ整備・拡充について検討  ・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進	から実施  平成28年度から 順次実施  平成28年度から 順次実施  平成28年度から 順次実施  平成29年度	各市町村の広域避難計画策定を支援 該当なし 該当なし	減災対策協議会事務局として、11市町間における広域避難計画作成を支援した。 該当なし 該当なし	該当なし 該当なし
・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮 したハザードマップの作成・周知 ・まるごとまちごとハーザドマップ整備・拡充につい て検討 ・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練	から実施 平成28年度から 順次実施 平成28年度から 順次実施 平成28年度から 順次実施 平成29年度 から実施	各市町村の広域避難計画策定を支援 該当なし	減災対策協議会事務局として、11市町間における広域避難計画作成を支援した。 該当なし 該当なし	該当なし
・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮したハザードマップの作成・周知  ・まるごとまちごとハーザドマップ整備・拡充について検討  ・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進	から実施  平成28年度から 順次実施  平成28年度から 順次実施  平成28年度から 順次実施  平成29年度	各市町村の広域避難計画策定を支援 該当なし 該当なし	減災対策協議会事務局として、11市町間における広域避難計画作成を支援した。 該当なし 該当なし	該当なし 該当なし
・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮したハザードマップの作成・周知  ・まるごとまちごとハーザドマップ整備・拡充について検討  ・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進  ・避難勧告等の判断・伝達マニュアルの見直し	から実施 平成28年度から 順次実施 平成28年度から 順次実施 平成29年度から 平成29年度 から実施	各市町村の広域避難計画策定を支援 該当なし 該当なし	減災対策協議会事務局として、11市町間における広域避難計画作成を支援した。 該当なし 該当なし	該当なし 該当なし
・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮したハザードマップの作成・周知  ・まるごとまちごとハーザドマップ整備・拡充について検討 ・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進 ・避難勧告等の判断・伝達マニュアルの見直し ・対象地区全住民への確実な情報伝達方法の確	から実施 平成28年度から 順次実施 平成28年度から 順次実施 平成29年度から 平成29年度 から実施	各市町村の広域避難計画策定を支援 該当なし 該当なし	減災対策協議会事務局として、11市町間における広域避難計画作成を支援した。 該当なし 該当なし	該当なし 該当なし
・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮したハザードマップの作成・周知  ・まるごとまちごとハーザドマップ整備・拡充について検討  ・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進  ・避難勧告等の判断・伝達マニュアルの見直し	から実施  平成28年度から 順次実施  平成28年度から 順次実施  平成29年度から 順次実施  平成29年度から美施  平成29年度から 平成28年度から	各市町村の広域避難計画策定を支援 該当なし 該当なし 該当なし	減災対策協議会事務局として、11市町間における広域避難計画作成を支援した。 該当なし 該当なし 該当なし 該当なし	該当なし 該当なし 該当なし
・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮したハザードマップの作成・周知  ・まるごとまちごとハーザドマップ整備・拡充について検討 ・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進 ・避難勧告等の判断・伝達マニュアルの見直し ・対象地区全住民への確実な情報伝達方法の確	から実施  平成28年度から 順次実施  平成28年度から 順次実施  平成29年度 から実施  平成29年度 から実施	各市町村の広域避難計画策定を支援 該当なし 該当なし 該当なし	減災対策協議会事務局として、11市町間における広域避難計画作成を支援した。 該当なし 該当なし 該当なし 該当なし	該当なし 該当なし 該当なし
・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮したハザードマップの作成・周知  ・まるごとまちごとハーザドマップ整備・拡充について検討 ・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進 ・避難勧告等の判断・伝達マニュアルの見直し ・対象地区全住民への確実な情報伝達方法の確	から実施  平成28年度から 順次実施  平成28年度から 順次実施  平成29年度から 順次実施  平成29年度から美施  平成29年度から 平成28年度から	各市町村の広域避難計画策定を支援 該当なし 該当なし 該当なし	減災対策協議会事務局として、11市町間における広域避難計画作成を支援した。 該当なし 該当なし 該当なし 該当なし	該当なし 該当なし 該当なし
・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮したハザードマップの作成・周知  ・まるごとまちごとハーザドマップ整備・拡充について検討 ・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進 ・避難勧告等の判断・伝達マニュアルの見直し ・対象地区全住民への確実な情報伝達方法の確	から実施  平成28年度から 順次実施  平成28年度から 順次実施  平成29年度から 順次実施  平成29年度から美施  平成29年度から 平成28年度から	各市町村の広域避難計画策定を支援 該当なし 該当なし 該当なし	減災対策協議会事務局として、11市町間における広域避難計画作成を支援した。 該当なし 該当なし 該当なし 該当なし	該当なし 該当なし 該当なし
・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮したハザードマップの作成・周知 ・まるごとまちごとハーザドマップ整備・拡充について検討 ・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進 ・避難勧告等の判断・伝達マニュアルの見直し ・対象地区全住民への確実な情報伝達方法の確立(自治休未加入世帯、高齢者、外国人等)	から実施 平成28年度から順次実施 平成28年度から順次実施 平成28年度から順次実施 平成29年度から実施 平成28年度から順次実施 平成28年度施 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	各市町村の広域避難計画策定を支援 該当なし 該当なし 該当なし	減災対策協議会事務局として、11市町間における広域避難計画作成を支援した。 該当なし 該当なし 該当なし	該当なし 該当なし 該当なし 該当なし
・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮したハザードマップの作成・周知 ・まるごとまちごとハーザドマップ整備・拡充について検討 ・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進 ・避難勧告等の判断・伝達マニュアルの見直し ・対象地区全住民への確実な情報伝達方法の確立(自治体未加入世帯、高齢者、外国人等)	から実施  平成28年度から 順次実施  平成28年度から 順次実施  平成29年度から 順次実施  平成29年度から美施  平成29年度から 平成28年度から	各市町村の広域避難計画策定を支援 該当なし 該当なし 該当なし	減災対策協議会事務局として、11市町間における広域避難計画作成を支援した。 該当なし 該当なし 該当なし	該当なし 該当なし 該当なし 該当なし
・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮したハザードマップの作成・周知 ・まるごとまちごとハーザドマップ整備・拡充について検討 ・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進 ・避難勧告等の判断・伝達マニュアルの見直し ・対象地区全住民への確実な情報伝達方法の確立(自治休未加入世帯、高齢者、外国人等)	から実施  平成28年度から 順次実施  平成28年度から 順次実施  平成28年度から 順次実施  平成28年度から 順次実施  平成28年度から 順次実施  平成28年度から 平成28年度を  平成28年度を  平成28年度を	各市町村の広域避難計画策定を支援 該当なし 該当なし 該当なし	減災対策協議会事務局として、11市町間における広域避難計画作成を支援した。 該当なし 該当なし 該当なし	該当なし 該当なし 該当なし 該当なし
・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮したハザードマップの作成・周知  ・まるごとまちごとハーザドマップ整備・拡充について検討  ・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進  ・避難勧告等の判断・伝達マニュアルの見直し  ・対象地区全住民への確実な情報伝達方法の確立(自治体未加入世帯、高齢者、外国人等)  ・自助、共助を目指した自主防災組織の充実  ・避難誘導員の安全対策、待避等を踏まえた避難	から実施  平成28年度から 順次実施  平成28年度から 順次実施  平成28年度から 順次実施  平成28年度から 順次実施  平成28年度から 順次実施  平成28年度から 平成28年度を  平成28年度を  平成28年度を	各市町村の広域避難計画策定を支援 該当なし 該当なし 該当なし	減災対策協議会事務局として、11市町間における広域避難計画作成を支援した。 該当なし 該当なし 該当なし	該当なし 該当なし 該当なし 該当なし
・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮したハザードマップの作成・周知 ・まるごとまちごとハーザドマップ整備・拡充について検討 ・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進 ・避難勧告等の判断・伝達マニュアルの見直し ・対象地区全住民への確実な情報伝達方法の確立(自治体未加入世帯、高齢者、外国入等) ・自助、共助を目指した自主防災組織の充実	から実施  平成28年度から 順次実施  平成28年度から 順次実施  平成28年度から 順次実施  平成28年度から 順次実施  平成28年度から 順次実施  平成28年度から 平成28年度を  平成28年度を  平成28年度を	各市町村の広域避難計画策定を支援 該当なし 該当なし 該当なし	減災対策協議会事務局として、11市町間における広域避難計画作成を支援した。 該当なし 該当なし 該当なし 該当なし	該当なし 該当なし 該当なし 該当なし 該当なし

O概ね5年で実施する取組				
具体的な取組の柱			実施する機関	
事 項 具体的取組	目標時期	取組予定【H30年度】	<b>茨城県</b> 実施結果【H30年度】	取組内容【R元(H31)年度】
)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迂	  凍かつ的確な避難れ		关ル和末(n30年度)	双祖内谷[尺儿(円31) 年度]
■避難勧告発令に着目したタイムラインの作成	ZZZZZ PRINE GZZZZZZ			
<ul> <li>避難勧告の発令に着目したタイムラインの作成</li> </ul>	平成28年度から 順次実施	-各市町村の策定を支援 【H28年度~】	・各市町村からの支援要請なし。	・必要に応じて各市町の策定を支援する。
・タイムラインに基づく首長等も参加した実践的な 訓練	平成28年度から 順次実施	- 訓練への参加 【H28年度~】	・訓練への参加要請なし。	・訓練に参加する。
・気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級 の現象、等の改善(水害時の情報入手のし易さを	PRO XXIIE	該当なし	該当なし	該当なし
サポート)	平成29年度 出水期から実施			
<ul><li>■防災教育や防災知識の普及</li><li>・水災害の事前準備に関する問い合わせ窓口の</li></ul>		随時, 問い合わせに対応する。	  ・問い合わせ窓口を設置し、随時、問い合わせに	  問い合わせ窓口を設置し、随時、問い合わせし
設置	平成28年度 から実施	【H28年度~】	対応している。	対応している。
・水防災に関する説明会等の開催	平成28年度から 順次実施	・市町村の要請により出前講座等を積極的に行っていく。[H28年度~]	- 要請なし	・市町村の要請により出前講座等を積極的に 行っていく。
・教員を対象とした講習会の実施	平成28年度から 順次実施	・市町村の要請により出前講座等を積極的に 行っていく。[H28年度~]	<ul><li>-要請なし</li></ul>	・市町村の要請により出前講座等を積極的に 行っていく。
・小学生を対象とした防災教育の実施	平成28年度から 順次実施	・市町村の要請により出前講座等を積極的に 行っていく。[H28年度~]	・要請なし	・市町村の要請により出前講座等を積極的に 行っていく。
・出前講座等を活用した講習会の実施	平成28年度 から実施	- 要請により出前講座等を積極的に行っていく。 [H28年度~]	- 「暮らしを守る自主防災」を7回、「いばらきの防災対策」を5回実施。	・要請により出前講座等を積極的に行っていく
・ブッシュ型の洪水予報等の情報発信	平成28年度から 順次実施	・プッシュ型の洪水予報等の情報発信[H28年度~]	・要請なし	・市町村の要請により出前講座等を積極的に 行っていく。
・水位計やライブカメラの情報をリアルタイムで提供	平成28年度 から実施	・ホームページやスマートフォンなどに水位計や ライブカメラの情報をリアルタイムで提供する。 [H28年度~]	実施済み	実施済み
ソフト対策の主な取組 ②避難時間の確保のための ■より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化				
■ マンガ末的は小切合動の失能及び小切体制の気 ・水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練の 実施	で成28年度 から実施	該当なし	該当なし	該当なし
・水防団同士の連絡体制の確保	平成28年度から 順次実施	該当なし	該当なし	該当なし
・水防団や地域住民が参加する洪水に対しリスクが高い区間の共同点検	引き続き 毎年実施	・人員不足、多くの対象箇所があることなどから 取り組み方法については、今後検討していく必要 がある。	・河川事務所が実施する共同点検に毎年参加している。 県管理河川において実施する滅災対策協議会 で、市町村と共同した点検を実施。	河川事務所が実施する共同点検に参加する 県管理河川において実施する減災対策協議 で、市町村と共同した点検方法等について検 を進める。
・水防訓練の実施	引き続き 毎年実施 平成28年度から 順次実施	・水防管理団体が行う訓練への参加[H28.5〜毎年]	・水防管理団体が行う訓練へ、毎年参加している。	・水防管理団体が行う訓練への参加する。
・水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・ 指定を促進	引き続き 毎年実施	該当なし	該当なし	該当なし
・水防団員の待避等判断指標の作成	平成28年度から 順次実施	該当なし	該当なし	該当なし
・水防団員の安全装備の徹底(水防法第7条)	平成28年度から 順次実施	該当なし	該当なし	該当なし
■排水活動の強化に関する取組 ・排水ポンプ車の操作講習会、出動要請の連絡体 制の周知	引き続き 毎年実施	・河川事務所が実施する排水ポンプ車の操作訓練に参加	・河川事務所が実施する排水ポンプ車の操作訓練、継続して参加することにより、技術の習得をしている。	・河川事務所が実施する排水ポンプ車の操作 練に参加する。
・逸げ遅れゼロ等に寄与する排水ポンブ車の活用 計画	平成28年度 から実施	該当なし	該当なし	該当なし

○概ね5年で実施する取組 具体的な取組の柱		実施する機関			
事項	目標時期		栃木県		
具体的取組		取組予定【H30年度】	実施結果【H30年度】	取組内容【R元(H31)年度】	
)ハード対策の主な取組 ■氾濫を未然に防ぐ対策					
<久慈川> ・優先的に実施する流下能力向上対策、浸透・パイピング対策 <那珂川>	平成32年度	該当なし	該当なし	該当なし	
・優先的に実施する流下能力向上対策、浸透・パ イピング対策					
■危機管理型ハード対策  <久慈川>		該当なし	該当なし	該当なし	
・堤防天端の保護 ・堤防裏法尻の補強 <那珂川> ・堤防天端の保護	平成32年度				
<ul><li>・堤防裏法尻の補強</li><li>■避難行動、水防活動に資する基盤等の整備</li></ul>					
・雨量・水位等の観測データ及び洪水時の状況を 把握・伝達するための基盤の整備	平成28年度 から実施	該当なし	該当なし	該当なし	
・さらなる情報伝達手段の追加整備もしくは検討	平成28年度から 順次実施	該当なし	該当なし	該当なし	
・水防活動を支援するための水防資機材等の配備		・栃木県地域防災計画及び栃木県水防計画に	  ・新たに、荒川(塩谷)沿川に防災ヤードを設け、	・引き続き、栃木県地域防災計画及び栃木県水	
(新技術を活用した水防資機材を含む)	平成28年度から 順次実施	基づき、水防活動を支援するための水防資機材 等を配備し、市町の備蓄体制を補完する。	水防資材の備蓄も行った。	防計画に基づき、水防活動を支援するための水 防資機材等を配備し、市町の備蓄体制を補完す る。	
・簡易水位計や量水標、CCTVカメラの設置	平成28年度 から実施	・5/30に開催する栃木県滅災対策協議会にお いて、簡易水位計の設置について最終的な合意 を図る。 ・年度末までに設置完了させる。	・危機管理型水位計を県内19箇所に設置 ・簡易型河川監視カメラの設置位置検討	・危機管理型水位計及び簡易型河川監視カメラ について、5月下旬開催予定の減災対策協議会 に諮り、年度末までに設置を完了させる。	
・浸水時においても災害対応を継続するための施設の整備及び自家発電装置等の耐水化(庁舎、要配慮施設、避難所等)	平成28年度から 順次実施	該当なし	該当なし	該当なし	
・水位予測の精度向上検討	平成28年度	該当なし	該当なし	該当なし	
)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅	本本のめなか、海州				
■想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮し					
・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、 氾濫シミュレーションの公表 〈直轄河川〉 久慈川・山田川・里川・那珂川・藤井川・桜川・涸沼 川	平成28年9月	下記河川において、浸水想定区域図の見直し作業(想定最大規模降雨)を完成させ、見直し後の浸水想定区域図の指定・公表を行う。 ・荒川(塩谷)、箒川、那珂川、逆川、蛇尾川、余笹川	・既指定洪水予報・水位周知河川の全16河川の 洪水浸水想定区域図を指定・公表完了。H30年 度指定・公表河川は以下のとおり。 (荒川、箒川、那珂川、袋川、永野川、巴波川、 連川、秋山川、蛇尾川、余笹川)	- 水位周知河川拡大3河川について取組を進める。 (旗川、内川、五行川上流)	
〈県管理河川〉	平成29年度 から実施	示 <b></b>	之川、 <b>水山川、</b> 北尾川、水区川)		
・大規模水害時の相互協力に関する申し合わせ	平成28年度	・平成28年度末に、相互協力に関する申し合わせを締結済。	特になし	特になし	
・広域避難計画の策定	平成29年度 から実施	・各市町における避難態勢の検討の支援をおこなう。	・市町の広域避難計画の策定を支援する。	・市町の広域避難計画の策定を支援する。	
・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮 したハザードマップの作成・周知	平成28年度から 順次実施	該当なし	該当なし	該当なし	
・まるごとまちごとハーザドマップ整備・拡充につい て検討	平成28年度から 順次実施	該当なし	該当なし	該当なし	
・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練 の促進	平成29年度 から実施	該当なし	該当なし	該当なし	
・避難勧告等の判断・伝達マニュアルの見直し	平成28年度から 順次実施	該当なし	該当なし	該当なし	
・対象地区全住民への確実な情報伝達方法の確立(自治体未加入世帯、高齢者、外国人等)	平成28年度から 順次実施	該当なし	該当なし	該当なし	
・自助、共助を目指した自主防災組織の充実	平成28年度 から実施	該当なし	該当なし	該当なし	
・避難誘導員の安全対策、待避等を踏まえた避難 誘導マニュアルの整備	平成29年度 から実施	該当なし	該当なし	該当なし	

〇概ね5年で実施する取組				
具体的な取組の柱 事 項	目標時期		実施する機関 栃木県	
具体的取組	口标时期	取組予定【H30年度】	物不示 実施結果【H30年度】	取組内容【R元(H31)年度】
2)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迂	l速かつ的確な避難 (		X,1541,X(1.100   X)	ANALY JE ELOS (110 17 1 DE 2
■避難勧告発令に着目したタイムラインの作成			# 2# 1.44-50 m a k 14 a 10-51 4 m b	
<ul><li>・避難勧告の発令に着目したタイムラインの作成</li></ul>	平成28年度から 順次実施	・各市町への策定支援として、基準水位の見直 しをおこない、データを提供する。	・基準水位設定のための検討を実施。	・引き続き、基準水位設定のための検討を実施。
・タイムラインに基づく首長等も参加した実践的な 訓練	平成28年度から 順次実施	・市町に対し、タイムラインに基づく実践的な訓練の実施を働きかけていく。	・国交省下館河川事務所主催の鬼怒川(石井水 位観測所)に係わる市町を対象としたタイムライ ンに基づく図上訓練に参加。	・市町に対し、タイムラインに基づく実践的な訓彩の実施を働きかけていく。
- 気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級 の現象」等の改善(水害時の情報入手のし易さを		該当なし	該当なし	該当なし
サポート)	平成29年度 出水期から実施			
■防災教育や防災知識の普及 ・水災害の事前準備に関する問い合わせ窓口の		・設置した問い合わせ窓口により、対応をおこな		特になし
設置	平成28年度 から実施	<b>5</b> .		
・水防災に関する説明会等の開催	平成28年度から 順次実施	- 各市町からの要請なし。	<ul> <li>・市町の危機管理部局職員を対象に説明金を開催し、毎年の水防訓練の実施を依頼した。</li> </ul>	-
・教員を対象とした講習会の実施	平成28年度から 順次実施	・毎年、県内市町立全小・中学校及び義務教育 学校の教頭又は学校安全担当教員等を対象に 自然災害等に係る研修会を実施する。	・4月に県内市町立全小・中学校及び義務教育 学校の教頭又は学校安全担当教員等を対象に 自然災害等に係る研修会を実施した。	・引き続き、左記取組を実施する。
・小学生を対象とした防災教育の実施	平成28年度から 順次実施	・引き続き出前講座を実施する。	・各土木事務所にて、河川水難事故防止のため、リーフレット等を用いて防災教育を実施した。	各土木事務所にて、河川水難事故防止のため、 リーフレット等を用いて防災教育を実施する。
・出前講座等を活用した講習会の実施	平成28年度 から実施	・要請により出前講座等をおこなっていく。	・各土木事務所にて、河川水難事故防止のため、リーフレット等を用いて防災教育を実施した。	・要請により出前講座等をおこなっていく。
- ブッシュ型の洪水予報等の情報発信	平成28年度から 順次実施	- 防災担当者向けメールにより県管理河川の水位情報を配信する。 - ブッシュ型配信の検討を行う。	・防災担当者向けメールにより県管理河川の水 位情報を配信した。 ・ブッシュ型配信の検討を行った。	・防災担当者向けメールにより県管理河川の水 位情報を配信する。 ・ブッシュ型配信の検討を行う。
・水位計やライブカメラの情報をリアルタイムで提供 供	平成28年度 から実施	・ホームページなどに水位計やライブカメラの情報をリアルタイムで提供する。	・ホームページなどに水位計やライブカメラの情報をリアルタイムで提供した。	<ul> <li>ホームページなどに水位計やライブカメラの情報をリアルタイムで提供する。</li> </ul>
2)ソフト対策の主な取組 ②避難時間の確保のための				
■より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強 ・水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練の 実施	<u>と</u> 平成28年度 から実施	該当なし	該当なし	該当なし
・水防団同士の連絡体制の確保	平成28年度から 順次実施	該当なし	該当なし	該当なし
・水防団や地域住民が参加する洪水に対しリスク が高い区間の共同点検	引き続き 毎年実施	- 毎年、直轄河川の合同巡視に参加している。 - また、県管理河川についても、毎年、出水期前 に関係自治体、消防等と重要水防箇所及び水防 倉庫の点検を行っている。	- 直轄河川の合同巡視に参加した。 - また、県管理河川についても、毎年、出水期前 に関係自治体、消防等と重要水防箇所及び水防 倉庫の点検を行った。	- 毎年、直轄河川の合同巡視に参加している。 ・また、県管理河川についても、毎年、出水期前 に関係自治体、消防等と重要水防箇所及び水危 倉庫の点検を行っている。
・水防訓練の実施	引き続き 毎年実施 平成28年度から 順次実施	・引き続き、水防管理団体が行う訓練へ参加する。	・利根川水系連合・総合水防演習(H29.5.19)への参加。	・渡良瀬川(栃木県足利市)において、利根川水 系連合・総合水防演習(H30.5.18)を開催予定。
・水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・ 指定を促進	引き続き 毎年実施	該当なし	該当なし	該当なし
・水防団員の待避等判断指標の作成	平成28年度から 順次実施	該当なし	該当なし	該当なし
・水防団員の安全装備の徹底(水防法第7条)	平成28年度から 順次実施	該当なし	該当なし	該当なし
■排水活動の強化に関する取組 ・排水ポンプ車の操作講習会、出動要請の連絡体 制の周知	引き続き 毎年実施	・河川事務所が実施する排水ポンプ車の操作訓 練に参加する	・河川事務所が実施する排水ポンプ車の操作訓練に参加した	・河川事務所が実施する排水ポンプ車の操作訓練に参加する
・逃げ遅れゼロ等に寄与する排水ポンプ車の活用 計画	平成28年度 から実施	該当なし	該当なし	該当なし

〇概ね5年で実施する取組			th.W. ± 7 ± 88			
具体的な取組の柱	D 45 ct 40		実施する機関			
事 項 具体的取組	目標時期	取組予定【H30年度】	<b>気象庁</b> 実施結果【H30年度】	取組内容【R元(H31)年度】		
1)ハード対策の主な取組		収和 P た L T S U 干 及 J	大肥和木(口30年及)	4X租内分よれば(EST)年及』		
■氾濫を未然に防ぐ対策						
C 及慈川  - ・優先的に実施する流下能力向上対策、浸透・パイピング対策   < 那珂川   ・優先的に実施する流下能力向上対策、浸透・パーピング対策	平成32年度	-		-		
〈久慈川〉 ・堤防天端の保護 ・堤防実法尻の補強 〈那珂川〉 ・堤防天端の保護 ・堤防実法尻の補強	平成32年度	-		-		
■避難行動、水防活動に資する基盤等の整備 ・雨量・水位等の観測データ及び洪水時の状況を 把握・伝達するための基盤の整備	平成28年度 から実施	-		-		
・さらなる情報伝達手段の追加整備もしくは検討	平成28年度から 順次実施	-		-		
・水防活動を支援するための水防資機材等の配備 (新技術を活用した水防資機材を含む)	平成28年度から 順次実施	-		-		
・簡易水位計や量水標、CCTVカメラの設置	平成28年度 から実施	_		_		
- 浸水時においても災害対応を継続するための施設の整備及び自家発電装置等の耐水化(庁舎、要配慮施設、避難所等)	平成28年度から 順次実施	_		_		
・水位予測の精度向上検討	平成28年度	-		-		
	  凍かつ的確な避難に					
■想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮し						
・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、 氾濫シミュレーションの公表 〈直轄河川〉 久慈川・山田川・里川・那珂川・藤井川・桜川・涸沼	平成28年9月					
	平成29年度 から実施	_		_		
- 大規模水害時の相互協力に関する申し合わせ	平成28年度	・協議会の中で相互協力に関する申し合わせを H28年度末に締結	・相互協力についてはH28年度末に締結したものについて継続して取り組む。	・相互協力についてはH28年度末に締結したものについて継続して実施していきたい。		
・広域避難計画の策定	平成29年度 から実施	- H29年度は茨城県災害対応勉強会広域避難検討ワーキンググループに参加。引き続き、参画していく	・茨城県等と共同にて、鬼怒川小貝川下流域広 域避難検討会に参画した。	・今後も必要に応じ参画、支援を行っていきた い。		
・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮 したハザードマップの作成・周知	平成28年度から 順次実施	-		-		
・まるごとまちごとハーザドマップ整備・拡充について検討	平成28年度から 順次実施	-		-		
・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練 の促進	平成29年度 から実施	-		-		
・避難勧告等の判断・伝達マニュアルの見直し	平成28年度から 順次実施	-		-		
・対象地区全住民への確実な情報伝達方法の確立(自治体未加入世帯、高齢者、外国人等)	平成28年度から 順次実施	-		-		
- 自助、共助を目指した自主防災組織の充実	平成28年度 から実施	-		-		
・避難誘導員の安全対策、待避等を踏まえた避難 誘導マニュアルの整備	平成29年度 から実施	-		-		

〇概ね5年で実施する取組				
具体的な取組の柱	目標時期		実施する機関	
事 項 具体的取組	日保吁捌	取組予定【H30年度】	<b>気象庁</b> 実施結果【H30年度】	取組内容【R元(H31)年度】
2)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅	速かつ的確な避難		2004401451122	100000000000000000000000000000000000000
■避難勧告発令に着目したタイムラインの作成			but a complete and a contract of	
・ 避難勧告の発令に着目したタイムラインの作成	平成28年度から 順次実施	・タイムラインの策定にあたっての助言に係る資料等は整っているが、H29年度時点においては支援作業は生じなかった。今後、市町の要請に応じ支援していきたい。	・タイムラインの策定にあたっての助言に係る資料等は整っている。、H30年度は石岡市のタイムラインについて助言を行っている。(水戸地方気象台)	引き続き、市町の要請に応じ支援していきたい。
・タイムラインに基づく首長等も参加した実践的な 訓練	平成28年度から 順次実施	・下館河川事務所と常総市主催で行われた八間 堀川への流入水路に着目したタイムラインを活 用した情報伝達演習に参加した。H30年度にお いても引き続き参加していきたい。	演習への参加 ・7月9日 栃木県・芳賀町総合防災図上訓練への参加 ・9月2日 ・栃木県・鹿沼市総合防災訓練に参加 他、流域の外の市町になるが市町の要請に応じ	・H31年度においても自治体が行う訓練に積極的に参加していく。
・気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級		- 平世00年7月4月上川[十五敬却/冯北宇] 5/3	タイムラインに基づく訓練に参加した。	・平成29年7月4日より「大雨警報(浸水害)や洪
の現象」等の改善(水害時の情報入手のし易さを サポート)	平成29年度 出水期から実施	- 平成29年7月4日より「大雨警報(浸水害)や洪水警報の危険度分布」の提供を開始。今後、事例を重ね精度向上に努める。	・2016年の水害資料を精査し、水害にかかる基準の見直しを実施した。 ・危険度分析に関するパンフレットについて防災 訓練や講演会等の機会を通じ配布した。 ・常陸河川国道事務所と共同にて流域各市町に 対し防災子ジを配布した。	・平成29年7月4日より、大阳書物(次水舎)や浜 水警報の危険度分布」の提供を開始。今後、事 例を重ね精度向上に努める。
■防災教育や防災知識の普及 ・水災害の事前準備に関する問い合わせ窓口の		・問い合わせ窓口を設置しているが、現時点にお	.問い合わせ空口を記案しているが、理味もにも	・引き続き、問い合わせ窓口を設置し必要に応じ
が火台の争削牛腩に関する同い合わせか日の 設置	平成28年度 から実施	「同い合わた心口を改直しているか、現時点にのいてサポートは生じていない。	「同い合わせぬ日を改直しているか、現時点にあいてサポートは生じていない。	* から続き、同い合わせ、お口を改画し必要に応し サポートしていきたい。
・水防災に関する説明会等の開催	平成28年度から 順次実施	・関係機関と連携した防災対応を行うため、毎年 出水期前に家象防災連絡会を開催している。 ・台風の接近に伴う影響や防災上の留意事項に ついて、台風説明強を開催して、注意、警戒を呼 びかけている。 ・気象台の見学やお天気教室のイベントを開催 し、水防災に関する説明等を実施している。	会を開催 ・台風の接近に伴う影響や防災上の留意事項に ついて、台風説明会を開催して、注意、警戒を呼 びかけている。30年度は計5回(うち1回は資料 送付のみ)実施。	・H31年度においても引き続き説明会等を随時実施していく。
・教員を対象とした講習会の実施	平成28年度から 順次実施	H30年度   おいても引き締き取組を進めていきた - 学校に職員を派遣して、教員を対象とした防災 に関する諸習会を実施している。   H30年度においても引き続き取組を進めていきた し、。	・気象台の見学やお天気教室のイベントを開催 ・水防災に関する独野季を事施 ・学校に職員を派遣して、教員を対象とした防災 に関する諸習会を実施している。 H30年度においても引き続き取組を進めていきた い。	・H31年度においても引き続き、要請に応じ講習 会等を活用し、気象防災情報の普及に努めてい く。
- 小学生を対象とした防災教育の実施	平成28年度から 順次実施	・・・小学校に職員を派遣して、防災に関する講演を 実施している。 ・・小学生による気象台の見学を受け入れ、気象 や防災に関して説明を行っている。 H30年度においても引き続き取組を進めていきた	・小学校に職員を派遣して、防災に関する講演を 実施している。 ・小学生による気象台の見学を受け入れ、気象 や防災に関して説明を行っている。	・H31年度においても引き続き、要請に応じ講演 会や見学等の機会を活用し、気象防災情報の普 及に努めていく。
・出前講座等を活用した講習会の実施		・市民講座等の催しに職員を派遣して、講習会を		・H31年度においても引き続き、要請に応じ出前
and the state of t	平成28年度 から実施	実施している。 H30年度においても引き続き取組を進めていきたい。	の講習会等、市民講座等の催しに職員を派遣し て防災講話という形にて気象防災情報の普及に	講座等の機会を活用し、気象防災情報の普及に
・プッシュ型の洪水予報等の情報発信	平成28年度から 順次実施	_		_
・水位計やライブカメラの情報をリアルタイムで提供	平成28年度 から実施	_		_
②)ソフト対策の主な取組 ②避難時間の確保のための ■より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化				
より効果が40小的活動の美地及び小的体制の強化 ・水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練の 実施	で 平成28年度 から実施	-		-
・水防団同士の連絡体制の確保	平成28年度から 順次実施	-		-
・水防団や地域住民が参加する洪水に対しリスクが高い区間の共同点検	引き続き 毎年実施	・平成30年度についても引き続き重要水防箇所等の共同点検に参加する予定である。	・平成30年度の重要水防箇所等の共同点検に参加している。平成31年度についても参加する予定である。	・平成31年度の重要水防箇所等の共同点検に参加する予定である。
・水防訓練の実施	引き続き 毎年実施 平成28年度から 順次実施	・H30年度においても国及び自治体が行う水防 訓練へ参加する。	流域の外の市町になるが、市町が行う水防訓練に参加した。	・H31年度においても国及び自治体が行う水防訓練へ参加する。
・水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・指定を促進	引き続き 毎年実施	_		-
- 水防団員の待避等判断指標の作成	平成28年度から 順次実施	-		-
- 水防団員の安全装備の徹底(水防法第7条)	平成28年度から 順次実施	-		-
■排水活動の強化に関する取組				
- 排水ポンプ車の操作講習会、出動要請の連絡体制の周知	引き続き 毎年実施	-		-
・遂げ遅れゼロ等に寄与する排水ポンブ車の活用 計画	平成28年度 から実施	-		_

体的な取組の柱		実施する機関			
事 項	目標時期		常陸河川		
具体的取組		取組予定【H30年度】	実施結果【H30年度】	取組内容【R元(H31)年度】	
ハード対策の主な取組 ■氾濫を未然に防ぐ対策					
■ △ △ 本		〈久慈川〉 ・流下能力向上対策として河道掘削を実施 〈那珂川〉	〈久慈川〉 <ul> <li>・流下能力向上対策として河道掘削を実施</li> <li>〈那珂川〉</li> </ul>	〈久慈川〉 ・流下能力向上対策として河道掘削を継続 〈那珂川〉	
イニング列集 〈那珂川〉 ・優先的に実施する流下能力向上対策、浸透・パ イピング対策	平成32年度	・流下能力向上対策として河道掘削を実施	・流下能力向上対策として河道掘削を実施	・流下能力向上対策として河道掘削を継続	
■危機管理型ハード対策					
<久慈川> ・堤防天端の保護 ・堤防裏法尻の補強 <那珂川>	平成32年度	<久慈川>	<久慈川>	< 久慈川> ・・ 歩防天端の保護 ・・ 堤防天端の保護 ・・ 堤防裏法尻の補強 ・ 堤防裏法尻の補 (	
<ul><li>・堤防天端の保護</li><li>・堤防裏法尻の補強</li></ul>					
■避難行動、水防活動に資する基盤等の整備					
雨量・水位等の観測データ及び洪水時の状況を 把握・伝達するための基盤の整備	平成28年度 から実施	・洪水予測システムの検討を実施 [H304年度] ・危機管理型水位計の設置 [H30年度]	- 洪水予測システムの検討を実施 [H304度] - 危機管理型水位計の設置 [H304度]	・洪水予測システム検討の継続 [H31年度] - 危機管理型水位計設置の継続 [H31年度]	
・さらなる情報伝達手段の追加整備もしくは検討	平成28年度から 順次実施	・危機管理型水位計の設置 【H30年度】	・危機管理型水位計の設置 【H30年度】	・危機管理型水位計の設置(継続) 【H31年度】	
・水防活動を支援するための水防資機材等の配備 (新技術を活用した水防資機材を含む)	平成28年度から 順次実施	・河川防災ステーション整備事業の継続 [H28年度~] ・土義ステーション(仮称)の整備	・河川防災ステーション整備事業の継続 【H28年度~】 ・土嚢ステーション(仮称)の整備	- 河川防災ステーション整備事業の継続 【H28年度~】 - 土嚢ステーション(仮称)整備の継続	
・簡易水位計や量水標、CCTVカメラの設置	平成28年度 から実施	・危機管理型水位計の設置 【H30年度】	・危機管理型水位計の設置 【H30年度】	・危機管理型水位計設置の継続 ・簡易監視カメラの設置	
<ul><li>・浸水時においても災害対応を継続するための施設の整備及び自家発電装置等の耐水化(庁舎、要配慮施設、避難所等)</li></ul>	平成28年度から 順次実施	該当なし	該当なし	該当なし	
・水位予測の精度向上検討		・洪水予測システムの検討を実施	・洪水予測システムの検討を実施	・洪水予測システムの検討を継続	
	平成28年度	[H30年度]	【H30年度】	【H31年度】	
ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅	l 速かつ的確な避難				
■想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮し	<sub>し</sub> たハザードマップの	1			
・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、 氾濫シミュレーションの公表		<ul><li>・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図 公表済</li></ul>	<ul><li>・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図 公表済</li></ul>	<ul><li>・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域公表済</li></ul>	
<直轄河川> 久慈川・山田川・里川・那珂川・藤井川・桜川・涸沼 川	平成28年9月	【H28年5月】 ・氾濫シミュレーション公表済 【H29年1月】	【H28年5月】 ・氾濫シミュレーション公表済 【H29年1月】	【H28年5月】 ・氾濫シミュレーション公表済 【H29年1月】	
<県管理河川>	平成29年度 から実施				
・大規模水害時の相互協力に関する申し合わせ	平成28年度	・協議会の中で相互協力に関する申し合わせを H28年度末に締結し継続して実施	・協議会の中で相互協力に関する申し合わせを H28年度末に締結し継続して実施	・協議会の中で相互協力に関する申し合わせ H28年度末に締結し継続して実施	
			相告日 1 相供你不足 1 7 11 12 1 18 中区 1 6		
・広域避難計画の策定	正式00左连	データを提供済。	・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域の データを提供済。	・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域 データを提供済。	
	平成29年度 から実施	【H28年9月】 今後も必要に応じ支援を行っていく。	【H28年9月】 今後も必要に応じ支援を行っていく。	【H28年9月】 今後も必要に応じ支援を行っていく。	
・想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮 したハザードマップの作成・周知	平成28年度から 順次実施	該当なし	該当なし	該当なし	
・まるごとまちごとハーザドマップ整備・拡充につい て検討	平成28年度から 順次実施	該当なし	該当なし	該当なし	
<ul><li>・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進</li></ul>	平成29年度	該当なし	該当なし	・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び記 練の促進を支援する	
	から実施	該当なし	該当なし	該当なし	
・避難勧告等の判断・伝達マニュアルの見直し					
・避難勧告等の判断・伝達マニュアルの見直し	平成28年度から 順次実施				
・対象地区全住民への確実な情報伝達方法の確		該当なし	該当なし	該当なし	
<ul><li>対象地区全住民への確実な情報伝達方法の確立(自治体未加入世帯、高齢者、外国人等)</li></ul>	順次実施 平成28年度から				
	順次実施 平成28年度から	該当なし	該当なし	該当なし	
<ul><li>・対象地区全住民への確実な情報伝達方法の確立(自治体未加入世帯、高齢者、外国人等)</li></ul>	順次実施 平成28年度から 順次実施 平成28年度				

〇概ね5年で実施する取組	T	T	<del></del>	
具体的な取組の柱 事 項	目標時期		実施する機関 <b>常陸河川</b>	
具体的取組		取組予定【H30年度】	実施結果【H30年度】	取組内容【R元(H31)年度】
!)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迂 ■避難勧告発令に着目したタイムラインの作成	引速かつ的確な避難	1		
■ 対無制合先 刊に有日したタイムラインの作成 ・ 避難勧告の発令に着目したタイムラインの作成	平成28年度から 順次実施	基準水位について更新検討を実施。2月中を目途に情報提供を行う。 [31.2月予定]	基準水位について更新検討を実施。2月中を目途に情報提供を行う。 【31.2月】	基準水位について更新検討を実施
- タイムラインに基づく首長等も参加した実践的な 訓練	平成28年度から 順次実施	・自治体が行う訓練に積極的に参加していく 【H28年度から順次】	・自治体が行う訓練に積極的に参加していく 【H28年度から順次】	・自治体が行う訓練に積極的に参加していく 【H28年度から順次】
・気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善(水害時の情報入手のし易さをサポート)	平成29年度 出水期から実施	・各構成機関と協力して作成した防災チラシを配布予定	・各構成機関と協力して作成した防災チラシを配布	・随時各構成機関と協力して作成した防災チラジを配布していく
■防災教育や防災知識の普及 ・水災害の事前準備に関する問い合わせ窓口の 設置	平成28年度 から実施	・引き続き、問い合わせ窓口を設置し、HPにアップ 【H29.2月】	・引き続き、問い合わせ窓口を設置し、HPにアップ 【H29.2月】	・引き続き、問い合わせ窓口を設置し、HPにアップ
- 水防災に関する説明会等の開催	平成28年度から 順次実施	・各構成機関の要請により説明会等を随時実施。	・各構成機関の要請により説明会等を随時実施。	・各構成機関の要請により説明会等を随時実施。 ・説明会で配布する広報チラシの作成など、広朝 戦略を支援する。
・教員を対象とした講習会の実施	平成28年度から 順次実施	・引き続き遙瀬員から要請があれば出前講座等 を積極的に実施していく。 ・モデル校において講習会を実施。	・引き続き教員から要請があれば出前講座等を 積極的に実施していく。	・引き続き教員から要請があれば出前講座等を 積極的に実施していく。
・小学生を対象とした防災教育の実施	平成28年度から 順次実施	・小学生を対象とした防災教育の資料を作成済み (H29年度) ・モデル校において実施を調整中。	・小学生を対象とした防災教育の資料を作成済み (H29年度) ・教材を配布	・小学生を対象とした防災教育の資料を作成済み [H29年度] ・モデル校において実施を調整中。
・出前講座等を活用した講習会の実施	平成28年度 から実施	・引き続き、要請により出前講座を随時実施中。	・引き続き、要請により出前講座を随時実施。	・引き続き、要請により出前講座を随時実施。
・ブッシュ型の洪水予報等の情報発信	平成28年度から 順次実施	・ブッシュ型の洪水予報等の情報発信について 引き続き情報提供を実施。	・ブッシュ型の洪水予報等の情報発信について 引き続き情報提供を実施。	・ブッシュ型の洪水予報等の情報発信について 引き続き情報提供を実施。
・水位計やライブカメラの情報をリアルタイムで提供	平成28年度 から実施	・ライブカメラの情報について、増やし提供することを検討	・ライブカメラの情報について、増やし提供することを検討	・ライブカメラの情報について、増やし提供することを継続して検討
<ul><li>2)ソフト対策の主な取組②避難時間の確保のための</li><li>■より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強</li></ul>				
るソ列来的は小切ら割の美地及し小切体制の選 ・水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練の 実施	平成28年度 から実施	該当なし	該当なし	該当なし
・水防団同士の連絡体制の確保	平成28年度から 順次実施	該当なし	該当なし	該当なし
・水防団や地域住民が参加する洪水に対しリスクが高い区間の共同点検	引き続き 毎年実施	・重要水防箇所等の共同点検を実施。 【H30.5月】	・重要水防箇所等の共同点検を実施。 【H30.5月】	・重要水防箇所等の共同点検を実施。
・水防訓練の実施	引き続き 毎年実施 平成28年度から 順次実施	・利根川水系連合・総合水防演習に参加 [H30.5月] ・久慈川水系連合水防演習に参加 [H30.5月] ・事務所職員向け水防実技研修を実施 [H30.7月辺]	・利根川水系連合・総合水防演習に参加 [H30.5月] ・久慈川水系連合水防演習に参加 [H30.5月] ・事務所職員向け水防実技研修を実施 [H30.7月]	和根川水系連合・総合水防演習に参加     ·久慈川水系連合水防演習に参加     ·克慈川水系連合水防演習に参加     ·事務所職員向け水防実技研修を実施
・水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・ 指定を促進	引き続き 毎年実施	該当なし	該当なし	該当なし
- 水防団員の待避等判断指標の作成	平成28年度から 順次実施	該当なし	該当なし	該当なし
・水防団員の安全装備の徹底(水防法第7条)	平成28年度から 順次実施	該当なし	該当なし	該当なし
■ 排水活動の強化に関する取組 ・排水ポンブ車の操作講習会、出動要請の連絡体 制の周知	引き続き 毎年実施	・排水ポンプ車の操作訓練を出水期前までに実施予定 (H30年5月頃)	・排水ポンプ車の操作訓練を出水期前までに実施 (H30年5月頃)	・排水ポンプ車の操作訓練を出水期前までに実 施予定
・逃げ遅れゼロ等に寄与する排水ポンプ車の活用 計画	平成28年度 から実施	・排水ポンプ車の活用計画を検討するための業務について、実施済み。必要に応じてリバイスを実施。	・排水ポンプ車の活用計画を検討するための業 務について、実施済み。必要に応じてリバイスを 実施。	・排水ポンプ車の活用計画を新たに検討する